令和3年度
福岡市外国籍市民アンケート 報告書

（福岡滞在期間5年未満の外国籍市民に関する分析）

令和４年３月

福　岡　市

――― 目 次 ―――

Ⅰ. 分析概要 1

1. 分析目的 1
2. 分析対象 1
3. 分析主体と分析実施機関 1
4. 分析内容 2
5. 分析結果利用上の注意 2

Ⅱ. 分析結果 3

0. 調査回答の方法 3
1. 調査回答者の属性【Q1】【Q1-1】【Q2】 4
①国籍【Q1】 4
②母国語【Q1-1】 6
③年齢【Q2】 7
2. 在留資格【Q3】 8
3. 居住地【Q4】 10
4. 福岡市での通算居住年数と日本での通算居住年数【Q5】【Q6】 11
①福岡市での通算居住年数【Q5】 11
②日本での通算居住年数【Q6】 13
5. 住居形態【Q7】 14
6. 同居の状況【Q8】【Q8-1】 16
①同居人の状況【Q8】（複数回答） 16
②同居人数【Q8-1】 18
7. 日常生活における日本語能力【Q9】 20
8. 日本語の能力を高めるために行っている努力【Q10】（複数回答） 21
9. 市民センターや地域で開催されている日本語教室の利用程度【Q11】【Q11-1・2】 22
①利用経験【Q11】 22
②現在の利用状況【Q11-1】 23
③利用しなくなった理由【Q11-1-1】 23
④利用しない理由【Q11-2】 24
10. 日常生活における英語能力【Q12】 25
11. 福岡市の住みやすさ【Q13】 26
12. 福岡市の生活環境の認識【Q14】 27
①全体比較【Q14】 27
②自然環境【Q14-1】 29

③買い物などの日常生活の利便性【Q14-2】 30
④物価【Q14-3】 31
⑤食べ物の新鮮さやおいしさ【Q14-4】 32
⑥住宅事情【Q14-5】 33
⑦交通の利便性【Q14-6】 34
⑧母国との交通手段（航空便・船便など）の利便性【Q14-7】 35
⑨就業（アルバイトやパート）機会の多さ【Q14-8】 36
⑩芸術・文化水準【Q14-9】 37
⑪レジャー施設の充実【Q14-10】 38
⑫教育環境【Q14-11】 39
⑬子育ての環境・支援【Q14-12】 40
⑭医療機関の充実【Q14-13】 41
⑮犯罪の多さ【Q14-14】 42
⑯自然災害の多さ【Q14-15】 43
⑰人の親切さ【Q14-16】 44
⑱市民マナー【Q14-17】 45
⑲母国の食材を扱ったレストランやお店の数【Q14-18】 46
⑳多言語対応ができる場所の多さ【Q14-19】 47
13. 福岡都市圏の生活環境で充実してほしいもの【Q15】（複数回答） 48
14. 日常生活での悩み【Q16】【Q17】【Q17-1】 51
①悩みの内容【Q16】（複数回答） 51
②地域住民とのトラブルの有無【Q17】 53
③地域住民とのトラブル内容【Q17-1】（複数回答） 54
15. 外国人にも住みやすく活動しやすいまちに必要なこと【Q18】（複数回答） 55
16. 日常生活で相談できる相手【Q19】 58
①日常生活で相談できる相手の有無 58
②日常生活で相談できる相手（複数回答） 60
17. 特に欲しい情報【Q20】（複数回答） 62
18. 地域情報の入手経路【Q21】【Q21-1】 64
①地域情報の入手経路 【Q21】（複数回答） 64
②情報を得ている SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）【Q21-1】（複数回答） 68
19. 生活情報・行政情報を得るために訪れたところ【Q22】（複数回答） 70
20. 地域の多言語FM放送局（Love FM）の認知及び聴取状況【Q23】【Q23-1】 72
①Love FM の認知及び聴取状況【Q23】 72
②「Life in Fukuoka」や「やさしい日本語ラジオ講座」の聴取経験【Q23-1】 74
21. 住民登録時の「ウェルカムキット」活用状況【Q24】 75
22. 福岡市国際会館（福岡よかトピア国際交流財団）の利用状況【Q25】【Q25-1・2】 77
①利用頻度【Q25】 77
②認知経路【Q25-1（1）】 79
③利用内容【Q25-1（2）】（複数回答） 81
④役に立ったもの【Q25-1（3）】（複数回答）・役に立たなかったもの【Q25-1（4）】（複数回答） 83

⑤行ったことがない理由【Q25-2】----------84
23. 近所とのつきあい状況【Q26】【Q27】【Q27-1・2】---------- 86
①付き合い程度【Q26】----------86
②交流意向【Q27】----------88
③どのような交流を望むか【Q27-1】(複数回答)----------90
④交流を望まない理由【Q27-2】----------92
24. 地域行事への参加状況【Q28】【Q28-1・2】---------- 94
①参加状況【Q28】----------94
②地域での行事(イベント)や活動の参加状況【Q28-1(1)】----------96
③参加のきっかけ【Q28-1(2)】(複数回答)----------101
④参加しなかった理由【Q28-2】(複数回答)---------- 103
25. 日本人に望むこと【Q29】---------- 105
26. 公民館の利用状況【Q30】【Q30-1】---------- 107
①利用状況【Q30】---------- 107
②利用目的【Q30-1】(複数回答)---------- 109
27. 災害時の避難場所の認知【Q31】----------111
28. 避難勧告の情報入手経路【Q32】【Q32-1・2】---------- 113
①情報入手の可否【Q32】----------113
②入手経路【Q32-1】(複数回答)----------115
③知ることができない理由【Q32-2】(複数回答)----------118
29. 福岡での病院の利用【Q33】【Q33-1】---------- 119
①利用の有無【Q33】----------119
②病院利用時に困ったこと【Q33-1】(複数回答)----------121
②病院を探すときに困ったことや苦労したこと【Q33-1-1】---------- 123
30. 病院受診時の通訳サービスの利用【Q34】【Q34-1】---------- 124
①利用の有無【Q34】---------- 124
②利用したサービスの種類【Q34-1(1)】(複数回答)---------- 126
③利用時に困ったこと【Q34-1(2)】(複数回答)---------- 127
④認知経路【Q34-1(3)】(複数回答)---------- 128
31.「新型コロナウイルス外国人相談ダイヤル」の認知【Q35】【Q35-1】---------- 130
①「新型コロナウイルス外国人相談ダイヤル」の認知【Q35】---------- 130
②利用経験【Q35-1(1)】(複数回答)----------131
③認知経路【Q35-1(2)】(複数回答)---------- 132
32. 医療面において外国人にとって必要なこと【Q36】(複数回答)---------- 133
33. 同居している子ども(中学生以下)【Q37】【Q37-1】【Q38】---------- 134
①同居している子ども(中学生以下)の有無【Q37】(複数回答)---------- 134
②子どもの学校【Q37-1】---------- 136
③子どもの預け先【Q38】---------- 137
34. 子どもの教育や子育てにおける悩み【Q39】(複数回答)---------- 138
35. 子育てに関して必要とする情報【Q40】(複数回答)---------- 143

36. 子育てにおいて相談したり、参考にしたりしているもの【Q41】(複数回答) ---------- 145
37. 教育環境において外国人にとって必要なこと【Q42】【Q42-1・2】---------- 147
①教育環境において必要なこと【Q42】(複数回答)---------- 147
②公立や私立の小中学校の充実【Q42-1】(複数回答)---------- 148
③インターナショナルスクールの充実【Q42-2】(複数回答)---------- 149
38. 税金に関して必要とする情報【Q43】(複数回答)---------- 150
39. 住居環境において必要なこと【Q44】(複数回答) ---------- 151
40. 国勢調査の認知【Q45】【Q45-1】【Q46】【Q46-1】---------- 152
①認知状況【Q45】---------- 152
②認知経路【Q45-1】(複数回答) ---------- 153
③回答の有無【Q46】---------- 154
④回答しなかった理由【Q46-1】---------- 155
41. 自由回答【Q47】---------- 156
Ⅲ. 調査票 159

Ⅰ.分析概要

Ⅰ. 分析概要

1. 分析目的

福岡市内に住む令和３年末の外国人数は、平成元年末の9,189人に比べ、約４倍の35,399人となるなど、グローバル化が進んでいる。

このような中、福岡市は、平成24年12月に策定した「福岡市基本構想」において、「住みたい、行きたい、働きたい。アジアの交流拠点都市・福岡」を目指す都市像に掲げ、その実現に向けた「第９次基本計画（平成24年12月）」では、「国際競争力を有し、アジアのモデル都市となっている」を分野別目標の１つに定め、「アジアをはじめ世界の人にも暮らしやすいまちづくり」など様々な国際施策を推進している。また、平成26年３月には国家戦略特区「グローバル創業・雇用創出特区」に指定されるとともに、令和２年度からは産学官によるオール福岡の推進組織「TEAM FUKUOKA」が一丸となって国際金融機能の誘致に積極的に取り組むなど、更なるグローバル化への対応が求められている。

本報告書は、福岡市での滞在期間５年未満の、特に支援が必要である外国籍市民の回答を抽出・分析することにより、生活環境への評価、日常生活の実態、教育・子育てについての悩みなどを洗いだすとともに、現行の福岡市における在住外国人施策の効果検証と、今後の戦略的な施策展開に活用するための基礎資料を得ることを目的としている。

2. 分析対象

福岡市外国籍市民アンケート調査で得られた回答653件のうち、福岡市での滞在期間５年未満の回答467件を分析。

・調査対象と標本の抽出方法
　福岡市住民基本台帳に登録のある外国籍市民で、18歳以上（令和３年10月１日時点）で、在留資格が「特別永住者」、「永住者」及び「短期滞在」を除く2,000人を無作為に抽出。
・調査方法
　調査票の配布は郵送による。また、回収は調査票及び調査票記載のQRコードからアクセスするWebアンケートによる。なお、調査票及びWebアンケートの様式は、それぞれ日本語版と外国語版（英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語）を用意し、いずれか１つで回答を求める形式をとった。　※Webによる回答は今回調査から実施
・調査期間：令和３年11月１日（月）～11月22日（月）
・調査主体：福岡市総務企画局国際部国際政策課
・調査実施機関：公益財団法人九州経済調査協会

3. 分析主体と分析実施機関

・分析主体：福岡市総務企画局国際部国際政策課
・分析実施機関：公益財団法人九州経済調査協会

4. 分析内容

・回答者の属性について（Ｑ１～Ｑ８）
・日本語能力について（Ｑ９～Q11）
・英語能力について（Q12）
・日常生活に関して（Q13～Q19）
・欲しい情報やその取得手段などについて（Q20～Q25）
・地域住民との交流について（Q26～Q30）
・防災について（Q31～Q32）
・医療について（Q33～Q36）
・教育・子育てについて（Q37～Q42）
・その他市民生活について（Q43～Q46）
・自由意見（Q47）

5. 分析結果利用上の注意

①数字は、百分比の小数点以下第２位を四捨五入しているため、回答比率の合計は必ずしも100%にならないことがある。
②２つ以上の回答（複数回答）がある質問の場合、その回答比率の合計は、原則として100%を超える。
③数表や図表に示すＮ、ｎは、比率算出上の標本数を示している。（Ｎは標本全数（サンプル数）を表し、ｎは該当数を表す）
④文中の選択肢は「　」で表記し、選択肢のうち２つ以上のものを合計して表す場合は『　』とした。
⑤国籍については、法務省出入国管理統計による。
（国籍区分の「その他（アジア）」及び「その他（アジア以外）」についても、法務省出入国管理統計に従っている）
⑥在留資格については、出入国管理及び難民認定法別表第一及び第二による。
⑦本調査における「就労」の在留資格区分は、教授、芸術、宗教、報道、高度専門職、経営・管理、法律・会計業務、医療、研究、教育、技術・人文知識・国際業務、企業内転勤、介護、興行、技能、特定技能を含んでいる。
⑧調査回答者の年齢に関しては、令和３年10月１日時点を基準としている。
⑨一部の質問項目については、平成30年度調査において調査票に誤りがあったため、令和元年度に再調査を実施している。そのため、当該質問については、令和元年度調査の回答と経年比較を行っている。

Ⅱ. 分析結果

Ⅱ. 分析結果

0. 調査回答の方法

今回調査から、調査票の回収は調査票及び調査票記載のQRコードからアクセスするWebアンケートの両方で実施した。調査票での回答（58.0%）は約６割、Webでの回答（42.0%）は約４割と大きな差は見られなかった。

国籍別にみるとベトナムで、在留資格別にみると留学（日本語学校）で、それぞれWebの割合の方が多く、その他全体の傾向と逆の結果となっている。

（%）

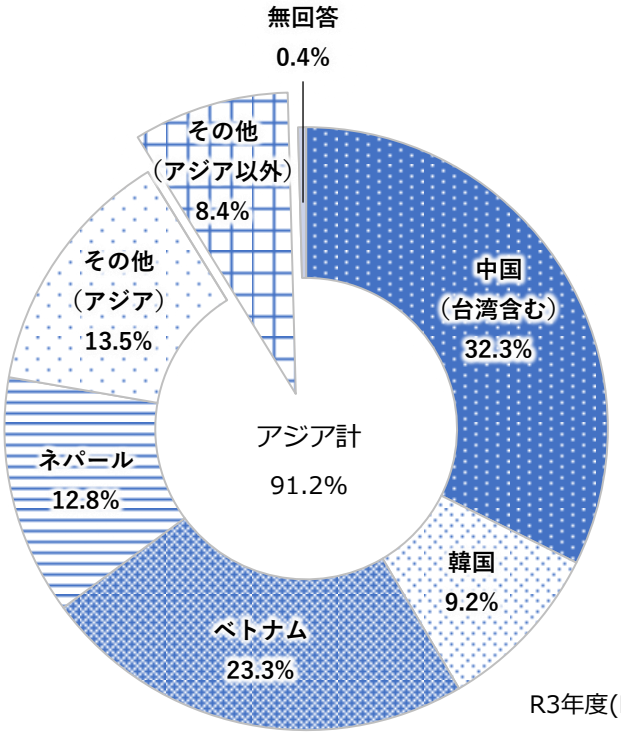
		サンプル数	調査票	web
全　体		467	271	196
		100.0	58.0	42.0
国籍別	中国（台湾を含む）	151	57.6	42.4
	韓国	43	65.1	34.9
	ベトナム	109	46.8	53.2
	ネパール	60	68.3	31.7
	その他（アジア）	63	66.7	33.3
	その他（アジア以外）	39	53.8	46.2
	無回答	2	50.0	50.0
年齢別	29歳以下	311	55.6	44.4
	30～39歳	113	56.6	43.4
	40～49歳	20	70.0	30.0
	50～59歳	9	66.7	33.3
	60歳以上	7	100.0	-
	無回答	7	100.0	-
在留資格別	留学（大学、短大等）	97	56.7	43.3
	留学（日本語学校）	53	49.1	50.9
	留学（専修・各種学校・その他）	73	58.9	41.1
	就労（技術・人文知識・国際業務）	83	56.6	43.4
	就労（特定技能）	18	66.7	33.3
	就労（その他）	10	40.0	60.0
	家族滞在	31	77.4	22.6
	技能実習	36	55.6	44.4
	日本人の配偶者等	43	53.5	46.5
	特定活動	14	78.6	21.4
	その他	9	66.7	33.3
	無回答	-	-	-

1. 調査回答者の属性【Q1】【Q1-1】【Q2】

①国籍【Q1】

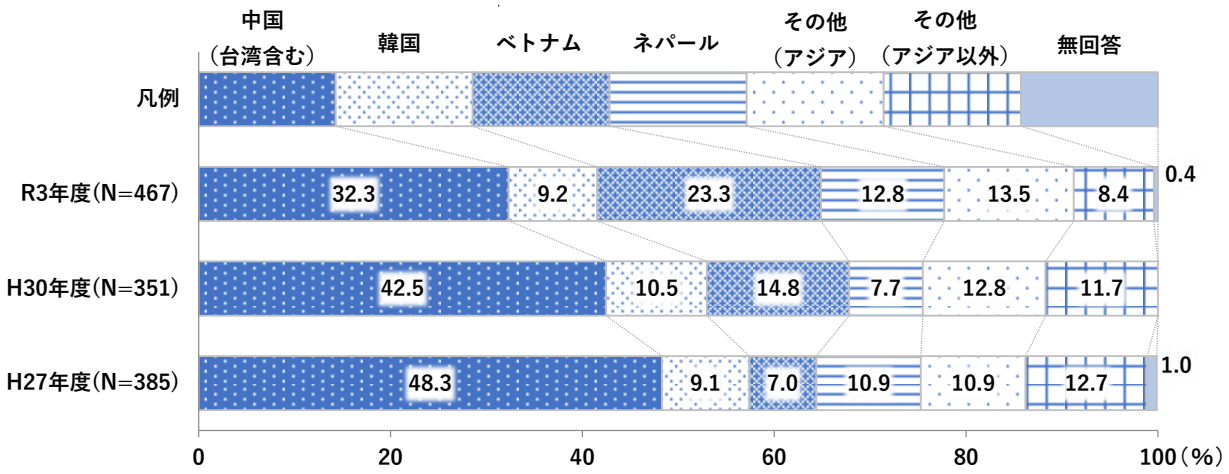
調査回答者の国籍をみると、「中国（台湾含む）」（32.3%）が最も多く、以下、「ベトナム」（23.3%）、「ネパール」（12.8%）、「韓国」（9.2%）の順となっており、『アジア全体』が９割（91.2%）を占めている。時系列でみると、「中国（台湾を含む）」が減少傾向、「ベトナム」が増加傾向にある。

【国籍】



R3年度(N=467)

【国籍（時系列）】



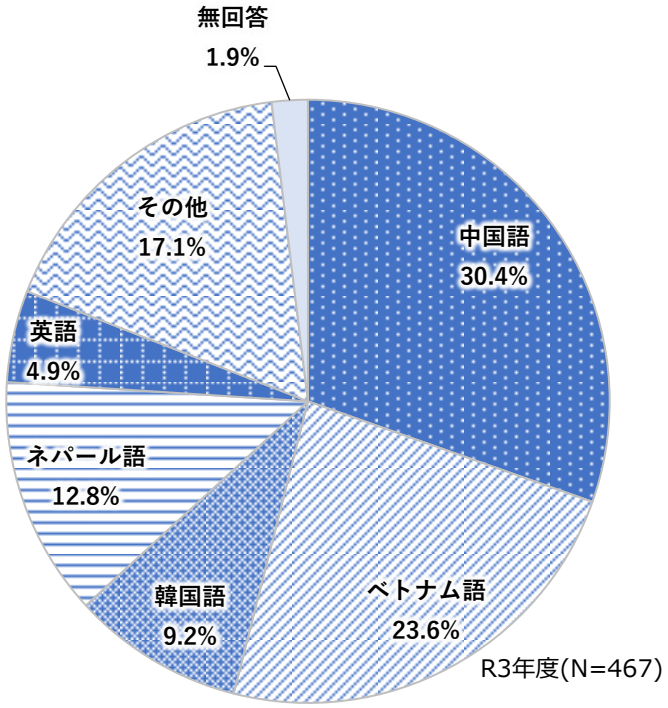
【国籍の内訳】

地域・国籍		件数
総数		467
アジア		426
	中国	129
	台湾	22
	韓国	43
	ベトナム	109
	ネパール	60
	フィリピン	16
	ミャンマー	10
	インドネシア	7
	インド	5
	スリランカ	5
	マレーシア	4
	タイ	3
	トルコ	3
	バングラデシュ	3
	モンゴル	3
	アフガニスタン	1
	シンガポール	1
	パキスタン	1
	パレスチナ	1
北アメリカ		12
	米国	11
	カナダ	1
南アメリカ		4
	コロンビア	1
	チリ、ブラジル	1
	ブラジル	1
	ボリビア	1
ヨーロッパ		13
	スウェーデン	2
	ドイツ	2
	英国	2
	アイルランド	1
	アゼルバイジャン	1
	イタリア	1
	オーストリア	1
	フランス	1
	ベラルーシ	1
	ロシア	1
オセアニア		6
	オーストラリア	3
	ニュージーランド	2
	パプアニューギニア	1
アフリカ		4
	エジプト	2
	ケニア	1
	タンザニア	1
無回答		2

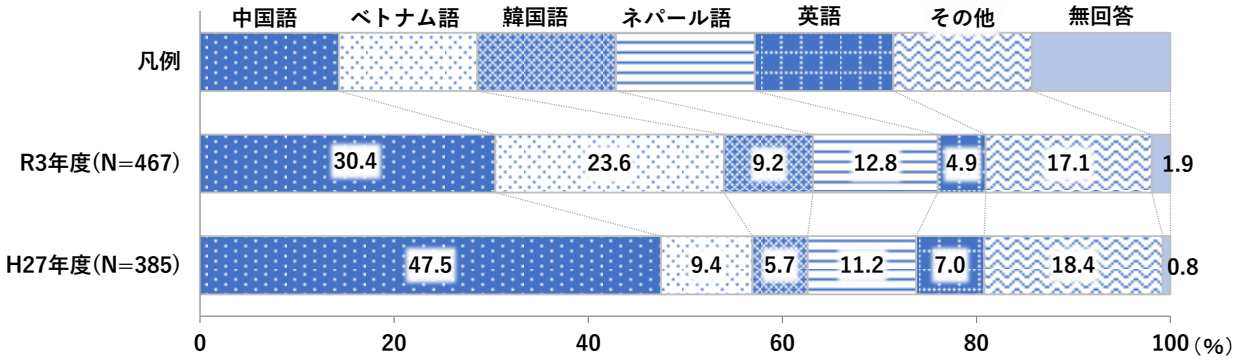
②母国語【Q1-1】

調査回答者の母国語をみると、「中国語」（30.4%）が最も多く、以下、「ベトナム語」（23.6%）、「ネパール語」（12.8%）、「韓国語」（9.2%）、「英語」（4.9%）と続いている。

【母国語】



【母国語（時系列）】

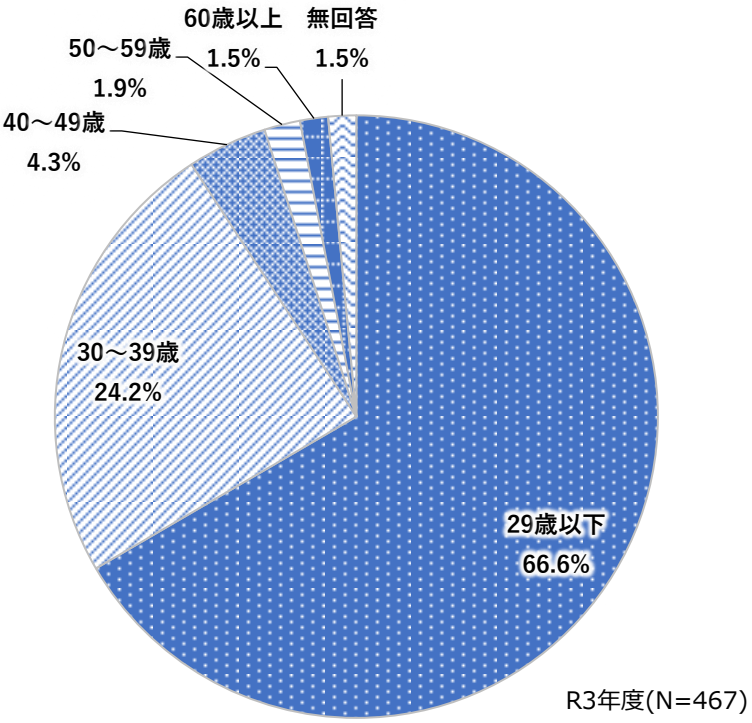


注：H30年度調査にはない設問

③年齢【Q2】

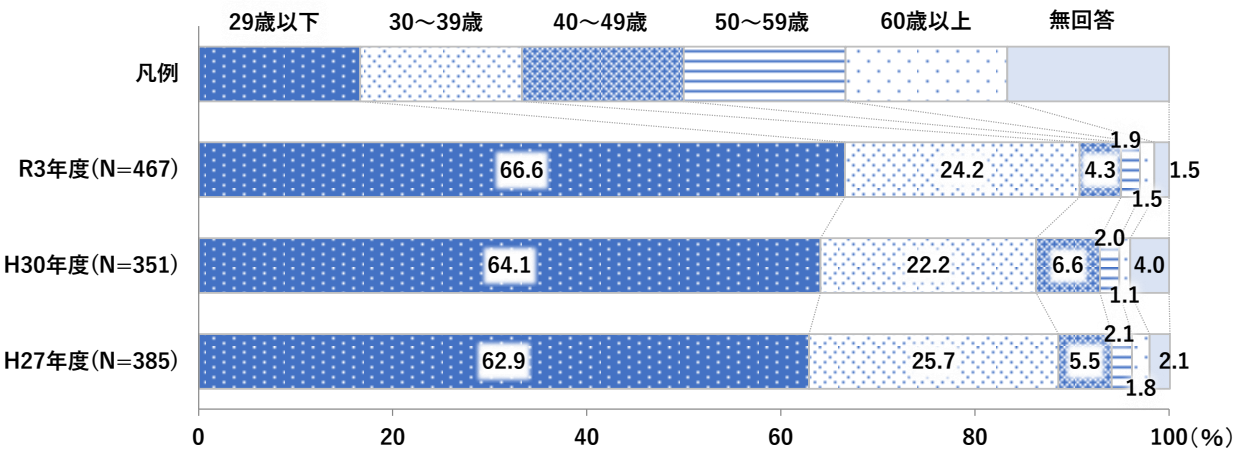
調査回答者の年齢をみると、「29歳以下」（66.6%）が７割近くを占め、以下、「30歳～39歳」（24.2%）、「40歳～49歳」（4.3%）、「50歳～59歳」（1.9%）、「60歳以上」（1.5%）と続いている。

【年齢】



R3年度(N=467)

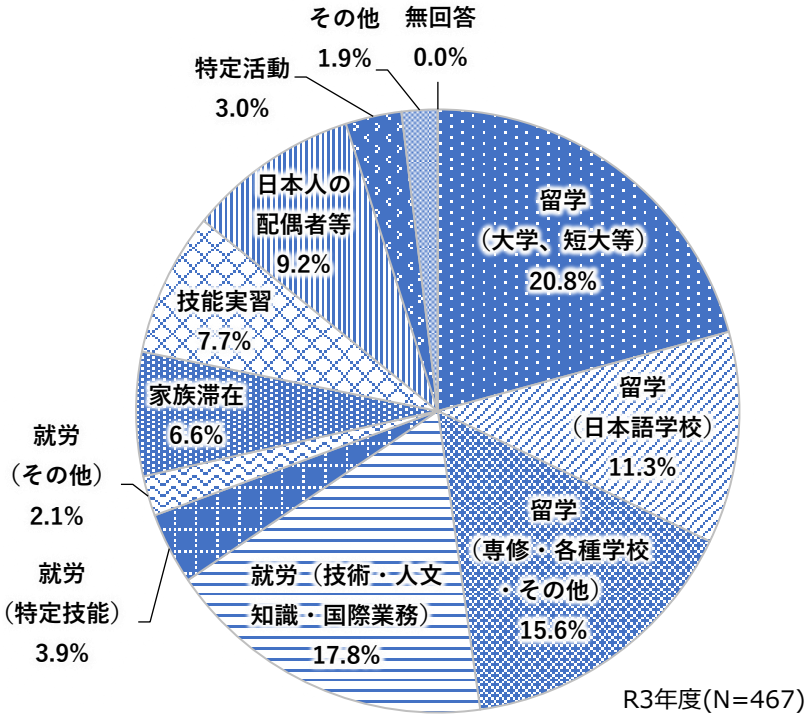
【年齢（時系列）】



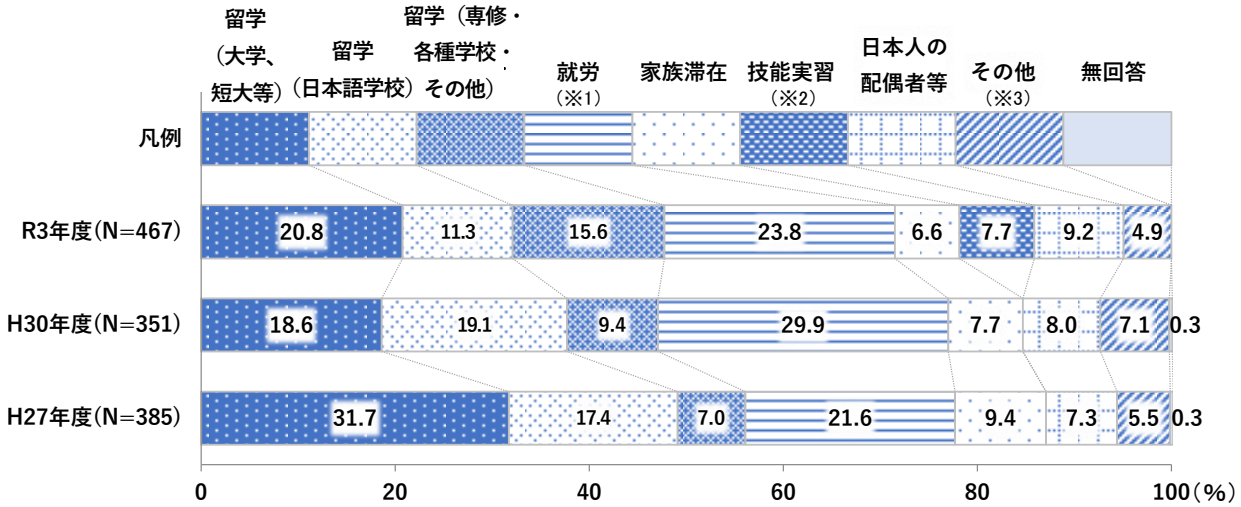
2. 在留資格【Q3】

調査回答者の在留資格をみると、「留学（大学、短大等）」（20.8%）が最も多く、以下、「就労（技術・人文知識・国際業務）」（17.8%）、「留学（専修・各種学校・その他）」（15.6%）、「留学（日本語学校）」（11.3%）、「日本人の配偶者等」（9.2%）、「技能実習」（7.7%）、「家族滞在」（6.6%）が続いている。なお、「留学（大学、短大等）」、「留学（日本語学校）」、「留学（専修・各種学校・その他）」を合わせた『留学』は47.7%を占めている。

【在留資格】



【在留資格（時系列）】



注1：（※1）「就労（技術・人文・知識・国際業務）」、「就労（特定技能）」、「就労（その他）」の合計値
注2：（※2）R3年度調査から追加した項目
注3：（※3）R3年度調査から追加した項目「特定活動」を含む

国籍別にみると、中国（台湾を含む）は「留学（大学、短大等）」と回答した人が最も多く、韓国は「就労（技術・人文知識・国際業務）」、ベトナムとネパールは「留学（専修・各種学校・その他）」、その他（アジア）とその他（アジア以外）は「日本人の配偶者等」がそれぞれ最も多くなっている。なお、ネパールは「留学（大学、短大等）」、「留学（日本語学校）」及び「留学（専修・各種学校・その他）」を合わせた『留学』が７割を占め、他の国籍と比べて高い割合となっている。

【在留資格（属性別特徴）】

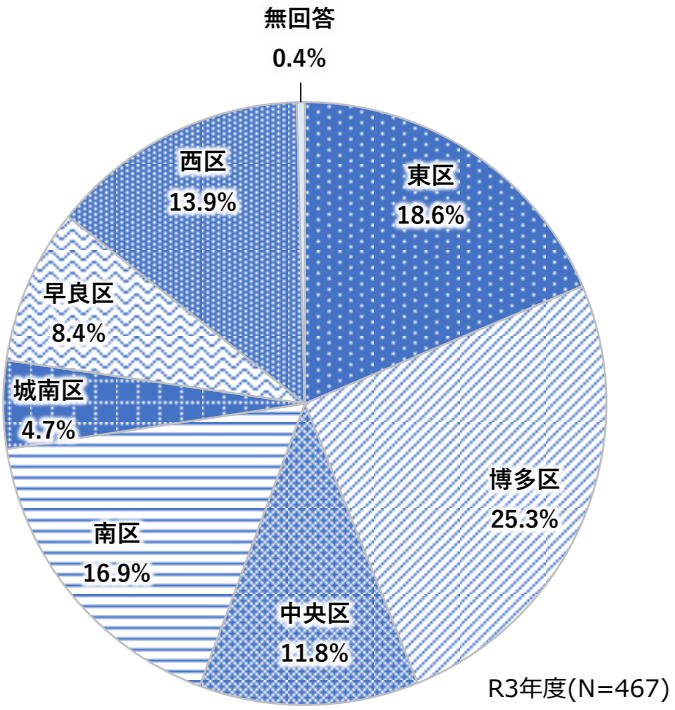
（%）

		サンプル数	留学（大学、短大等）	留学（日本語学校）	留学（専修・各種学校・その他）	就労（技術・人文知識・国際業務）	就労（特定技能）	就労（その他）	家族滞在	技能実習	日本人の配偶者等	特定活動	その他	無回答
全　体		467	97	53	73	83	18	10	31	36	43	14	9	-
		100.0	20.8	11.3	15.6	17.8	3.9	2.1	6.6	7.7	9.2	3.0	1.9	-
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	151	34.4	9.9	7.9	25.2	1.3	2.0	6.6	1.3	6.6	2.0	2.6	-
	韓国	43	25.6	4.7	9.3	34.9	-	-	11.6	-	11.6	2.3	-	-
	ベトナム	109	10.1	14.7	31.2	9.2	8.3	-	0.9	22.0	1.8	-	1.8	-
	ネパール	60	15.0	25.0	30.0	5.0	5.0	1.7	10.0	-	1.7	6.7	-	-
	その他（アジア）	63	12.7	4.8	7.9	14.3	3.2	3.2	7.9	15.9	20.6	6.3	3.2	-
	その他（アジア以外）	39	15.4	2.6	-	20.5	2.6	10.3	10.3	-	30.8	5.1	2.6	-
	無回答	2	-	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-

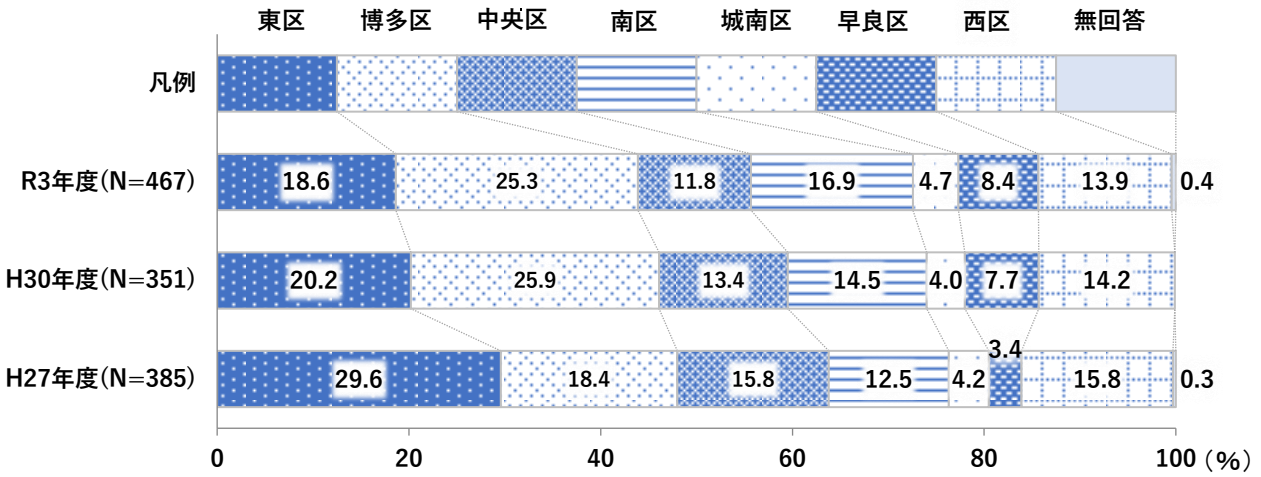
3. 居住地【Q4】

調査回答者の居住地をみると、「博多区」が25.3%で最も多く、以下、「東区」（18.6%）、「南区」（16.9%）、「西区」（13.9%）、「中央区」（11.8%）、「早良区」（8.4%）、「城南区」（4.7%）と続いている。

【居住地】



【居住地（時系列）】

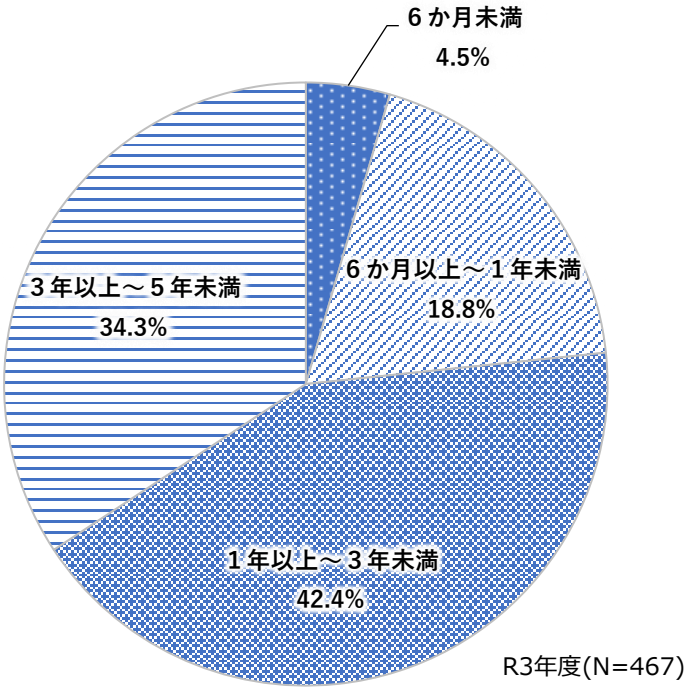


4. 福岡市での通算居住年数と日本での通算居住年数【Q5】【Q6】

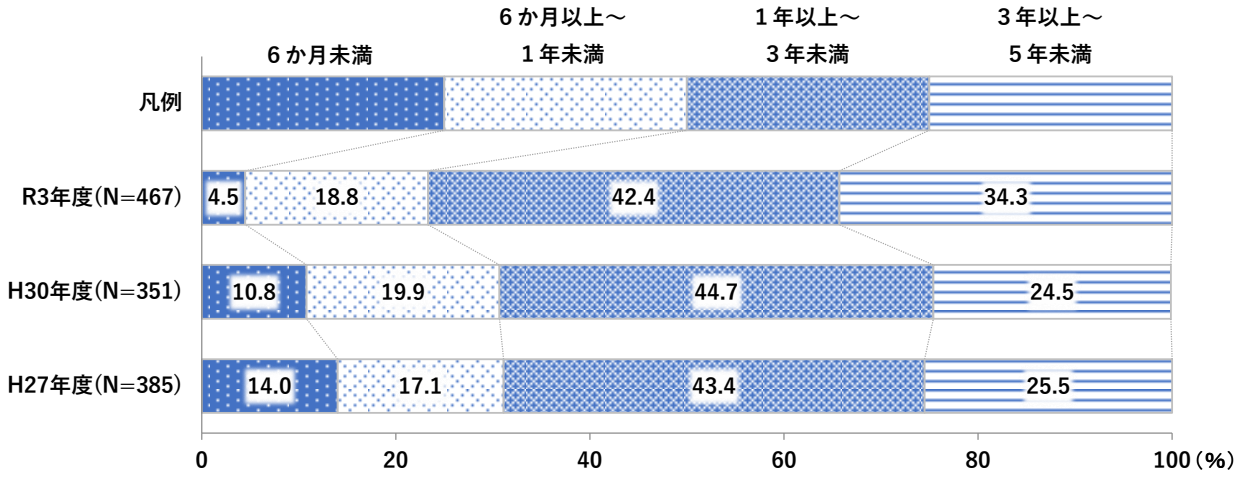
①福岡市での通算居住年数【Q5】

福岡市での通算居住年数を尋ねたところ、「１年以上～３年未満」（42.4%）が最も多く、以下、「３年以上～５年未満」（34.3%）、「６か月以上～１年未満」（18.8%）、「６か月未満」（4.5%）と続いている。時系列でみると、「６か月未満」の割合が顕著に低下しており、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による入国規制が影響している可能性がある。

【福岡市での通算居住年数】



【福岡市での通算居住年数（時系列）】



国籍別にみると、韓国を除く国籍は「１年以上～３年未満」と回答した人が最も多くなっている。

年齢別にみると、30～39歳を除く年齢は「１年以上～３年未満」と回答した人が最も多くなっている。

在留資格別にみると、留学（日本語学校）は「６か月～１年未満」、それ以外は「１年以上～３年未満」または「３年以上～５年未満」と回答した人が最も多くなっている。特に技能実習と特定活動は「１年以上～３年未満」、日本人の配偶者等は「３年以上～５年未満」の割合が高い。

【福岡市での通算居住年数（属性別特徴）】

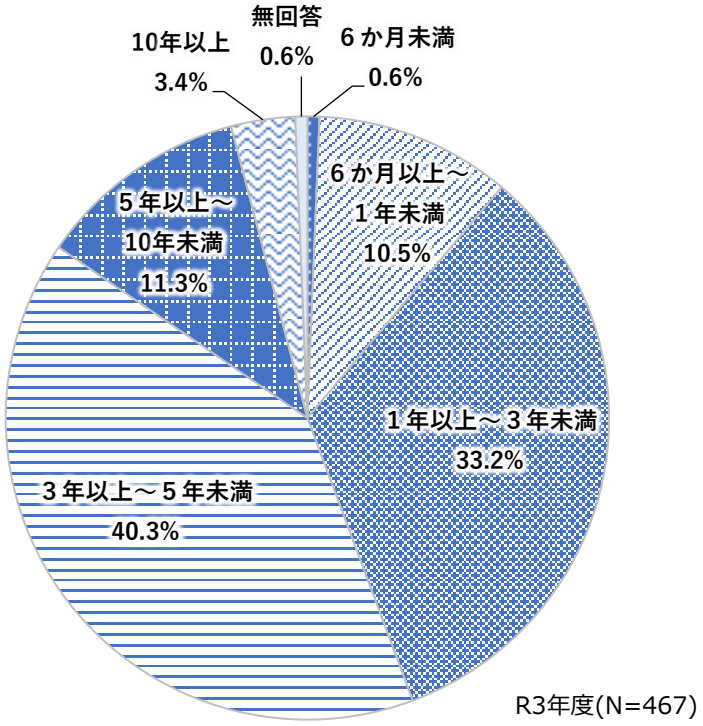
（%）

		サンプル数	６か月未満	６か月以上～１年未満	１年以上～３年未満	３年以上～５年未満
全　体		467	21	88	198	160
		100.0	4.5	18.8	42.4	34.3
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	151	3.3	24.5	43.0	29.1
	韓国	43	7.0	20.9	32.6	39.5
	ベトナム	109	2.8	26.6	36.7	33.9
	ネパール	60	3.3	8.3	45.0	43.3
	その他（アジア）	63	4.8	6.3	57.1	31.7
	その他（アジア以外）	39	12.8	7.7	41.0	38.5
	無回答	2	-	50.0	-	50.0
年齢別	29歳以下	311	3.5	21.9	43.1	31.5
	30～39歳	113	6.2	13.3	38.1	42.5
	40～49歳	20	15.0	15.0	45.0	25.0
	50～59歳	9	-	11.1	44.4	44.4
	60歳以上	7	-	14.3	71.4	14.3
	無回答	7	-	-	42.9	57.1
在留資格別	留学（大学、短大等）	97	5.2	20.6	42.3	32.0
	留学（日本語学校）	53	-	49.1	41.5	9.4
	留学（専修・各種学校・その他）	73	1.4	15.1	41.1	42.5
	就労（技術・人文知識・国際業務）	83	3.6	16.9	43.4	36.1
	就労（特定技能）	18	5.6	27.8	27.8	38.9
	就労（その他）	10	10.0	10.0	30.0	50.0
	家族滞在	31	19.4	3.2	41.9	35.5
	技能実習	36	2.8	19.4	61.1	16.7
	日本人の配偶者等	43	2.3	7.0	34.9	55.8
	特定活動	14	7.1	-	64.3	28.6
	その他	9	11.1	-	22.2	66.7
	無回答	-	-	-	-	-

②日本での通算居住年数【Q6】

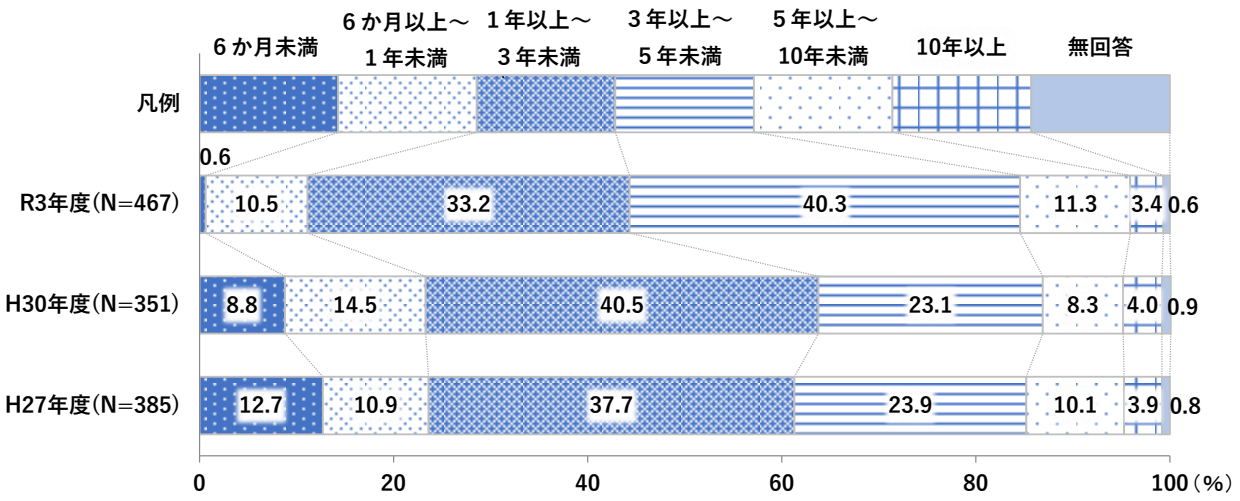
日本での通算居住年数を尋ねたところ、「３年以上～５年未満」（40.3%）が最も多く、以下、「１年以上～３年未満」（33.2%）、「５年以上～10年未満」（11.3%）、「６か月以上～１年未満」（10.5%）と続いている。時系列でみると、「６か月未満」の割合が顕著に低下しており、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による入国規制が影響している可能性がある。

【日本での通算居住年数】



R3年度(N=467)

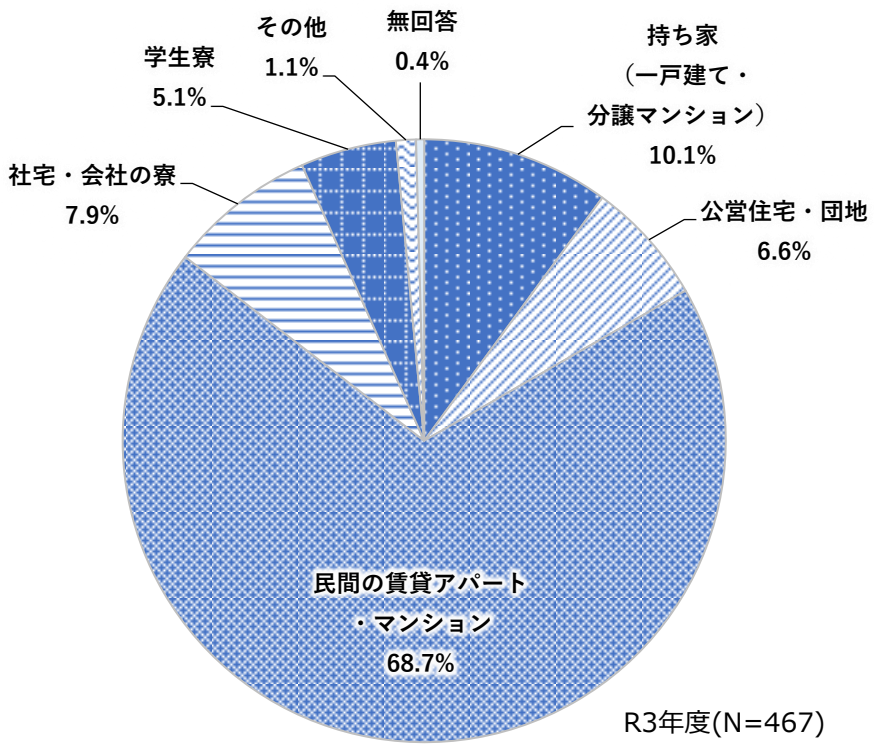
【日本での通算居住年数（時系列）】



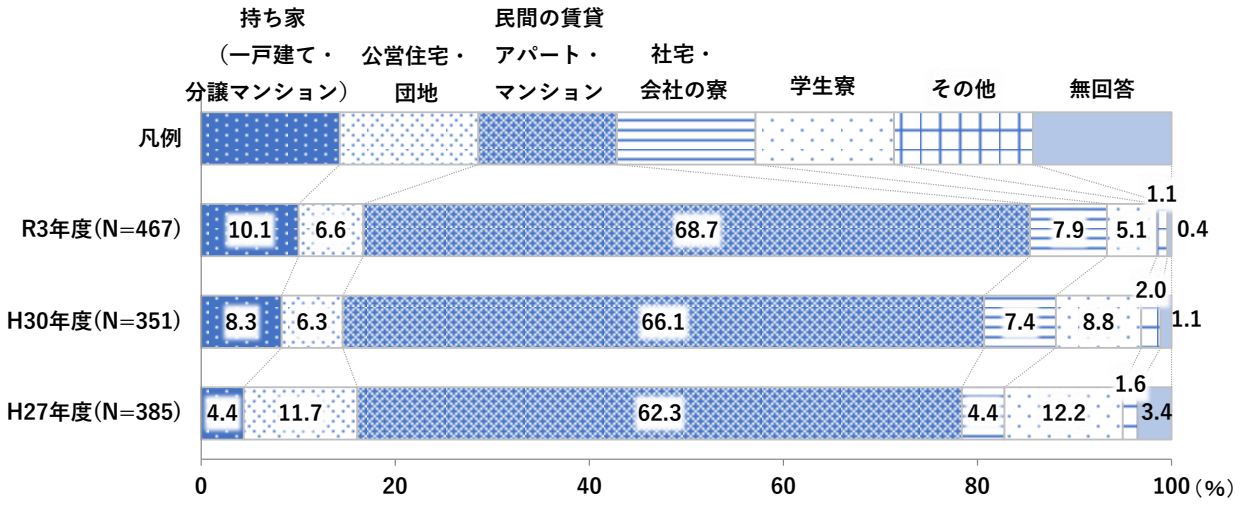
5. 住居形態【Q7】

住居形態を尋ねたところ、「民間の賃貸アパート・マンション」（68.7%）が７割近くを占め、最も多く、以下、「持ち家（一戸建て・分譲マンション）」（10.1%）、「社宅・会社の寮」（7.9%）、「公営住宅・団地」（6.6%）、「学生寮」（5.1%）と続いている。時系列でみると、「民間の賃貸アパート・マンション」が増加している。

【住居形態】



【住居形態（時系列）】



国籍別にみると、いずれの国籍も「民間の賃貸アパート・マンション」と回答した人が最も多くなっている。

在留資格別にみると、技能実習を除くいずれの資格も「民間の賃貸アパート・マンション」と回答した人が最も多く、技能実習は「社宅・会社の寮」が最も多くなっている。また、留学（日本語学校）の「学生寮」、家族滞在の「持ち家（一戸建て・分譲マンション）」は、回答した人の割合が他の資格に比べそれぞれ高くなっている。

【住居形態（属性別特徴）】

（%）

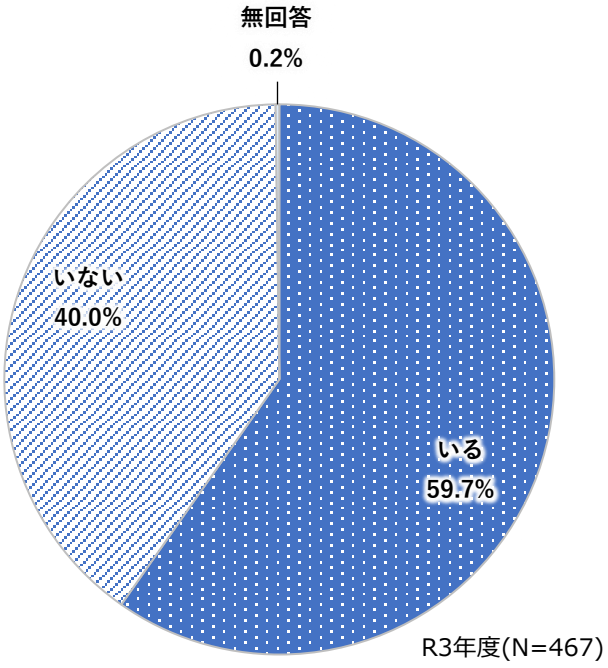
		サンプル数	持ち家（一戸建て・分譲マンション）	公営住宅・団地	民間の賃貸アパート・マンション	社宅・会社の寮	学生寮	その他	無回答
全　体		467	47	31	321	37	24	5	2
		100.0	10.1	6.6	68.7	7.9	5.1	1.1	0.4
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	151	13.9	7.9	68.2	2.0	7.9	-	-
	韓国	43	9.3	14.0	58.1	9.3	9.3	-	-
	ベトナム	109	14.7	3.7	55.0	19.3	4.6	1.8	0.9
	ネパール	60	1.7	-	96.7	1.7	-	-	-
	その他（アジア）	63	3.2	11.1	71.4	9.5	3.2	-	1.6
	その他（アジア以外）	39	7.7	5.1	74.4	5.1	-	7.7	-
	無回答	2	-	-	50.0	-	50.0	-	-
在留資格別	留学（大学、短大等）	97	6.2	3.1	85.6	-	5.2	-	-
	留学（日本語学校）	53	9.4	3.8	60.4	-	22.6	1.9	1.9
	留学（専修・各種学校・その他）	73	11.0	6.8	74.0	-	6.8	1.4	-
	就労（技術・人文知識・国際業務）	83	8.4	7.2	73.5	9.6	1.2	-	-
	就労（特定技能）	18	5.6	5.6	66.7	22.2	-	-	-
	就労（その他）	10	10.0	10.0	60.0	10.0	-	10.0	-
	家族滞在	31	22.6	12.9	58.1	6.5	-	-	-
	技能実習	36	5.6	8.3	33.3	52.8	-	-	-
	日本人の配偶者等	43	14.0	9.3	65.1	4.7	-	4.7	2.3
	特定活動	14	14.3	7.1	71.4	7.1	-	-	-
	その他	9	22.2	11.1	55.6	-	11.1	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-

6. 同居の状況【Q8】【Q8-1】

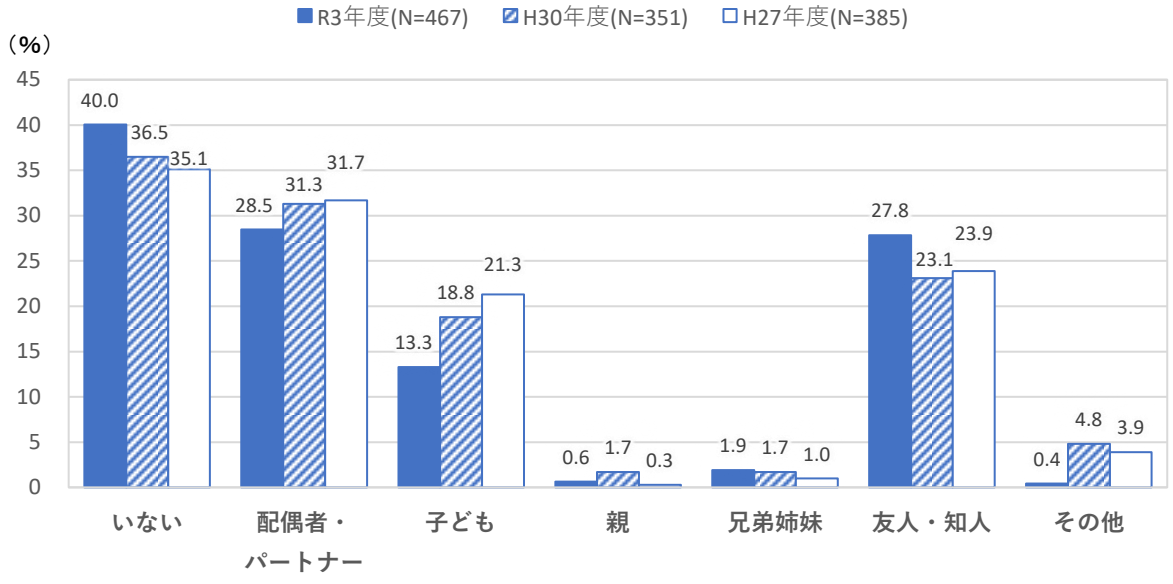
①同居人の状況【Q8】(複数回答)

同居人の有無を尋ねたところ、「いる」が６割弱（59.7%)、「いない」が４割（40.0%）となっており、同居人の内訳をみると「配偶者」（28.5%）が最も多く、「友人・知人」（27.8%)、「子ども」（13.3%）と続いている。

【同居人の状況】



【同居人の状況（時系列）】



国籍別にみると、中国及び韓国は「いない」、ベトナムは「友人・知人」がそれぞれ半数以上を占め最も多くなっている。また、ネパール及びその他（アジア以外）は「いない」と回答した人がそれぞれ３割に満たない。

年齢別にみると、29歳以下は「いない」と回答した人が最も多く、30～39歳、40～49歳及び50～59歳は、「配偶者・パートナー」がそれぞれ多くなっている。また、「子ども」と回答した人の割合は30～39歳、40～49歳及び60歳以上で高くなっている。

在留資格別にみると、留学（大学、短大等）、就労（技術・人文知識・国際業務）、就労（特定技能）及び特定活動は「いない」、就労（その他）、家族滞在及び日本人の配偶者等は「配偶者・パートナー」、「子ども」、留学（日本語学校）、留学（専修・各種学校・その他）及び技能実習は「友人・知人」と回答した人がそれぞれ多くなっている。

【同居人の状況（属性別特徴）】

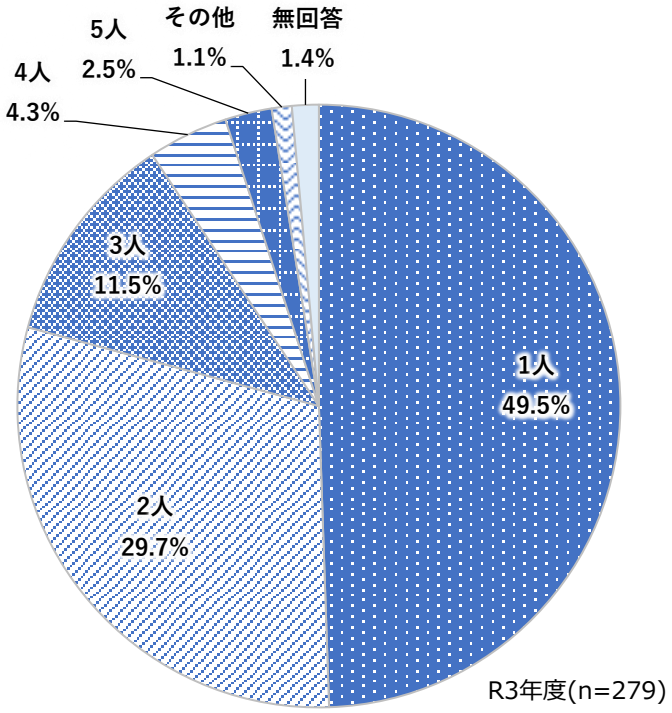
（%）

		サンプル数	いない	配偶者・パートナー	子ども	親	兄弟姉妹	友人・知人	その他	無回答
全　体		467	187	133	62	3	9	130	2	1
		100.0	40.0	28.5	13.3	0.6	1.9	27.8	0.4	0.2
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	151	53.6	28.5	13.2	0.7	0.7	15.2	-	-
	韓国	43	51.2	37.2	11.6	2.3	-	7.0	2.3	-
	ベトナム	109	32.1	7.3	3.7	-	2.8	56.0	-	0.9
	ネパール	60	28.3	21.7	8.3	1.7	6.7	45.0	1.7	-
	その他（アジア）	63	33.3	41.3	22.2	-	1.6	20.6	-	-
	その他（アジア以外）	39	25.6	66.7	33.3	-	-	7.7	-	-
	無回答	2	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-
年齢別	29歳以下	311	45.7	14.8	2.9	0.6	2.3	37.0	0.3	0.3
	30～39歳	113	35.4	52.2	33.6	0.9	-	10.6	-	-
	40～49歳	20	20.0	80.0	40.0	-	-	-	-	-
	50～59歳	9	11.1	77.8	11.1	-	-	-	11.1	-
	60歳以上	7	-	57.1	71.4	-	-	-	-	-
	無回答	7	-	14.3	14.3	-	28.6	42.9	-	-
在留資格別	留学（大学、短大等）	97	61.9	10.3	2.1	1.0	1.0	27.8	-	-
	留学（日本語学校）	53	39.6	5.7	-	-	9.4	45.3	-	-
	留学（専修・各種学校・その他）	73	41.1	5.5	1.4	-	1.4	52.1	2.7	-
	就労（技術・人文知識・国際業務）	83	60.2	28.9	4.8	-	-	10.8	-	-
	就労（特定技能）	18	44.4	33.3	22.2	5.6	5.6	11.1	-	-
	就労（その他）	10	20.0	70.0	30.0	-	-	10.0	-	-
	家族滞在	31	-	87.1	64.5	3.2	-	-	-	-
	技能実習	36	22.2	5.6	2.8	-	2.8	66.7	-	2.8
	日本人の配偶者等	43	-	97.7	46.5	-	-	-	-	-
	特定活動	14	50.0	21.4	14.3	-	-	21.4	-	-
	その他	9	11.1	55.6	55.6	-	-	22.2	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-

②同居人数【Q8-1】

同居者がいる回答者に、自身を除いた同居人数を尋ねたところ、「１人」（49.5%）が最も多く、以下、「２人」（29.7%）、「３人」（11.5%）と続いている。

【同居人数】



国籍別にみると、いずれの国籍も「１人」と回答した人が最も多くなっている。

年齢別にみると、29歳以下は「１人」と回答した人が半数以上を占め、30～39歳及び40～49歳は「２人」が多くなっている。

在留資格別にみると、大半の資格は「１人」と回答した人が多く、家族滞在及び技能実習は「２人」と回答した人が多くなっている。

【同居人数（属性別特徴）】

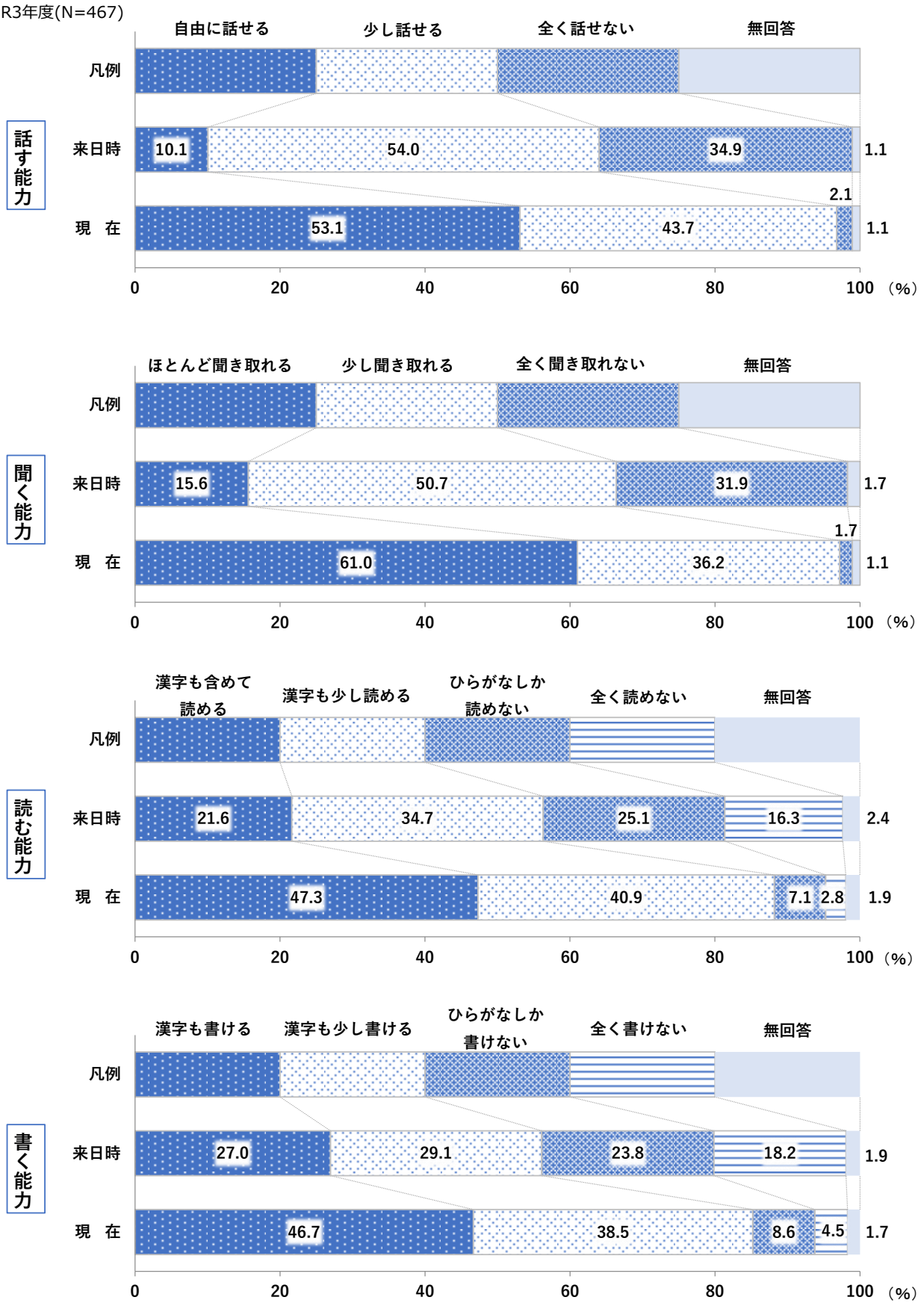
（%）

		該当数	1人	2人	3人	4人	5人	その他	無回答	平均（人）
全　体		279	138	83	32	12	7	3	4	1.9
		100.0	49.5	29.7	11.5	4.3	2.5	1.1	1.4	-
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	70	57.1	28.6	7.1	4.3	2.9	-	-	1.7
	韓国	21	57.1	19.0	23.8	-	-	-	-	1.7
	ベトナム	73	41.1	34.2	13.7	1.4	5.5	4.1	-	2.2
	ネパール	43	60.5	20.9	11.6	2.3	-	-	4.7	1.5
	その他（アジア）	42	40.5	35.7	11.9	4.8	2.4	-	4.8	1.9
	その他（アジア以外）	29	44.8	34.5	6.9	13.8	-	-	-	1.9
	無回答	1	-	-	-	100.0	-	-	-	4.0
年齢別	29歳以下	168	59.5	24.4	9.5	1.8	2.4	1.2	1.2	1.7
	30～39歳	73	26.0	39.7	17.8	11.0	2.7	-	2.7	2.2
	40～49歳	16	37.5	56.3	6.3	-	-	-	-	1.7
	50～59歳	8	87.5	-	12.5	-	-	-	-	1.3
	60歳以上	7	28.6	28.6	14.3	14.3	14.3	-	-	2.6
	無回答	7	57.1	28.6	-	-	-	14.3	-	2.6
在留資格別	留学（大学、短大等）	37	73.0	13.5	13.5	-	-	-	-	1.4
	留学（日本語学校）	32	53.1	34.4	3.1	6.3	-	3.1	-	1.8
	留学（専修・各種学校・その他）	43	62.8	25.6	7.0	-	2.3	-	2.3	1.5
	就労（技術・人文知識・国際業務）	33	63.6	24.2	3.0	3.0	3.0	3.0	-	1.8
	就労（特定技能）	10	30.0	30.0	30.0	10.0	-	-	-	2.2
	就労（その他）	8	50.0	37.5	-	-	-	-	12.5	1.4
	家族滞在	31	29.0	32.3	16.1	16.1	3.2	-	3.2	2.3
	技能実習	27	18.5	33.3	29.6	3.7	11.1	3.7	-	2.8
	日本人の配偶者等	43	46.5	37.2	14.0	-	-	-	2.3	1.7
	特定活動	7	42.9	28.6	-	14.3	14.3	-	-	2.3
	その他	8	25.0	62.5	-	12.5	-	-	-	2.0
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-

7. 日常生活における日本語能力【Q9】

調査回答者の日本語能力は、来日時に比べ、どの能力も向上している。

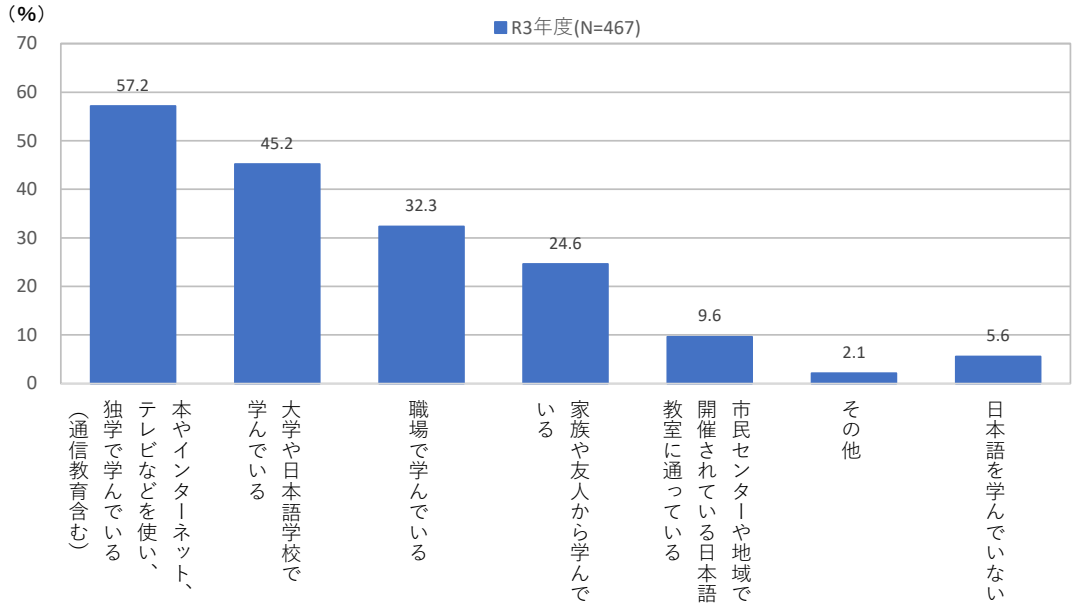
【来日時と現在の日本語能力の比較】



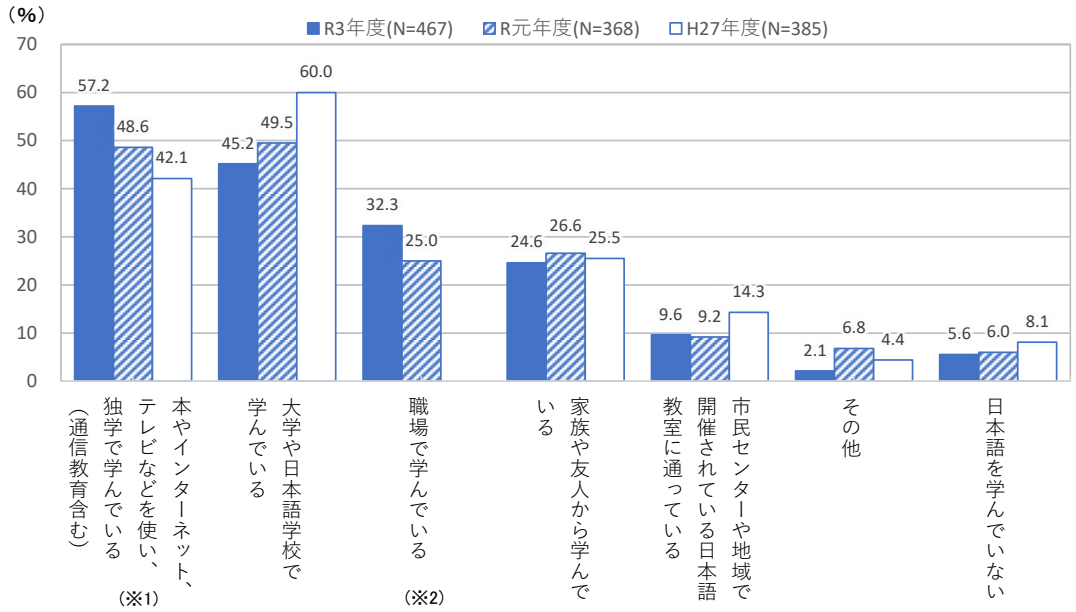
8. 日本語の能力を高めるために行っている努力【Q10】(複数回答)

日本語の能力を高めるためにどのような努力をしているかを尋ねたところ、「本やインターネット、テレビなどを使い、独学で学んでいる」(57.2%)が最も多く、以下、「大学や日本語学校で学んでいる」(45.2%)、「職場で学んでいる」(32.3%)、「家族や友人から学んでいる」(24.6%)、「市民センターや地域で開催されている日本語教室に通っている」(9.6%)と続いており、「日本語を学んでいない」(5.6%)と回答した人は1割に満たない。

【日本語能力を高めるために行っている努力】



【日本語能力を高めるために行っている努力(時系列)】



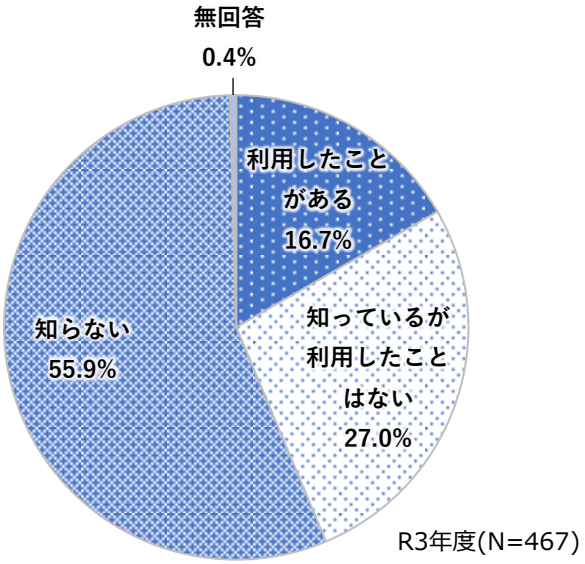
注1:(※1)「テレビ」はR元年度調査から追加
注2:(※2)H27年度調査にはない項目

9. 市民センターや地域で開催されている日本語教室の利用程度【Q11】【Q11-1・2】

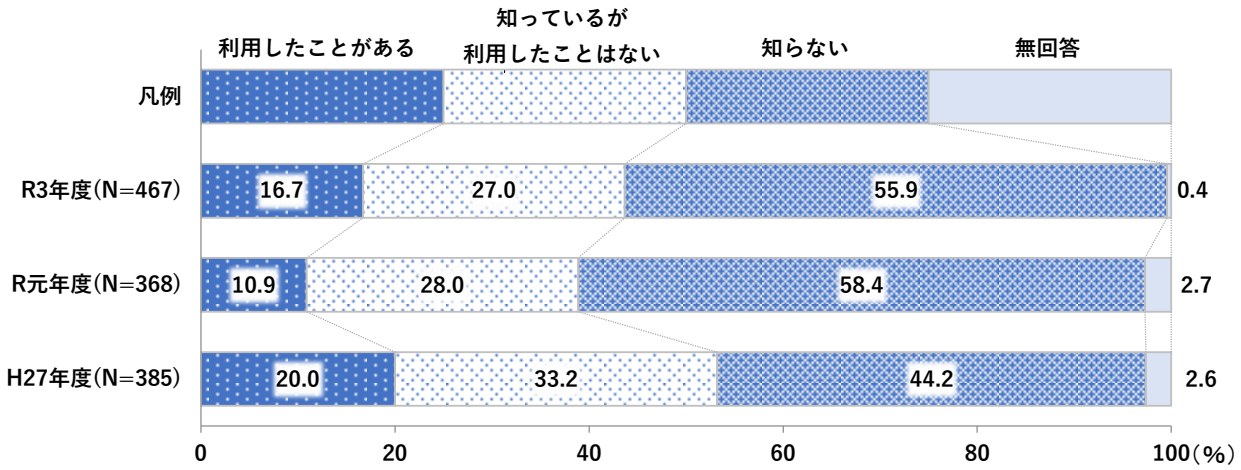
①利用経験【Q11】

市民センターや地域で開催されている日本語教室を利用したことがあるかどうか尋ねたところ、「利用したことがある」が16.7%、「知っているが利用したことはない」が27.0%、「知らない」が55.9%と、利用経験者は約２割に満たない。

【利用経験】



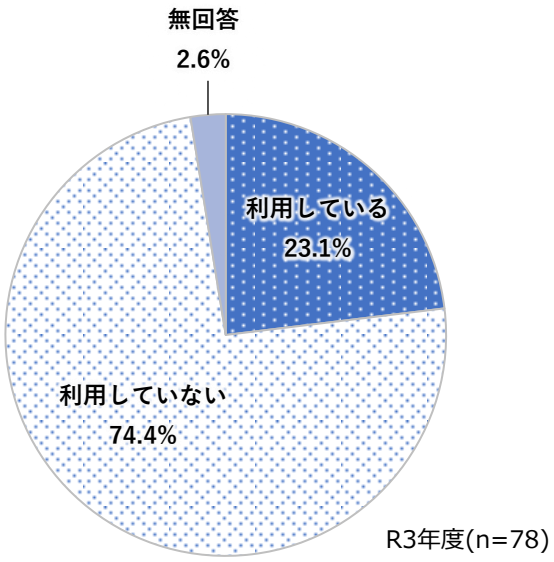
【利用経験（時系列）】



②現在の利用状況【Q11-1】

利用したことがあると回答した人（78人）に現在も利用しているか尋ねたところ、「利用している」が23.1%、「利用していない」が74.4%となっている。

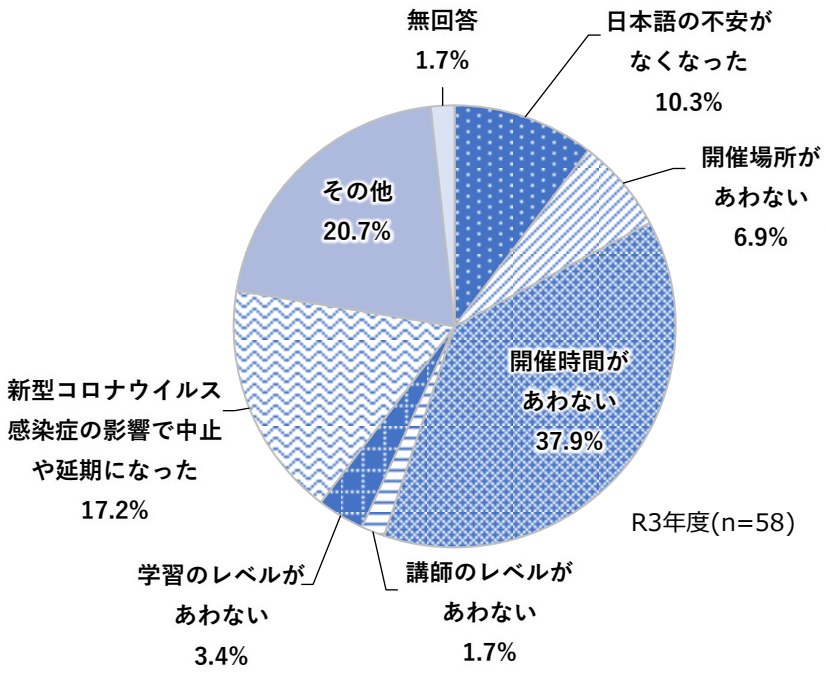
【現在の利用状況】



③利用しなくなった理由【Q11-1-1】

現在は利用していないと回答した人（58人）に利用しなくなった理由を尋ねたところ、「開催時間があわない」が37.9%と最も多く、以下、「新型コロナウイルス感染症の影響で中止や延期になった」が17.2%、「日本語の不安がなくなった」が10.3%と続いている。

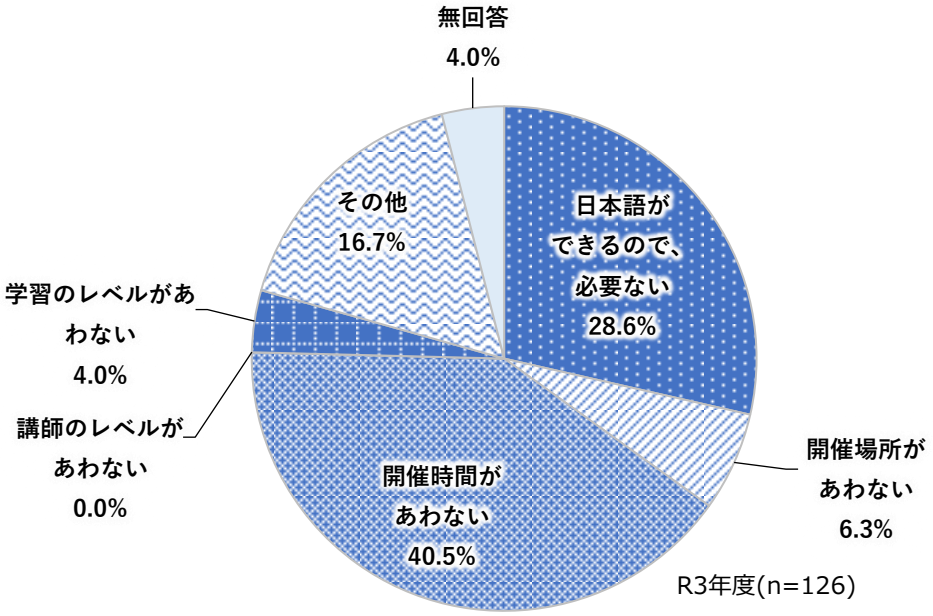
【利用しなくなった理由】



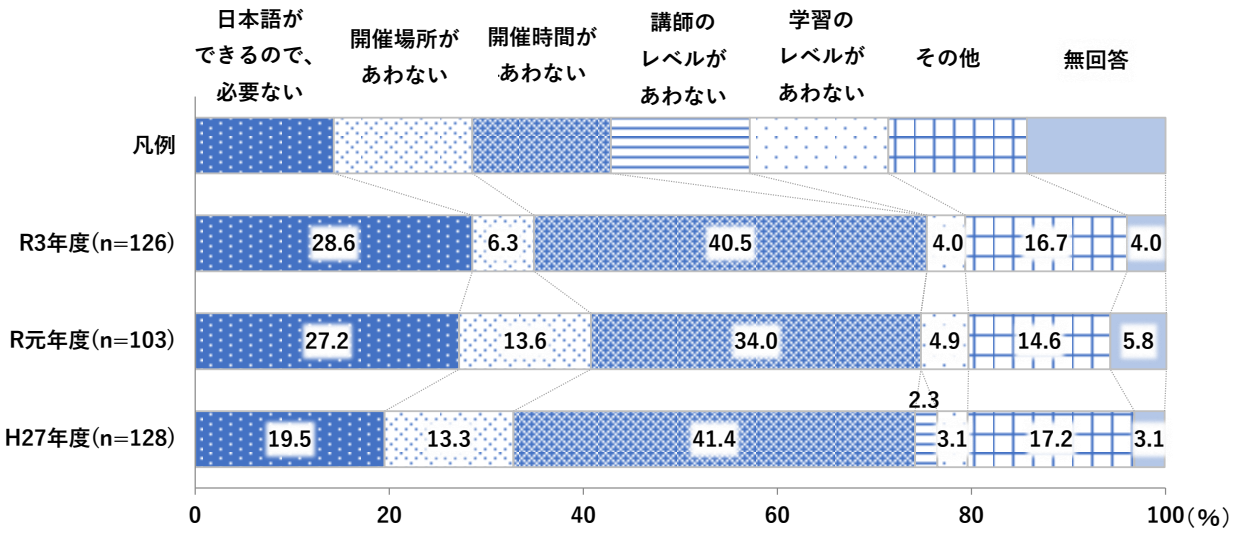
④利用しない理由【Q11-2】

知っているが利用したことはないと回答した人（126人）に利用しない理由を尋ねたところ、「開催時間があわない」（40.5%）が最も多く、以下、「日本語ができるので、必要ない」（28.6%）、「開催場所があわない」（6.3%）と続いている。

【利用しない理由】



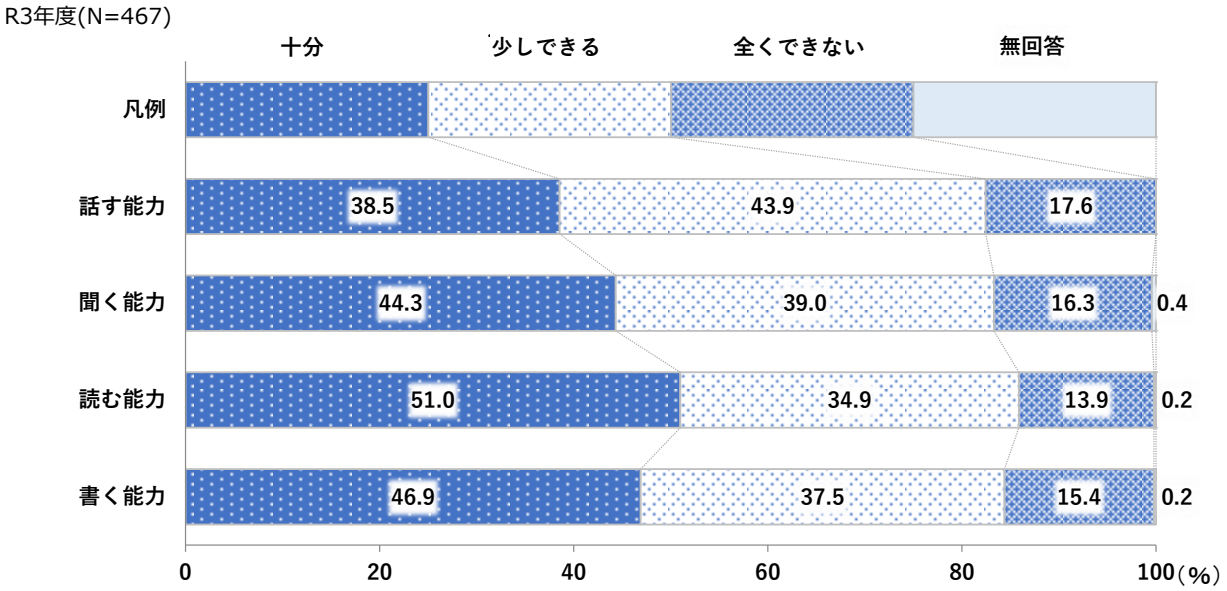
【利用しない理由（時系列）】



10. 日常生活における英語能力【Q12】

日常生活における英語能力（話す能力、聞く能力、読む能力、書く能力）について尋ねたところ、
・話す能力は、「話せる」（38.5%）、「少し話せる」（43.9%）を合わせると82.4%
・聞く能力は、「聞き取れる」（44.3%）、「少し聞き取れる」（39.0%）を合わせると83.3%
・読む能力は、「読める」（51.0%）、「少し読める」（34.9%）を合わせると85.9%
・書く能力は、「書ける」（46.9%）、「少し書ける」（37.5%）を合わせると84.4%
となっており、４つの能力に大差はない。

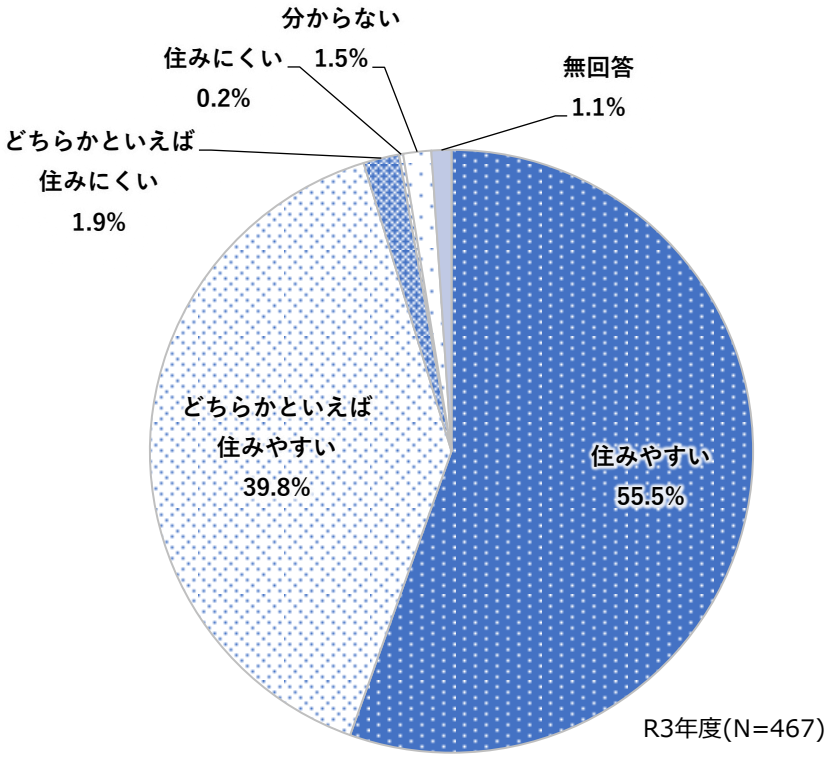
【日常生活における英語能力】



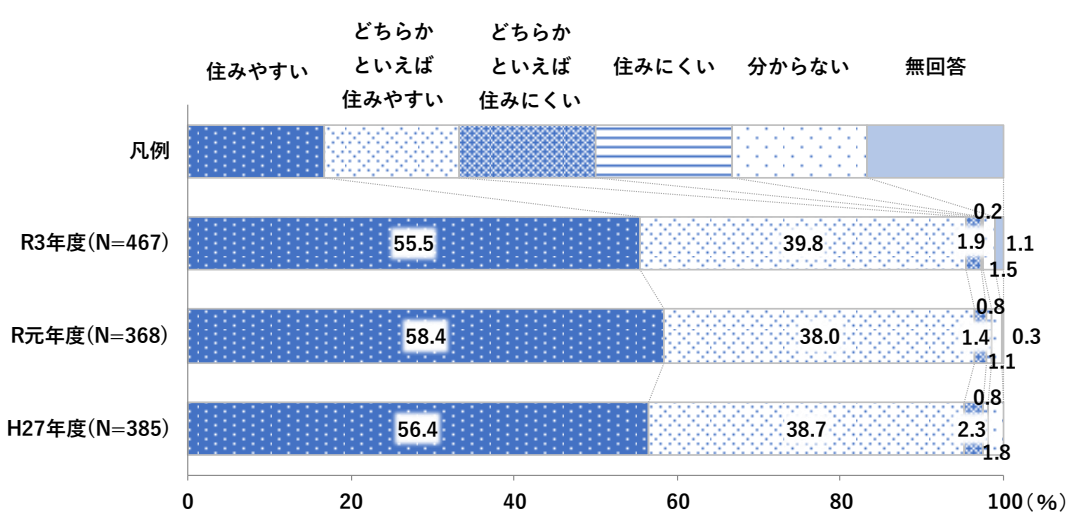
11. 福岡市の住みやすさ【Q13】

総合的にみた福岡市の住みやすさを尋ねたところ、「住みやすい」（55.5%）と「どちらかといえば住みやすい」（39.8%）を合わせ『住みやすい』と評価した人は95.3%で前回調査とほとんど変わらない。

【福岡市の住みやすさ】



【福岡市の住みやすさ（時系列）】



『住みやすい』（%）	『住みにくい』（%）
95.3	2.1
96.5	2.2
95.1	3.1

注：端数処理により、右表の数値と該当項目の合計の数値が異なる場合がある

12. 福岡市の生活環境の認識【Q14】

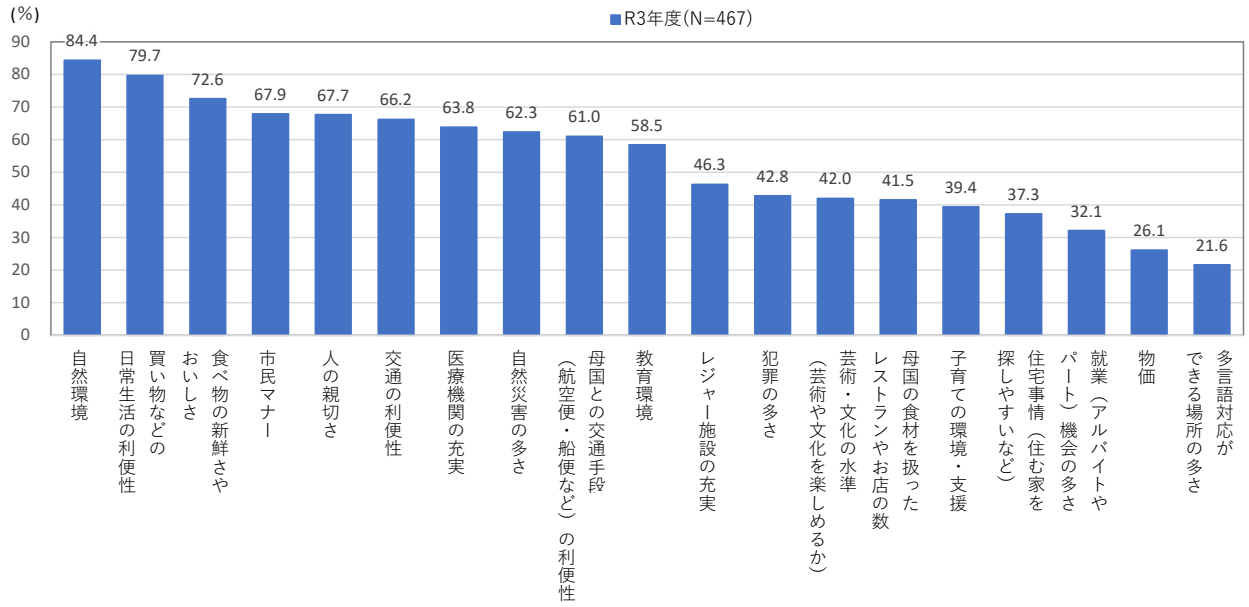
①全体比較【Q14】

福岡市の生活環境を19項目に分けて、５段階評価を行った。

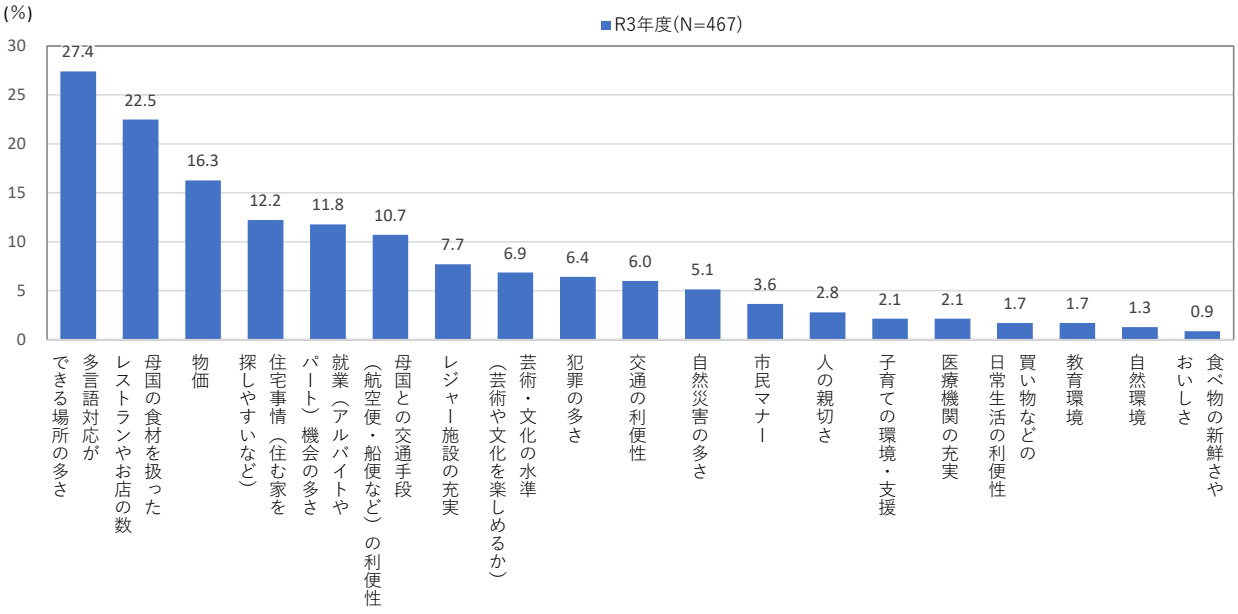
評価の高い項目としては、「自然環境」（84.4%）が最も多く、以下、「買い物などの日常生活の利便性」（79.7%）、「食べ物の新鮮さやおいしさ」（72.6%）、「市民マナー」（67.9%）、「人の親切さ」（67.7%）、「交通の利便性」（66.2%）、「医療機関の充実」（63.8%）、「自然災害の多さ」（62.3%）、「母国との交通手段の利便性」（61.0%）、などが続いている。

一方、評価が低い項目としては、「多言語対応ができる場所の多さ」（27.4%）が最も多く、以下、「母国の食材を扱ったレストランやお店の数」（22.5%）、「物価」（16.3%）、「住宅事情（住む家を探しやすいなど）」（12.2%）の順となっている。

【福岡市の生活環境の認識（高評価 全体比較）】

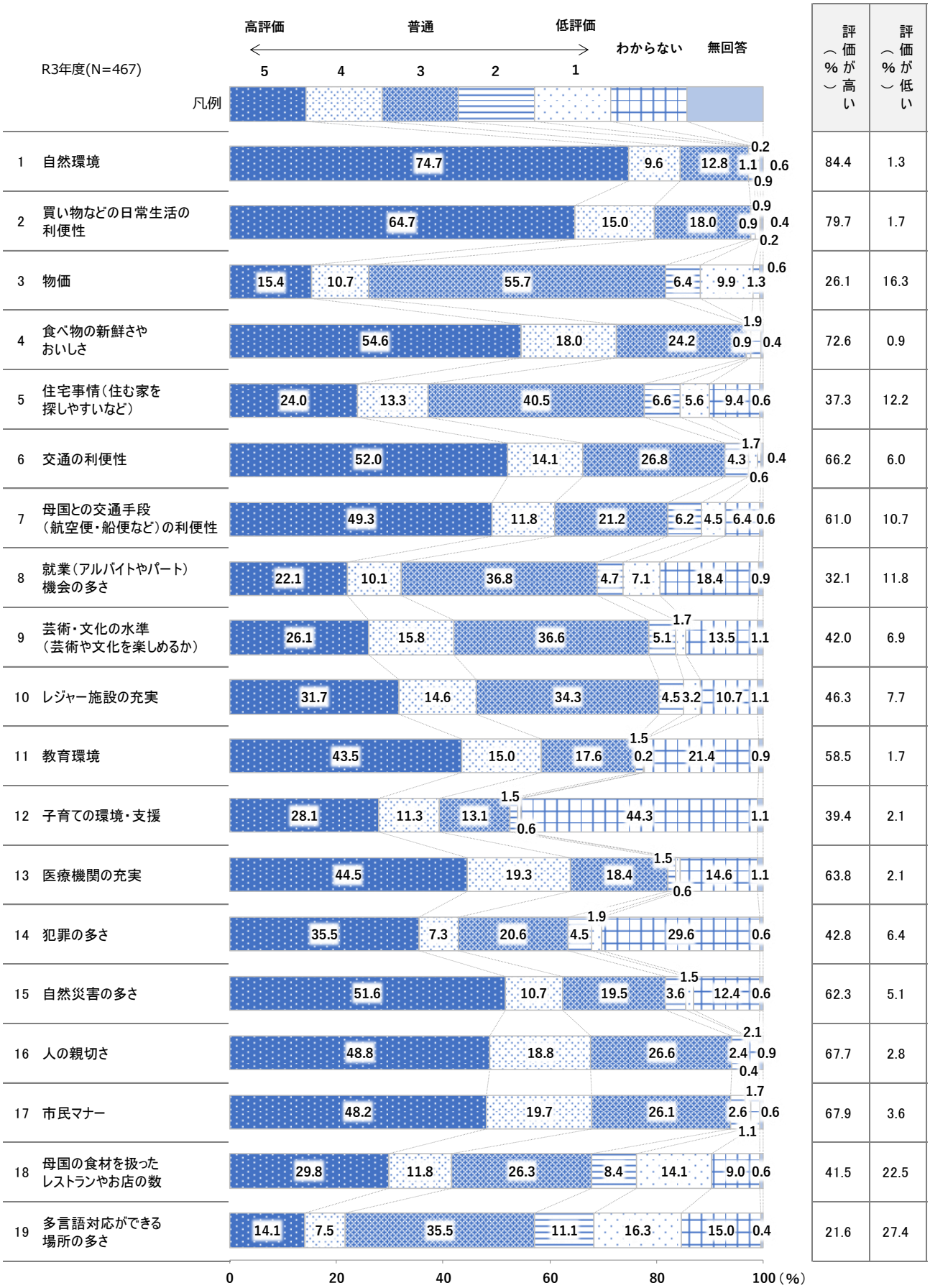


【福岡市の生活環境の認識（低評価 全体比較）】



全体的な評価をみると、ほとんどの項目で評価が高い割合が低い割合を上回っているが、「多言語対応ができる場所の多さ」については低い割合が高い割合を上回っている。

【福岡市の生活環境の認識（全体比較）】



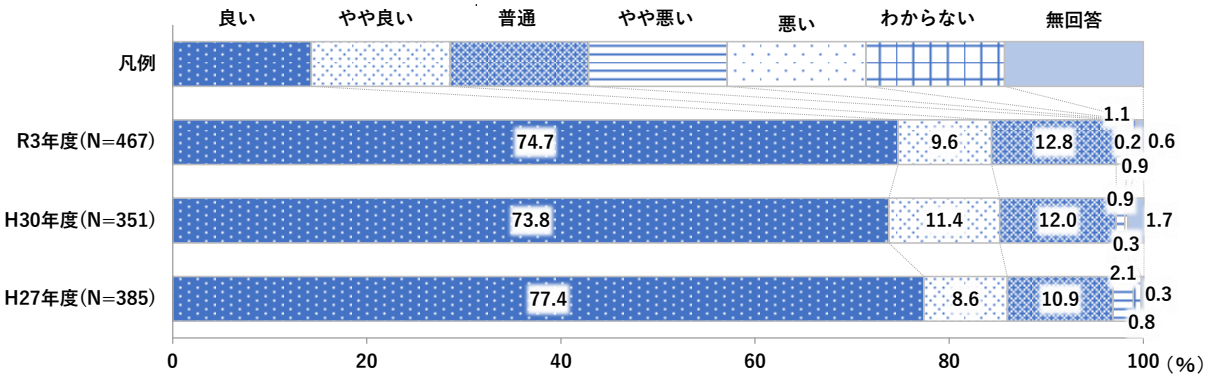
注：端数処理により、右表の数値と該当項目の合計の数値が異なる場合がある

②自然環境【Q14-1】

自然環境について尋ねたところ、「良い」(74.7%)、「やや良い」(9.6%) を合わせた『良い』という割合が84.4%を占め、19項目の中で最も高い。また、「普通」と回答した人は12.8%である。

居住区別にみると、いずれの区も『良い』と評価する人が多く、中でも西区の割合は96.9%と他の区に比べて高い。

【自然環境】



【自然環境（属性別特徴）】

(%)

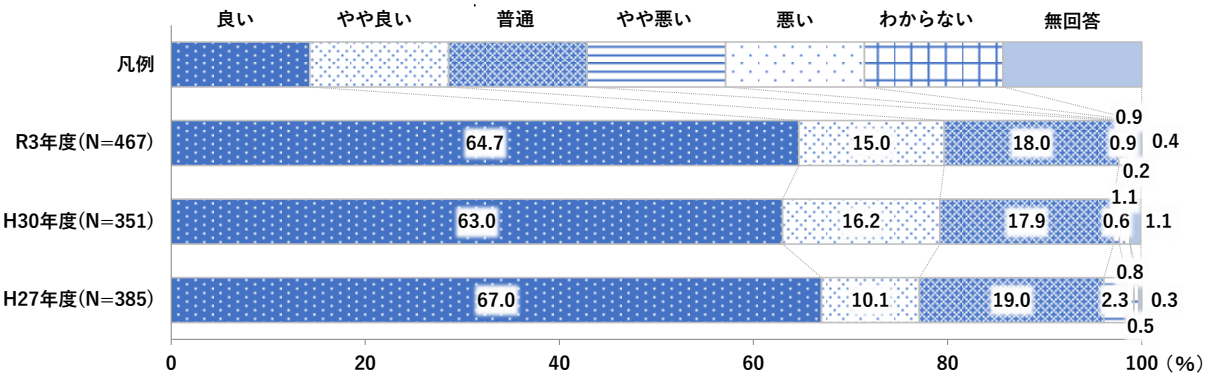
		サンプル数	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	わからない	無回答	『良い』計	『悪い』計
全　体		467	349	45	60	5	1	4	3	394	6
		100.0	74.7	9.6	12.8	1.1	0.2	0.9	0.6	84.4	1.3
居住地別	東区	87	75.9	4.6	14.9	2.3	-	-	2.3	80.5	2.3
	博多区	118	71.2	10.2	16.9	-	0.8	0.8	-	81.4	0.8
	中央区	55	63.6	21.8	12.7	-	-	1.8	-	85.5	-
	南区	79	70.9	6.3	15.2	3.8	-	2.5	1.3	77.2	3.8
	城南区	22	90.9	-	9.1	-	-	-	-	90.9	-
	早良区	39	76.9	12.8	10.3	-	-	-	-	89.7	-
	西区	65	86.2	10.8	3.1	-	-	-	-	96.9	-
	無回答	2	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	-

③買い物などの日常生活の利便性【Q14-2】

買い物などの日常生活の利便性について尋ねたところ、「良い」（64.7%）、「やや良い」（15.0%）を合わせた『良い』という割合が79.7%を占め、19項目中で２番目に高い。なお、「普通」と回答した人は18.0%である。

居住区別にみると、いずれの区も『良い』と評価する人が多く、中でも中央区の割合は90.9%と、他の区に比べて高い。

【買い物などの日常生活の利便性】



【買い物などの日常生活の利便性（属性別特徴）】

（%）

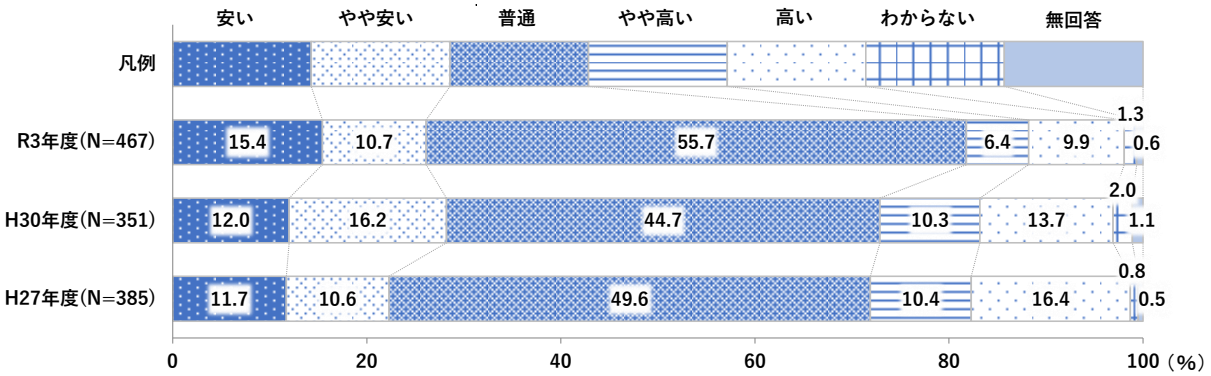
		サンプル数	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	わからない	無回答	『良い』計	『悪い』計
全　体		467	302	70	84	4	4	1	2	372	8
		100.0	64.7	15.0	18.0	0.9	0.9	0.2	0.4	79.7	1.7
居住地別	東区	87	64.4	12.6	19.5	1.1	-	-	2.3	77.0	1.1
	博多区	118	69.5	9.3	17.8	0.8	2.5	-	-	78.8	3.4
	中央区	55	65.5	25.5	9.1	-	-	-	-	90.9	-
	南区	79	63.3	11.4	24.1	-	-	1.3	-	74.7	-
	城南区	22	72.7	13.6	13.6	-	-	-	-	86.4	-
	早良区	39	66.7	20.5	12.8	-	-	-	-	87.2	-
	西区	65	53.8	20.0	21.5	3.1	1.5	-	-	73.8	4.6
	無回答	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	100.0	-

④物価【Q14-3】

物価について尋ねたところ、「普通」（55.7%）と回答した人が最も多くなっており、「安い」（15.4%）、「やや安い」（10.7%）を合わせた『安い』という割合は26.1%、一方、「高い」（9.9%）、「やや高い」（6.4%）を合わせた『高い』という割合は16.3%である。

国籍別にみると、ネパールの『高い』（26.7%）と回答した人の割合が、他の国籍に比べて高い。

【物価】



【物価（属性別特徴）】

(%)

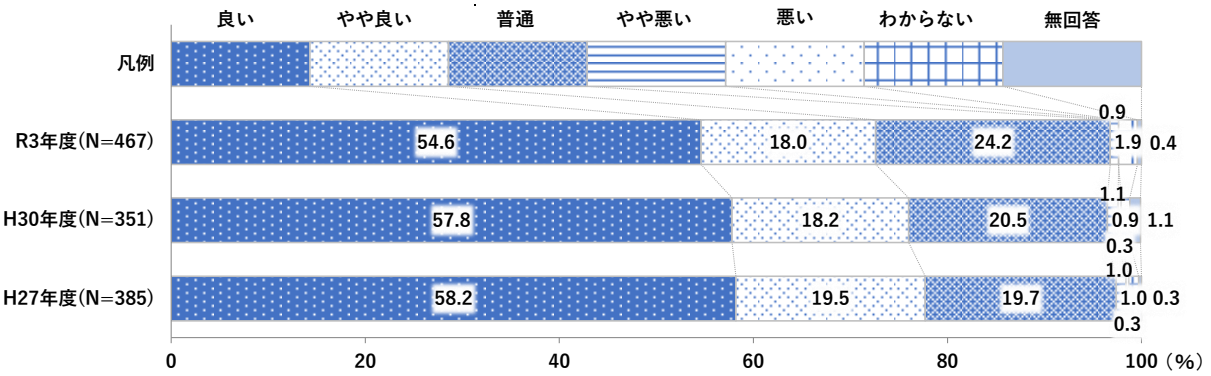
		サンプル数	安い	やや安い	普通	やや高い	高い	わからない	無回答	『安い』計	『高い』計
全　体		467	72	50	260	30	46	6	3	122	76
		100.0	15.4	10.7	55.7	6.4	9.9	1.3	0.6	26.1	16.3
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	151	13.9	17.2	52.3	4.6	10.6	1.3	-	31.1	15.2
	韓国	43	23.3	14.0	53.5	7.0	-	2.3	-	37.2	7.0
	ベトナム	109	17.4	4.6	63.3	3.7	11.0	-	-	22.0	14.7
	ネパール	60	1.7	5.0	61.7	5.0	21.7	1.7	3.3	6.7	26.7
	その他（アジア）	63	20.6	4.8	52.4	12.7	6.3	1.6	1.6	25.4	19.0
	その他（アジア以外）	39	20.5	17.9	46.2	10.3	2.6	2.6	-	38.5	12.8
	無回答	2	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-	50.0
年齢別	29歳以下	311	15.1	10.3	56.9	6.4	9.3	1.0	1.0	25.4	15.8
	30～39歳	113	13.3	13.3	53.1	6.2	11.5	2.7	-	26.5	17.7
	40～49歳	20	35.0	5.0	40.0	5.0	15.0	-	-	40.0	20.0
	50～59歳	9	11.1	22.2	66.7	-	-	-	-	33.3	-
	60歳以上	7	28.6	-	42.9	28.6	-	-	-	28.6	28.6
	無回答	7	-	-	85.7	-	14.3	-	-	-	14.3
在留資格別	留学（大学、短大等）	97	26.8	13.4	51.5	3.1	4.1	1.0	-	40.2	7.2
	留学（日本語学校）	53	7.5	7.5	62.3	7.5	11.3	-	3.8	15.1	18.9
	留学（専修・各種学校・その他）	73	9.6	8.2	60.3	8.2	12.3	1.4	-	17.8	20.5
	就労（技術・人文知識・国際業務）	83	10.8	18.1	54.2	7.2	7.2	2.4	-	28.9	14.5
	就労（特定技能）	18	5.6	-	55.6	11.1	22.2	5.6	-	5.6	33.3
	就労（その他）	10	30.0	20.0	50.0	-	-	-	-	50.0	-
	家族滞在	31	12.9	9.7	51.6	6.5	19.4	-	-	22.6	25.8
	技能実習	36	13.9	2.8	61.1	5.6	16.7	-	-	16.7	22.2
	日本人の配偶者等	43	18.6	11.6	55.8	4.7	7.0	2.3	-	30.2	11.6
	特定活動	14	14.3	7.1	50.0	7.1	14.3	-	7.1	21.4	21.4
	その他	9	33.3	-	44.4	22.2	-	-	-	33.3	22.2
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

⑤食べ物の新鮮さやおいしさ【Q14-4】

食べ物の新鮮さやおいしさについて尋ねたところ、「良い」（54.6%）、「やや良い」（18.0%）を合わせた『良い』という割合が72.6%を占め、19項目中で３番目に高い。なお、「普通」と回答した人は24.2%である。

国籍別にみると、いずれの国籍においても『良い』と評価する人が多く、その他（アジア以外）の割合が87.2%と、他の国籍に比べて高い。

【食べ物の新鮮さやおいしさ】



【食べ物の新鮮さやおいしさ（属性別特徴）】

（%）

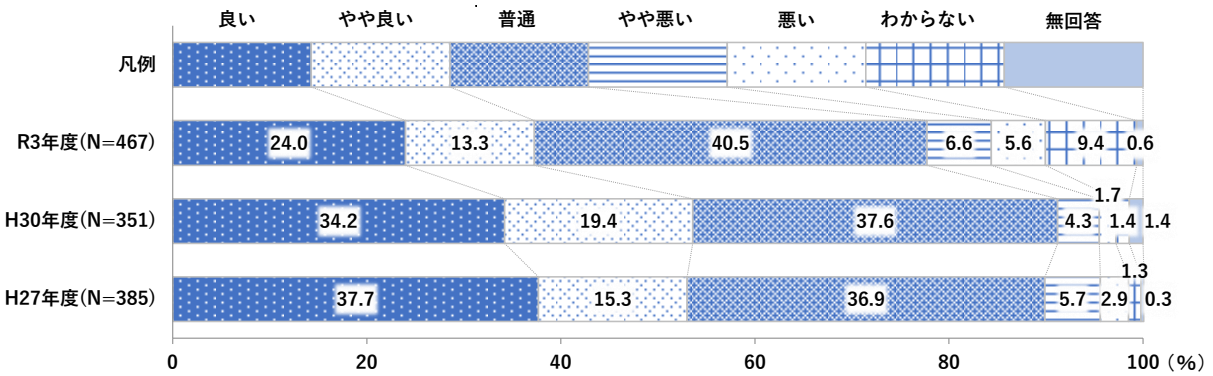
		サンプル数	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	わからない	無回答	『良い』計	『悪い』計
全　体		467	255	84	113	4	-	9	2	339	4
		100.0	54.6	18.0	24.2	0.9	-	1.9	0.4	72.6	0.9
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	151	55.0	20.5	21.9	0.7	-	2.0	-	75.5	0.7
	韓国	43	51.2	32.6	14.0	-	-	2.3	-	83.7	-
	ベトナム	109	41.3	14.7	42.2	-	-	1.8	-	56.0	-
	ネパール	60	60.0	6.7	26.7	1.7	-	3.3	1.7	66.7	1.7
	その他（アジア）	63	71.4	12.7	11.1	1.6	-	1.6	1.6	84.1	1.6
	その他（アジア以外）	39	59.0	28.2	12.8	-	-	-	-	87.2	-
	無回答	2	50.0	-	-	50.0	-	-	-	50.0	50.0

⑥住宅事情【Q14-5】

住宅事情について尋ねたところ、「良い」（24.0%）、「やや良い」（13.3%）を合わせた『良い』という割合が37.3%となっている。なお、「普通」と回答した人は40.5%である。

居住区別にみると、早良区は『良い』（43.6%）と評価する割合が、他の区に比べて高い。

【住宅事情】



【住宅事情（属性別特徴）】

（%）

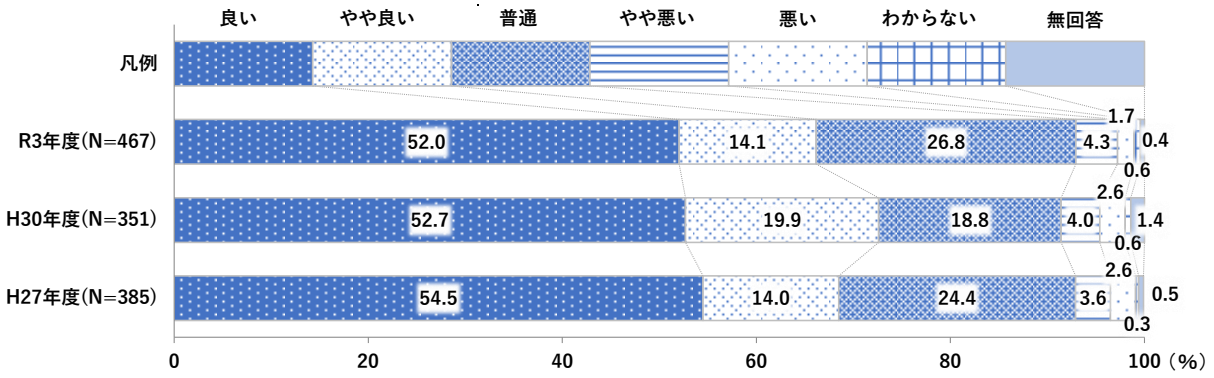
		サンプル数	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	わからない	無回答	『良い』計	『悪い』計
全　体		467	112	62	189	31	26	44	3	174	57
		100.0	24.0	13.3	40.5	6.6	5.6	9.4	0.6	37.3	12.2
年齢別	29歳以下	311	25.1	12.9	43.7	5.1	5.1	7.4	0.6	37.9	10.3
	30～39歳	113	21.2	15.0	31.9	12.4	6.2	12.4	0.9	36.3	18.6
	40～49歳	20	15.0	20.0	35.0	-	10.0	20.0	-	35.0	10.0
	50～59歳	9	22.2	11.1	33.3	11.1	11.1	11.1	-	33.3	22.2
	60歳以上	7	14.3	-	57.1	-	-	28.6	-	14.3	-
	無回答	7	57.1	-	42.9	-	-	-	-	57.1	-
在留資格別	留学（大学、短大等）	97	25.8	17.5	40.2	10.3	4.1	2.1	-	43.3	14.4
	留学（日本語学校）	53	26.4	5.7	56.6	-	3.8	5.7	1.9	32.1	3.8
	留学（専修・各種学校・その他）	73	27.4	6.8	50.7	1.4	9.6	4.1	-	34.2	11.0
	就労（技術・人文知識・国際業務）	83	20.5	21.7	31.3	8.4	8.4	9.6	-	42.2	16.9
	就労（特定技能）	18	22.2	-	33.3	5.6	5.6	33.3	-	22.2	11.1
	就労（その他）	10	40.0	30.0	10.0	10.0	-	10.0	-	70.0	10.0
	家族滞在	31	16.1	3.2	51.6	9.7	6.5	9.7	3.2	19.4	16.1
	技能実習	36	33.3	8.3	30.6	2.8	-	25.0	-	41.7	2.8
	日本人の配偶者等	43	18.6	18.6	25.6	14.0	7.0	16.3	-	37.2	20.9
	特定活動	14	14.3	14.3	50.0	-	-	14.3	7.1	28.6	-
	その他	9	11.1	22.2	55.6	11.1	-	-	-	33.3	11.1
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
居住地別	東区	87	31.0	5.7	43.7	4.6	2.3	10.3	2.3	36.8	6.9
	博多区	118	21.2	16.1	39.8	3.4	11.9	7.6	-	37.3	15.3
	中央区	55	25.5	12.7	43.6	10.9	1.8	5.5	-	38.2	12.7
	南区	79	26.6	6.3	45.6	5.1	6.3	10.1	-	32.9	11.4
	城南区	22	27.3	13.6	40.9	-	4.5	13.6	-	40.9	4.5
	早良区	39	23.1	20.5	28.2	12.8	2.6	12.8	-	43.6	15.4
	西区	65	15.4	23.1	35.4	12.3	3.1	9.2	1.5	38.5	15.4
	無回答	2	-	-	50.0	-	-	50.0	-	-	-

⑦交通の利便性【Q14-6】

交通の利便性について尋ねたところ、「良い」（52.0%）、「やや良い」（14.1%）を合わせた『良い』という割合が66.2%となっている。なお、「普通」と回答した人は26.8%である。

居住区別にみると、いずれの区も『良い』と評価する人が半数以上となっており、南区及び西区除く居住区では６割を超えている。

【交通の利便性】



【交通の利便性（属性別特徴）】

（%）

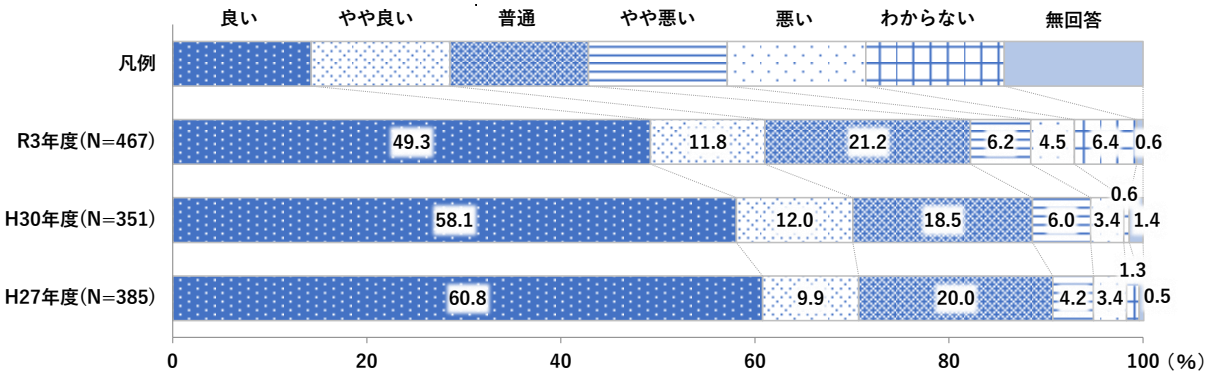
		サンプル数	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	わからない	無回答	『良い』計	『悪い』計
全　体		467	243	66	125	20	8	3	2	309	28
		100.0	52.0	14.1	26.8	4.3	1.7	0.6	0.4	66.2	6.0
居住地別	東区	87	55.2	12.6	23.0	4.6	1.1	1.1	2.3	67.8	5.7
	博多区	118	61.9	11.0	20.3	4.2	1.7	0.8	-	72.9	5.9
	中央区	55	54.5	14.5	25.5	1.8	3.6	-	-	69.1	5.5
	南区	79	49.4	8.9	38.0	3.8	-	-	-	58.2	3.8
	城南区	22	59.1	13.6	22.7	4.5	-	-	-	72.7	4.5
	早良区	39	51.3	25.6	20.5	2.6	-	-	-	76.9	2.6
	西区	65	30.8	20.0	35.4	7.7	4.6	1.5	-	50.8	12.3
	無回答	2	-	50.0	50.0	-	-	-	-	50.0	-

⑧母国との交通手段(航空便・船便など)の利便性【Q14-7】

母国との交通手段の利便性について尋ねたところ、「良い」(49.3%)、「やや良い」(11.8%)を合わせた『良い』という割合が61.0%を占める。一方、「悪い」(4.5%)、「やや悪い」(6.2%)を合わせた『悪い』という割合は約1割となっている。なお、「普通」と回答した人は21.2%である。

国籍別にみると、韓国は『良い』と回答した人が8割を超えており、他の国籍と比べて高い。

【母国との交通手段(航空便・船便など)の利便性】



【母国との交通手段(航空便・船便など)の利便性(属性別特徴)】

(%)

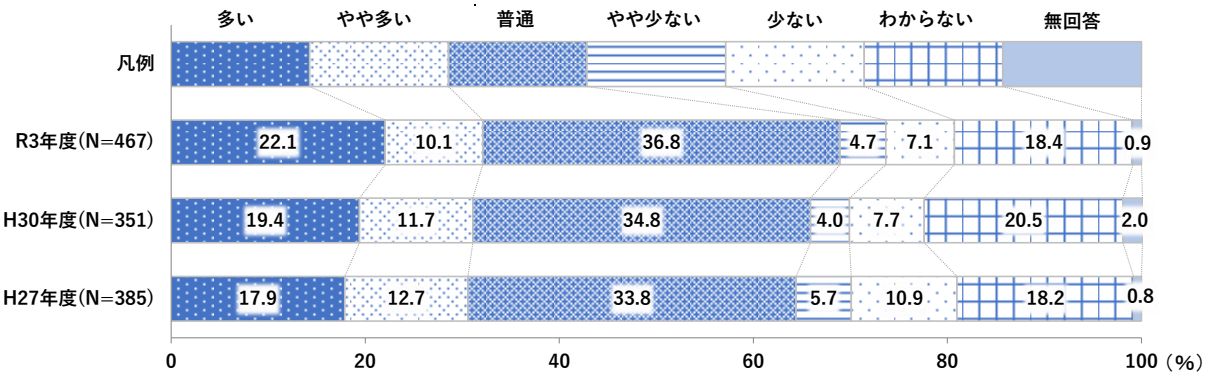
		サンプル数	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	わからない	無回答	『良い』計	『悪い』計
全体		467	230	55	99	29	21	30	3	285	50
		100.0	49.3	11.8	21.2	6.2	4.5	6.4	0.6	61.0	10.7
国籍・地域別	中国(台湾を含む)	151	57.0	11.9	17.2	7.3	4.6	2.0	-	68.9	11.9
	韓国	43	74.4	9.3	11.6	-	2.3	2.3	-	83.7	2.3
	ベトナム	109	50.5	12.8	21.1	0.9	2.8	11.9	-	63.3	3.7
	ネパール	60	41.7	6.7	35.0	1.7	8.3	5.0	1.7	48.3	10.0
	その他(アジア)	63	36.5	7.9	25.4	12.7	4.8	9.5	3.2	44.4	17.5
	その他(アジア以外)	39	23.1	23.1	17.9	20.5	5.1	10.3	-	46.2	25.6
	無回答	2	-	50.0	50.0	-	-	-	-	50.0	-

⑨就業(アルバイトやパート)機会の多さ【Q14-8】

就業機会の多さについて尋ねたところ、「多い」(22.1%)、「やや多い」(10.1%)を合わせた『多い』という割合は32.1%となっており、一方、「少ない」(7.1%)、「やや少ない」(4.7%)を合わせた『少ない』という割合は11.8%となっている。なお、「普通」と回答した人は36.8%である。

国籍別にみると、その他(アジア以外)を除く国籍では「普通」と回答した人が最も多くなっており、中でも、ネパールは46.7%が「普通」と回答している。また、ネパールは『多い』と回答とした割合が41.7%と他の国籍と比べて高い。

【就業(アルバイトやパート)機会の多さ】



【就業(アルバイトやパート)機会の多さ(属性別特徴)】

(%)

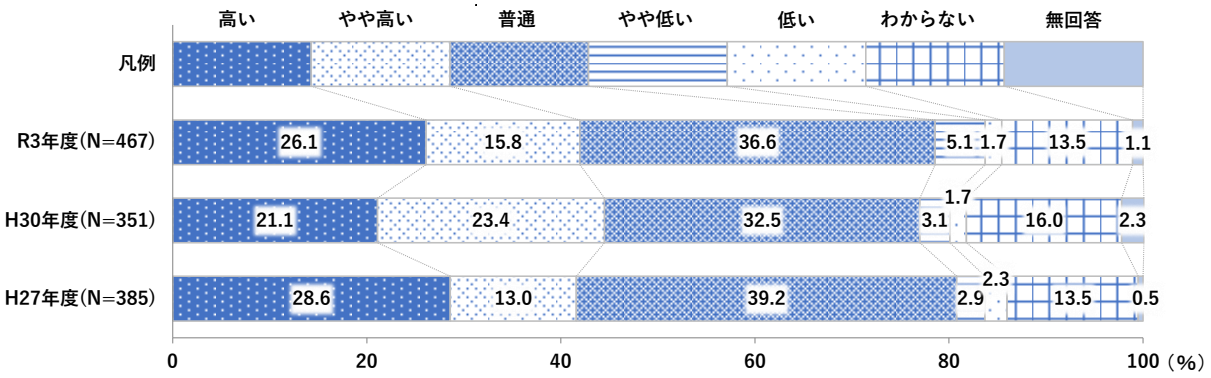
		サンプル数	多い	やや多い	普通	やや少ない	少ない	わからない	無回答	『多い』計	『少ない』計
全体		467	103	47	172	22	33	86	4	150	55
		100.0	22.1	10.1	36.8	4.7	7.1	18.4	0.9	32.1	11.8
国籍・地域別	中国(台湾を含む)	151	23.8	9.3	35.8	6.0	7.3	17.9	-	33.1	13.2
	韓国	43	16.3	11.6	32.6	7.0	2.3	30.2	-	27.9	9.3
	ベトナム	109	22.9	9.2	42.2	1.8	4.6	18.3	0.9	32.1	6.4
	ネパール	60	31.7	10.0	46.7	-	6.7	1.7	3.3	41.7	6.7
	その他(アジア)	63	19.0	15.9	28.6	7.9	7.9	19.0	1.6	34.9	15.9
	その他(アジア以外)	39	10.3	5.1	28.2	5.1	17.9	33.3	-	15.4	23.1
	無回答	2	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-	50.0

⑩芸術･文化水準【Q14-9】

芸術・文化水準について尋ねたところ、「高い」（26.1%）、「やや高い」（15.8%）を合わせた『高い』という割合は42.0%となっており、「低い」（1.7%）、「やや低い」（5.1%）を合わせた『低い』という割合は１割に満たない。なお、「普通」と回答した人は36.6%である。

国籍別にみると、その他（アジア）は『高い』という割合が58.7%と、他の国籍に比べ高い。

【芸術・文化水準】



【芸術・文化水準（属性別特徴）】

(%)

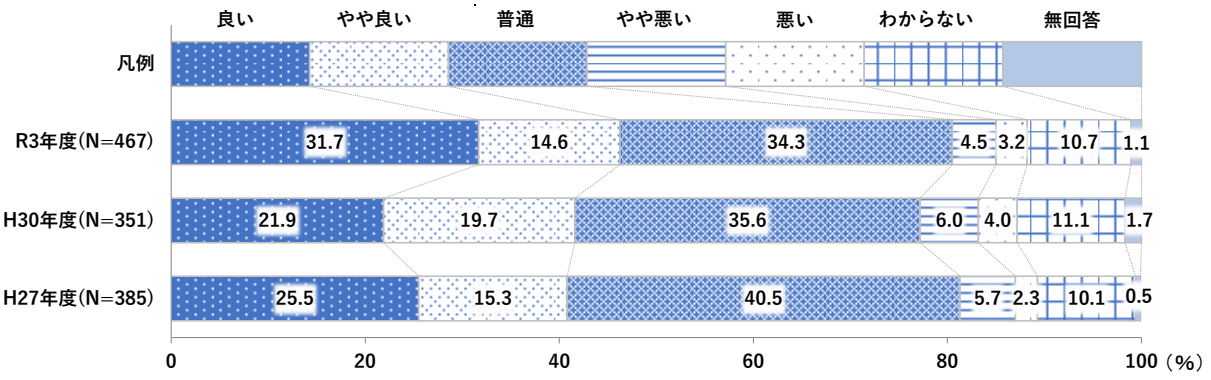
		サンプル数	高い	やや高い	普通	やや低い	低い	わからない	無回答	『高い』計	『低い』計
全　体		467	122	74	171	24	8	63	5	196	32
		100.0	26.1	15.8	36.6	5.1	1.7	13.5	1.1	42.0	6.9
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	151	21.2	23.8	31.1	7.9	-	15.9	-	45.0	7.9
	韓国	43	11.6	16.3	41.9	7.0	2.3	20.9	-	27.9	9.3
	ベトナム	109	28.4	8.3	40.4	2.8	3.7	15.6	0.9	36.7	6.4
	ネパール	60	28.3	5.0	53.3	1.7	1.7	5.0	5.0	33.3	3.3
	その他（アジア）	63	42.9	15.9	23.8	4.8	-	11.1	1.6	58.7	4.8
	その他（アジア以外）	39	25.6	23.1	35.9	5.1	2.6	7.7	-	48.7	7.7
	無回答	2	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-	50.0

⑪レジャー施設の充実【Q14-10】

レジャー施設の充実について尋ねたところ、「良い」（31.7%）、「やや良い」（14.6%）を合わせた『良い』という割合は46.3%となっており、「悪い」（3.2%）、「やや悪い」（4.5%）を合わせた『悪い』という割合は１割に満たない。なお、「普通」と回答した人は34.3%である。

国籍別にみると、その他（アジア以外）は『良い』という割合が６割弱を占め、他の国籍に比べ高い。

【レジャー施設の充実】



【レジャー施設の充実（属性別特徴）】

(%)

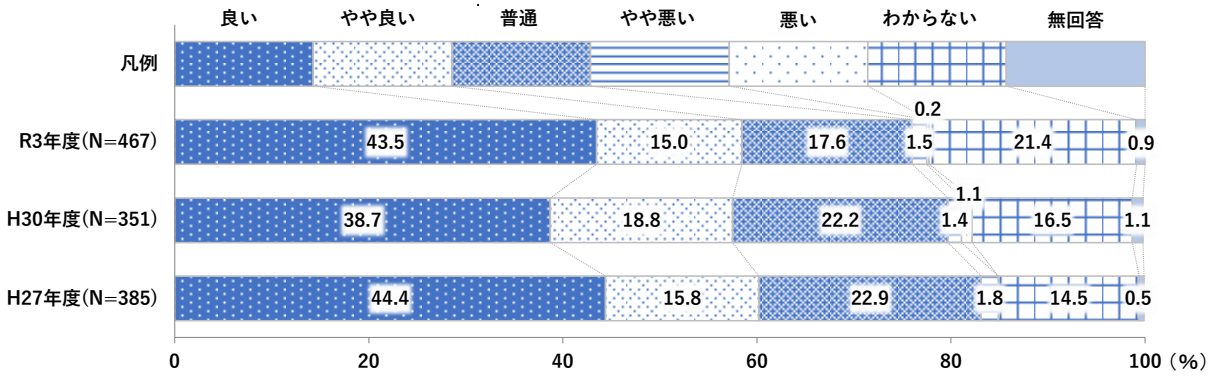
		サンプル数	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	わからない	無回答	『良い』計	『悪い』計
全　体		467	148	68	160	21	15	50	5	216	36
		100.0	31.7	14.6	34.3	4.5	3.2	10.7	1.1	46.3	7.7
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	151	29.1	19.2	32.5	5.3	3.3	9.3	1.3	48.3	8.6
	韓国	43	9.3	25.6	32.6	11.6	7.0	14.0	-	34.9	18.6
	ベトナム	109	25.7	10.1	44.0	1.8	0.9	17.4	-	35.8	2.8
	ネパール	60	51.7	3.3	36.7	1.7	1.7	3.3	1.7	55.0	3.3
	その他（アジア）	63	44.4	7.9	28.6	4.8	3.2	7.9	3.2	52.4	7.9
	その他（アジア以外）	39	33.3	25.6	20.5	5.1	5.1	10.3	-	59.0	10.3
	無回答	2	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-	50.0

⑫教育環境【Q14-11】

教育環境について尋ねたところ、「良い」（43.5%）、「やや良い」（15.0%）を合わせた『良い』という割合が58.5%と過半数を占めており、一方、『悪い』という割合は１割に満たない。なお、「普通」と回答した人は17.6%となっている。

同居者の状況別の子どもがいる回答者をみると、『良い』が59.7%、『悪い』が4.8%となっている。

【教育環境】



【教育環境（属性別特徴）】

(%)

		サンプル数	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	わからない	無回答	『良い』計	『悪い』計
全　体		467	203	70	82	7	1	100	4	273	8
		100.0	43.5	15.0	17.6	1.5	0.2	21.4	0.9	58.5	1.7
同居者の状況別	いない	187	45.5	14.4	15.5	1.1	-	21.9	1.6	59.9	1.1
	配偶者・パートナー	133	32.3	16.5	18.8	3.0	0.8	28.6	-	48.9	3.8
	子ども	62	40.3	19.4	21.0	3.2	1.6	14.5	-	59.7	4.8
	親	3	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	兄弟姉妹	9	44.4	-	33.3	-	-	22.2	-	44.4	-
	友人・知人	130	51.5	15.4	17.7	0.8	-	13.8	0.8	66.9	0.8
	その他	2	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	無回答	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
子どもの有無別	小・中学生の子どもがいる	23	52.2	17.4	13.0	4.3	4.3	4.3	4.3	69.6	8.7
	未就学の乳幼児がいる	45	28.9	24.4	22.2	2.2	2.2	20.0	-	53.3	4.4
	いない	402	44.5	14.2	16.9	1.0	-	22.6	0.7	58.7	1.0
	無回答	4	50.0	-	25.0	25.0	-	-	-	50.0	25.0

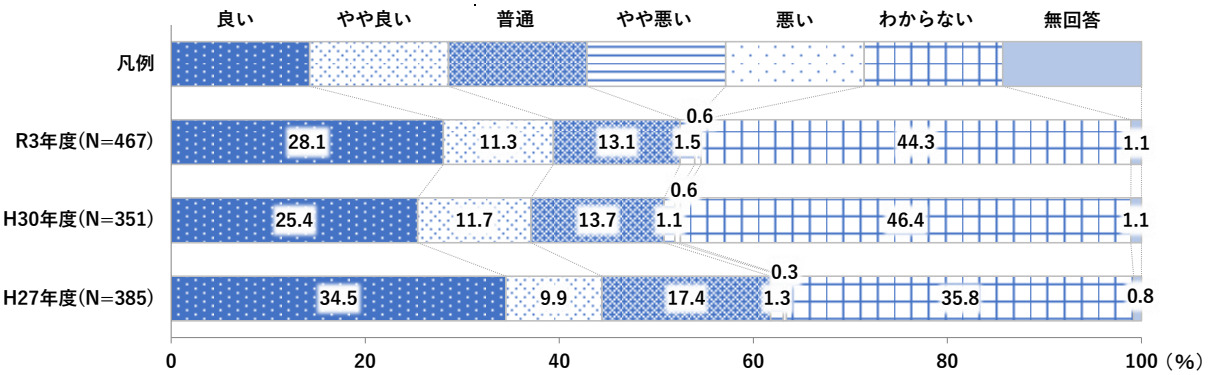
⑬子育ての環境･支援【Q14-12】

子育ての環境・支援について尋ねたところ、「良い」（28.1%）、「やや良い」（11.3%）を合わせた『良い』という割合は39.4%となっており、「悪い」（0.6%）、「やや悪い」（1.5%）を合わせた『悪い』という割合は１割に満たない。なお、「普通」と回答した人は13.1%となっている。

居住区別にみると、西区を除く各区の居住者の『良い』の割合が４割前後なのに対して、西区の居住者は33.8%となっている。いずれの居住区も『悪い』という割合は１割に満たない。

同居者の状況別の子どもがいる回答者をみると、『良い』が67.7%、『悪い』が8.1%となっている。

【子育ての環境・支援】



【子育ての環境・支援（属性別特徴）】

（%）

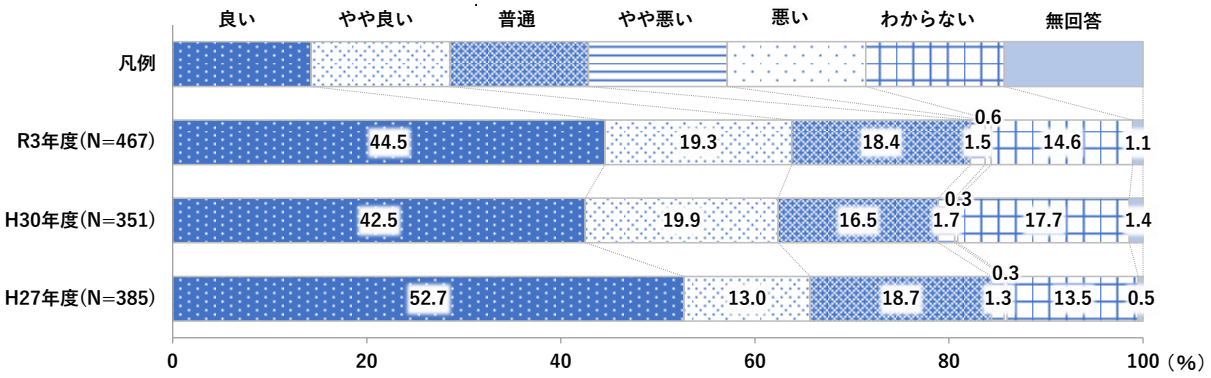
		サンプル数	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	わからない	無回答	『良い』計	『悪い』計
全　体		467	131	53	61	7	3	207	5	184	10
		100.0	28.1	11.3	13.1	1.5	0.6	44.3	1.1	39.4	2.1
居住地別	東区	87	32.2	8.0	16.1	1.1	-	40.2	2.3	40.2	1.1
	博多区	118	28.0	12.7	13.6	3.4	0.8	39.8	1.7	40.7	4.2
	中央区	55	25.5	12.7	9.1	-	-	52.7	-	38.2	-
	南区	79	29.1	11.4	12.7	1.3	1.3	43.0	1.3	40.5	2.5
	城南区	22	31.8	9.1	22.7	-	-	36.4	-	40.9	-
	早良区	39	25.6	15.4	12.8	-	2.6	43.6	-	41.0	2.6
	西区	65	24.6	9.2	9.2	1.5	-	55.4	-	33.8	1.5
	無回答	2	-	50.0	-	-	-	50.0	-	50.0	-
同居者の状況別	いない	187	22.5	11.8	9.6	0.5	0.5	0.5	1.1	34.2	1.1
	配偶者・パートナー	133	31.6	11.3	15.8	3.8	1.5	-	-	42.9	5.3
	子ども	62	46.8	21.0	21.0	6.5	1.6	-	-	67.7	8.1
	親	3	66.7	-	-	-	-	-	-	66.7	-
	兄弟姉妹	9	33.3	22.2	11.1	-	-	-	-	55.6	-
	友人・知人	130	30.8	9.2	16.2	0.8	-	-	-	40.0	0.8
	その他	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
子どもの有無別	小・中学生の子どもがいる	23	47.8	13.0	26.1	8.7	-	-	4.3	60.9	8.7
	未就学の乳幼児がいる	45	42.2	24.4	22.2	6.7	2.2	-	-	66.7	8.9
	いない	402	25.6	10.2	10.9	0.7	0.5	0.2	0.2	35.8	1.2
	無回答	4	25.0	-	25.0	25.0	-	-	-	25.0	25.0

⑭医療機関の充実【Q14-13】

医療機関の充実について尋ねたところ、「良い」（44.5%）、「やや良い」（19.3%）を合わせた『良い』という割合が63.8%を占める。一方、「悪い」（0.6%）、「やや悪い」（1.5%）を合わせた『悪い』という割合は１割に満たない。なお、「普通」と回答した人は18.4%となっている。

居住区別にみると、いずれの区も『良い』と評価する人が半数以上を占めている。

【医療機関の充実】



【医療機関の充実（属性別特徴）】

（%）

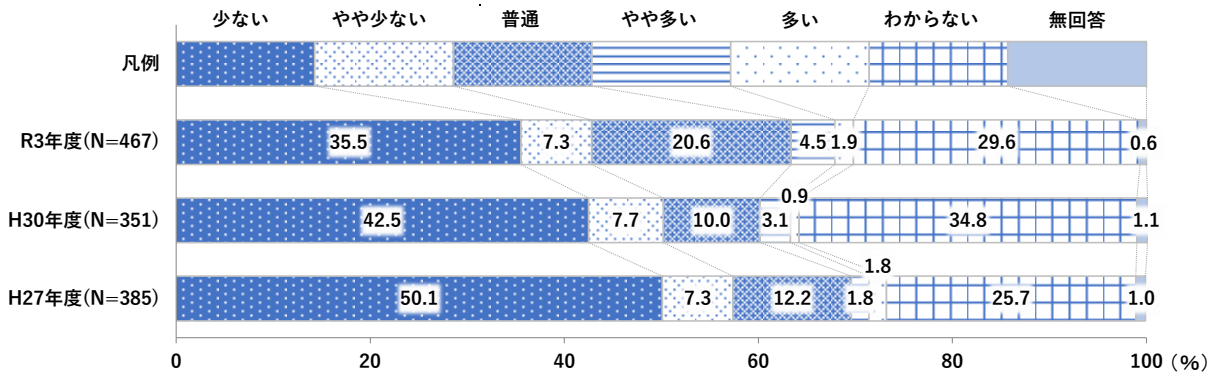
		サンプル数	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	わからない	無回答	『良い』計	『悪い』計
全　体		467	208	90	86	7	3	68	5	298	10
		100.0	44.5	19.3	18.4	1.5	0.6	14.6	1.1	63.8	2.1
居住地別	東区	87	47.1	14.9	23.0	-	1.1	11.5	2.3	62.1	1.1
	博多区	118	42.4	19.5	18.6	0.8	-	17.8	0.8	61.9	0.8
	中央区	55	38.2	25.5	18.2	1.8	-	16.4	-	63.6	1.8
	南区	79	45.6	20.3	20.3	-	1.3	11.4	1.3	65.8	1.3
	城南区	22	63.6	18.2	4.5	4.5	4.5	4.5	-	81.8	9.1
	早良区	39	35.9	23.1	17.9	2.6	-	17.9	2.6	59.0	2.6
	西区	65	49.2	15.4	15.4	4.6	-	15.4	-	64.6	4.6
	無回答	2	-	50.0	-	-	-	50.0	-	50.0	-

⑮犯罪の多さ【Q14-14】

犯罪の多さについて尋ねたところ、「少ない」（35.5%）、「やや少ない」（7.3%）を合わせた『少ない』という割合は42.8%を占める。一方、「多い」（1.9%）、「やや多い」（4.5%）を合わせた『多い』という割合は１割に満たない。なお、「普通」と回答した人は20.6%となっている。

国籍別にみると、その他（アジア）及びその他（アジア以外）で『少ない』と評価する人が過半数を超えており、中でもその他（アジア以外）は59.0%とその割合が高い。

【犯罪の多さ】



【犯罪の多さ（属性別特徴）】

(%)

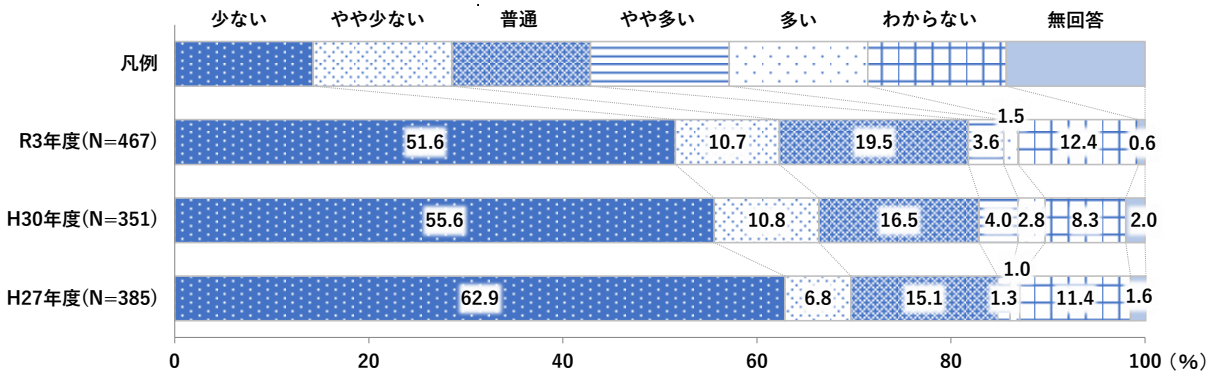
		サンプル数	少ない	やや少ない	普通	やや多い	多い	わからない	無回答	『少ない』計	『多い』計
全　体		467	166	34	96	21	9	138	3	200	30
		100.0	35.5	7.3	20.6	4.5	1.9	29.6	0.6	42.8	6.4
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	151	31.1	11.3	19.2	4.6	3.3	29.8	0.7	42.4	7.9
	韓国	43	37.2	9.3	30.2	9.3	-	14.0	-	46.5	9.3
	ベトナム	109	25.7	2.8	25.7	4.6	0.9	40.4	-	28.4	5.5
	ネパール	60	40.0	1.7	18.3	1.7	5.0	31.7	1.7	41.7	6.7
	その他（アジア）	63	47.6	9.5	14.3	3.2	-	23.8	1.6	57.1	3.2
	その他（アジア以外）	39	51.3	7.7	15.4	2.6	-	23.1	-	59.0	2.6
	無回答	2	50.0	-	-	50.0	-	-	-	50.0	50.0

⑯自然災害の多さ【Q14-15】

自然災害の多さについて尋ねたところ、「少ない」（51.6%）、「やや少ない」（10.7%）を合わせた『少ない』という割合が62.3%を占める。一方、「多い」（1.5%）、「やや多い」（3.6%）を合わせた『多い』という割合は1割にも満たない。なお、「普通」と回答した人は19.5%である。

国籍別にみると、いずれの国籍も『少ない』と回答した人が多いが、中でも韓国は『少ない』の割合が76.7%と高い。

【自然災害の多さ】



【自然災害の多さ（属性別特徴）】

（%）

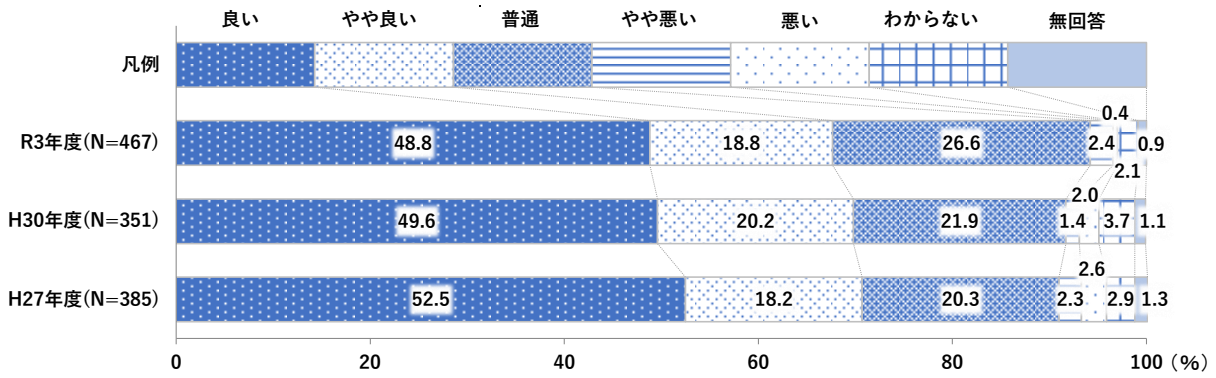
		サンプル数	少ない	やや少ない	普通	やや多い	多い	わからない	無回答	『少ない』計	『多い』計
全　体		467	241	50	91	17	7	58	3	291	24
		100.0	51.6	10.7	19.5	3.6	1.5	12.4	0.6	62.3	5.1
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	151	57.0	10.6	19.9	2.6	1.3	7.9	0.7	67.5	4.0
	韓国	43	58.1	18.6	11.6	7.0	-	4.7	-	76.7	7.0
	ベトナム	109	56.0	7.3	16.5	4.6	0.9	14.7	-	63.3	5.5
	ネパール	60	40.0	6.7	20.0	1.7	6.7	23.3	1.7	46.7	8.3
	その他（アジア）	63	49.2	14.3	19.0	4.8	-	11.1	1.6	63.5	4.8
	その他（アジア以外）	39	33.3	12.8	35.9	-	-	17.9	-	46.2	-
	無回答	2	50.0	-	-	50.0	-	-	-	50.0	50.0

⑰人の親切さ【Q14-16】

人の親切や人情味について尋ねたところ、「良い」（48.8%）、「やや良い」（18.8%）を合わせた『良い』という割合が67.7%を占める。一方、「悪い」（0.4%）、「やや悪い」（2.4%）を合わせた『悪い』という割合は１割に満たない。なお、「普通」と回答した人は26.6%となっている。

国籍別にみると、いずれの国籍も『良い』と回答した人が多くなっており、その他（アジア以外）は他の国籍に比べ、その割合が８割を超えている。

【人の親切さ】



【人の親切さ（属性別特徴）】

（%）

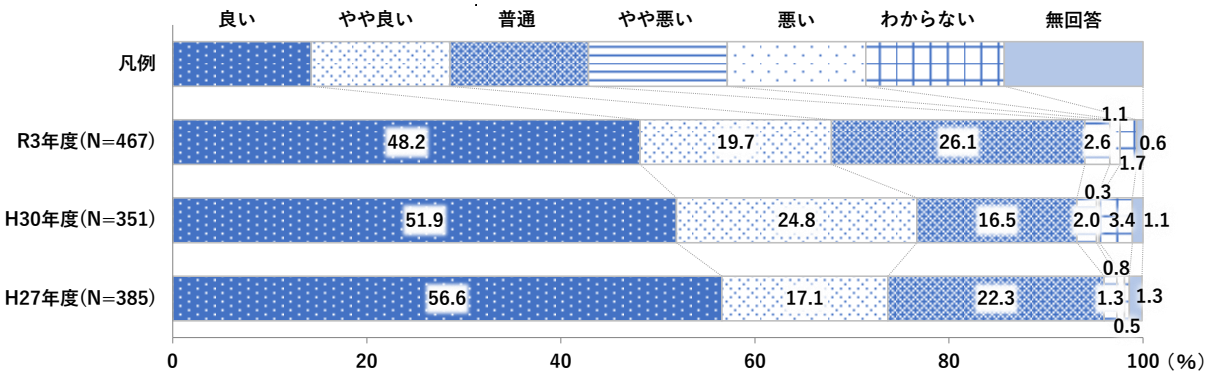
		サンプル数	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	わからない	無回答	『良い』計	『悪い』計
全　体		467	228	88	124	11	2	10	4	316	13
		100.0	48.8	18.8	26.6	2.4	0.4	2.1	0.9	67.7	2.8
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	151	48.3	25.8	23.8	-	-	2.0	-	74.2	-
	韓国	43	62.8	16.3	18.6	2.3	-	-	-	79.1	2.3
	ベトナム	109	38.5	12.8	42.2	3.7	-	2.8	-	51.4	3.7
	ネパール	60	41.7	11.7	31.7	5.0	3.3	3.3	3.3	53.3	8.3
	その他（アジア）	63	58.7	19.0	17.5	-	-	3.2	1.6	77.8	-
	その他（アジア以外）	39	59.0	23.1	10.3	7.7	-	-	-	82.1	7.7
	無回答	2	50.0	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-

⑱市民マナー【Q14-17】

市民マナーについて尋ねたところ、「良い」（48.2%）、「やや良い」（19.7%）を合わせた『良い』という割合が67.9%を占め、19項目中で４番目に高い。なお、「普通」と回答した人は26.1%である。

国籍別にみると、いずれの国籍も『良い』と回答した人が多くなっており、中国（台湾を含む）は他の国籍に比べ、その割合が８割弱と高い一方、ベトナムは他の国籍に比べ５割弱と低い。

【市民マナー】



【市民マナー（属性別特徴）】

(%)

		サンプル数	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	わからない	無回答	『良い』計	『悪い』計
全　体		467	225	92	122	12	5	8	3	317	17
		100.0	48.2	19.7	26.1	2.6	1.1	1.7	0.6	67.9	3.6
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	151	47.0	31.1	17.2	1.3	2.0	1.3	-	78.1	3.3
	韓国	43	53.5	16.3	27.9	2.3	-	-	-	69.8	2.3
	ベトナム	109	34.9	13.8	42.2	3.7	0.9	3.7	0.9	48.6	4.6
	ネパール	60	55.0	11.7	28.3	3.3	-	-	1.7	66.7	3.3
	その他（アジア）	63	58.7	12.7	23.8	-	-	3.2	1.6	71.4	-
	その他（アジア以外）	39	56.4	20.5	15.4	5.1	2.6	-	-	76.9	7.7
	無回答	2	50.0	-	-	50.0	-	-	-	50.0	50.0
在福年岡数市別滞	６か月未満	21	81.0	9.5	9.5	-	-	-	-	90.5	-
	６か月～１年未満	88	34.1	26.1	36.4	1.1	1.1	-	1.1	60.2	2.3
	１年以上～３年未満	198	49.5	20.7	22.2	2.5	0.5	3.5	1.0	70.2	3.0
	３年以上～５年未満	160	50.0	16.3	27.5	3.8	1.9	0.6	-	66.3	5.6
日本滞在年数別	６か月未満	3	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	６か月～１年未満	49	38.8	28.6	28.6	2.0	-	-	2.0	67.3	2.0
	１年以上～３年未満	155	51.6	21.3	21.3	0.6	0.6	3.2	1.3	72.9	1.3
	３年以上～５年未満	188	46.3	17.0	30.9	3.2	1.1	1.6	-	63.3	4.3
	５年以上～10年未満	53	52.8	15.1	22.6	7.5	1.9	-	-	67.9	9.4
	10年以上	16	43.8	31.3	18.8	-	6.3	-	-	75.0	6.3
	無回答	3	33.3	-	66.7	-	-	-	-	33.3	-

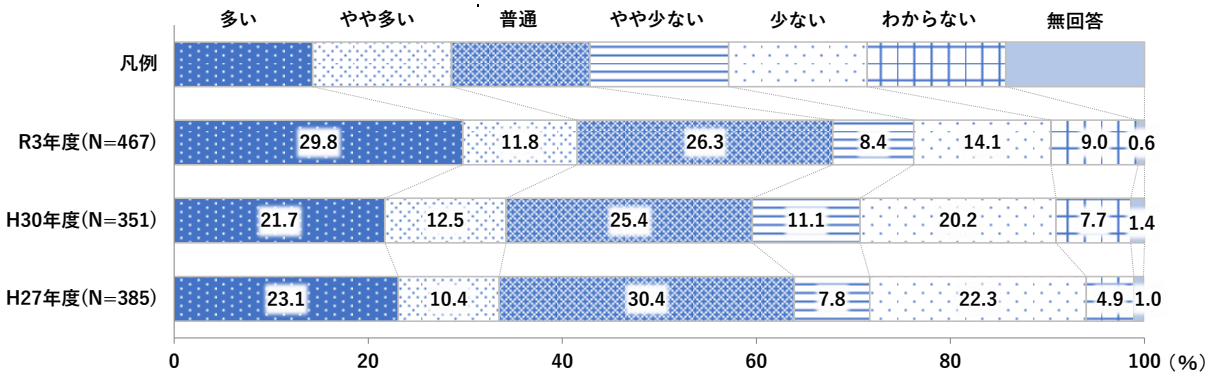
⑲母国の食材を扱ったレストランやお店の数【Q14-18】

母国の食材を扱ったレストランやお店の数について尋ねたところ、「多い」（29.8%）、「やや多い」（11.8%）を合わせた『多い』という割合が41.5%となっており、「少ない」（14.1%）、「やや少ない」（8.4%）を合わせた『少ない』という割合は22.5%となっている。なお、「普通」と回答した人は26.3%となっている。

国籍別にみると、その他（アジア）及びその他（アジア以外）は、『少ない』が『多い』と回答した人を上回っている。

居住区別にみると、すべての区において『多い』が『少ない』と回答した人を上回っている。

【母国の食材を扱ったレストランやお店の数】



【母国の食材を扱ったレストランやお店の数（属性別特徴）】

(%)

		サンプル数	多い	やや多い	普通	やや少ない	少ない	わからない	無回答	『多い』計	『少ない』計
全　体		467	139	55	123	39	66	42	3	194	105
		100.0	29.8	11.8	26.3	8.4	14.1	9.0	0.6	41.5	22.5
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	151	31.1	14.6	30.5	8.6	10.6	4.6	-	45.7	19.2
	韓国	43	25.6	30.2	23.3	14.0	2.3	4.7	-	55.8	16.3
	ベトナム	109	33.0	7.3	25.7	3.7	8.3	22.0	-	40.4	11.9
	ネパール	60	58.3	5.0	30.0	-	1.7	1.7	3.3	63.3	1.7
	その他（アジア）	63	12.7	6.3	19.0	12.7	41.3	6.3	1.6	19.0	54.0
	その他（アジア以外）	39	2.6	12.8	23.1	17.9	33.3	10.3	-	15.4	51.3
	無回答	2	50.0	-	-	50.0	-	-	-	50.0	50.0
居住地別	東区	87	36.8	8.0	21.8	5.7	14.9	10.3	2.3	44.8	20.7
	博多区	118	30.5	10.2	33.1	6.8	10.2	8.5	0.8	40.7	16.9
	中央区	55	30.9	10.9	21.8	14.5	12.7	9.1	-	41.8	27.3
	南区	79	30.4	13.9	22.8	5.1	16.5	11.4	-	44.3	21.5
	城南区	22	36.4	9.1	27.3	9.1	18.2	-	-	45.5	27.3
	早良区	39	17.9	23.1	25.6	12.8	12.8	7.7	-	41.0	25.6
	西区	65	23.1	12.3	27.7	10.8	18.5	7.7	-	35.4	29.2
	無回答	2	-	-	50.0	-	-	50.0	-	-	-

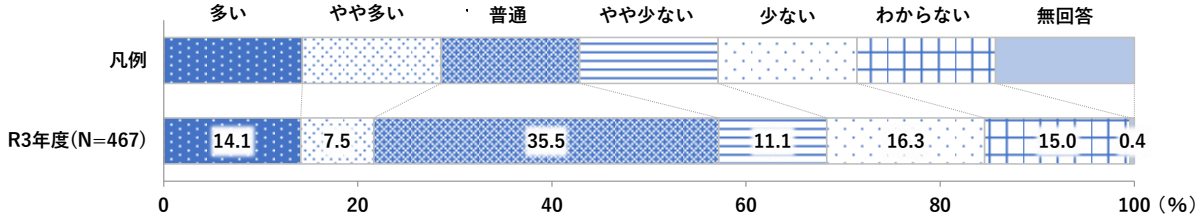
⑳多言語対応ができる場所の多さ【Q14-19】

多言語対応ができる場所の多さについて尋ねたところ、「多い」（14.1%）、「やや多い」（7.5%）を合わせた『多い』という割合が21.6%となっており、19項目中で最も低い。一方、「少ない」（16.3%）、「やや少ない」（11.1%）を合わせた『少ない』という割合は27.4%となっている。なお、「普通」と回答した人は35.5%となっている。

国籍別にみると、中国（台湾を含む）及びベトナムは、『多い』が『少ない』と回答した人を上回っている。

居住地別にみると、中央区及び西区を除く居住地では、『少ない』が『多い』と回答した人を上回っている。

【多言語対応ができる場所の多さ】



注：R3年度調査から追加した項目

【多言語対応ができる場所の多さ（属性別特徴）】

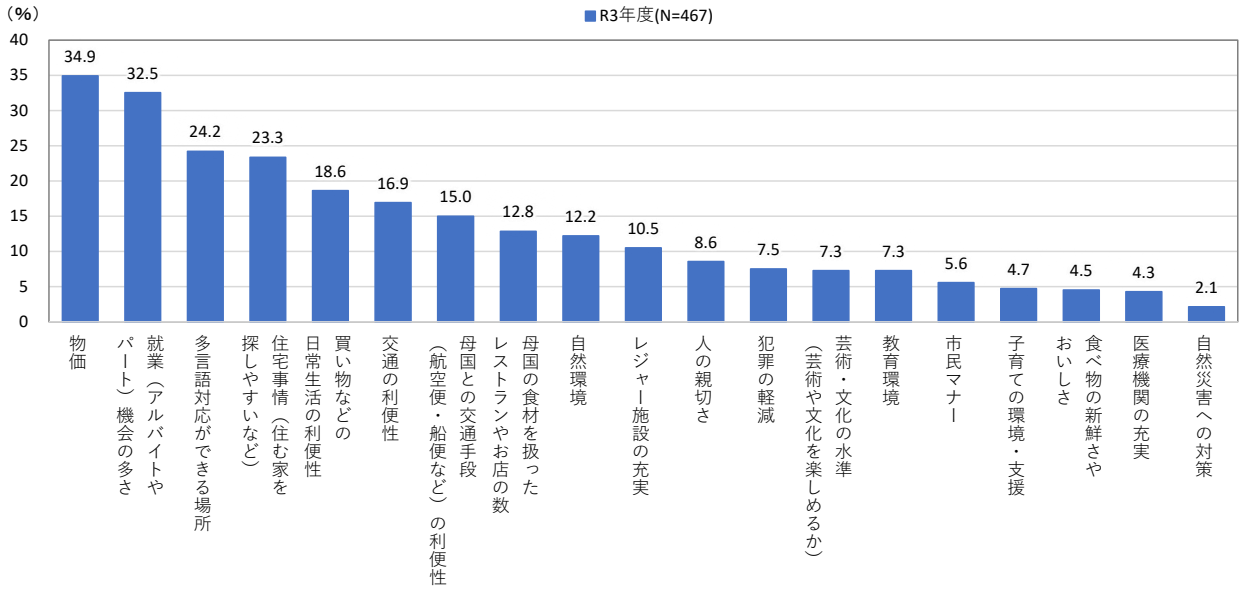
（%）

		サンプル数	多い	やや多い	普通	やや少ない	少ない	わからない	無回答	『多い』計	『少ない』計
全　体		467	66	35	166	52	76	70	2	101	128
		100.0	14.1	7.5	35.5	11.1	16.3	15.0	0.4	21.6	27.4
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	151	20.5	9.3	39.1	6.0	13.9	11.3	-	29.8	19.9
	韓国	43	7.0	4.7	27.9	23.3	18.6	18.6	-	11.6	41.9
	ベトナム	109	17.4	10.1	33.0	7.3	11.0	21.1	-	27.5	18.3
	ネパール	60	11.7	3.3	46.7	3.3	15.0	18.3	1.7	15.0	18.3
	その他（アジア）	63	6.3	9.5	20.6	23.8	28.6	9.5	1.6	15.9	52.4
	その他（アジア以外）	39	5.1	-	43.6	17.9	20.5	12.8	-	5.1	38.5
	無回答	2	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-	50.0
居住地別	東区	87	12.6	3.4	35.6	14.9	16.1	14.9	2.3	16.1	31.0
	博多区	118	11.0	7.6	44.9	7.6	13.6	15.3	-	18.6	21.2
	中央区	55	16.4	9.1	34.5	9.1	16.4	14.5	-	25.5	25.5
	南区	79	12.7	8.9	29.1	10.1	17.7	21.5	-	21.5	27.8
	城南区	22	13.6	-	36.4	13.6	22.7	13.6	-	13.6	36.4
	早良区	39	12.8	12.8	30.8	12.8	17.9	12.8	-	25.6	30.8
	西区	65	23.1	9.2	30.8	13.8	13.8	9.2	-	32.3	27.7
	無回答	2	-	-	-	-	100.0	-	-	-	100.0

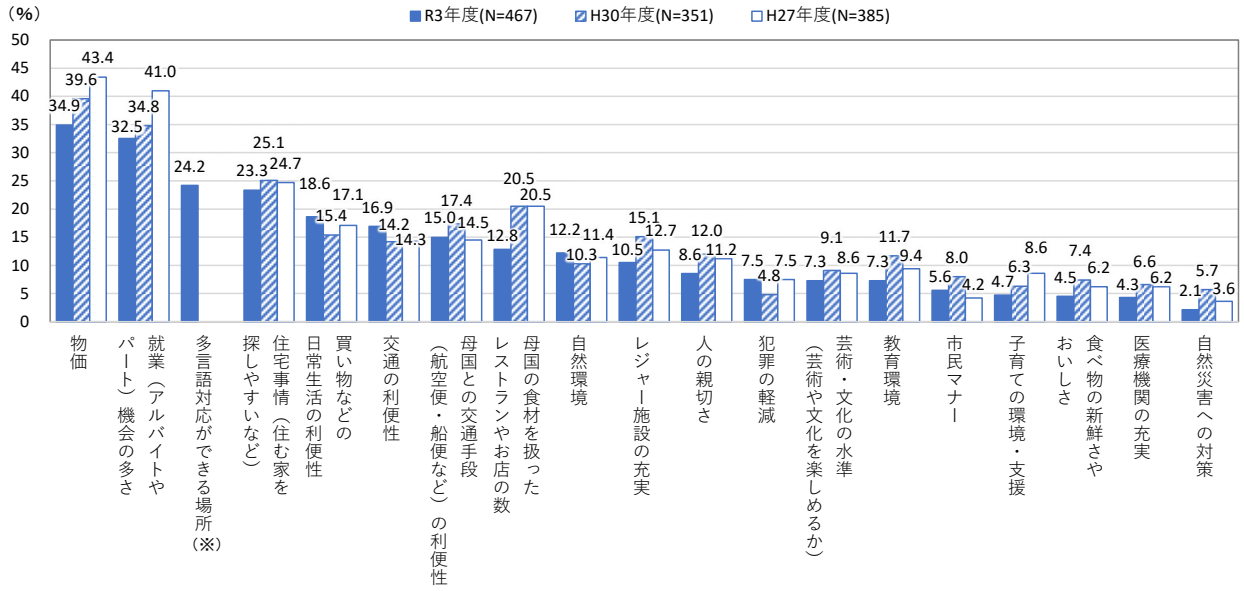
13. 福岡都市圏の生活環境で充実してほしいもの【Q15】(複数回答)

福岡都市圏の生活環境について充実してほしいものを尋ねたところ、「物価」(34.9%)が最も多く、以下、「就業(アルバイトやパート)機会の多さ」(32.5%)、「多言語対応ができる場所」(24.2%)、「住宅事情(住む家を探しやすいなど)」(23.3%)、「買い物などの日常生活の利便性」(18.6%)、「交通の利便性」(16.9%)、「母国との交通手段(航空便・船便など)の利便性」(15.0%)、「母国の食材を扱ったレストランやお店の数」(12.8%)、「自然環境」(12.2%)、「レジャー施設の充実」(10.5%)などが続いている。

【福岡都市圏の生活環境で充実してほしいもの】



【福岡都市圏の生活環境で充実してほしいもの(時系列)】



注:(※)H30・H27年度調査にはない項目

国籍別にみると、中国（台湾を含む）及びベトナムは「物価」、韓国は「買い物などの日常生活の利便性」、ネパールは「就業（アルバイトやパート）機会の多さ」、その他（アジア）は「母国の食材を扱ったレストランやお店の数」、その他（アジア以外）は「多言語対応ができる場所」と回答した人がそれぞれ最も多くなっている。

福岡市滞在年数別にみると、６か月未満、６か月～１年未満及び１年以上～３年未満は「物価」、３年以上～５年未満は「就業（アルバイトやパート）機会の多さ」と回答した人が最も多い。また、６か月未満は「交通の利便性」と回答した人が、他の福岡市滞在年数の割合に比べ高くなっている。

【福岡都市圏の生活環境で充実してほしいもの（属性別特徴）】

（%）

		サンプル数	物価	就業（アルバイトやパート）機会の多さ	多言語対応ができる場所	住宅事情（住む家を探しやすいなど）	買い物などの日常生活の利便性	交通の利便性	母国との交通手段（航空便・船便など）の利便性	母国の食材を扱ったレストランやお店の数	自然環境	レジャー施設の充実
全　体		467	163	152	113	109	87	79	70	60	57	49
		100.0	34.9	32.5	24.2	23.3	18.6	16.9	15.0	12.8	12.2	10.5
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	151	34.4	32.5	19.2	19.2	17.2	26.5	10.6	12.6	7.3	17.9
	韓国	43	34.9	30.2	4.7	37.2	46.5	27.9	27.9	4.7	16.3	-
	ベトナム	109	43.1	42.2	32.1	22.9	19.3	8.3	5.5	1.8	12.8	11.0
	ネパール	60	35.0	36.7	23.3	23.3	16.7	5.0	21.7	8.3	18.3	6.7
	その他（アジア）	63	28.6	22.2	28.6	23.8	11.1	19.0	22.2	33.3	14.3	4.8
	その他（アジア以外）	39	23.1	17.9	38.5	25.6	5.1	7.7	23.1	28.2	10.3	5.1
	無回答	2	50.0	50.0	-	-	50.0	-	-	-	50.0	50.0
居住地別	東区	87	34.5	33.3	23.0	25.3	20.7	14.9	18.4	10.3	17.2	5.7
	博多区	118	39.8	33.9	26.3	28.0	16.1	14.4	16.9	10.2	11.0	11.9
	中央区	55	30.9	40.0	25.5	27.3	18.2	10.9	7.3	10.9	9.1	5.5
	南区	79	38.0	32.9	17.7	15.2	16.5	12.7	15.2	17.7	16.5	15.2
	城南区	22	31.8	31.8	31.8	13.6	13.6	27.3	9.1	13.6	4.5	4.5
	早良区	39	25.6	25.6	30.8	12.8	17.9	17.9	17.9	20.5	15.4	17.9
	西区	65	32.3	26.2	21.5	29.2	26.2	30.8	13.8	12.3	4.6	10.8
	無回答	2	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-
福岡市滞在年数別	６か月未満	21	42.9	14.3	23.8	4.8	33.3	38.1	9.5	4.8	9.5	9.5
	６か月～１年未満	88	40.9	38.6	21.6	15.9	17.0	17.0	19.3	9.1	10.2	18.2
	１年以上～３年未満	198	33.8	28.3	24.2	23.2	18.2	16.7	14.6	18.7	16.2	9.1
	３年以上～５年未満	160	31.9	36.9	25.6	30.0	18.1	14.4	13.8	8.8	8.8	8.1

【福岡都市圏の生活環境で充実してほしいもの（属性別特徴 つづき）】

（%）

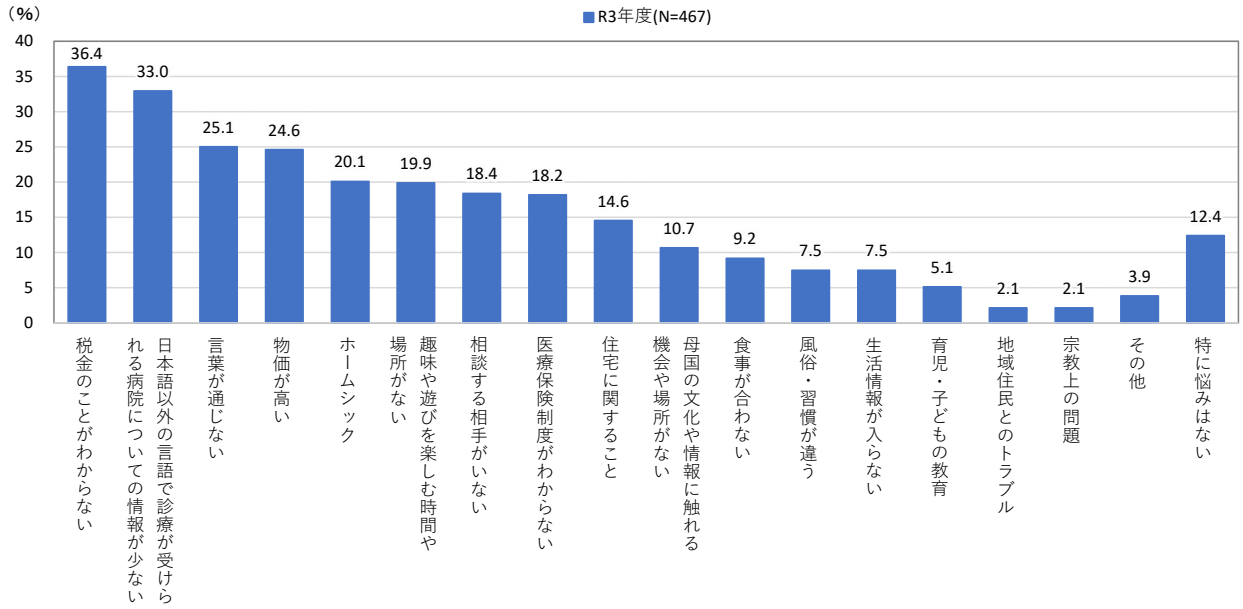
		サンプル数	人の親切さ	犯罪の軽減	芸術・文化の水準（芸術や文化を楽しめるか）	教育環境	市民マナー	子育ての環境・支援	食べ物の新鮮さやおいしさ	医療機関の充実	自然災害への対策	無回答
全　体		467	40	35	34	34	26	22	21	20	10	29
		100.0	8.6	7.5	7.3	7.3	5.6	4.7	4.5	4.3	2.1	6.2
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	151	6.6	8.6	11.9	4.6	3.3	6.6	4.0	2.6	0.7	6.6
	韓国	43	4.7	2.3	9.3	2.3	4.7	4.7	7.0	4.7	7.0	4.7
	ベトナム	109	12.8	8.3	6.4	6.4	11.9	0.9	3.7	6.4	0.9	5.5
	ネパール	60	10.0	15.0	3.3	16.7	1.7	1.7	10.0	3.3	6.7	6.7
	その他（アジア）	63	9.5	3.2	1.6	9.5	4.8	11.1	3.2	4.8	1.6	7.9
	その他（アジア以外）	39	5.1	2.6	5.1	5.1	5.1	2.6	-	5.1	-	5.1
	無回答	2	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-
居住地別	東区	87	12.6	11.5	11.5	9.2	4.6	6.9	4.6	5.7	1.1	3.4
	博多区	118	5.1	12.7	6.8	2.5	6.8	1.7	5.9	2.5	2.5	5.1
	中央区	55	10.9	3.6	9.1	9.1	5.5	9.1	5.5	7.3	1.8	9.1
	南区	79	5.1	6.3	6.3	16.5	5.1	3.8	6.3	2.5	2.5	7.6
	城南区	22	18.2	4.5	4.5	4.5	18.2	-	4.5	9.1	4.5	4.5
	早良区	39	10.3	-	5.1	7.7	5.1	7.7	2.6	-	2.6	2.6
	西区	65	6.2	3.1	3.1	1.5	1.5	4.6	-	6.2	1.5	10.8
	無回答	2	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-
福岡市滞在年数別	６か月未満	21	4.8	-	9.5	4.8	4.8	14.3	-	9.5	4.8	9.5
	６か月～１年未満	88	6.8	8.0	13.6	5.7	5.7	1.1	5.7	5.7	1.1	4.5
	１年以上～３年未満	198	9.1	7.6	6.1	8.6	5.6	3.0	4.0	3.0	1.5	5.1
	３年以上～５年未満	160	9.4	8.1	5.0	6.9	5.6	7.5	5.0	4.4	3.1	8.1

14. 日常生活での悩み【Q16】【Q17】【Q17-1】

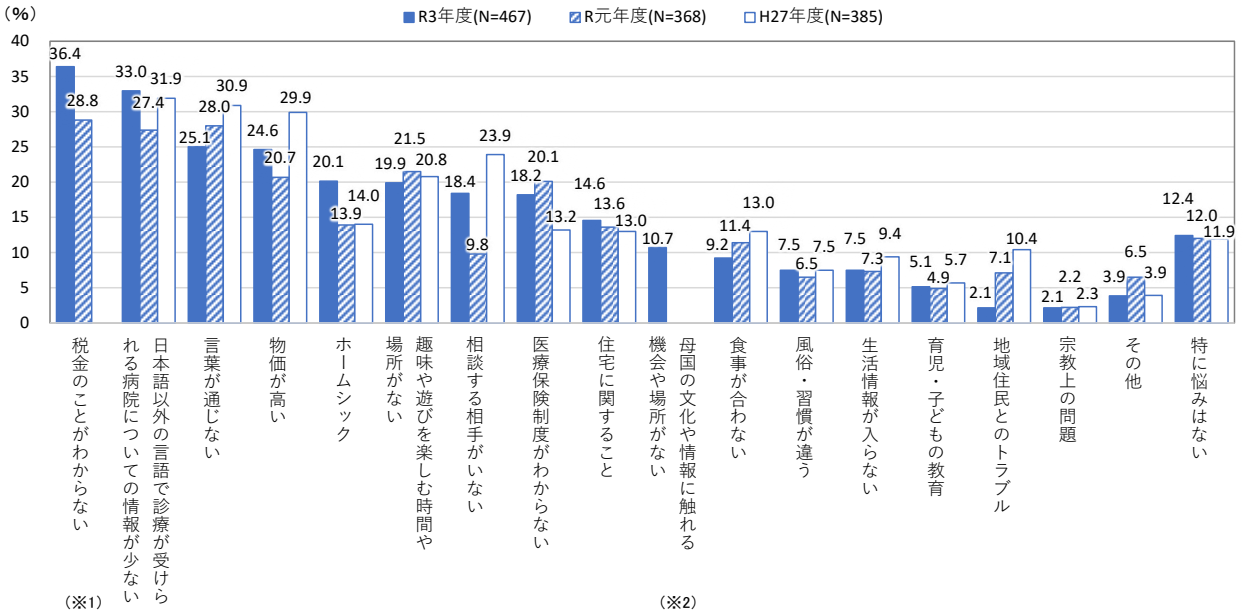
①悩みの内容【Q16】(複数回答)

日常生活での悩みや困ることを尋ねたところ、「税金のことがわからない」(36.4%)と回答した人が最も多く、以下、「日本語以外の言語で診療が受けられる病院についての情報が少ない」(33.0%)、「言葉が通じない」(25.1%)、「物価が高い」(24.6%)、「ホームシック」(20.1%)、「趣味や遊びを楽しむ時間や場所がない」(19.9%)、「相談する相手がいない」(18.4%)、「医療保険制度がわからない」(18.2%)と続いている。なお、「特に悩みはない」と回答した人は12.4%となっている。

【悩みの内容】



【悩みの内容(時系列)】



注1:(※1)H27年度調査にはない項目
注2:(※2)R元・H27年度調査にはない項目

国籍別にみると、韓国及びベトナムは「税金のことがわからない」、ネパールは「物価が高い」、その他（アジア）は「日本語以外の言語で診療が受けられる病院についての情報が少ない」と回答した人がそれぞれ最も多い。また、中国（台湾を含む）は「税金のことがわからない」、「趣味や遊びを楽しむ時間や場所がない」が27.2%と同率、その他（アジア以外）は「税金のことがわからない」、「日本語以外の言語で診療が受けられる病院についての情報が少ない」が35.9%で同率となっている。なお、その他（アジア以外）については、「特に悩みはない」と回答した人が28.2%と他の国籍に比べて高い。

年齢別にみると、29歳以下及び50～59歳は「税金のことがわからない」、30～39歳は「日本語以外の言語で診療が受けられる病院についての情報が少ない」と回答した人が最も多い。また、40～49歳は「税金のことがわからない」、「日本語以外の言語で診療が受けられる病院についての情報が少ない」が30.0%で同率となっている。

在留資格別にみると、留学（専修・各種学校・その他）及び就労（技術・人文知識・国際業務）において「税金のことがわからない」と回答した人が最も多い。また、家族滞在は「言葉が通じない」と回答した人が最も多い。

福岡市滞在年数別にみると、６か月未満及び１年以上～３年未満は「日本語以外の言語で診療が受けられる病院についての情報が少ない」、６か月～１年未満は「言葉が通じない」、３年以上～５年未満では「税金のことがわからない」と回答した人が最も多くなっている。

【悩みの内容（属性別特徴）】

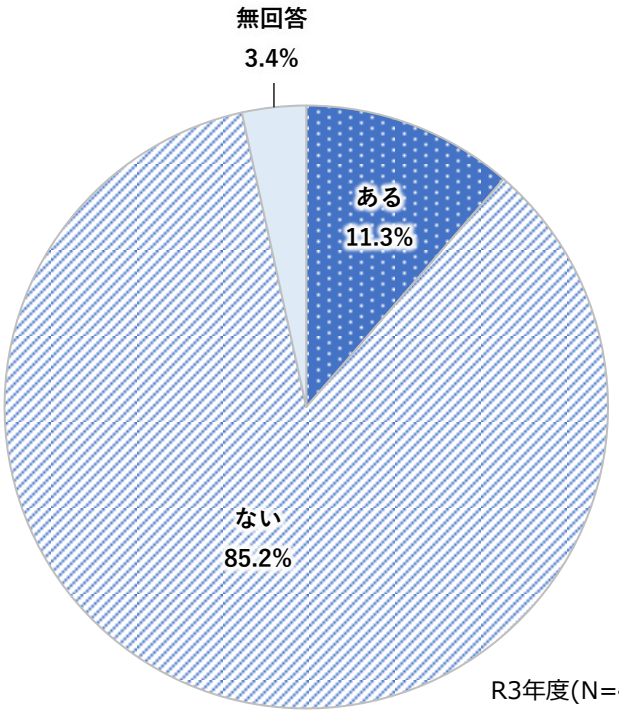
(%)

		サンプル数	税金のことがわからない	日本語以外の言語で診療が受けられる病院についての情報が少ない	言葉が通じない	物価が高い	ホームシック	趣味や遊びを楽しむ時間や場所がない	相談する相手がいない	医療保険制度がわからない	住宅に関すること	母国の文化や情報に触れる機会や場所がない	食事が合わない	風俗・習慣が違う	生活情報が入らない	育児・子どもの教育	地域住民とのトラブル	宗教上の問題	その他	特に悩みはない	無回答
全体		467	170	154	117	115	94	93	86	85	68	50	43	35	35	24	10	10	18	58	2
		100.0	36.4	33.0	25.1	24.6	20.1	19.9	18.4	18.2	14.6	10.7	9.2	7.5	7.5	5.1	2.1	2.1	3.9	12.4	0.4
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	151	27.2	25.8	19.2	23.8	24.5	27.2	19.9	9.3	13.9	7.3	11.3	3.3	7.9	9.3	1.3	1.3	4.0	11.9	0.7
	韓国	43	51.2	20.9	4.7	4.7	18.6	25.6	14.0	16.3	20.9	11.6	4.7	2.3	4.7	-	-	-	4.7	16.3	-
	ベトナム	109	45.9	41.3	24.8	28.4	26.6	11.9	19.3	27.5	19.3	11.0	8.3	11.9	4.6	1.8	3.7	1.8	2.8	9.2	0.9
	ネパール	60	41.7	43.3	46.7	48.3	13.3	15.0	28.3	21.7	10.0	16.7	20.0	15.0	15.0	8.3	-	5.0	1.7	5.0	-
	その他（アジア）	63	28.6	33.3	30.2	22.2	9.5	22.2	9.5	22.2	7.9	14.3	3.2	6.3	6.3	1.6	1.6	4.8	4.8	14.3	-
	その他（アジア以外）	39	35.9	35.9	28.2	5.1	10.3	12.8	12.8	17.9	12.8	7.7	2.6	7.7	5.1	5.1	7.7	-	7.7	28.2	-
	無回答	2	-	-	50.0	50.0	100.0	-	50.0	-	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-
年齢別	29歳以下	311	39.2	32.8	21.9	29.3	23.8	22.2	21.2	20.9	16.4	10.6	10.9	7.4	6.8	3.5	2.6	2.3	2.6	9.3	0.6
	30～39歳	113	31.9	36.3	35.4	17.7	13.3	15.9	14.2	15.0	10.6	11.5	5.3	8.8	12.4	8.0	1.8	1.8	5.3	16.8	-
	40～49歳	20	30.0	30.0	15.0	-	10.0	20.0	20.0	15.0	5.0	10.0	5.0	10.0	-	15.0	-	5.0	5.0	25.0	-
	50～59歳	9	44.4	11.1	-	-	-	11.1	-	-	22.2	-	11.1	-	-	-	-	-	22.2	33.3	-
	60歳以上	7	-	42.9	57.1	28.6	14.3	14.3	-	-	28.6	14.3	14.3	-	-	14.3	-	-	14.3	-	-
	無回答	7	28.6	14.3	28.6	28.6	28.6	-	-	-	-	14.3	-	-	-	-	-	-	-	28.6	-
在留資格別	留学（大学、短大等）	97	32.0	24.7	16.5	20.6	27.8	33.0	22.7	13.4	14.4	11.3	10.3	3.1	7.2	-	4.1	-	3.1	8.2	1.0
	留学（日本語学校）	53	35.8	26.4	39.6	37.7	20.8	18.9	24.5	15.1	13.2	11.3	15.1	11.3	11.3	-	-	5.7	5.7	9.4	-
	留学（専修・各種学校・その他）	73	57.5	34.2	17.8	37.0	23.3	24.7	24.7	30.1	19.2	11.0	8.2	6.8	11.0	1.4	2.7	2.7	2.7	8.2	1.4
	就労（技術・人文知識・国際業務）	83	44.6	34.9	14.5	14.5	18.1	13.3	13.3	18.1	21.7	8.4	7.2	3.6	2.4	6.0	-	1.2	3.6	18.1	-
	就労（特定技能）	18	38.9	44.4	44.4	38.9	27.8	11.1	-	16.7	22.2	11.1	16.7	16.7	22.2	11.1	5.6	5.6	11.1	5.6	-
	就労（その他）	10	20.0	30.0	30.0	10.0	-	10.0	10.0	20.0	-	-	10.0	20.0	10.0	-	-	-	-	30.0	-
	家族滞在	31	22.6	51.6	54.8	19.4	6.5	6.5	16.1	9.7	6.5	9.7	3.2	6.5	3.2	19.4	-	3.2	-	12.9	-
	技能実習	36	16.7	36.1	33.3	30.6	19.4	5.6	19.4	25.0	5.6	11.1	11.1	19.4	-	2.8	2.8	-	-	13.9	-
	日本人の配偶者等	43	32.6	27.9	11.6	7.0	11.6	23.3	14.0	14.0	2.3	16.3	4.7	4.7	11.6	14.0	4.7	4.7	11.6	20.9	-
	特定活動	14	28.6	57.1	42.9	42.9	35.7	14.3	21.4	28.6	21.4	7.1	14.3	14.3	7.1	7.1	-	-	-	7.1	-
	その他	9	11.1	22.2	44.4	22.2	-	33.3	-	-	33.3	11.1	-	-	-	22.2	-	-	-	11.1	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡市在留年数別	６か月未満	21	33.3	42.9	33.3	19.0	28.6	23.8	14.3	23.8	9.5	9.5	9.5	9.5	4.8	14.3	4.8	4.8	-	14.3	-
	６か月～１年未満	88	34.1	23.9	35.2	27.3	23.9	22.7	21.6	13.6	15.9	5.7	14.8	12.5	6.8	-	-	4.5	5.7	10.2	1.1
	１年以上～３年未満	198	33.8	34.3	23.7	28.3	18.2	17.7	17.7	17.7	12.1	13.6	8.6	6.1	10.1	3.5	2.5	1.5	4.0	13.1	-
	３年以上～５年未満	160	41.3	35.0	20.0	19.4	19.4	20.6	18.1	20.6	17.5	10.0	6.9	6.3	5.0	8.8	2.5	1.3	3.1	12.5	0.6

②地域住民とのトラブルの有無【Q17】

地域住民とのトラブルの有無を尋ねたところ、「ある」が11.3%、「ない」が85.2%となっており、８割以上がトラブルはないと回答している。

【地域住民とのトラブルの有無】

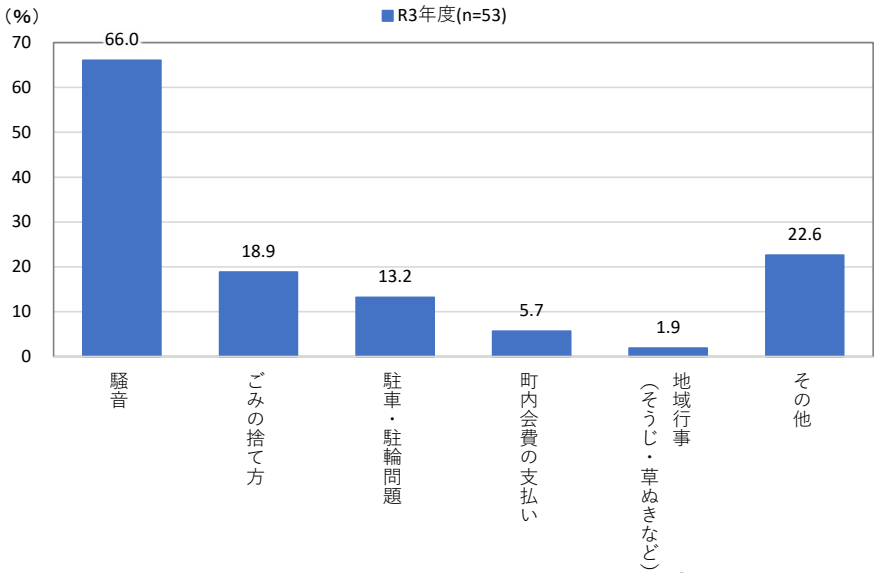


R3年度(N=467)

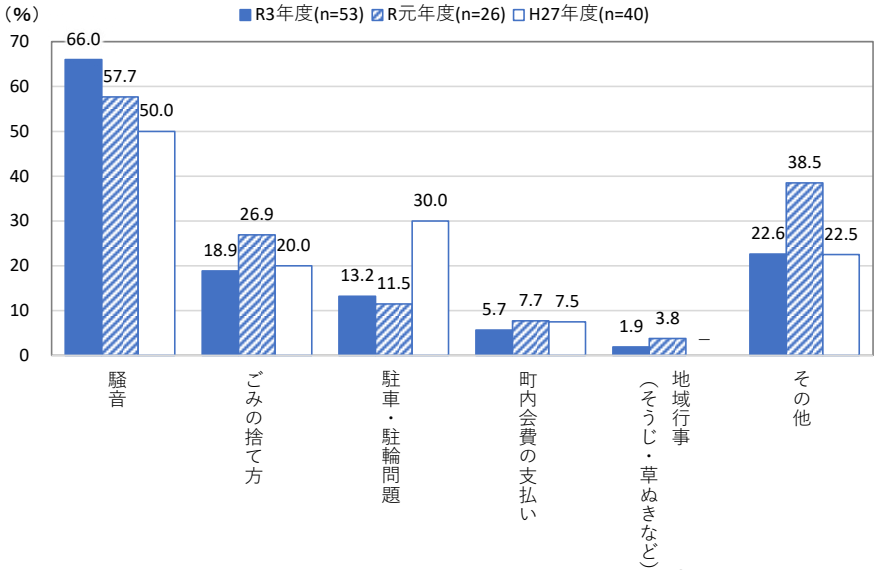
③地域住民とのトラブル内容【Q17-1】(複数回答)

地域住民とのトラブルがあると回答した方（53人）にトラブル内容を尋ねたところ、「騒音」（66.0%）が最も多く、以下、「ごみの捨て方」（18.9%）、「駐車・駐輪問題」（13.2%）と続いている。

【地域住民とのトラブル内容】



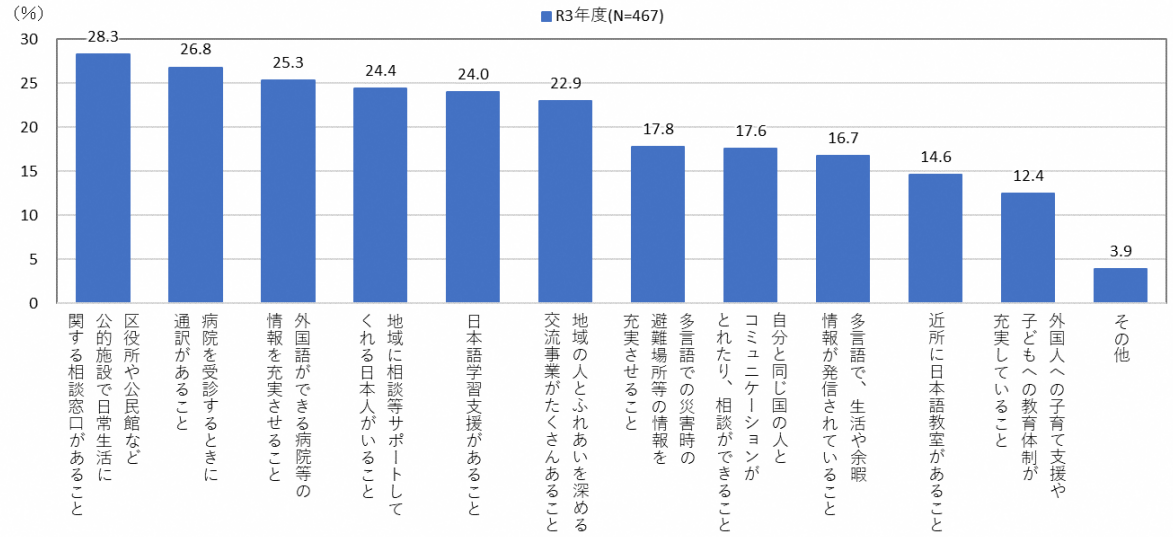
【地域住民とのトラブル内容（時系列）】



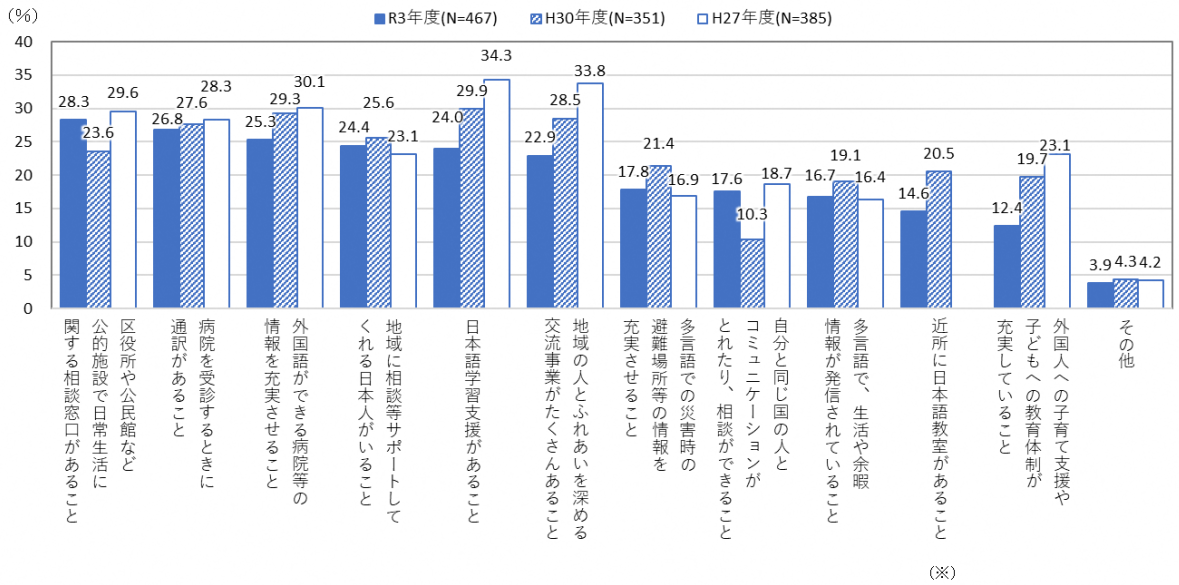
15. 外国人にも住みやすく活動しやすいまちに必要なこと【Q18】(複数回答)

外国人にも住みやすく活動しやすいまちになるために必要なことを尋ねたところ、「区役所や公民館など公的施設で日常生活に関する相談窓口があること」(28.3%)が最も多く、以下、「病院を受診するときに通訳があること」(26.8%)、「外国語ができる病院等の情報を充実させること」(25.3%)、「地域に相談等サポートしてくれる日本人がいること」(24.4%)、「日本語学習支援があること」(24.0%)「地域の人とふれあいを深める交流事業がたくさんあること」(22.9%)が続いている。

【外国人にも住みやすく活動しやすいまちに必要なこと】



【外国人にも住みやすく活動しやすいまちに必要なこと(時系列)】



注:(※)H27年度調査にはない項目

国籍別にみると、中国（台湾を含む）は「地域に相談等サポートしてくれる日本人がいること」、韓国及びベトナムは「区役所や公民館など公的施設で日常生活に関する相談窓口があること」、その他（アジア）は「地域の人とふれあいを深める交流事業がたくさんあること」と回答した人がそれぞれ最も多くなっている。ネパール及びその他（アジア以外）は「病院を受診するときに通訳があること」と「外国語ができる病院等の情報を充実させること」が各々同率で最も多くなっている。また、韓国は「区役所や公民館など公的施設で日常生活に関する相談窓口があること」と回答した人の割合が他の国籍に比べて高い。

年齢別にみると、29歳以下は「区役所や公民館など公的施設で日常生活に関する相談窓口があること」、30～39歳は「外国語ができる病院等の情報を充実させること」、40～49歳は「地域の人とふれあいを深める交流事業がたくさんあること」と回答した人がそれぞれ最も多い。

在留資格別にみると、留学（大学、短大等）及び留学（専修・各種学校・その他）は「区役所や公民館など公的施設で日常生活に関する相談窓口があること」、就労（その他）及び日本人の配偶者等は「地域の人とふれあいを深める交流事業がたくさんあること」、家族滞在は「地域に相談等サポートしてくれる日本人がいること」、技能実習は「日本語学習支援があること」と回答した人がそれぞれ最も多くなっている。また、留学（日本語学校）は「病院を受診するときに通訳があること」と「地域に相談等サポートしてくれる日本人がいること」が同率で最も多くなっている。なお、就労（特定技能）の「近所に日本語教室がある」は、回答した人の割合が他の資格と比べて高い。

福岡市滞在年数別にみると、６か月未満は「地域に相談等サポートしてくれる日本人がいること」と「日本語学習支援があること」が同率、６か月～１年未満は「区役所や公民館など公的施設で日常生活に関する相談窓口があること」、１年以上～３年未満は「地域に相談等サポートしてくれる日本人がいること」、３年以上～５年未満は「病院を受診するときに通訳があること」、「外国語ができる病院等の情報を充実させること」が同率で最も多くなっている。

【外国人にも住みやすく活動しやすいまちに必要なこと（属性別特徴）】

（%）

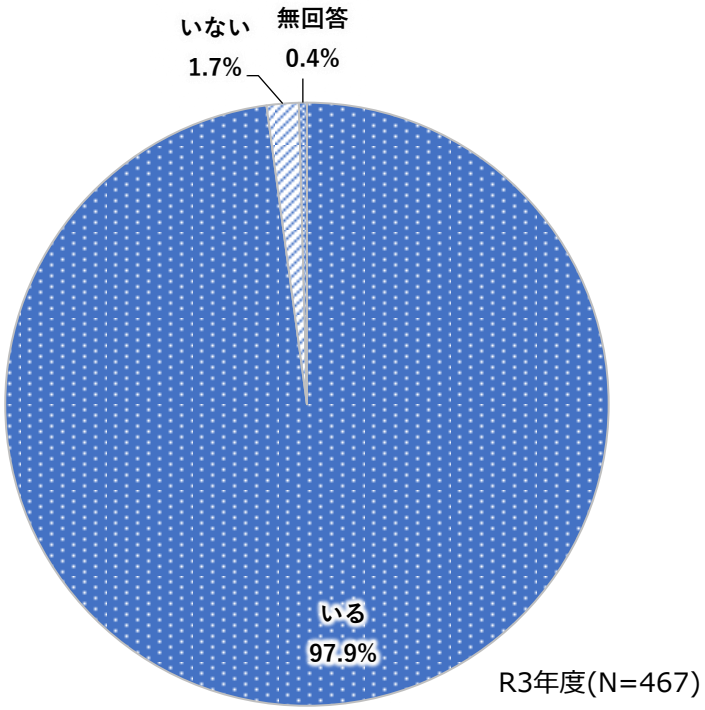
		サンプル数	区役所や公民館など公的施設で日常生活に関する相談窓口があること	病院を受診するときに通訳があること	外国語ができる病院等の情報を充実させること	地域に相談等サポートしてくれる日本人がいること	日本語学習支援があること	地域の人とふれあいを深める交流事業がたくさんあること	多言語での災害時の避難場所等の情報を充実させること	自分と同じ国の人とコミュニケーションがとれたり、相談ができること	多言語で、生活や余暇情報が発信されていること	近所に日本語教室があること	外国人への子育て支援や子どもへの教育体制が充実していること	その他	無回答
全　体		467	132	125	118	114	112	107	83	82	78	68	58	18	30
		100.0	28.3	26.8	25.3	24.4	24.0	22.9	17.8	17.6	16.7	14.6	12.4	3.9	6.4
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	151	23.8	24.5	16.6	26.5	25.8	21.9	10.6	25.8	19.9	17.2	13.9	2.0	4.0
	韓国	43	44.2	-	25.6	23.3	14.0	20.9	30.2	16.3	27.9	11.6	25.6	4.7	4.7
	ベトナム	109	30.3	29.4	27.5	15.6	28.4	19.3	17.4	13.8	15.6	22.0	7.3	1.8	10.1
	ネパール	60	35.0	36.7	36.7	33.3	16.7	21.7	25.0	8.3	16.7	8.3	11.7	1.7	8.3
	その他（アジア）	63	22.2	30.2	25.4	27.0	28.6	31.7	23.8	20.6	9.5	7.9	9.5	4.8	4.8
	その他（アジア以外）	39	20.5	35.9	35.9	23.1	17.9	28.2	12.8	5.1	5.1	7.7	12.8	17.9	7.7
	無回答	2	50.0	50.0	-	50.0	50.0	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-
年齢別	29歳以下	311	30.5	27.7	24.8	25.1	22.5	23.8	16.7	19.9	17.4	12.9	10.3	1.9	6.8
	30～39歳	113	24.8	28.3	29.2	21.2	25.7	15.0	20.4	11.5	19.5	16.8	17.7	6.2	5.3
	40～49歳	20	30.0	20.0	20.0	30.0	20.0	35.0	15.0	10.0	5.0	10.0	20.0	15.0	5.0
	50～59歳	9	33.3	-	11.1	44.4	44.4	44.4	22.2	-	11.1	33.3	-	-	11.1
	60歳以上	7	-	-	28.6	28.6	28.6	42.9	14.3	42.9	-	42.9	14.3	14.3	-
	無回答	7	-	42.9	14.3	-	42.9	28.6	28.6	28.6	-	14.3	14.3	14.3	14.3
在留資格別	留学（大学、短大等）	97	30.9	26.8	23.7	26.8	23.7	23.7	16.5	19.6	16.5	10.3	9.3	3.1	4.1
	留学（日本語学校）	53	32.1	34.0	13.2	34.0	32.1	22.6	13.2	20.8	17.0	17.0	7.5	-	7.5
	留学（専修・各種学校・その他）	73	37.0	35.6	34.2	23.3	24.7	17.8	13.7	15.1	19.2	9.6	6.8	1.4	8.2
	就労（技術・人文知識・国際業務）	83	26.5	20.5	26.5	21.7	10.8	25.3	21.7	22.9	16.9	12.0	15.7	4.8	6.0
	就労（特定技能）	18	27.8	27.8	27.8	11.1	33.3	5.6	33.3	-	27.8	38.9	5.6	11.1	5.6
	就労（その他）	10	20.0	30.0	10.0	-	30.0	40.0	20.0	-	20.0	20.0	10.0	20.0	10.0
	家族滞在	31	19.4	25.8	32.3	35.5	29.0	12.9	19.4	3.2	12.9	22.6	29.0	3.2	6.5
	技能実習	36	22.2	25.0	25.0	19.4	30.6	11.1	22.2	16.7	8.3	25.0	11.1	2.8	11.1
	日本人の配偶者等	43	20.9	20.9	18.6	18.6	25.6	34.9	18.6	20.9	16.3	9.3	23.3	9.3	2.3
	特定活動	14	28.6	21.4	42.9	28.6	21.4	42.9	7.1	28.6	7.1	21.4	7.1	-	7.1
	その他	9	22.2	11.1	22.2	33.3	22.2	44.4	11.1	22.2	33.3	-	11.1	-	11.1
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
居住地別	東区	87	28.7	25.3	24.1	31.0	19.5	29.9	18.4	12.6	17.2	17.2	16.1	3.4	5.7
	博多区	118	28.0	25.4	28.8	18.6	22.0	26.3	19.5	20.3	21.2	13.6	11.0	0.8	5.1
	中央区	55	21.8	27.3	23.6	21.8	27.3	16.4	18.2	20.0	10.9	16.4	12.7	7.3	10.9
	南区	79	31.6	36.7	21.5	21.5	29.1	13.9	13.9	20.3	16.5	17.7	12.7	5.1	6.3
	城南区	22	18.2	36.4	31.8	31.8	13.6	18.2	27.3	4.5	13.6	-	13.6	-	9.1
	早良区	39	35.9	20.5	25.6	28.2	25.6	30.8	15.4	23.1	15.4	15.4	5.1	2.6	2.6
	西区	65	29.2	20.0	24.6	26.2	26.2	21.5	16.9	15.4	13.8	10.8	12.3	7.7	7.7
	無回答	2	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-	50.0	50.0	50.0	-	-
福岡市在住年数別	６か月未満	21	4.8	19.0	28.6	42.9	42.9	28.6	19.0	14.3	9.5	4.8	19.0	9.5	-
	６か月～１年未満	88	36.4	29.5	15.9	22.7	34.1	23.9	14.8	23.9	19.3	23.9	8.0	1.1	3.4
	１年以上～３年未満	198	27.8	25.3	26.8	30.3	19.7	20.7	20.7	17.7	14.1	15.7	10.6	3.5	6.1
	３年以上～５年未満	160	27.5	28.1	28.1	15.6	21.3	24.4	15.6	14.4	19.4	9.4	16.3	5.0	9.4

16. 日常生活で相談できる相手【Q19】

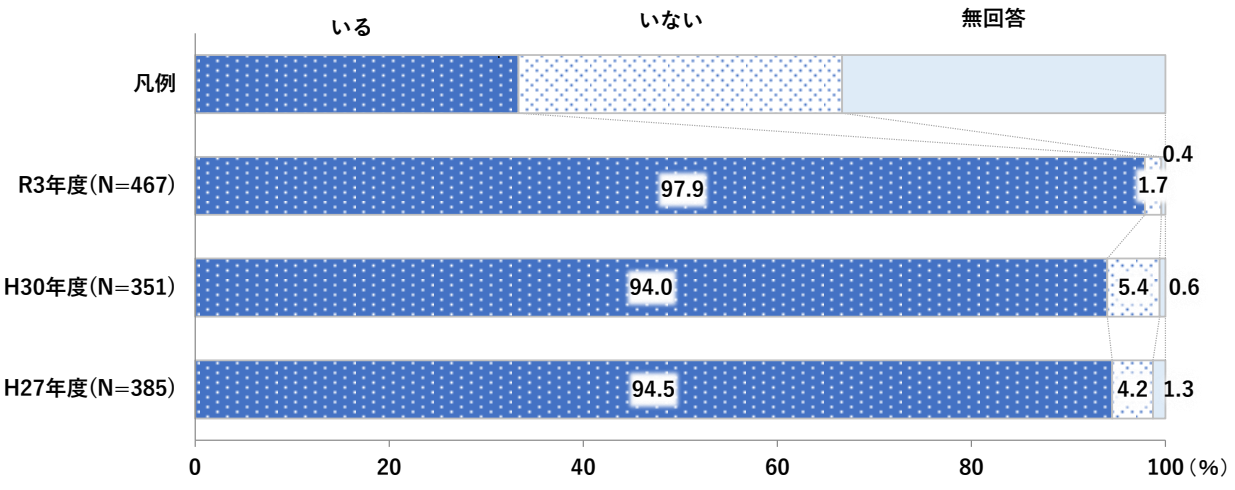
①日常生活で相談できる相手の有無

日常生活で困ったときに近所に相談できる人がいるか尋ねたところ、「いる」（97.9%）が９割を超えている。

【日常生活で相談できる相手の有無】



【日常生活で相談できる相手の有無（時系列）】



属性別にみても、全体結果とほぼ同様の傾向を示している。

【日常生活で相談できる相手の有無（属性別特徴）】

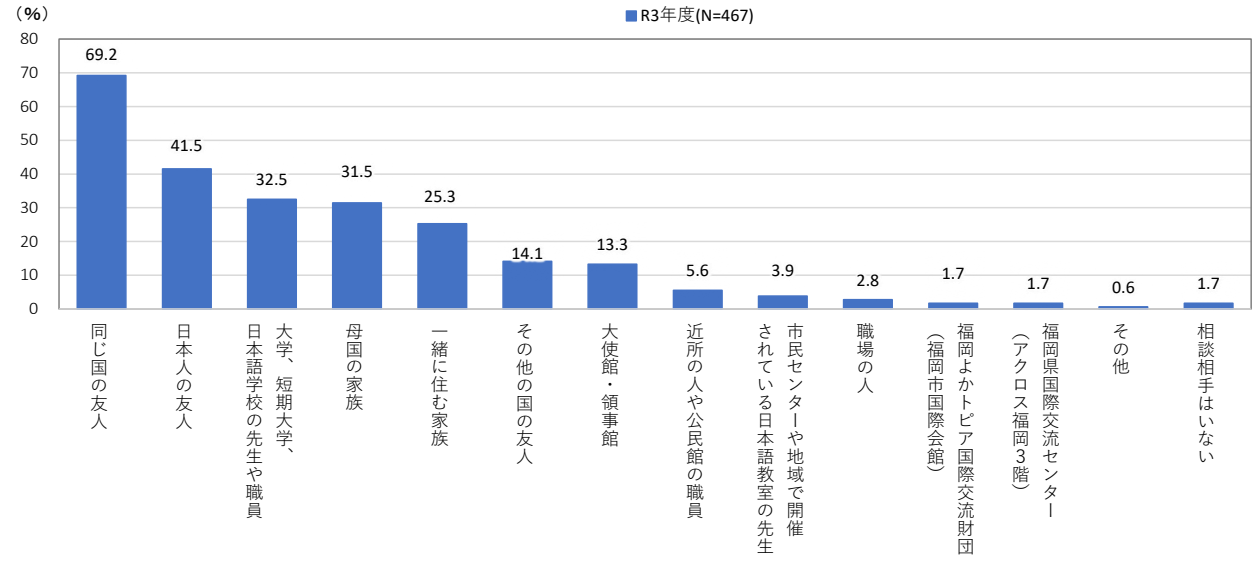
（%）

		サンプル数	いる	いない	無回答
全　体		467	457	8	2
		100.0	97.9	1.7	0.4
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	151	98.7	1.3	-
	韓国	43	100.0	-	-
	ベトナム	109	96.3	2.8	0.9
	ネパール	60	96.7	3.3	-
	その他（アジア）	63	98.4	-	1.6
	その他（アジア以外）	39	97.4	2.6	-
	無回答	2	100.0	-	-
年齢別	29歳以下	311	97.1	2.6	0.3
	30～39歳	113	100.0	-	-
	40～49歳	20	100.0	-	-
	50～59歳	9	100.0	-	-
	60歳以上	7	100.0	-	-
	無回答	7	85.7	-	14.3
在留資格別	留学（大学、短大等）	97	99.0	1.0	-
	留学（日本語学校）	53	98.1	1.9	-
	留学（専修・各種学校・その他）	73	94.5	4.1	1.4
	就労（技術・人文知識・国際業務）	83	98.8	1.2	-
	就労（特定技能）	18	100.0	-	-
	就労（その他）	10	100.0	-	-
	家族滞在	31	100.0	-	-
	技能実習	36	97.2	2.8	-
	日本人の配偶者等	43	95.3	2.3	2.3
	特定活動	14	100.0	-	-
	その他	9	100.0	-	-
	無回答	-	-	-	-
在福岡市別滞年数	６か月未満	21	100.0	-	-
	６か月～１年未満	88	100.0	-	-
	１年以上～３年未満	198	97.5	1.5	1.0
	３年以上～５年未満	160	96.9	3.1	-

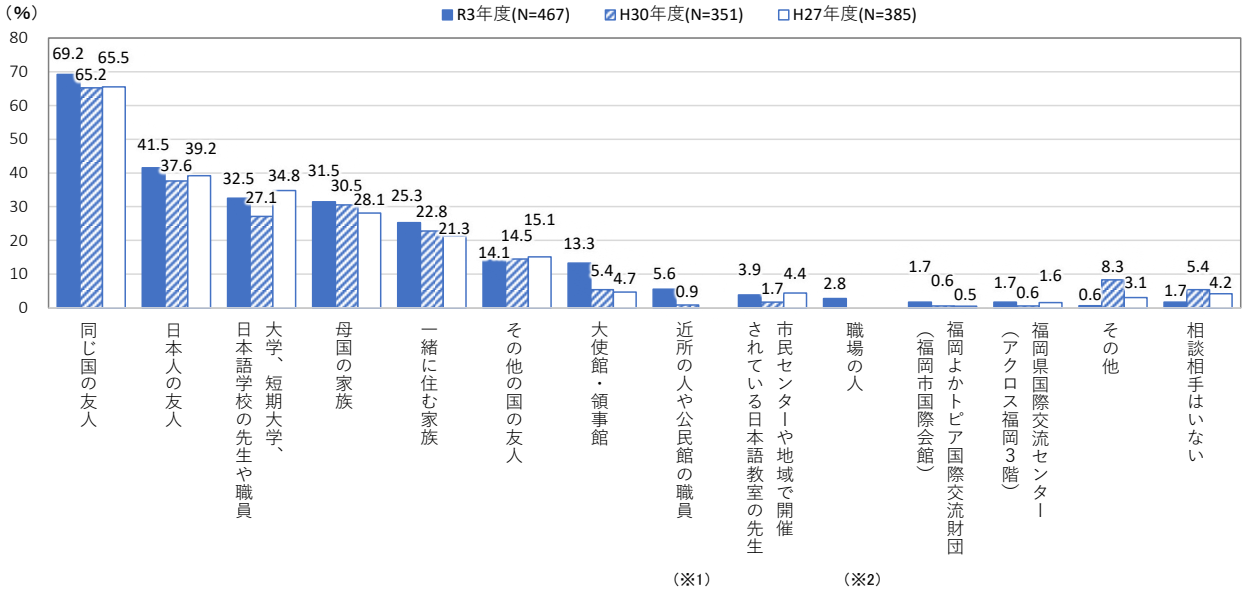
②日常生活で相談できる相手(複数回答)

日常生活で相談できる相手を尋ねたところ、「同じ国の友人」(69.2%)が最も多く、以下、「日本人の友人」(41.5%)、「大学、短期大学、日本語学校の先生や職員」(32.5%)、「母国の家族」(31.5%)、「一緒に住む家族」(25.3%)と続いている。なお、「相談相手はいない」(1.7%)と回答した人は1割に満たない。

【日常生活で相談できる相手】



【日常生活で相談できる相手(時系列)】



注1:(※1)H27年度調査にはない項目
注2:(※2)R3年度調査は「その他」から抽出。H30・H27年度にはない項目

国籍別にみると、韓国及びその他（アジア以外）は「日本人の友人」、それ以外の国籍は「同じ国の友人」と回答した人が最も多い。また、ネパールは「大学、短期大学、日本語学校の先生や職員」回答した人の割合が、他の国籍に比べて高い。

年齢別にみると、29歳以下及び30～39歳は「同じ国の友人」、40～49歳及び60歳以上は「一緒に住む家族」、50～59歳は「日本人の友人」及び「一緒に住む家族」と回答した人がそれぞれ最も多くなっている。

在留資格別にみると、家族滞在及び日本人の配偶者等は「一緒に住む家族」、就労（技術・人文知識・国際業務）は「日本人の友人」、それ以外の資格は「同じ国の友人」と回答した人が最も多くなっている。また、留学（大学、短大等）、留学（日本語学校）、留学（専修・各種学校・その他）は「大学、短期大学、日本語学校の先生や職員」の割合が、他の資格に比べ高くなっている。

福岡市滞在年数別にみると、いずれの滞在年数も「同じ国の友人」を回答した人が最も多い。

【日常生活で相談できる相手（属性別特徴）】

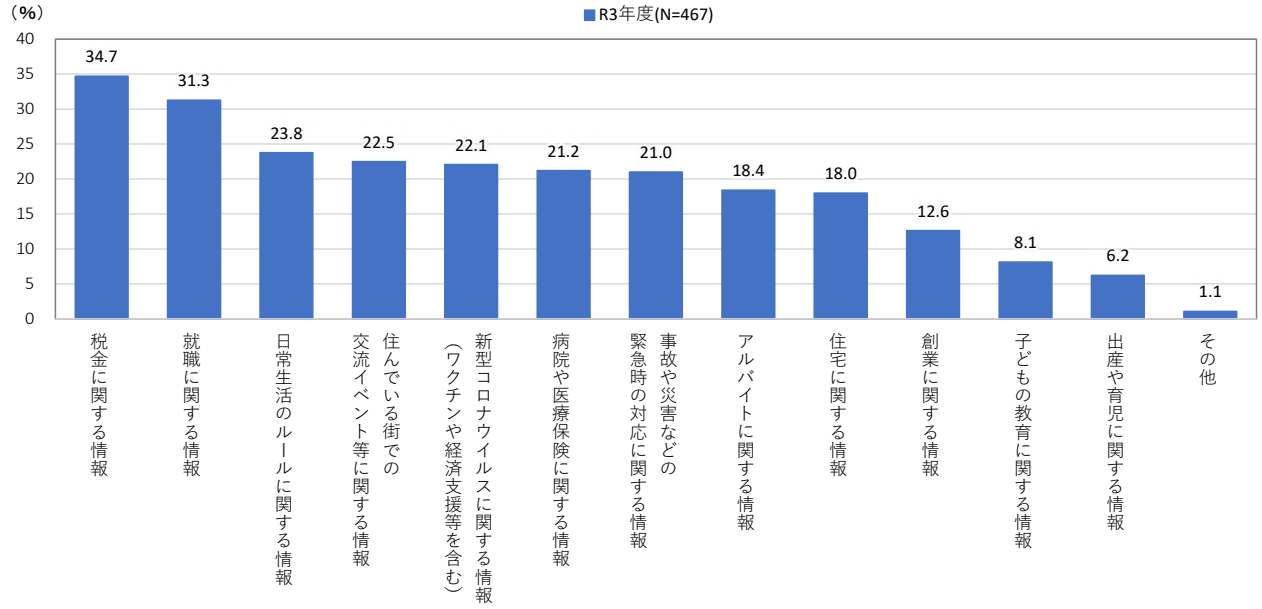
（%）

		サンプル数	同じ国の友人	日本人の友人	大学、短期大学、日本語学校の先生や職員	母国の家族	一緒に住む家族	その他の国の友人	大使館・領事館	近所の人や公民館の職員	市民センターや地域で開催されている日本語教室の先生	職場の人	福岡よかトピア国際交流財団（福岡市国際会館）	福岡県国際交流センター（アクロス福岡）	その他	相談相手はいない	無回答
全体		467	323	194	152	147	118	66	62	26	18	13	8	8	3	8	2
		100.0	69.2	41.5	32.5	31.5	25.3	14.1	13.3	5.6	3.9	2.8	1.7	1.7	0.6	1.7	0.4
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	151	78.1	39.1	28.5	32.5	23.2	11.9	9.3	1.3	1.3	0.7	-	0.7	0.7	1.3	-
	韓国	43	48.8	60.5	30.2	32.6	37.2	4.7	25.6	2.3	2.3	9.3	2.3	-	-	-	-
	ベトナム	109	77.1	30.3	27.5	33.9	9.2	10.1	11.0	7.3	1.8	2.8	-	0.9	1.8	2.8	0.9
	ネパール	60	80.0	26.7	63.3	31.7	30.0	11.7	8.3	11.7	8.3	-	10.0	8.3	-	3.3	-
	その他（アジア）	63	65.1	52.4	23.8	25.4	33.3	20.6	20.6	9.5	11.1	6.3	1.6	1.6	-	-	1.6
	その他（アジア以外）	39	25.6	66.7	30.8	28.2	46.2	38.5	17.9	5.1	2.6	2.6	-	-	-	2.6	-
	無回答	2	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年齢別	29歳以下	311	76.2	40.2	41.2	32.8	14.1	13.2	11.9	5.8	3.9	2.9	2.3	1.9	1.0	2.6	0.3
	30～39歳	113	56.6	45.1	15.9	31.0	40.7	16.8	16.8	4.4	4.4	2.7	-	0.9	-	-	-
	40～49歳	20	55.0	45.0	5.0	25.0	75.0	20.0	20.0	-	-	5.0	5.0	5.0	-	-	-
	50～59歳	9	11.1	66.7	22.2	11.1	66.7	-	11.1	11.1	11.1	-	-	-	-	-	-
	60歳以上	7	71.4	42.9	14.3	14.3	85.7	14.3	14.3	14.3	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	7	71.4	-	28.6	42.9	14.3	14.3	-	14.3	-	-	-	-	-	-	14.3
在留資格別	留学（大学、短大等）	97	80.4	44.3	60.8	35.1	7.2	16.5	16.5	-	2.1	-	2.1	1.0	1.0	1.0	-
	留学（日本語学校）	53	79.2	20.8	66.0	41.5	13.2	13.2	15.1	3.8	5.7	-	3.8	1.9	-	1.9	-
	留学（専修・各種学校・その他）	73	69.9	37.0	49.3	31.5	8.2	9.6	6.8	11.0	2.7	-	2.7	2.7	-	4.1	1.4
	就労（技術・人文知識・国際業務）	83	65.1	67.5	10.8	24.1	18.1	21.7	15.7	7.2	1.2	8.4	-	2.4	-	1.2	-
	就労（特定技能）	18	72.2	27.8	11.1	38.9	27.8	27.8	11.1	11.1	-	5.6	-	-	-	-	-
	就労（その他）	10	60.0	40.0	20.0	20.0	30.0	30.0	20.0	10.0	10.0	-	-	-	-	-	-
	家族滞在	31	54.8	32.3	6.5	41.9	74.2	9.7	6.5	6.5	9.7	-	3.2	-	-	-	-
	技能実習	36	77.8	33.3	8.3	38.9	11.1	2.8	8.3	5.6	8.3	11.1	-	-	2.8	2.8	-
	日本人の配偶者等	43	34.9	34.9	-	14.0	90.7	7.0	16.3	2.3	4.7	2.3	2.3	2.3	-	2.3	2.3
	特定活動	14	92.9	50.0	21.4	21.4	28.6	14.3	21.4	14.3	7.1	-	-	7.1	-	-	-
	その他	9	66.7	44.4	11.1	33.3	55.6	11.1	11.1	-	-	-	-	-	11.1	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
在福岡市滞年数別	６か月未満	21	57.1	38.1	33.3	38.1	28.6	19.0	14.3	9.5	4.8	-	-	-	-	-	-
	６か月～１年未満	88	76.1	35.2	36.4	34.1	12.5	15.9	6.8	4.5	5.7	2.3	3.4	1.1	2.3	-	-
	１年以上～３年未満	198	72.2	43.4	30.3	31.3	24.7	13.1	15.7	5.6	3.0	3.0	1.5	2.5	-	1.5	1.0
	３年以上～５年未満	160	63.1	43.1	33.1	29.4	32.5	13.8	13.8	5.6	3.8	3.1	1.3	1.3	0.6	3.1	-

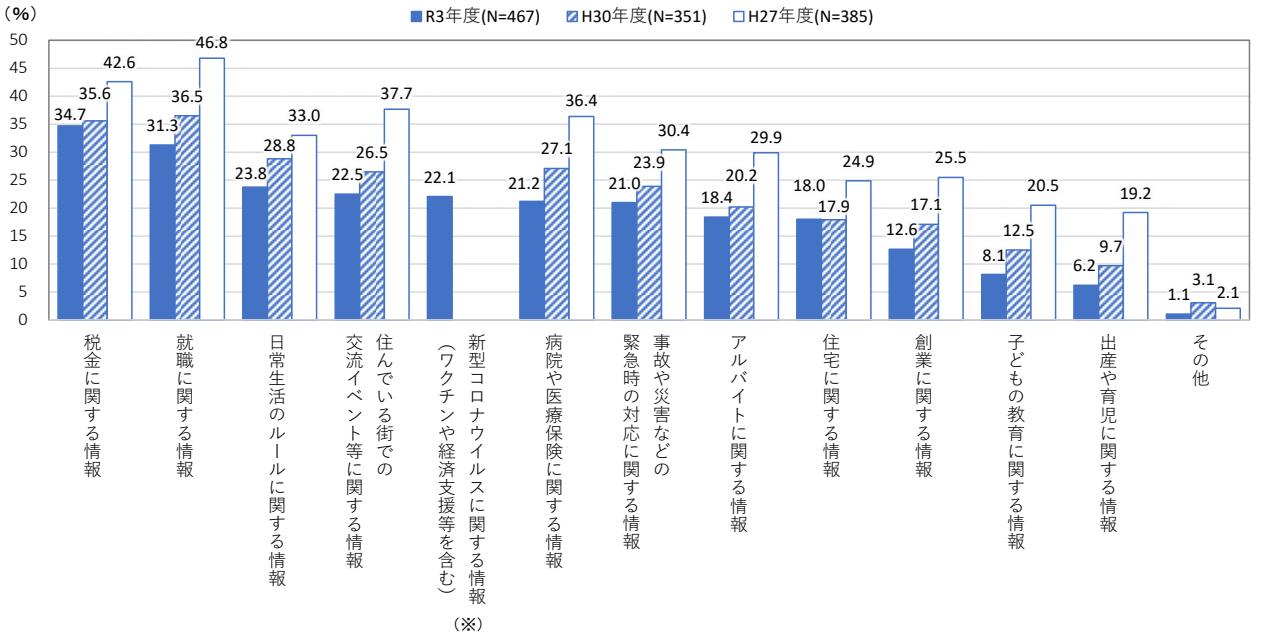
17. 特に欲しい情報【Q20】(複数回答)

特に欲しい情報を尋ねたところ、「税金に関する情報」(34.7%)が最も多く、以下、「就職に関する情報」(31.3%)、「日常生活のルールに関する情報」(23.8%)、「住んでいる街での交流イベント等に関する情報」(22.5%)、「新型コロナウイルスに関する情報(ワクチンや経済支援等を含む)」(22.1%)と続いている。

【特に欲しい情報】



【特に欲しい情報(時系列)】



注1:R3・H30年度調査では○は最大3つまで、H27年度は○は最大5つまで
注2:(※)H30・H27年度調査にはない項目

国籍別にみると、中国（台湾を含む）は「就職に関する情報」、韓国、ベトナム及びその他（アジア以外）は「税金に関する情報」、ネパールは「日常生活のルールに関する情報」、その他（アジア）は「新型コロナウイルスに関する情報（ワクチンや経済支援等を含む）」と回答した人が最も多くなっている。

年齢別にみると、60歳以上を除く年代において「税金に関する情報」と回答した人が最も多くなっている。

在留資格別にみると、留学（専修・各種学校・その他）及び就労（技術・人文知識・国際業務）は「税金に関する情報」、留学（大学、短大等）及び日本人の配偶者等は「就職に関する情報」、留学（日本語学校）は「日常生活のルールに関する情報」、就労（特定技能）は「就職に関する情報」と「日常生活のルールに関する情報」、家族滞在は「子どもの教育に関する情報」、技能実習は「新型コロナウイルスに関する情報（ワクチンや経済支援等を含む）」と回答した人が最も多い。

福岡市滞在年数別にみると、６か月未満は「病院や医療保険に関する情報」、それ以外の滞在年数は「税金に関する情報」と回答した人が最も多くなっている。

【特にほしい情報（属性別特徴）】

（%）

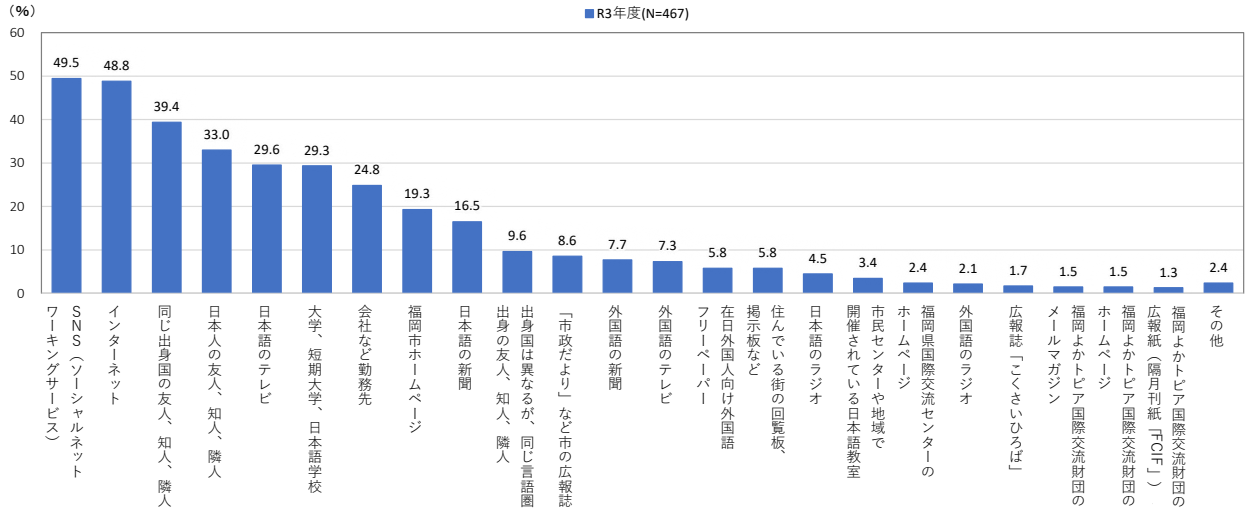
		サンプル数	税金に関する情報	就職に関する情報	日常生活のルールに関する情報	住んでいる街での交流イベント等に関する情報	新型コロナウイルスに関する情報（ワクチンや経済支援等を含む）	病院や医療保険に関する情報	事故や災害などの緊急時の対応に関する情報	アルバイトに関する情報	住宅に関する情報	創業に関する情報	子どもの教育に関する情報	出産や育児に関する情報	その他	無回答
全体		467	162	146	111	105	103	99	98	86	84	59	38	29	5	31
		100.0	34.7	31.3	23.8	22.5	22.1	21.2	21.0	18.4	18.0	12.6	8.1	6.2	1.1	6.6
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	151	31.1	33.1	19.9	24.5	25.8	14.6	13.2	19.2	13.9	20.5	11.3	5.3	1.3	3.3
	韓国	43	58.1	27.9	23.3	20.9	18.6	27.9	16.3	9.3	25.6	11.6	14.0	9.3	-	2.3
	ベトナム	109	44.0	38.5	19.3	22.0	23.9	23.9	24.8	21.1	19.3	0.9	1.8	4.6	0.9	8.3
	ネパール	60	16.7	31.7	46.7	18.3	13.3	18.3	31.7	18.3	20.0	15.0	6.7	5.0	-	10.0
	その他（アジア）	63	25.4	22.2	23.8	23.8	31.7	28.6	28.6	22.2	17.5	9.5	3.2	9.5	1.6	4.8
	その他（アジア以外）	39	41.0	17.9	15.4	20.5	5.1	25.6	17.9	10.3	20.5	17.9	17.9	7.7	2.6	17.9
	無回答	2	-	100.0	50.0	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-
年齢別	29歳以下	311	36.3	34.4	24.1	22.5	25.1	20.3	22.8	20.3	15.4	9.0	3.2	5.8	1.0	6.8
	30～39歳	113	31.0	27.4	25.7	23.9	17.7	22.1	18.6	14.2	20.4	21.2	18.6	8.8	1.8	3.5
	40～49歳	20	35.0	20.0	-	35.0	5.0	20.0	5.0	20.0	20.0	30.0	30.0	5.0	-	10.0
	50～59歳	9	55.6	22.2	33.3	-	11.1	44.4	11.1	22.2	33.3	11.1	-	-	-	11.1
	60歳以上	7	14.3	14.3	28.6	14.3	28.6	42.9	14.3	-	42.9	-	14.3	-	-	-
	無回答	7	14.3	14.3	28.6	-	14.3	-	42.9	14.3	42.9	-	-	-	-	42.9
在留資格別	留学（大学、短大等）	97	25.8	38.1	20.6	20.6	17.5	21.6	23.7	22.7	21.6	9.3	2.1	2.1	2.1	6.2
	留学（日本語学校）	53	24.5	34.0	45.3	32.1	15.1	15.1	28.3	32.1	11.3	5.7	1.9	1.9	-	3.8
	留学（専修・各種学校・その他）	73	45.2	38.4	27.4	13.7	24.7	24.7	17.8	27.4	13.7	13.7	1.4	2.7	-	9.6
	就労（技術・人文知識・国際業務）	83	53.0	24.1	14.5	28.9	21.7	26.5	20.5	3.6	18.1	16.9	12.0	12.0	1.2	3.6
	就労（特定技能）	18	27.8	33.3	33.3	16.7	22.2	5.6	16.7	16.7	27.8	11.1	5.6	5.6	-	16.7
	就労（その他）	10	40.0	10.0	40.0	10.0	10.0	30.0	-	-	30.0	-	-	10.0	-	20.0
	家族滞在	31	32.3	9.7	12.9	12.9	25.8	29.0	12.9	16.1	29.0	9.7	35.5	16.1	-	9.7
	技能実習	36	27.8	25.0	25.0	22.2	55.6	16.7	36.1	8.3	5.6	2.8	2.8	2.8	5.6	2.8
	日本人の配偶者等	43	32.6	39.5	14.0	30.2	11.6	16.3	11.6	25.6	16.3	30.2	20.9	9.3	-	2.3
	特定活動	14	28.6	28.6	42.9	28.6	14.3	14.3	28.6	-	28.6	7.1	7.1	-	-	14.3
	その他	9	-	33.3	-	11.1	22.2	22.2	11.1	22.2	22.2	33.3	11.1	22.2	-	11.1
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡市滞在年数別	６か月未満	21	28.6	14.3	14.3	23.8	23.8	38.1	23.8	14.3	19.0	4.8	19.0	28.6	-	4.8
	６か月～１年未満	88	34.1	29.5	29.5	27.3	20.5	17.0	25.0	25.0	17.0	6.8	6.8	5.7	-	4.5
	１年以上～３年未満	198	37.9	33.8	22.2	24.7	26.3	18.7	19.7	15.2	14.6	10.6	5.1	4.5	1.5	6.1
	３年以上～５年未満	160	31.9	31.3	23.8	16.9	17.5	24.4	20.0	19.4	22.5	19.4	11.3	5.6	1.3	8.8

18. 地域情報の入手経路【Q21】【Q21-1】

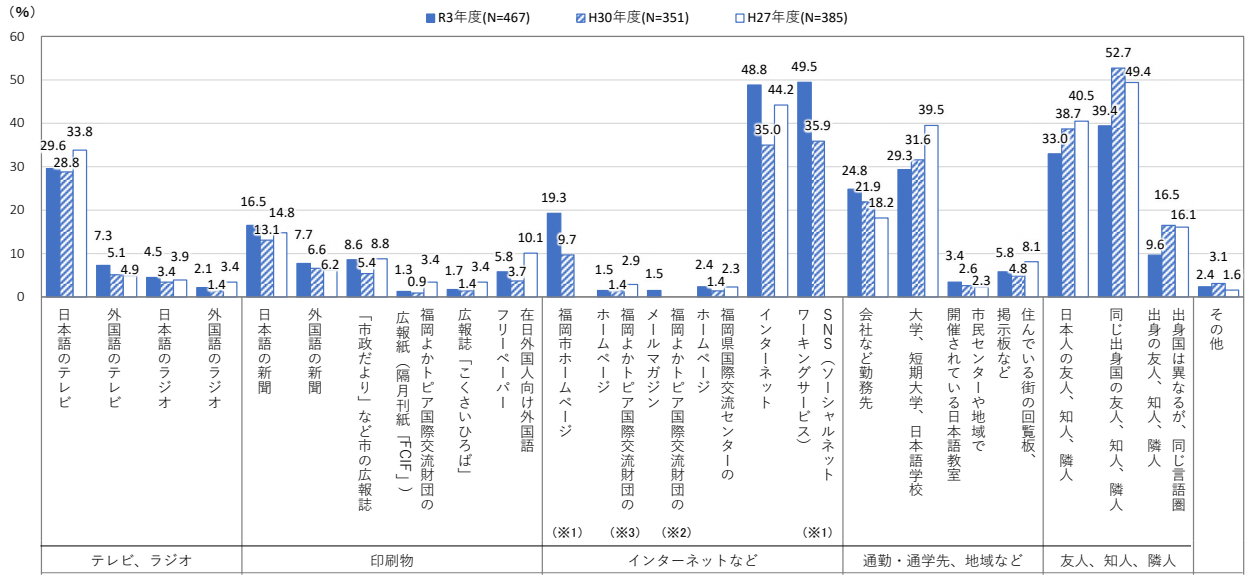
①地域情報の入手経路【Q21】(複数回答)

普段、生活に関する地域の情報をどこから得ているか尋ねたところ、「ＳＮＳ（ソーシャルネットワーキングサービス）」(49.5%)、が最も多く、以下、「インターネット」(48.8%)、「同じ出身国の友人、知人、隣人」(39.4%)、「日本人の友人、知人、隣人」(33.0%)、「日本語のテレビ」(29.6%)、「大学、短期大学、日本語学校」(29.3%）と続いている。

【地域情報の入手経路】



【地域情報の入手経路（時系列）】



注1：(※1)H27年度調査にはない項目
注2：(※2)H30・H27年度調査にはない項目
注3：(※3)H27年度調査では「福岡よかトピア国際交流財団のホームページ・レインボープラザのホームページ」

国籍別にみると、中国（台湾を含む）及びその他（アジア）は、「SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）」、韓国、ネパール及びその他（アジア以外）は、「インターネット」、ベトナムは「同じ出身国の友人、知人、隣人」と回答した人が最も多くなっている。
また、ネパールの「在日外国人向け外国語フリーペーパー」と「大学、短期大学、日本語学校」は、回答した人の割合が他の国籍と比べて高い。

年齢別にみると、29歳以下、30～39歳は、「インターネット」と「SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）」、40～49歳、50～59歳、60歳以上は「日本語のテレビ」と回答した人が多くなっている。

在留資格別にみると、いずれの資格とも「インターネット」と「SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）」を回答した人が多くなっている。
また、留学（大学、短大等）、留学（日本語学校）及び留学（専修・各種学校・その他）の「大学、短期大学、日本語学校」、就労（特定技能）及び家族滞在の「同じ出身国の友人、知人、隣人」、日本人の配偶者等の「日本語のテレビ」は、回答した人の割合が他の資格と比べ高い。

福岡市滞在年数別にみると、いずれの滞在年数とも「インターネット」と「SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）」と回答した人が多くなっている。また、６か月～１年未満の「同じ出身国の友人、知人、隣人」は、回答した人の割合が他の年数に比べて高い。

【地域情報の入手経路（属性別特徴）】

（%）

		サンプル数	[テレビ・ラジオ]				[印刷物]						[インターネットなど]					
			日本語のテレビ	外国語のテレビ	日本語のラジオ	外国語のラジオ	日本語の新聞	外国語の新聞	「市政だより」など市の広報誌	福岡よかトピア国際交流財団の広報紙（隔月刊紙ーFCIー）	広報誌「こくさいひろば」	在日外国人向け外国語フリーペーパー	福岡市ホームページ	福岡よかトピア国際交流財団のホームページ	福岡県国際交流センターのホームページ	福岡よかトピア国際交流財団のメールマガジン	インターネット	SNS（ソーシャルネットワーキンググサービス）
	全　体	467	138	34	21	10	77	36	40	6	8	27	90	7	11	7	228	231
		100.0	29.6	7.3	4.5	2.1	16.5	7.7	8.6	1.3	1.7	5.8	19.3	1.5	2.4	1.5	48.8	49.5
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	151	35.1	4.6	4.0	2.0	24.5	8.6	16.6	-	0.7	1.3	16.6	0.7	-	-	37.7	52.3
	韓国	43	32.6	2.3	-	-	11.6	-	4.7	-	2.3	-	25.6	-	2.3	-	60.5	41.9
	ベトナム	109	22.9	7.3	4.6	1.8	11.9	9.2	7.3	1.8	0.9	3.7	22.0	2.8	2.8	5.5	51.4	45.0
	ネパール	60	26.7	10.0	6.7	1.7	20.0	8.3	3.3	5.0	6.7	20.0	20.0	1.7	6.7	-	58.3	51.7
	その他（アジア）	63	34.9	11.1	6.3	-	12.7	4.8	3.2	1.6	1.6	9.5	19.0	3.2	3.2	1.6	46.0	60.3
	その他（アジア以外）	39	17.9	10.3	2.6	7.7	5.1	12.8	2.6	-	-	7.7	12.8	-	-	-	64.1	41.0
	無回答	2	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-
年齢別	29歳以下	311	28.0	7.1	4.5	1.6	19.3	8.4	7.4	1.3	1.9	6.1	20.3	1.6	3.2	1.6	50.8	51.1
	30～39歳	113	22.1	6.2	3.5	2.7	11.5	6.2	10.6	1.8	-	4.4	18.6	-	-	0.9	48.7	48.7
	40～49歳	20	65.0	15.0	15.0	-	5.0	15.0	10.0	-	5.0	15.0	10.0	10.0	5.0	-	35.0	40.0
	50～59歳	9	66.7	-	-	-	22.2	-	22.2	-	11.1	-	11.1	-	-	-	44.4	11.1
	60歳以上	7	42.9	14.3	-	28.6	-	-	14.3	-	-	-	28.6	-	-	-	28.6	28.6
	無回答	7	57.1	14.3	-	-	14.3	-	-	-	-	-	14.3	-	-	14.3	28.6	85.7
在留資格別	留学（大学、短大等）	97	20.6	5.2	2.1	3.1	23.7	9.3	7.2	1.0	-	4.1	16.5	-	3.1	-	53.6	57.7
	留学（日本語学校）	53	24.5	13.2	5.7	-	22.6	1.9	9.4	1.9	1.9	7.5	13.2	5.7	1.9	5.7	50.9	50.9
	留学（専修・各種学校・その他）	73	31.5	8.2	4.1	1.4	15.1	8.2	6.8	2.7	6.8	9.6	31.5	1.4	5.5	1.4	46.6	42.5
	就労（技術・人文知識・国際業務）	83	27.7	3.6	4.8	2.4	14.5	8.4	6.0	-	1.2	3.6	27.7	1.2	-	-	45.8	51.8
	就労（特定技能）	18	16.7	11.1	5.6	5.6	11.1	16.7	-	-	-	5.6	5.6	-	-	-	72.2	33.3
	就労（その他）	10	40.0	10.0	-	-	10.0	10.0	-	-	-	10.0	10.0	-	-	-	50.0	40.0
	家族滞在	31	32.3	6.5	3.2	-	6.5	9.7	16.1	3.2	-	6.5	16.1	-	-	3.2	41.9	54.8
	技能実習	36	38.9	5.6	2.8	-	11.1	2.8	13.9	-	-	2.8	13.9	-	-	5.6	52.8	44.4
	日本人の配偶者等	43	46.5	9.3	11.6	2.3	14.0	4.7	11.6	-	2.3	2.3	7.0	2.3	2.3	-	39.5	41.9
	特定活動	14	42.9	14.3	7.1	14.3	28.6	14.3	14.3	7.1	-	21.4	35.7	7.1	7.1	-	28.6	57.1
	その他	9	22.2	-	-	-	-	11.1	11.1	-	-	-	11.1	-	11.1	-	66.7	55.6
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
居住地別	東区	87	29.9	3.4	5.7	3.4	20.7	3.4	5.7	-	1.1	2.3	13.8	2.3	5.7	1.1	46.0	39.1
	博多区	118	31.4	7.6	3.4	2.5	15.3	10.2	6.8	3.4	1.7	5.1	23.7	-	2.5	0.8	48.3	55.9
	中央区	55	32.7	5.5	7.3	1.8	16.4	12.7	20.0	-	-	7.3	21.8	1.8	-	-	52.7	50.9
	南区	79	26.6	12.7	6.3	2.5	13.9	6.3	5.1	2.5	5.1	12.7	20.3	5.1	2.5	3.8	48.1	45.6
	城南区	22	22.7	9.1	-	-	4.5	-	-	-	4.5	13.6	22.7	-	4.5	4.5	54.5	63.6
	早良区	39	38.5	2.6	5.1	-	25.6	12.8	15.4	-	-	5.1	17.9	-	-	-	41.0	46.2
	西区	65	23.1	9.2	1.5	1.5	15.4	6.2	9.2	-	-	-	13.8	-	-	1.5	53.8	53.8
	無回答	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	50.0	-
在福岡市年数別滞	６か月未満	21	23.8	-	4.8	-	9.5	19.0	-	-	-	4.8	9.5	-	-	4.8	52.4	38.1
	６か月～１年未満	88	23.9	5.7	2.3	1.1	19.3	6.8	5.7	-	2.3	3.4	18.2	3.4	4.5	3.4	44.3	44.3
	１年以上～３年未満	198	33.8	9.6	5.6	1.5	15.2	7.6	8.6	1.5	1.5	5.1	19.7	1.0	1.0	0.5	42.9	51.0
	３年以上～５年未満	160	28.1	6.3	4.4	3.8	17.5	6.9	11.3	1.9	1.9	8.1	20.6	1.3	3.1	1.3	58.1	51.9

【地域情報の入手経路（属性別特徴 つづき）】

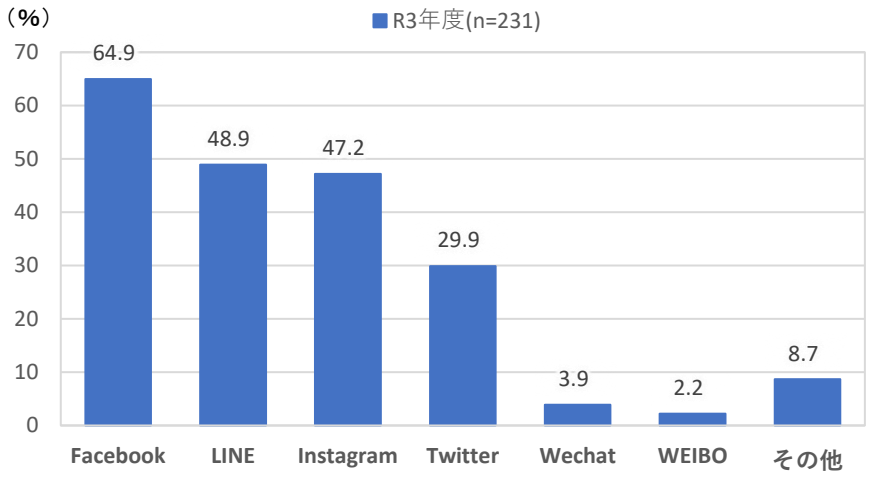
（%）

		サンプル数	[通勤･通学先、地域など]								その他	無回答
			会社など勤務先	大学、短期大学、日本語学校	市民センターや地域で開催されている日本語教室	住んでいる街の回覧板、掲示板など	日本人の友人、知人、隣人	同じ出身国の友人、知人、隣人	出身国は異なるが、同じ言語圏出身の友人、知人、隣人			
全　体		467	116	137	16	27	154	184	45		11	1
		100.0	24.8	29.3	3.4	5.8	33.0	39.4	9.6		2.4	0.2
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	151	12.6	30.5	2.6	8.6	26.5	40.4	7.3		0.7	-
	韓国	43	25.6	25.6	2.3	2.3	51.2	30.2	2.3		2.3	-
	ベトナム	109	33.9	24.8	6.4	1.8	22.9	52.3	12.8		0.9	-
	ネパール	60	26.7	56.7	1.7	5.0	30.0	43.3	3.3		8.3	-
	その他（アジア）	63	34.9	20.6	1.6	9.5	44.4	31.7	17.5		1.6	-
	その他（アジア以外）	39	28.2	12.8	5.1	5.1	53.8	15.4	12.8		5.1	2.6
	無回答	2	-	50.0	-	-	-	50.0	50.0		-	-
年齢別	29歳以下	311	23.2	39.2	3.9	4.5	31.8	42.8	10.3		1.9	-
	30～39歳	113	31.9	10.6	2.7	6.2	35.4	35.4	9.7		3.5	0.9
	40～49歳	20	20.0	-	-	15.0	40.0	30.0	10.0		-	-
	50～59歳	9	11.1	-	11.1	22.2	55.6	-	-		-	-
	60歳以上	7	-	14.3	-	-	28.6	42.9	-		14.3	-
	無回答	7	42.9	28.6	-	14.3	-	28.6	-		-	-
在留資格別	留学（大学、短大等）	97	8.2	63.9	2.1	5.2	32.0	37.1	7.2		1.0	-
	留学（日本語学校）	53	9.4	62.3	13.2	1.9	15.1	45.3	11.3		3.8	-
	留学（専修・各種学校・その他）	73	26.0	47.9	2.7	4.1	31.5	43.8	11.0		-	-
	就労（技術・人文知識・国際業務）	83	47.0	2.4	-	4.8	50.6	34.9	9.6		1.2	-
	就労（特定技能）	18	50.0	-	-	5.6	16.7	55.6	16.7		11.1	-
	就労（その他）	10	30.0	-	-	10.0	40.0	20.0	-		-	-
	家族滞在	31	12.9	3.2	6.5	22.6	29.0	51.6	9.7		3.2	-
	技能実習	36	47.2	-	-	5.6	27.8	44.4	13.9		-	-
	日本人の配偶者等	43	16.3	-	4.7	2.3	32.6	20.9	4.7		9.3	2.3
	特定活動	14	28.6	21.4	7.1	14.3	50.0	50.0	7.1		-	-
	その他	9	11.1	11.1	-	-	33.3	33.3	22.2		-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-
居住地別	東区	87	21.8	25.3	2.3	4.6	27.6	34.5	6.9		3.4	1.1
	博多区	118	31.4	28.8	3.4	8.5	32.2	40.7	10.2		1.7	-
	中央区	55	18.2	18.2	1.8	3.6	32.7	36.4	9.1		1.8	-
	南区	79	31.6	36.7	8.9	1.3	26.6	38.0	8.9		3.8	-
	城南区	22	18.2	18.2	4.5	-	54.5	27.3	9.1		-	-
	早良区	39	28.2	23.1	-	12.8	38.5	41.0	17.9		5.1	-
	西区	65	13.8	43.1	1.5	7.7	36.9	49.2	9.2		-	-
	無回答	2	50.0	50.0	-	-	100.0	100.0	-		-	-
在福岡市滞年数別	６か月未満	21	23.8	19.0	-	9.5	42.9	33.3	14.3		4.8	-
	６か月～１年未満	88	19.3	39.8	5.7	4.5	25.0	50.0	9.1		1.1	1.1
	１年以上～３年未満	198	23.2	26.3	3.5	5.6	35.4	38.9	10.1		2.0	-
	３年以上～５年未満	160	30.0	28.8	2.5	6.3	33.1	35.0	8.8		3.1	-

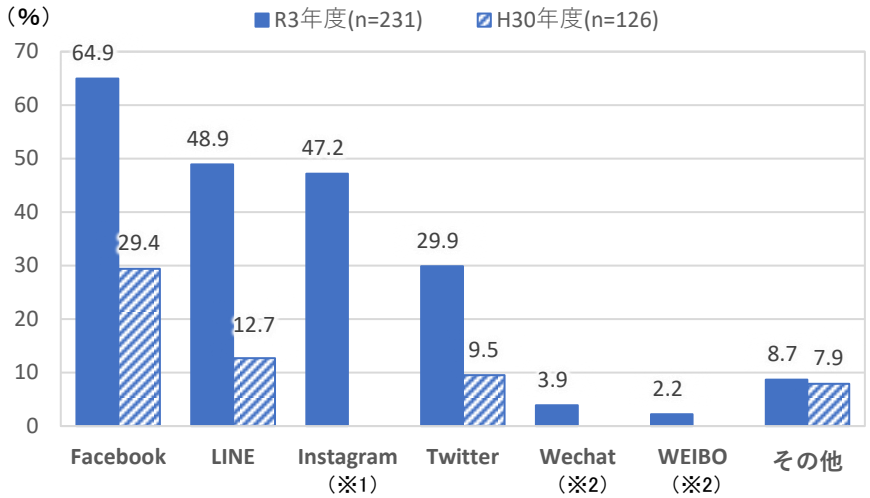
②情報を得ているSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)【Q21-1】(複数回答)

地域情報の入手経路としてソーシャルネットワーキングサービスと回答した方（231人）にその媒体を尋ねたところ、「Facebook」（64.9%）が最も多く、以下、「LINE」（48.9%）、「Instagram」（47.2%）、「Twitter」（29.9%）と続いている。

【情報を得ているSNS】



【情報を得ているSNS】



注1:（※1）H30年度調査にはない項目
注2:（※2）R3年度調査は「その他」から抽出。H30年度調査にはない項目

国籍別では、韓国の「LINE」と「Instagram」と回答した人の割合が他の国籍に比べ高くなっている。

【情報を得ているSNS（属性別特徴）】

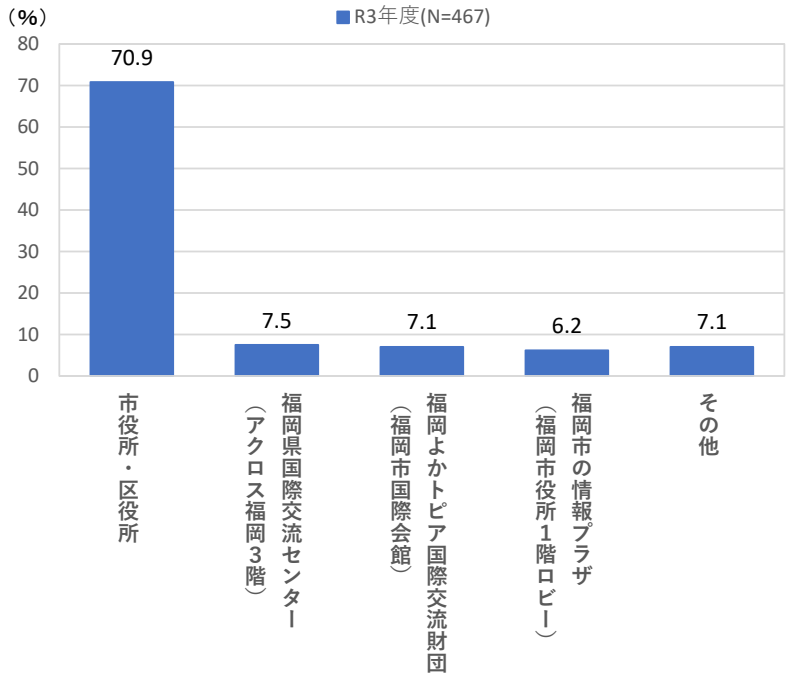
（%）

		該当数	Facebook	LINE	Instagram	Twitter	Wechat	WEIBO	その他	無回答
全　体		231	150	113	109	69	9	5	20	2
		100.0	64.9	48.9	47.2	29.9	3.9	2.2	8.7	0.9
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	79	29.1	51.9	44.3	44.3	10.1	6.3	7.6	1.3
	韓国	18	16.7	72.2	77.8	44.4	-	-	5.6	-
	ベトナム	49	100.0	28.6	28.6	10.2	-	-	4.1	-
	ネパール	31	100.0	58.1	54.8	29.0	3.2	-	25.8	-
	その他（アジア）	38	86.8	50.0	52.6	21.1	-	-	5.3	2.6
	その他（アジア以外）	16	68.8	50.0	56.3	25.0	-	-	6.3	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年齢別	29歳以下	159	64.8	49.1	49.1	35.2	4.4	2.5	8.2	1.3
	30～39歳	55	60.0	49.1	43.6	20.0	3.6	1.8	10.9	-
	40～49歳	8	87.5	37.5	37.5	12.5	-	-	-	-
	50～59歳	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	60歳以上	2	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-
	無回答	6	100.0	50.0	50.0	16.7	-	-	16.7	-
在留資格別	留学（大学、短大等）	56	44.6	46.4	50.0	35.7	10.7	7.1	10.7	-
	留学（日本語学校）	27	85.2	44.4	40.7	44.4	-	3.7	11.1	3.7
	留学（専修・各種学校・その他）	31	90.3	45.2	51.6	25.8	3.2	-	9.7	-
	就労（技術・人文知識・国際業務）	43	44.2	60.5	51.2	39.5	2.3	-	9.3	-
	就労（特定技能）	6	83.3	66.7	66.7	16.7	-	-	16.7	-
	就労（その他）	4	50.0	75.0	25.0	50.0	-	-	-	-
	家族滞在	17	76.5	47.1	29.4	11.8	-	-	-	-
	技能実習	16	93.8	31.3	25.0	6.3	-	-	12.5	6.3
	日本人の配偶者等	18	55.6	44.4	50.0	22.2	-	-	5.6	-
	特定活動	8	87.5	62.5	87.5	25.0	12.5	-	-	-
	その他	5	60.0	40.0	40.0	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-

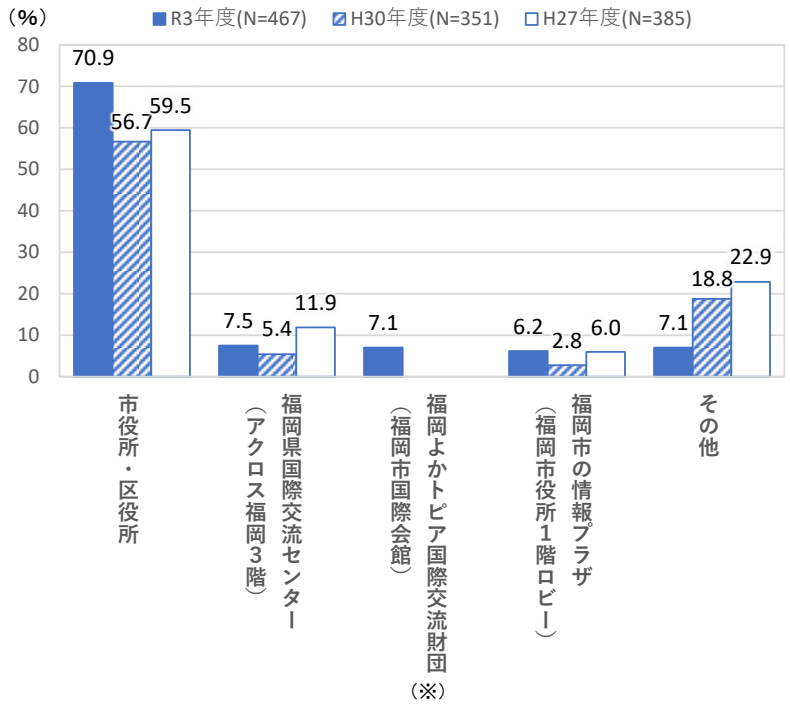
19. 生活情報･行政情報を得るために訪れたところ【Q22】(複数回答)

生活情報や行政情報を得るために訪れたところを尋ねたところ、「市役所・区役所」(70.9%)が最も多く、以下、「福岡県国際交流センター」(7.5%)、「福岡よかトピア国際交流財団」(7.1%)、「福岡市の情報プラザ」(6.2%)と続いている。

【生活情報・行政情報を得るために訪れたところ】



【生活情報・行政情報を得るために訪れたところ（時系列）】



注:(※)H30年度調査にはない項目。H27年度では「レインボープラザ(イムズ8階)」(福岡市国際会館への移転前)

国籍別にみると、いずれの国籍も「市役所・区役所」と回答した人が最も多い。また、ネパールの「福岡市の情報プラザ」は、回答した人の割合が他の国籍に比べ高くなっている。

在留資格別にみると、いずれの資格も「市役所・区役所」と回答した人が最も多い。また、留学（日本語学校）の「福岡県国際交流センター」は、回答した人の割合が他の資格に比べ高くなっている。

【生活情報・行政情報を得るために訪れたところ（属性別特徴）】

（%）

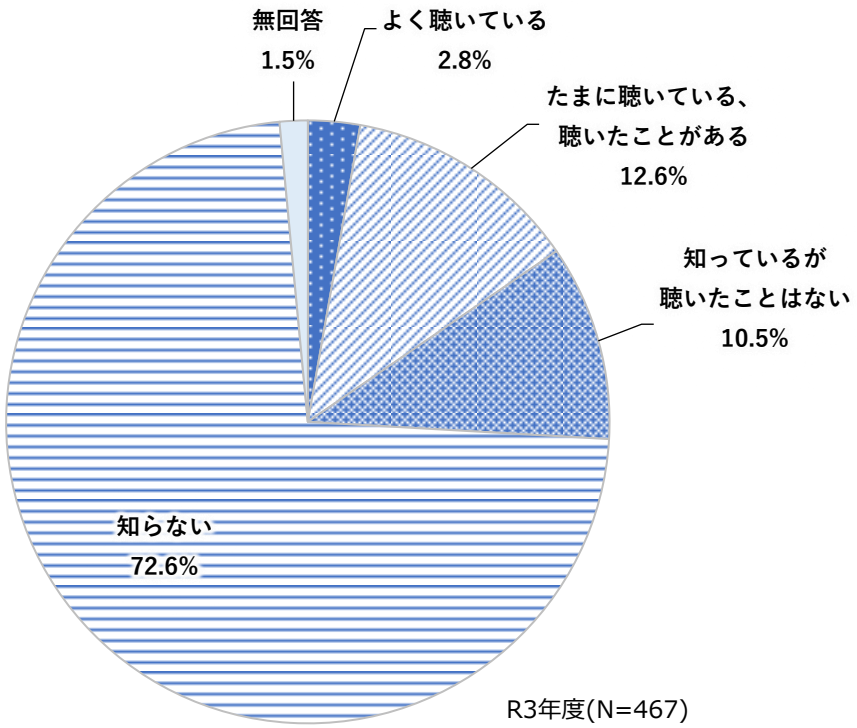
		サンプル数	市役所・区役所	福岡県国際交流センター（アクロス福岡３階）	福岡よかトピア国際交流財団（福岡市国際会館）	福岡市の情報プラザ（福岡市役所１階ロビー）	その他	無回答
全　体		467	331	35	33	29	33	71
		100.0	70.9	7.5	7.1	6.2	7.1	15.2
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	151	70.2	6.6	4.0	4.0	4.0	16.6
	韓国	43	72.1	-	2.3	-	9.3	18.6
	ベトナム	109	70.6	8.3	4.6	6.4	6.4	11.0
	ネパール	60	88.3	15.0	18.3	20.0	6.7	3.3
	その他（アジア）	63	66.7	9.5	14.3	6.3	11.1	17.5
	その他（アジア以外）	39	53.8	2.6	-	-	12.8	33.3
	無回答	2	50.0	-	50.0	-	-	-
年齢別	29歳以下	311	74.9	8.4	7.1	7.4	6.4	11.3
	30～39歳	113	61.1	4.4	7.1	4.4	8.0	25.7
	40～49歳	20	80.0	15.0	10.0	5.0	5.0	-
	50～59歳	9	55.6	-	11.1	-	22.2	33.3
	60歳以上	7	57.1	-	-	-	14.3	28.6
	無回答	7	57.1	14.3	-	-	-	28.6
在留資格別	留学（大学、短大等）	97	78.4	6.2	9.3	2.1	6.2	10.3
	留学（日本語学校）	53	62.3	18.9	11.3	13.2	9.4	13.2
	留学（専修・各種学校・その他）	73	79.5	6.8	8.2	9.6	5.5	11.0
	就労（技術・人文知識・国際業務）	83	67.5	2.4	3.6	8.4	7.2	18.1
	就労（特定技能）	18	66.7	5.6	16.7	11.1	16.7	11.1
	就労（その他）	10	70.0	10.0	-	-	-	30.0
	家族滞在	31	74.2	-	3.2	3.2	9.7	19.4
	技能実習	36	58.3	11.1	5.6	8.3	8.3	22.2
	日本人の配偶者等	43	67.4	9.3	4.7	-	2.3	23.3
	特定活動	14	71.4	7.1	7.1	-	7.1	7.1
	その他	9	66.7	11.1	-	-	11.1	11.1
	無回答	-	-	-	-	-	-	-
在福岡市滞年数別	６か月未満	21	71.4	4.8	9.5	-	19.0	4.8
	６か月～１年未満	88	69.3	8.0	8.0	6.8	5.7	13.6
	１年以上～３年未満	198	71.7	8.1	5.1	6.1	6.1	16.2
	３年以上～５年未満	160	70.6	6.9	8.8	6.9	7.5	16.3

20. 地域の多言語FM放送局(Love FM)の認知及び聴取状況【Q23】【Q23-1】

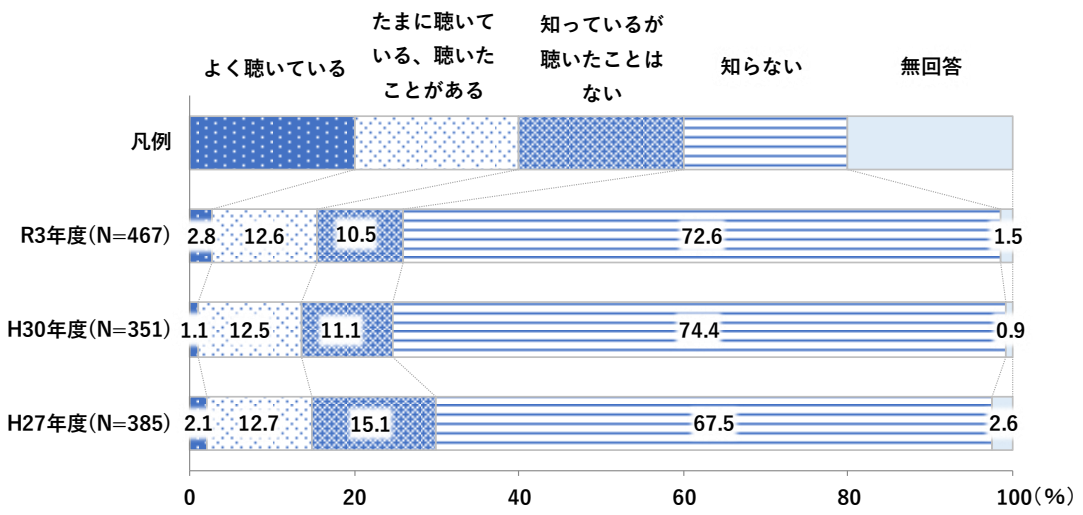
①Love FMの認知及び聴取状況【Q23】

地域の多言語ＦＭラジオ放送局であるLove FMを聴いたことがあるか尋ねたところ、「よく聴いている」(2.8%)、「たまに聴いている、聴いたことがある」(12.6%) を合わせた『聴いたことがある』という割合は15.4%となっている。また、「知っているが聴いたことはない」(10.5%) に『聴いたことがある』を合わせた『知っている』という割合は25.9%となっている。

【地域の多言語ＦＭ放送局（Love FM）の認知及び聴取状況】



【地域の多言語ＦＭ放送局（Love FM）の認知及び聴取状況】



『聴いたことがある』(%)	『知っている』(%)
15.4	25.9
13.6	24.7
14.8	29.9

注:端数処理により、右表の数値と該当項目の合計の数値が異なる場合がある

国籍別にみると、韓国は「知らない」の割合が88.4%となっている。

年齢別にみると、年代が高いほど『聴いたことがある』及び『知っている』は、回答した人の割合が高くなっている。

在留資格別にみると、就労（特定技能）の『聴いたことがある』及び『知っている』は、回答した人の割合が他の資格に比べ高くなっている。

【地域の多言語ＦＭ放送局（Love FM）の聴取状況（属性別特徴）】

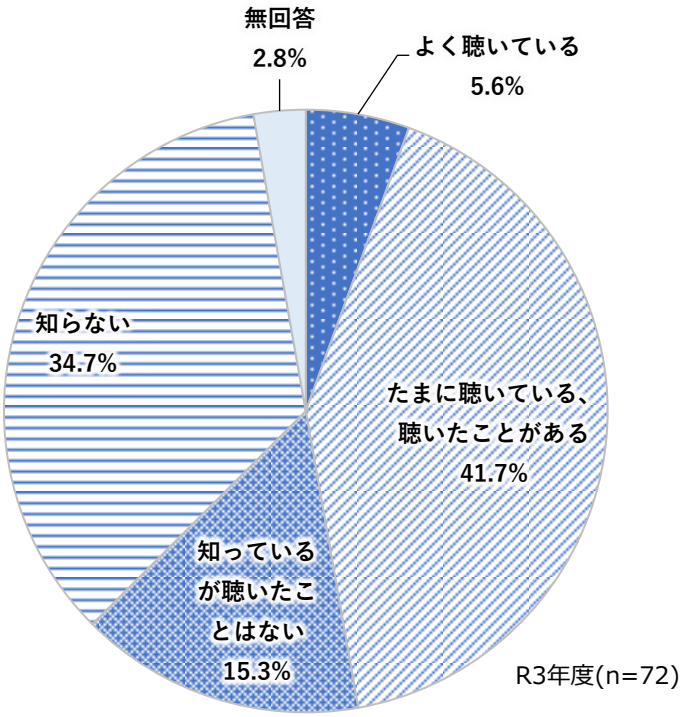
（%）

		サンプル数	よく聴いている	たまに聴いている、聴いたことがある	知っているが聴いたことはない	知らない	無回答	『聴いたことがある』	『知っている』
全　体		467	13	59	49	339	7	72	121
		100.0	2.8	12.6	10.5	72.6	1.5	15.4	25.9
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	151	2.0	6.6	9.3	81.5	0.7	8.6	17.9
	韓国	43	-	9.3	2.3	88.4	-	9.3	11.6
	ベトナム	109	1.8	11.9	10.1	75.2	0.9	13.8	23.9
	ネパール	60	3.3	23.3	11.7	58.3	3.3	26.7	38.3
	その他（アジア）	63	6.3	15.9	15.9	57.1	4.8	22.2	38.1
	その他（アジア以外）	39	2.6	20.5	15.4	61.5	-	23.1	38.5
	無回答	2	50.0	-	-	50.0	-	50.0	50.0
年齢別	29歳以下	311	1.0	10.3	10.6	76.5	1.6	11.3	21.9
	30～39歳	113	4.4	16.8	9.7	67.3	1.8	21.2	31.0
	40～49歳	20	15.0	15.0	-	70.0	-	30.0	30.0
	50～59歳	9	-	33.3	-	66.7	-	33.3	33.3
	60歳以上	7	14.3	-	42.9	42.9	-	14.3	57.1
	無回答	7	14.3	28.6	28.6	28.6	-	42.9	71.4
在留資格別	留学（大学、短大等）	97	-	7.2	12.4	80.4	-	7.2	19.6
	留学（日本語学校）	53	1.9	9.4	7.5	75.5	5.7	11.3	18.9
	留学（専修・各種学校・その他）	73	1.4	9.6	8.2	78.1	2.7	11.0	19.2
	就労（技術・人文知識・国際業務）	83	-	13.3	7.2	79.5	-	13.3	20.5
	就労（特定技能）	18	11.1	22.2	11.1	55.6	-	33.3	44.4
	就労（その他）	10	10.0	-	20.0	60.0	10.0	10.0	30.0
	家族滞在	31	6.5	16.1	12.9	64.5	-	22.6	35.5
	技能実習	36	2.8	22.2	11.1	63.9	-	25.0	36.1
	日本人の配偶者等	43	4.7	23.3	9.3	62.8	-	27.9	37.2
	特定活動	14	-	7.1	35.7	57.1	-	7.1	42.9
	その他	9	33.3	11.1	-	44.4	11.1	44.4	44.4
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
在福岡市別滞年数	６か月未満	21	-	4.8	9.5	85.7	-	4.8	14.3
	６か月～１年未満	88	1.1	9.1	8.0	79.5	2.3	10.2	18.2
	１年以上～３年未満	198	2.0	11.6	11.1	73.7	1.5	13.6	24.7
	３年以上～５年未満	160	5.0	16.9	11.3	65.6	1.3	21.9	33.1

②「Life in Fukuoka」や「やさしい日本語ラジオ講座」の聴取経験【Q23-1】

Love FMを聴いたことがあると回答した人（72人）に福岡市が提供するラジオ番組「Life in Fukuoka」や「やさしい日本語ラジオ講座」の聴取経験を尋ねたところ、「よく聴いている」（5.6%）、「たまに聴いている、聴いたことがある」（41.7%）を合わせた『聴いたことがある』という割合は47.3%となっている。また、「知っているが聴いたことはない」（15.3%）に『聴いたことがある』をあわせた『知っている』という割合は62.6%となっている。

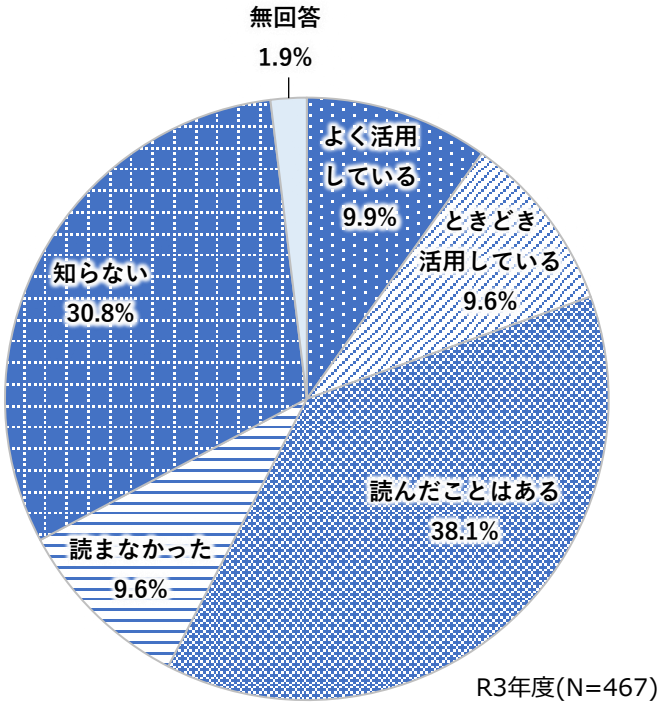
【「Life in Fukuoka」や「やさしい日本語ラジオ講座」の聴取経験】



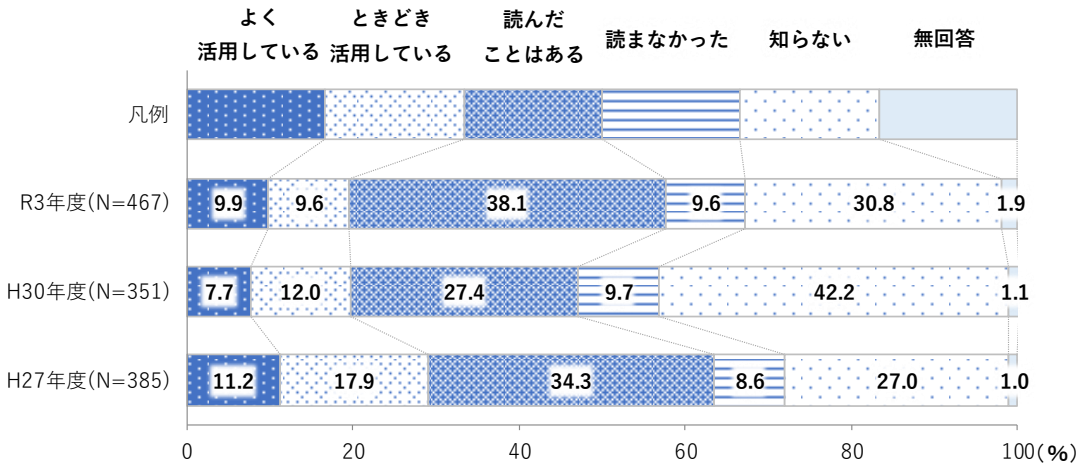
21. 住民登録時の「ウェルカムキット」活用状況【Q24】

住民登録時に配っている「ウェルカムキット」を活用しているか尋ねたところ、「よく活用している」（9.9%）、「ときどき活用している」（9.6%）、「読んだことはある」（38.1%）を合わせた『活用経験有』は57.6%となっている。また、『活用経験あり』に「読まなかった」（9.6%）を合わせた『認知度』は67.2%となっている。

【住民登録時の「ウェルカムキット」活用状況】



【住民登録時の「ウェルカムキット」活用状況（時系列）】



『活用経験あり』（%）	『認知度』（%）
57.6	67.2
47.1	56.8
63.4	72.0

注：端数処理により、右表の数値と該当項目の合計の数値が異なる場合がある

国籍別にみると、ベトナムとネパールは「知らない」、それ以外は「読んだことはある」と回答した人が最も多い。韓国の『活用経験あり』は、回答した人の割合が他の国籍に比べ高くなっている。

年齢別にみると、40～49歳の「知らない」は、回答した人の割合が他の年代に比べ高くなっている。

在留資格別にみると、留学（大学、短大等）の『活用経験あり』及び『認知度』は、回答した人の割合が他の資格に比べ高くなっている。

居住地別にみると、西区の『活用経験あり』は、回答した人の割合が他の居住地に比べ高い。

福岡市滞在年数別にみると、６か月未満の『活用経験あり』及び『認知度』は、回答した人の割合が他の年代に比べ高くなっている。

【住民登録時の「ウェルカムキット」活用状況（属性別特徴）】

（%）

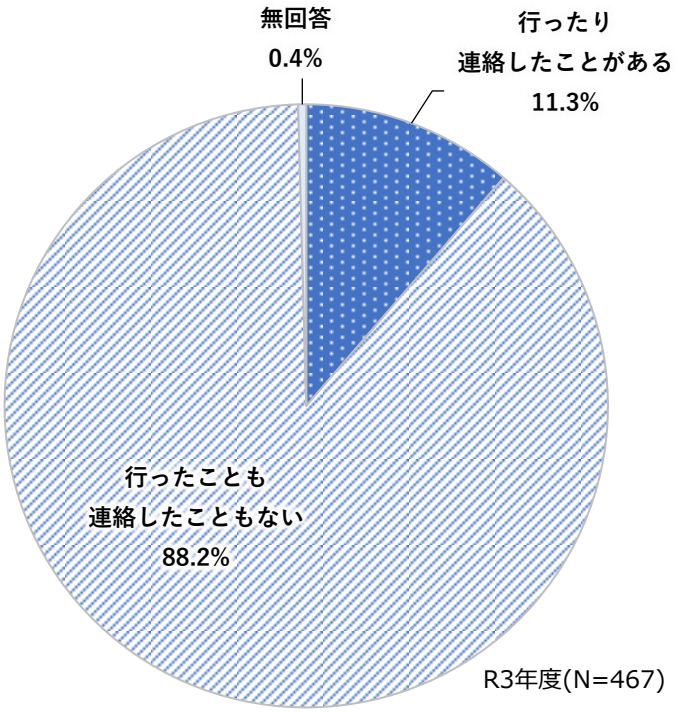
		サンプル数	よく活用している	ときどき活用している	読んだことはある	読まなかった	知らない	無回答	『活用経験あり』	『認知度』
全　体		467	46	45	178	45	144	9	269	314
		100.0	9.9	9.6	38.1	9.6	30.8	1.9	57.6	67.2
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	151	4.6	13.2	39.1	7.9	34.4	0.7	57.0	64.9
	韓国	43	-	11.6	55.8	9.3	20.9	2.3	67.4	76.7
	ベトナム	109	18.3	3.7	30.3	5.5	42.2	-	52.3	57.8
	ネパール	60	20.0	15.0	18.3	15.0	26.7	5.0	53.3	68.3
	その他（アジア）	63	9.5	6.3	44.4	14.3	19.0	6.3	60.3	74.6
	その他（アジア以外）	39	-	7.7	56.4	12.8	23.1	-	64.1	76.9
	無回答	2	50.0	-	50.0	-	-	-	100.0	100.0
年齢別	29歳以下	311	10.3	10.0	40.2	7.7	29.9	1.9	60.5	68.2
	30～39歳	113	8.0	8.0	34.5	16.8	31.9	0.9	50.4	67.3
	40～49歳	20	5.0	5.0	35.0	5.0	50.0	-	45.0	50.0
	50～59歳	9	-	22.2	33.3	-	33.3	11.1	55.6	55.6
	60歳以上	7	-	28.6	28.6	14.3	28.6	-	57.1	71.4
	無回答	7	57.1	-	28.6	-	-	14.3	85.7	85.7
在留資格別	留学（大学、短大等）	97	7.2	12.4	54.6	8.2	16.5	1.0	74.2	82.5
	留学（日本語学校）	53	15.1	9.4	32.1	1.9	35.8	5.7	56.6	58.5
	留学（専修・各種学校・その他）	73	11.0	8.2	32.9	15.1	31.5	1.4	52.1	67.1
	就労（技術・人文知識・国際業務）	83	6.0	9.6	34.9	10.8	37.3	1.2	50.6	61.4
	就労（特定技能）	18	22.2	-	27.8	5.6	44.4	-	50.0	55.6
	就労（その他）	10	-	-	70.0	10.0	20.0	-	70.0	80.0
	家族滞在	31	6.5	29.0	29.0	6.5	29.0	-	64.5	71.0
	技能実習	36	25.0	5.6	25.0	2.8	36.1	5.6	55.6	58.3
	日本人の配偶者等	43	-	2.3	34.9	16.3	46.5	-	37.2	53.5
	特定活動	14	14.3	7.1	42.9	28.6	7.1	-	64.3	92.9
	その他	9	11.1	11.1	44.4	-	22.2	11.1	66.7	66.7
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
居住地別	東区	87	11.5	5.7	32.2	11.5	34.5	4.6	49.4	60.9
	博多区	118	11.9	7.6	34.7	10.2	34.7	0.8	54.2	64.4
	中央区	55	3.6	12.7	41.8	7.3	32.7	1.8	58.2	65.5
	南区	79	12.7	7.6	30.4	7.6	39.2	2.5	50.6	58.2
	城南区	22	9.1	9.1	50.0	22.7	9.1	-	68.2	90.9
	早良区	39	7.7	7.7	43.6	10.3	30.8	-	59.0	69.2
	西区	65	7.7	20.0	52.3	4.6	13.8	1.5	80.0	84.6
	無回答	2	-	-	-	50.0	50.0	-	-	50.0
在福岡市滞年数別	６か月未満	21	4.8	19.0	47.6	9.5	19.0	-	71.4	81.0
	６か月～１年未満	88	8.0	10.2	43.2	9.1	29.5	-	61.4	70.5
	１年以上～３年未満	198	10.6	9.1	38.4	10.6	28.8	2.5	58.1	68.7
	３年以上～５年未満	160	10.6	8.8	33.8	8.8	35.6	2.5	53.1	61.9

22. 福岡市国際会館(福岡よかトピア国際交流財団)の利用状況【Q25】【Q25-1・2】

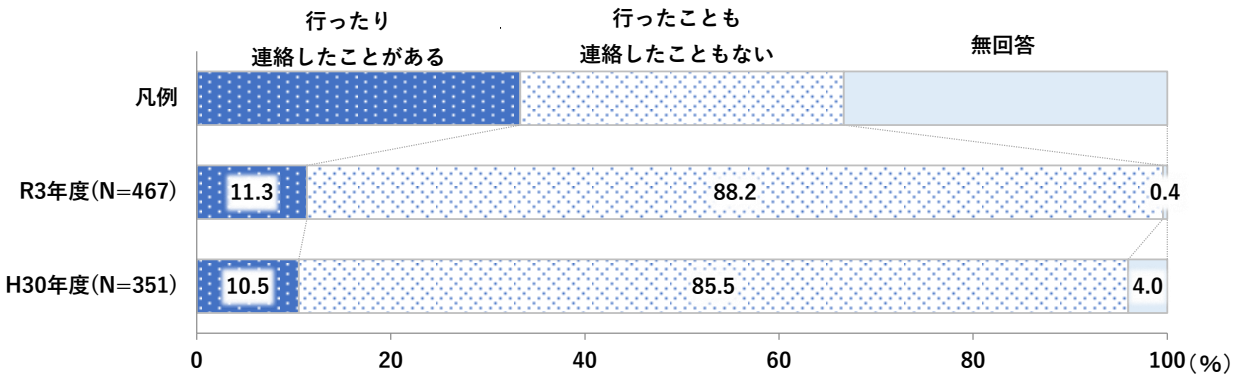
①利用頻度【Q25】

過去１年間における福岡市国際会館（福岡よかトピア国際交流財団）の利用頻度を尋ねたところ、『行ったり連絡したことがある』という割合は１割程度（11.3%）、「行ったことも連絡したこともない」が９割近く（88.2%）となっている。

【利用頻度】



【利用頻度（時系列）】



属性別にみても、全体結果とほぼ同様の傾向を示している。

【利用頻度（属性別特徴）】

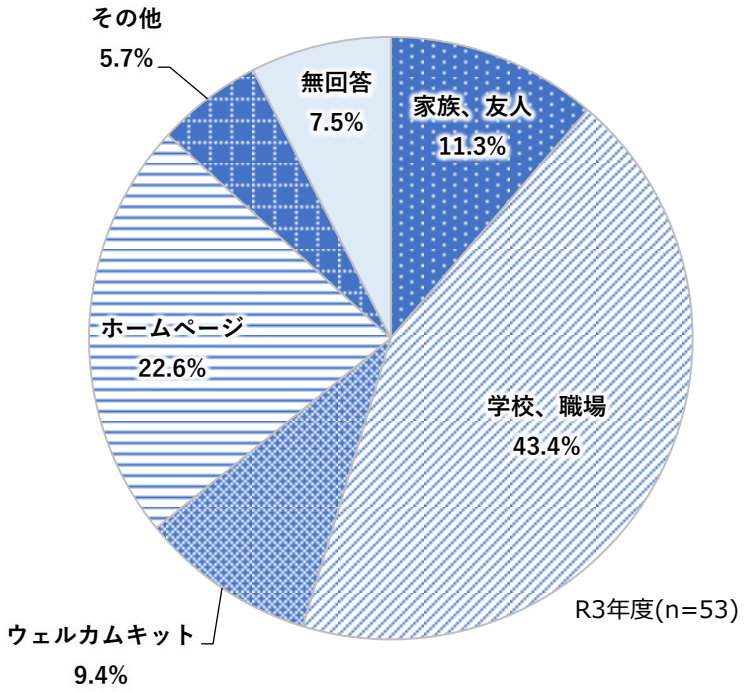
（%）

		サンプル数	行ったり連絡したことがある計	週に2～3回くらい	週に1回くらい	月に1～2回くらい	半年に1～2回くらい	年に1～2回くらい	行ったことも連絡したこともない	無回答
全　体		467	53	1	2	4	11	35	412	2
		100.0	11.3	0.2	0.4	0.9	2.4	7.5	88.2	0.4
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	151	7.9	-	0.7	0.7	2.0	4.6	92.1	-
	韓国	43	14.0	-	-	-	4.7	9.3	86.0	-
	ベトナム	109	9.2	0.9	-	0.9	0.9	6.4	90.8	-
	ネパール	60	15.0	-	-	1.7	1.7	11.7	85.0	-
	その他（アジア）	63	22.2	-	1.6	1.6	3.2	15.9	74.6	3.2
	その他（アジア以外）	39	2.6	-	-	-	2.6	-	97.4	-
	無回答	2	50.0	-	-	-	50.0	-	50.0	-
年齢別	29歳以下	311	11.3	-	0.6	1.0	1.9	7.7	88.4	0.3
	30～39歳	113	10.6	-	-	-	1.8	8.8	88.5	0.9
	40～49歳	20	10.0	-	-	5.0	5.0	-	90.0	-
	50～59歳	9	22.2	-	-	-	11.1	11.1	77.8	-
	60歳以上	7	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	無回答	7	28.6	14.3	-	-	14.3	-	71.4	-
在留資格別	留学（大学、短大等）	97	13.4	-	1.0	1.0	4.1	7.2	86.6	-
	留学（日本語学校）	53	24.5	-	-	3.8	3.8	17.0	75.5	-
	留学（専修・各種学校・その他）	73	6.8	-	-	-	1.4	5.5	91.8	1.4
	就労（技術・人文知識・国際業務）	83	8.4	-	-	1.2	1.2	6.0	91.6	-
	就労（特定技能）	18	5.6	-	-	-	5.6	-	94.4	-
	就労（その他）	10	10.0	-	-	-	-	10.0	90.0	-
	家族滞在	31	16.1	-	3.2	-	-	12.9	83.9	-
	技能実習	36	8.3	2.8	-	-	-	5.6	91.7	-
	日本人の配偶者等	43	7.0	-	-	-	4.7	2.3	93.0	-
	特定活動	14	7.1	-	-	-	-	7.1	92.9	-
	その他	9	11.1	-	-	-	-	11.1	77.8	11.1
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
居住地別	東区	87	10.3	-	1.1	1.1	2.3	5.7	88.5	1.1
	博多区	118	13.6	-	0.8	0.8	1.7	10.2	86.4	-
	中央区	55	7.3	-	-	1.8	1.8	3.6	92.7	-
	南区	79	12.7	-	-	1.3	2.5	8.9	86.1	1.3
	城南区	22	22.7	4.5	-	-	-	18.2	77.3	-
	早良区	39	12.8	-	-	-	5.1	7.7	87.2	-
	西区	65	6.2	-	-	-	3.1	3.1	93.8	-
	無回答	2	-	-	-	-	-	-	100.0	-
在福岡市滞年数別	６か月未満	21	4.8	-	-	-	4.8	-	95.2	-
	６か月～１年未満	88	11.4	-	-	1.1	3.4	6.8	88.6	-
	１年以上～３年未満	198	11.1	-	1.0	1.0	1.5	7.6	87.9	1.0
	３年以上～５年未満	160	12.5	0.6	-	0.6	2.5	8.8	87.5	-

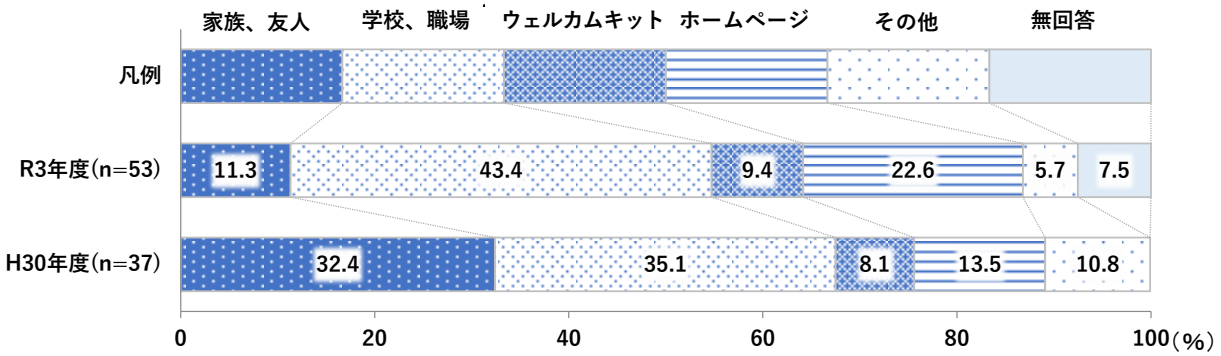
②認知経路【Q25-1(1)】

福岡市国際会館に『行ったり連絡したことがある』と回答した方（53人）に認知経路を尋ねたところ、「学校、職場」（43.4%）が最も多く、以下、「ホームページ」（22.6%）、「家族、友人」（11.3%）、「ウェルカムキット」（9.4%）と続いている。

【認知経路】



【認知経路（時系列）】



【認知経路（属性別特徴）】

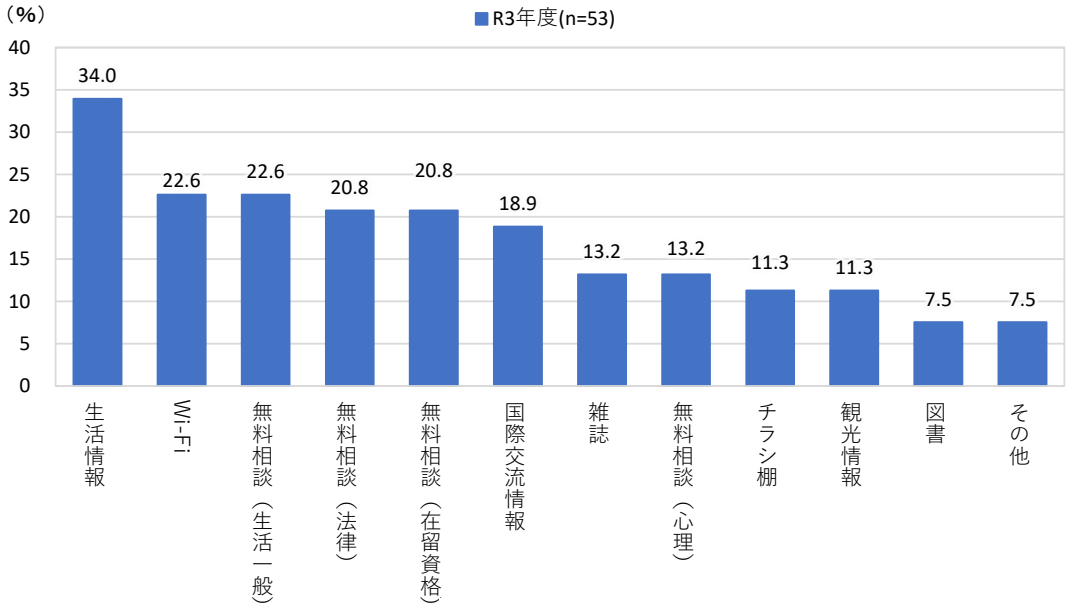
（%）

		該当数	家族、友人	学校、職場	ウェルカムキット	ホームページ	その他	無回答
全　体		53	6	23	5	12	3	4
		100.0	11.3	43.4	9.4	22.6	5.7	7.5
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	12	16.7	50.0	16.7	8.3	-	8.3
	韓国	6	16.7	-	33.3	16.7	33.3	-
	ベトナム	10	10.0	70.0	-	10.0	-	10.0
	ネパール	9	-	55.6	-	22.2	-	22.2
	その他（アジア）	14	7.1	35.7	7.1	42.9	7.1	-
	その他（アジア以外）	1	-	-	-	100.0	-	-
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	-
在福年岡数市別滞	６か月未満	1	-	-	100.0	-	-	-
	６か月～１年未満	10	-	40.0	20.0	30.0	10.0	-
	１年以上～３年未満	22	18.2	45.5	9.1	13.6	4.5	9.1
	３年以上～５年未満	20	10.0	45.0	-	30.0	5.0	10.0

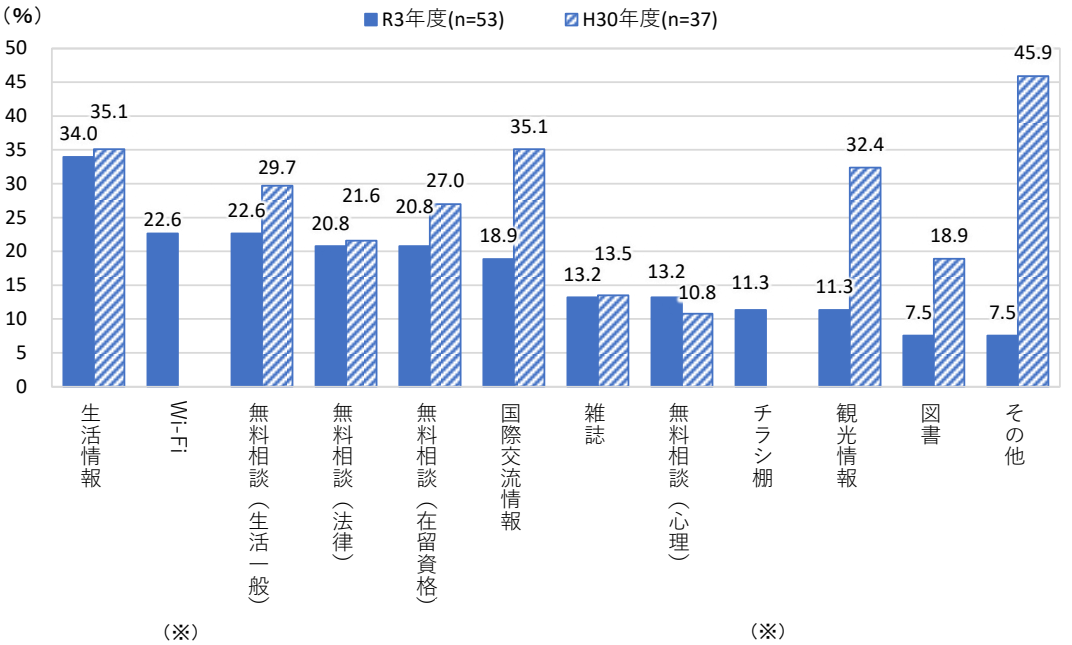
③利用内容【Q25-1(2)】(複数回答)

福岡国際会館に『行ったり連絡したことがある』と回答した人（53人）に利用内容を尋ねたところ、「生活情報」（34.0%）が最も多く、以下、「Wi-Fi」と、「無料相談（生活一般)」（各々22.6%)、「無料相談（法律)」と「無料相談（在留資格)」（各々20.8%)、「国際交流情報」（18.9%）と続いている。

【利用内容】



【利用内容（時系列）】



注:(※)H30年度調査にはない項目

【利用内容（属性別特徴）】

（%）

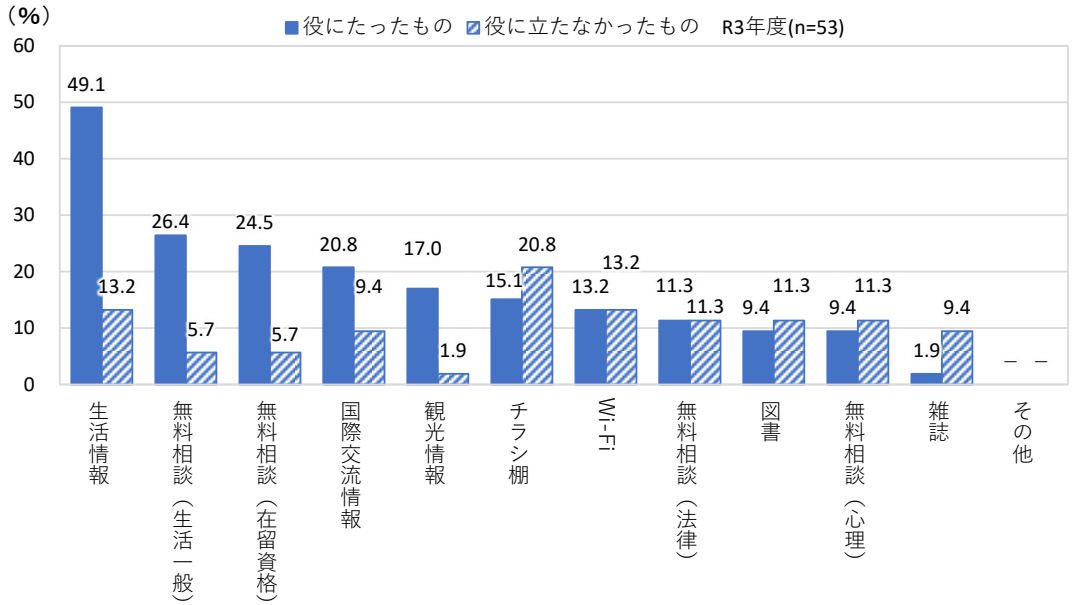
		該当数	生活情報	wi-fi	無料相談（生活一般）	無料相談（法律）	無料相談（在留資格）	国際交流情報	雑誌	無料相談（心理）	チラシ棚	観光情報	図書	その他	無回答
全　体		53	18	12	12	11	11	10	7	7	6	6	4	4	1
		100.0	34.0	22.6	22.6	20.8	20.8	18.9	13.2	13.2	11.3	11.3	7.5	7.5	1.9
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	12	58.3	16.7	33.3	16.7	25.0	25.0	-	8.3	25.0	25.0	8.3	-	-
	韓国	6	16.7	-	-	-	-	33.3	-	-	33.3	16.7	-	50.0	-
	ベトナム	10	10.0	40.0	10.0	20.0	20.0	-	20.0	10.0	-	-	10.0	-	-
	ネパール	9	44.4	22.2	44.4	33.3	22.2	22.2	22.2	44.4	-	-	11.1	-	-
	その他（アジア）	14	35.7	21.4	21.4	28.6	28.6	21.4	14.3	7.1	7.1	14.3	7.1	-	7.1
	その他（アジア以外）	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
年齢別	29歳以下	35	31.4	20.0	28.6	20.0	25.7	22.9	8.6	17.1	11.4	8.6	8.6	5.7	-
	30～39歳	12	41.7	16.7	8.3	25.0	8.3	8.3	25.0	8.3	8.3	16.7	-	8.3	8.3
	40～49歳	2	50.0	50.0	50.0	-	50.0	50.0	-	-	50.0	-	50.0	-	-
	50～59歳	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	50.0	-
	60歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	2	-	50.0	-	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-
在留資格別	留学（大学、短大等）	13	38.5	30.8	7.7	7.7	15.4	30.8	15.4	7.7	23.1	15.4	-	15.4	-
	留学（日本語学校）	13	30.8	15.4	30.8	15.4	15.4	15.4	23.1	30.8	7.7	7.7	23.1	-	-
	留学（専修・各種学校・その他）	5	40.0	20.0	60.0	60.0	40.0	20.0	-	20.0	-	-	-	-	-
	就労（技術・人文知識・国際業務）	7	57.1	14.3	28.6	42.9	28.6	14.3	-	-	14.3	14.3	14.3	-	-
	就労（特定技能）	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	就労（その他）	1	-	100.0	-	-	-	100.0	100.0	-	100.0	100.0	-	-	-
	家族滞在	5	40.0	-	20.0	-	20.0	20.0	-	20.0	-	20.0	-	20.0	20.0
	技能実習	3	-	66.7	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-
	日本人の配偶者等	3	-	33.3	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3	-
	特定活動	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
在福岡市滞年数別	６か月未満	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
	６か月～１年未満	10	20.0	30.0	20.0	30.0	20.0	20.0	10.0	30.0	10.0	10.0	10.0	30.0	-
	１年以上～３年未満	22	40.9	13.6	36.4	13.6	27.3	22.7	4.5	18.2	13.6	18.2	13.6	-	-
	３年以上～５年未満	20	35.0	30.0	10.0	25.0	15.0	15.0	25.0	-	5.0	5.0	-	5.0	5.0

④役に立ったもの【Q25-1(3)】(複数回答)・役に立たなかったもの【Q25-1(4)】(複数回答)

福岡国際会館に『行ったり連絡したことがある』と回答した人（53人）に役に立ったものを尋ねたところ、「生活情報」（49.1%）が最も多く、以下、「無料相談（生活一般）」（26.4%）、「無料相談（在留資格）」（24.5%）、「国際交流情報」（20.8%）、「観光情報」（17.0%）と続いている。

一方、役に立たなかったものを尋ねたところ「チラシ棚」（20.8%）、「生活情報」、「Wi-Fi」（各々13.2%）となっている。

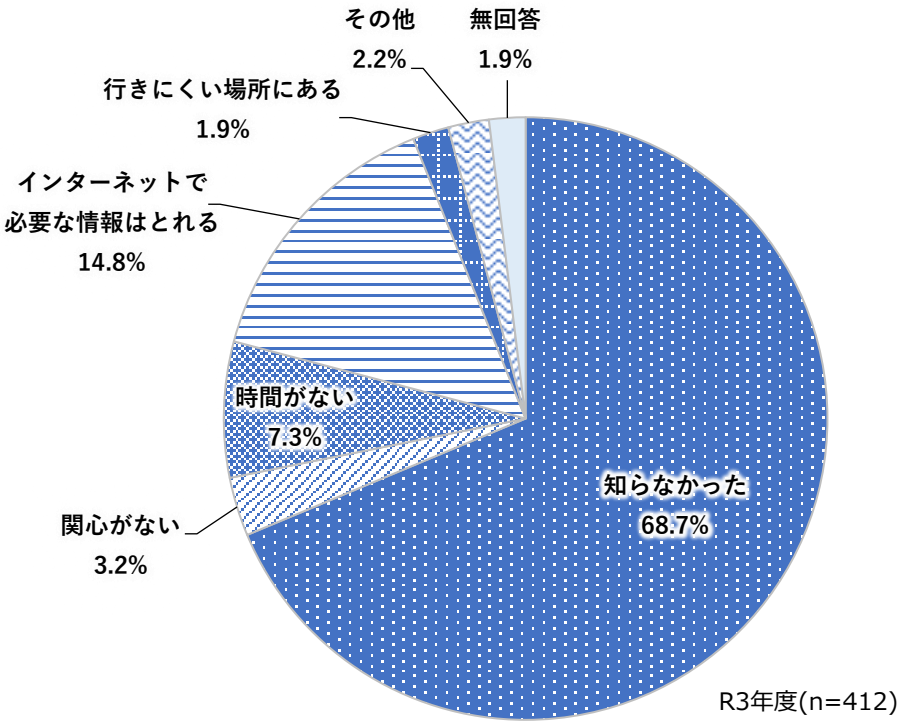
【役に立ったもの、役に立たなかったもの】



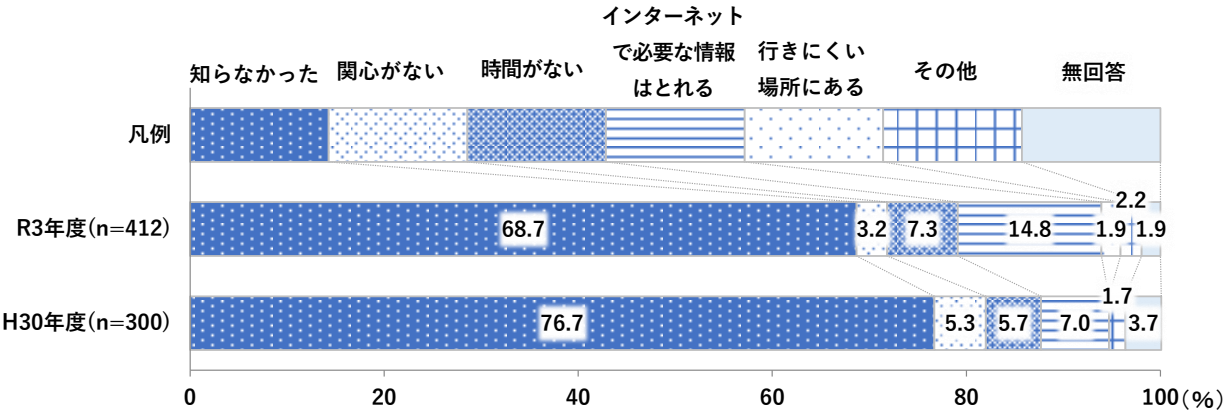
⑤行ったことがない理由【Q25-2】

福岡国際会館に「行ったことも連絡したこともない」と回答した人（412人）にその理由を尋ねたところ、「知らなかった」（68.7%）が最も多く、以下、「インターネットで必要な情報は取れる」（14.8%）、「時間がない」（7.3%）、「関心がない」（3.2%）と続いている。

【行ったことがない理由】



【行ったことがない理由（時系列）】



属性別にみても、全体結果とほぼ同様の傾向を示している。

【行ったことがない理由（属性別特徴）】

（%）

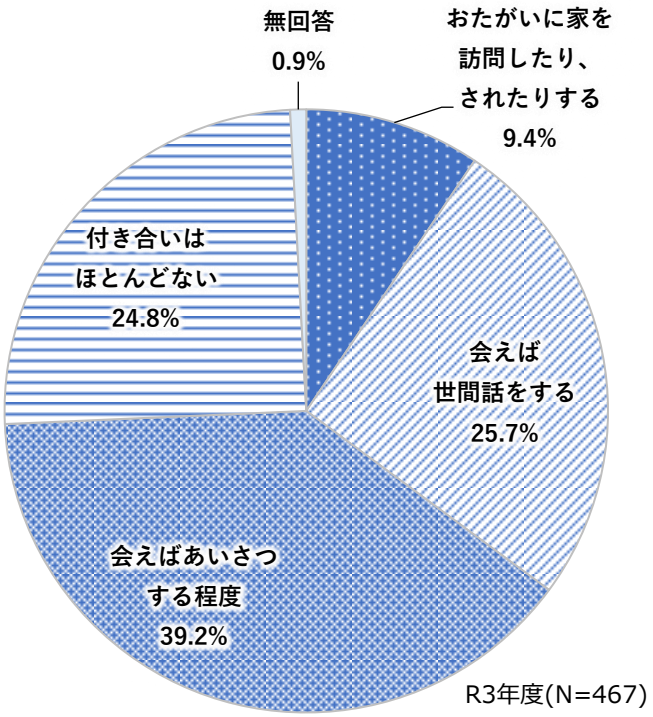
		該当数	知らなかった	関心がない	時間がない	インターネットで必要な情報はとれる	行きにくい場所にある	その他	無回答
全　体		412	283	13	30	61	8	9	8
		100.0	68.7	3.2	7.3	14.8	1.9	2.2	1.9
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	139	71.2	5.8	4.3	14.4	3.6	-	0.7
	韓国	37	70.3	2.7	2.7	21.6	2.7	-	-
	ベトナム	99	68.7	2.0	13.1	13.1	-	-	3.0
	ネパール	51	74.5	3.9	3.9	7.8	-	5.9	3.9
	その他（アジア）	47	68.1	-	2.1	19.1	2.1	6.4	2.1
	その他（アジア以外）	38	52.6	-	18.4	18.4	2.6	7.9	-
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	100.0
年齢別	29歳以下	275	67.6	4.4	8.0	13.8	2.2	1.8	2.2
	30～39歳	100	74.0	-	5.0	17.0	1.0	3.0	-
	40～49歳	18	66.7	-	11.1	16.7	-	5.6	-
	50～59歳	7	57.1	14.3	-	14.3	14.3	-	-
	60歳以上	7	57.1	-	14.3	28.6	-	-	-
	無回答	5	60.0	-	-	-	-	-	40.0
在留資格別	留学（大学、短大等）	84	57.1	7.1	11.9	14.3	6.0	1.2	2.4
	留学（日本語学校）	40	70.0	2.5	10.0	10.0	-	2.5	5.0
	留学（専修・各種学校・その他）	67	77.6	7.5	4.5	7.5	1.5	1.5	-
	就労（技術・人文知識・国際業務）	76	72.4	-	6.6	21.1	-	-	-
	就労（特定技能）	17	76.5	-	5.9	5.9	-	11.8	-
	就労（その他）	9	66.7	-	11.1	22.2	-	-	-
	家族滞在	26	80.8	-	-	7.7	3.8	7.7	-
	技能実習	33	60.6	-	9.1	18.2	-	3.0	9.1
	日本人の配偶者等	40	70.0	2.5	5.0	15.0	2.5	2.5	2.5
	特定活動	13	76.9	-	7.7	15.4	-	-	-
	その他	7	28.6	-	-	71.4	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-

23. 近所とのつきあい状況【Q26】【Q27】【Q27-1･2】

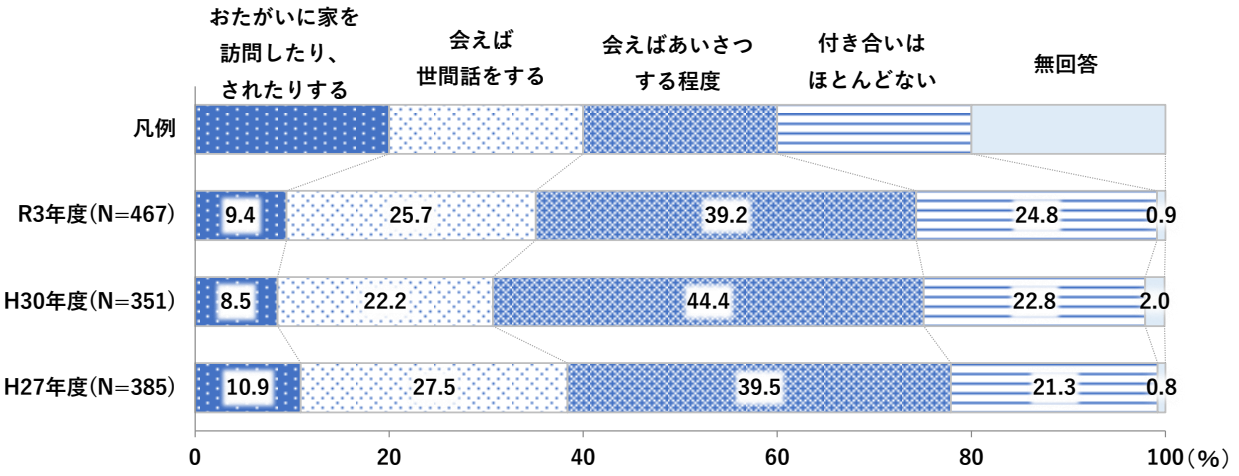
①付き合い程度【Q26】

日頃、近所の日本人とどの程度付き合いがあるか尋ねたところ、「おたがいに家を訪問したり、されたりする」（9.4%）、「会えば世間話をする」（25.7%）を合わせた『世間話以上の付き合い』が３割強（35.1%）を占める。また、『世間話以上のつきあい』に「会えばあいさつする程度」（39.2%）を合わせた『あいさつ以上の付き合い』が７割強（74.3%）を占めている。

【付き合い程度】



【付き合い程度（時系列）】



国籍別にみると、韓国及びベトナムを除くいずれの国籍も「会えばあいさつする程度」と回答した人が最も多い。また、韓国の「おたがいに家を訪問したり、されたりする」、ベトナムの「会えば世間話をする」は、回答した人の割合が他の国籍に比べ高くなっている。

【付き合い程度（属性別特徴）】

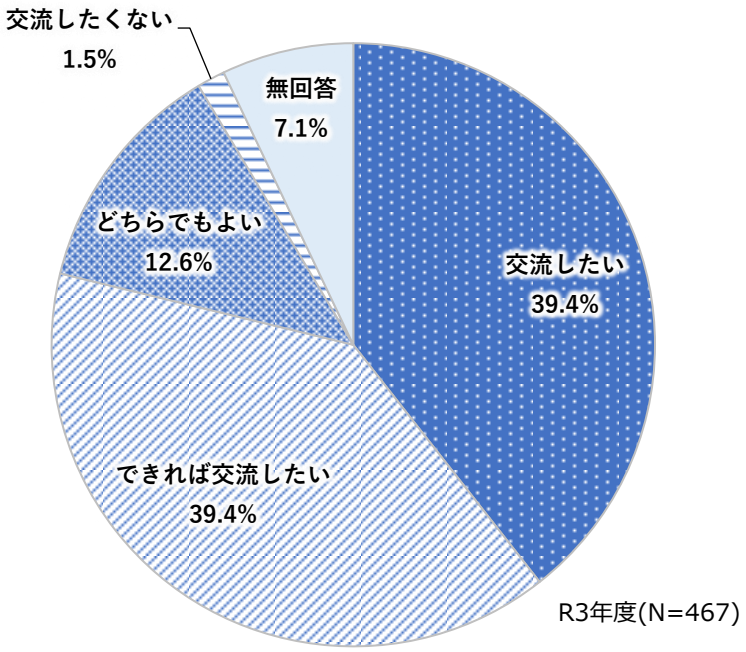
（%）

		サンプル数	おたがいに家を訪問したり、されたりする	会えば世間話をする	会えばあいさつする程度	付き合いはほとんどない	無回答
全　体		467	44	120	183	116	4
		100.0	9.4	25.7	39.2	24.8	0.9
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	151	10.6	26.5	35.1	27.2	0.7
	韓国	43	30.2	27.9	9.3	32.6	-
	ベトナム	109	3.7	39.4	33.9	22.0	0.9
	ネパール	60	10.0	13.3	60.0	15.0	1.7
	その他（アジア）	63	3.2	12.7	57.1	25.4	1.6
	その他（アジア以外）	39	5.1	20.5	43.6	30.8	-
	無回答	2	50.0	50.0	-	-	-
年齢別	29歳以下	311	7.7	26.0	40.2	24.8	1.3
	30～39歳	113	13.3	23.0	34.5	29.2	-
	40～49歳	20	-	45.0	50.0	5.0	-
	50～59歳	9	22.2	22.2	22.2	33.3	-
	60歳以上	7	42.9	-	42.9	14.3	-
	無回答	7	-	28.6	57.1	14.3	-
在留資格別	留学（大学、短大等）	97	11.3	21.6	42.3	23.7	1.0
	留学（日本語学校）	53	3.8	26.4	47.2	22.6	-
	留学（専修・各種学校・その他）	73	6.8	37.0	31.5	23.3	1.4
	就労（技術・人文知識・国際業務）	83	14.5	22.9	28.9	33.7	-
	就労（特定技能）	18	16.7	33.3	27.8	22.2	-
	就労（その他）	10	-	20.0	70.0	10.0	-
	家族滞在	31	9.7	22.6	51.6	12.9	3.2
	技能実習	36	5.6	30.6	44.4	16.7	2.8
	日本人の配偶者等	43	9.3	20.9	39.5	30.2	-
	特定活動	14	-	14.3	42.9	42.9	-
	その他	9	22.2	22.2	33.3	22.2	-
	無回答	-	-	-	-	-	-
住居形態別	持ち家（一戸建て・分譲マンション）	47	14.9	21.3	48.9	14.9	-
	公営住宅・団地	31	6.5	32.3	35.5	22.6	3.2
	民間の賃貸アパート・マンション	321	8.7	23.1	41.1	26.5	0.6
	社宅・会社の寮	37	13.5	35.1	16.2	32.4	2.7
	学生寮	24	4.2	45.8	33.3	16.7	-
	その他	5	20.0	20.0	40.0	20.0	-
	不明	2	-	50.0	50.0	-	-

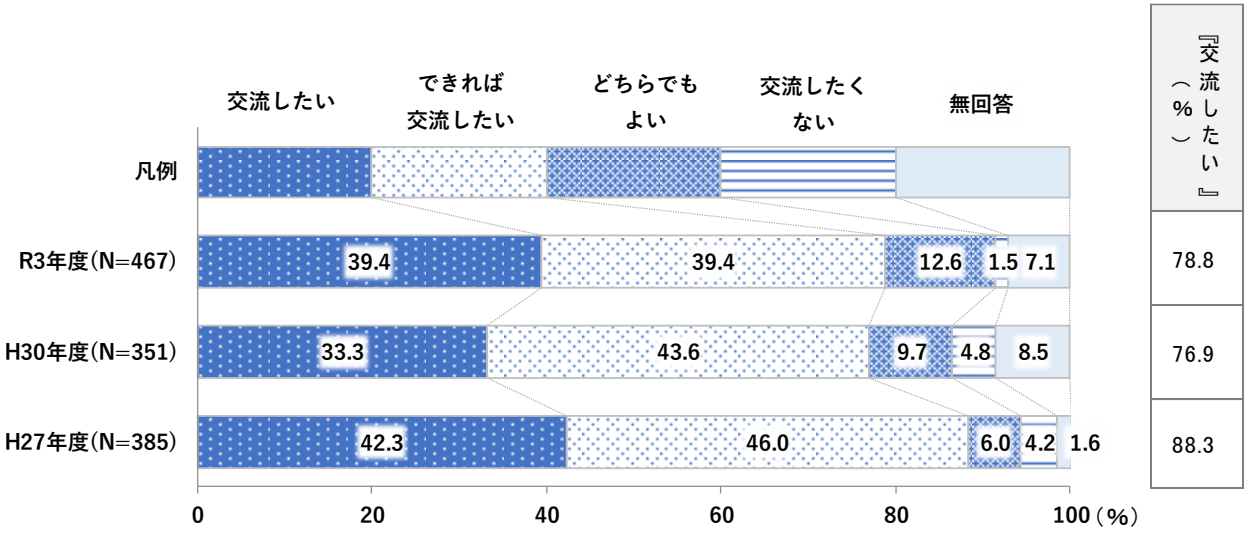
②交流意向【Q27】

日本人との交流意向を尋ねたところ、「交流をしたい」（39.4%）、「できれば交流したい」（39.4%）を合わせた『交流したい』という割合は８割弱（78.8%）となっている。また、「どちらでもよい」（12.6%）、「交流したくない」（1.5%）となっている。

【交流意向】



【交流意向（時系列）】



国籍別にみると、いずれの国籍も『交流したい』と回答した人が７割以上であり、特にネパールは９割弱となっている。

年齢別にみると、いずれの年代も『交流したい』と回答した人が半数以上である。

在留資格別にみると、いずれの資格も『交流したい』と回答した人が７割を超えている。

福岡市滞在年数別にみると、いずれの年数も『交流したい』が７割を超えている。

【交流意向（属性別特徴）】

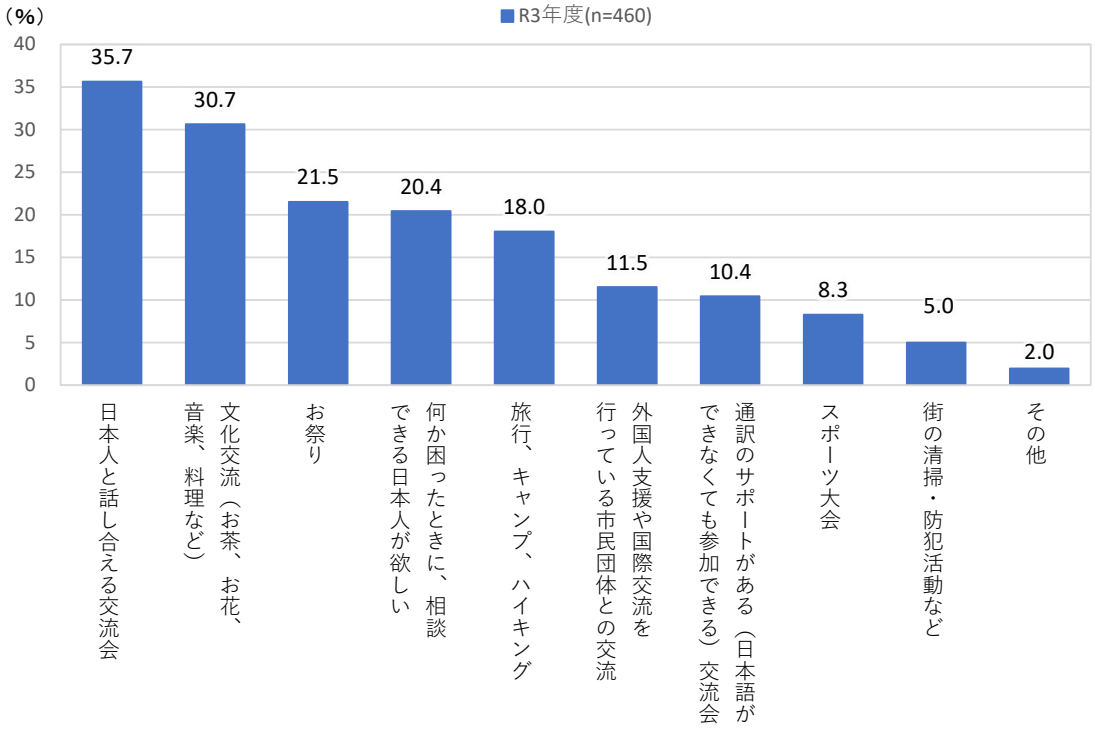
（%）

		サンプル数	交流したい	できれば交流したい	どちらでもよい	交流したくない	無回答	『交流したい』計
全　体		467	184	184	59	7	33	368
		100.0	39.4	39.4	12.6	1.5	7.1	78.8
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	151	41.1	37.7	13.9	0.7	6.6	78.8
	韓国	43	30.2	46.5	14.0	7.0	2.3	76.7
	ベトナム	109	29.4	45.9	17.4	1.8	5.5	75.2
	ネパール	60	43.3	45.0	1.7	-	10.0	88.3
	その他（アジア）	63	46.0	31.7	9.5	1.6	11.1	77.8
	その他（アジア以外）	39	51.3	25.6	15.4	-	7.7	76.9
	無回答	2	100.0	-	-	-	-	100.0
年齢別	29歳以下	311	37.0	41.8	13.5	1.9	5.8	78.8
	30～39歳	113	45.1	33.6	11.5	0.9	8.8	78.8
	40～49歳	20	45.0	45.0	5.0	-	5.0	90.0
	50～59歳	9	44.4	33.3	22.2	-	-	77.8
	60歳以上	7	42.9	14.3	14.3	-	28.6	57.1
	無回答	7	28.6	42.9	-	-	28.6	71.4
在留資格別	留学（大学、短大等）	97	42.3	36.1	17.5	-	4.1	78.4
	留学（日本語学校）	53	39.6	43.4	7.5	-	9.4	83.0
	留学（専修・各種学校・その他）	73	41.1	39.7	8.2	2.7	8.2	80.8
	就労（技術・人文知識・国際業務）	83	38.6	33.7	20.5	3.6	3.6	72.3
	就労（特定技能）	18	38.9	38.9	5.6	-	16.7	77.8
	就労（その他）	10	50.0	40.0	-	-	10.0	90.0
	家族滞在	31	38.7	41.9	6.5	3.2	9.7	80.6
	技能実習	36	22.2	58.3	8.3	-	11.1	80.6
	日本人の配偶者等	43	34.9	41.9	16.3	2.3	4.7	76.7
	特定活動	14	57.1	28.6	7.1	-	7.1	85.7
	その他	9	55.6	22.2	11.1	-	11.1	77.8
	無回答	-	-	-	-	-	-	-
在福岡市滞年数別	６か月未満	21	47.6	28.6	14.3	4.8	4.8	76.2
	６か月～１年未満	88	40.9	44.3	8.0	1.1	5.7	85.2
	１年以上～３年未満	198	37.4	40.9	12.6	1.0	8.1	78.3
	３年以上～５年未満	160	40.0	36.3	15.0	1.9	6.9	76.3

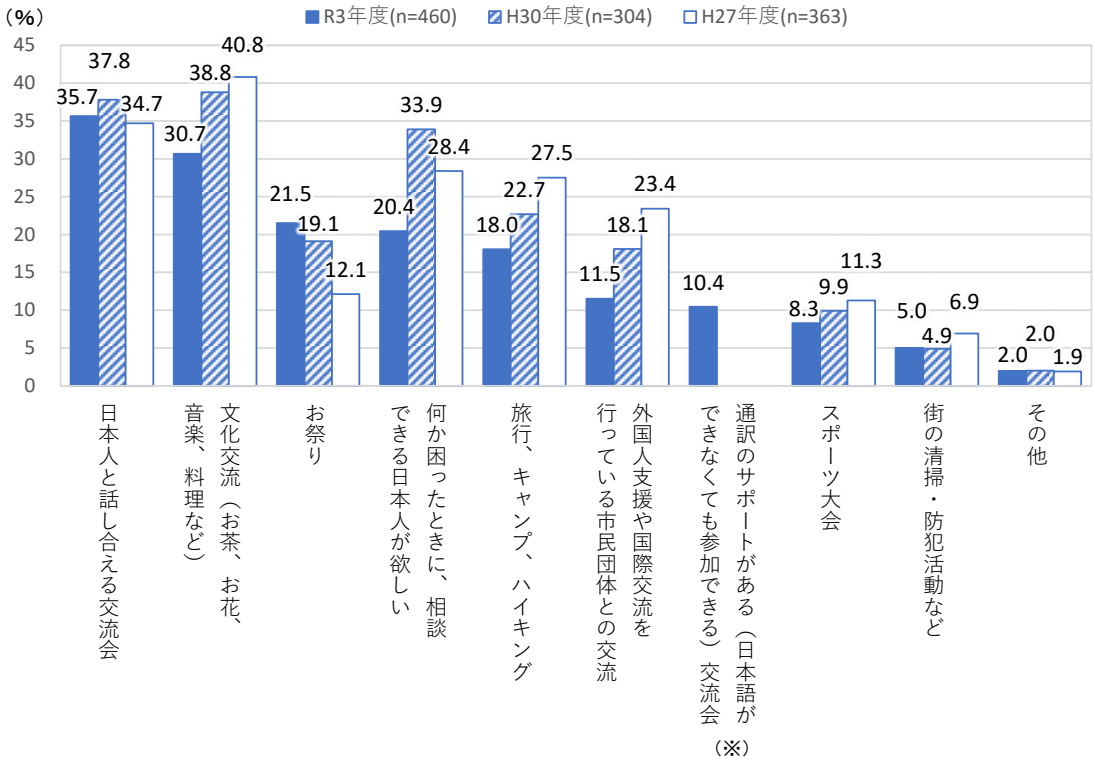
③どのような交流を望むか【Q27-1】(複数回答)

日本人との交流意向があると回答した人（460人）にどのような交流を望むかを尋ねたところ、「日本人と話し合える交流会」（35.7%）が最も多く、以下、「文化交流（お茶、お花、音楽、料理など）」（30.7%）、「お祭り」（21.5%）、「何か困ったときに、相談できる日本人が欲しい」（20.4%）、「旅行、キャンプ、ハイキング」（18.0%）と続いている。

【どのような交流を望むか】



【どのような交流を望むか（時系列）】



注:(※)H30・H27年度調査にはない項目

国籍別にみると、中国（台湾を含む）及びその他（アジア以外）は「文化交流（お茶、お花、音楽、料理など)」、韓国、ベトナム及びネパールは「日本人と話し合える交流会」、その他（アジア）は「何か困ったときに、相談できる日本人が欲しい」と回答した人が最も多い。また、中国（台湾を含む）の「旅行、キャンプ、ハイキング」は、回答した人の割合が他の国籍に比べ高い。

在留資格別にみると、いずれの資格とも「文化交流（お茶、お花、音楽、料理など)」、「日本人と話し合える交流会」と回答した人が多くなっている。また、留学（大学、短大等）の「旅行、キャンプ、ハイキング」は、回答した人の割合が、他の資格に比べ高くなっている。

福岡市滞在年数別にみると、いずれの滞在年数とも「日本人と話し合える交流会」を回答した人が最も多くなっている。また、６か月未満は「お祭り」を回答した人の割合が高くなっている。

【どのような交流を望むか（属性別特徴）】

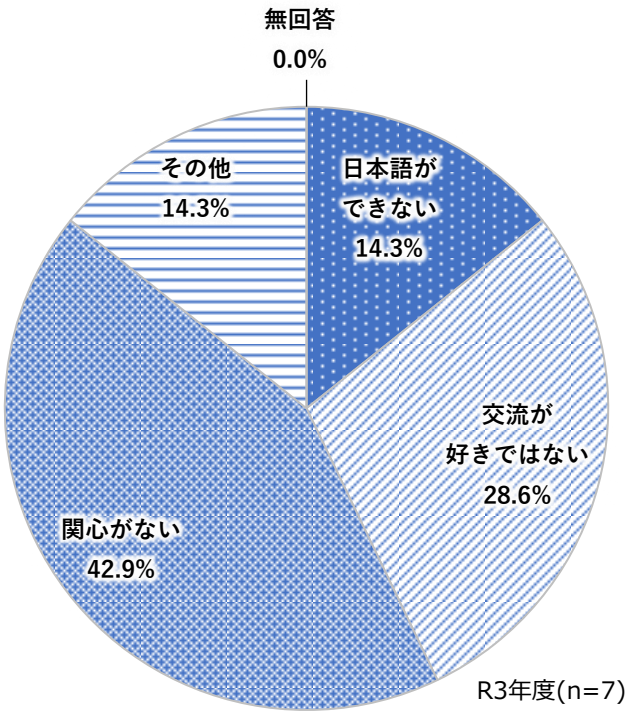
（%）

		該当数	日本人と話し合える交流会	文化交流（お茶、お花、音楽、料理など）	お祭り	何か困ったときに、相談できる日本人が欲しい	旅行、キャンプ、ハイキング	外国人支援や国際交流を行っている市民団体との交流	通訳のサポートがある（日本語ができなくても参加できる）交流会	スポーツ大会	街の清掃・防犯活動など	その他	無回答
全　体		460	164	141	99	94	83	53	48	38	23	9	40
		100.0	35.7	30.7	21.5	20.4	18.0	11.5	10.4	8.3	5.0	2.0	8.7
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	150	28.7	32.7	20.0	20.7	26.0	10.0	12.0	6.0	3.3	3.3	8.7
	韓国	40	45.0	37.5	37.5	7.5	20.0	12.5	-	12.5	-	2.5	2.5
	ベトナム	107	55.1	32.7	18.7	17.8	12.1	8.4	13.1	7.5	3.7	-	5.6
	ネパール	60	28.3	16.7	16.7	25.0	13.3	20.0	10.0	11.7	11.7	1.7	13.3
	その他（アジア）	62	29.0	25.8	16.1	30.6	17.7	12.9	9.7	6.5	6.5	1.6	14.5
	その他（アジア以外）	39	23.1	38.5	35.9	15.4	10.3	10.3	10.3	12.8	7.7	2.6	5.1
	無回答	2	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0
年齢別	29歳以下	305	38.7	29.5	23.0	21.3	18.4	11.5	9.8	8.2	4.3	1.0	8.2
	30～39歳	112	33.0	35.7	17.9	18.8	18.8	11.6	9.8	8.9	5.4	4.5	8.0
	40～49歳	20	5.0	25.0	35.0	20.0	25.0	10.0	15.0	5.0	15.0	5.0	10.0
	50～59歳	9	66.7	33.3	11.1	11.1	-	11.1	-	11.1	11.1	-	11.1
	60歳以上	7	28.6	14.3	-	28.6	14.3	-	28.6	-	-	-	28.6
	無回答	7	-	28.6	14.3	14.3	-	28.6	28.6	14.3	-	-	14.3
在留資格別	留学（大学、短大等）	97	28.9	28.9	22.7	16.5	25.8	13.4	15.5	13.4	7.2	2.1	4.1
	留学（日本語学校）	53	47.2	28.3	18.9	24.5	9.4	9.4	5.7	7.5	5.7	-	15.1
	留学（専修・各種学校・その他）	71	47.9	28.2	22.5	21.1	15.5	18.3	5.6	4.2	1.4	1.4	9.9
	就労（技術・人文知識・国際業務）	80	32.5	28.8	23.8	22.5	20.0	12.5	6.3	5.0	3.8	5.0	6.3
	就労（特定技能）	18	38.9	22.2	16.7	5.6	22.2	5.6	22.2	5.6	-	5.6	16.7
	就労（その他）	10	30.0	30.0	30.0	20.0	20.0	-	-	20.0	10.0	-	10.0
	家族滞在	30	46.7	53.3	3.3	20.0	6.7	10.0	20.0	-	6.7	-	6.7
	技能実習	36	36.1	27.8	25.0	16.7	13.9	5.6	8.3	8.3	5.6	-	13.9
	日本人の配偶者等	42	19.0	35.7	28.6	23.8	21.4	9.5	7.1	16.7	9.5	2.4	4.8
	特定活動	14	21.4	21.4	21.4	42.9	7.1	7.1	21.4	7.1	-	-	14.3
	その他	9	33.3	44.4	11.1	11.1	33.3	11.1	22.2	-	-	-	11.1
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡市滞在年数別	６か月未満	20	50.0	35.0	45.0	20.0	5.0	15.0	5.0	5.0	-	-	5.0
	６か月～１年未満	87	46.0	32.2	18.4	25.3	17.2	8.0	8.0	5.7	4.6	2.3	6.9
	１年以上～３年未満	196	33.7	33.7	21.9	15.3	20.9	10.2	10.2	10.2	5.6	1.5	9.2
	３年以上～５年未満	157	30.6	25.5	19.7	24.2	16.6	14.6	12.7	7.6	5.1	2.5	9.6

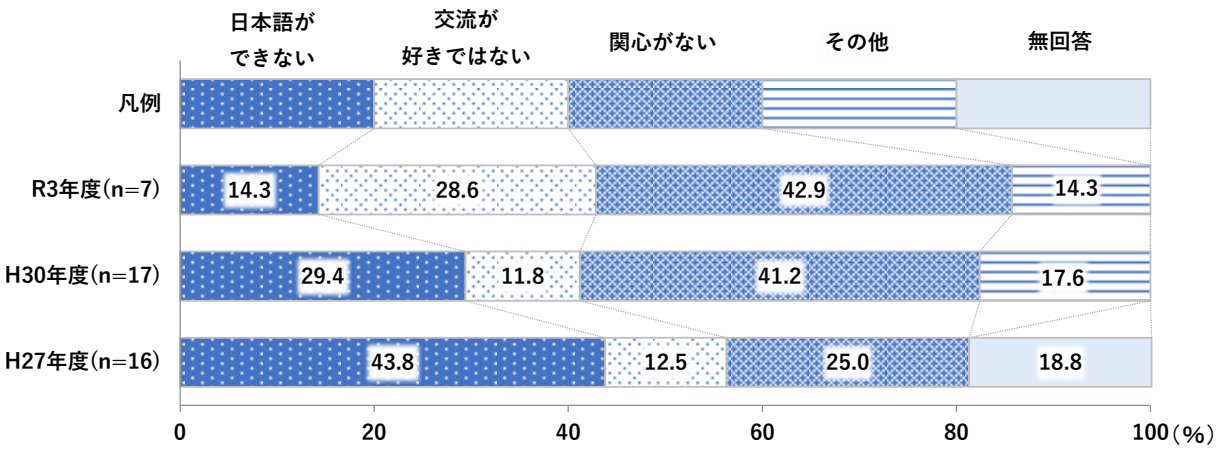
④交流を望まない理由【Q27-2】

日本人との交流意向がないと回答した人（7人）にその理由を尋ねたところ、「関心がない」（42.9%）が最も多く、次いで、「交流が好きではない」（28.6%）、「日本語ができない」（14.3%）となっている。

【交流を望まない理由】



【交流を望まない理由（時系列）】



【交流を望まない理由（属性別特徴）】

（%）

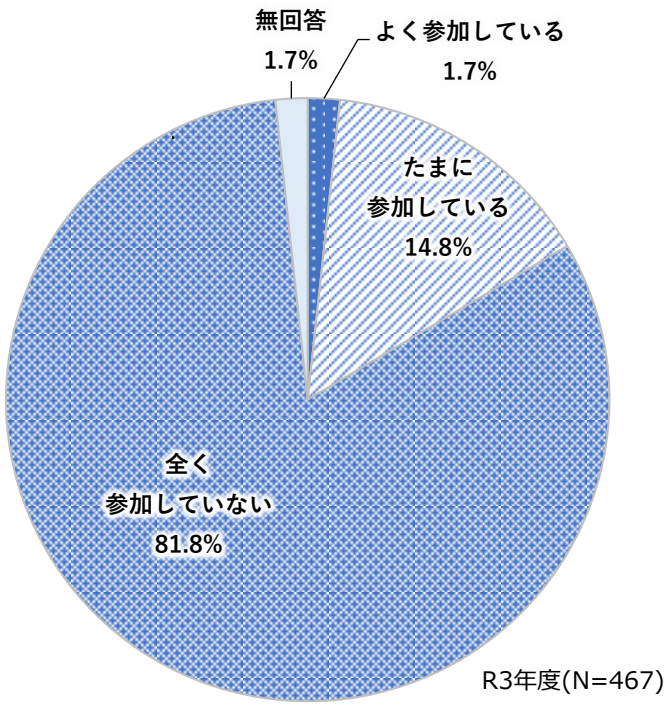
		該当数	日本語ができない	交流が好きではない	関心がない	その他	無回答
全　体		7	1	2	3	1	-
		100.0	14.3	28.6	42.9	14.3	-
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	1	-	-	100.0	-	-
	韓国	3	-	-	66.7	33.3	-
	ベトナム	2	-	100.0	-	-	-
	ネパール	-	-	-	-	-	-
	その他（アジア）	1	100.0	-	-	-	-
	その他（アジア以外）	-	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-
年齢別	29歳以下	6	-	33.3	50.0	16.7	-
	30～39歳	1	100.0	-	-	-	-
	40～49歳	-	-	-	-	-	-
	50～59歳	-	-	-	-	-	-
	60歳以上	-	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-
在留資格別	留学（大学、短大等）	-	-	-	-	-	-
	留学（日本語学校）	-	-	-	-	-	-
	留学（専修・各種学校・その他）	2	-	50.0	50.0	-	-
	就労（技術・人文知識・国際業務）	3	-	33.3	33.3	33.3	-
	就労（特定技能）	-	-	-	-	-	-
	就労（その他）	-	-	-	-	-	-
	家族滞在	1	100.0	-	-	-	-
	技能実習	-	-	-	-	-	-
	日本人の配偶者等	1	-	-	100.0	-	-
	特定活動	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-
在福岡市別滞年数	６か月未満	1	100.0	-	-	-	-
	６か月～１年未満	1	-	-	100.0	-	-
	１年以上～３年未満	2	-	50.0	50.0	-	-
	３年以上～５年未満	3	-	33.3	33.3	33.3	-

24. 地域行事への参加状況【Q28】【Q28-1・2】

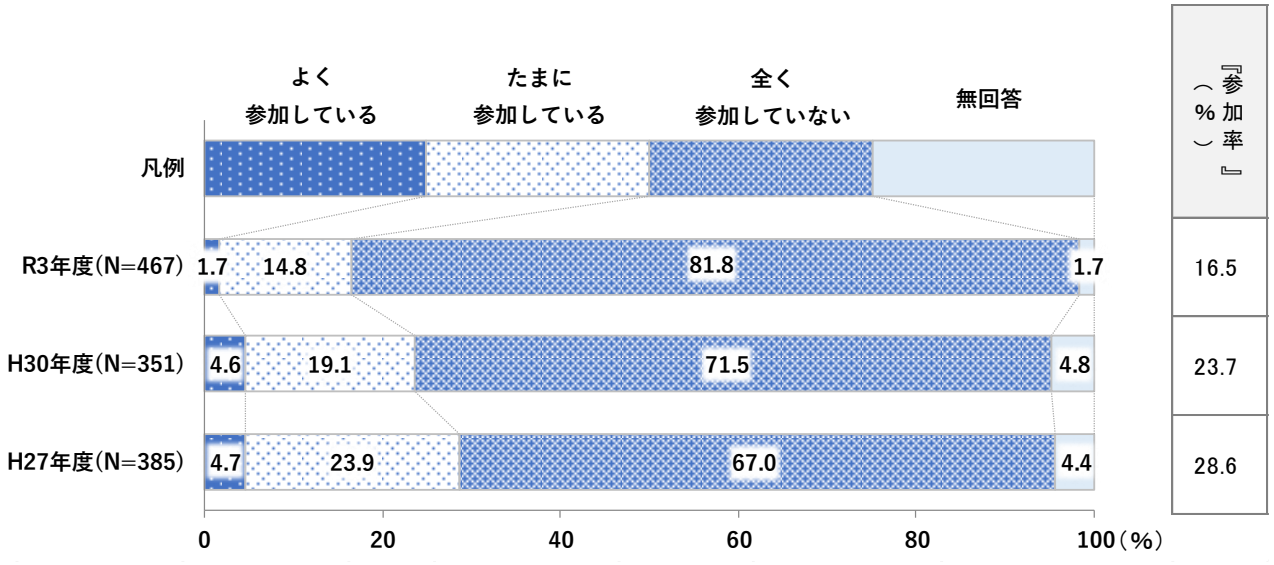
①参加状況【Q28】

地域（自治会、町内会、校区、団地、マンション等）での行事（イベント）や活動に参加しているか尋ねたところ、「よく参加している」（1.7%）、「たまに参加している」（14.8%）を合わせた『参加率』（16.5%）は２割に満たない。なお、「全く参加していない」（81.8%）と回答した人は８割を占めている。

【参加状況】



【参加状況（時系列）】



国籍別にみると、いずれの国籍も「全く参加していない」と回答した人が最も多いが、その他（アジア）及びその他（アジア以外）は「たまに参加している」を回答した人の割合が他の国籍に比べ高く、『参加率』の割合が高い。

年齢別にみると、いずれの年齢も「全く参加していない」と回答した人が最も多いが、60歳以上は「たまに参加している」と回答した人の割合が他の年齢に比べ高い。

在留資格別にみると、就労（その他）の『参加率』は、他の資格と比べ、割合が高い。

福岡市滞在年数別にみると、いずれの年数も「全く参加していない」と回答した人が最も多い。

住居形態別にみると、公営住宅・団地は『参加率』が３割強と、他の形態と比べ高い割合となっている。

【参加状況（属性別特徴）】

（%）

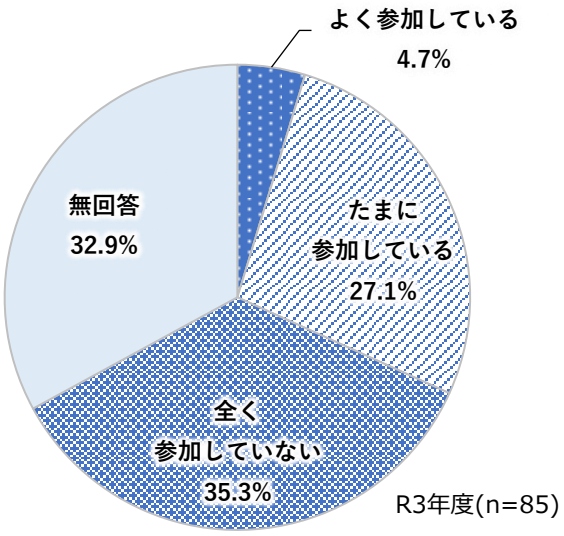
		サンプル数	よく参加している	たまに参加している	全く参加していない	無回答	『参加率』
全　体		467	8	69	382	8	77
		100.0	1.7	14.8	81.8	1.7	16.5
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	151	0.7	10.6	87.4	1.3	11.3
	韓国	43	2.3	14.0	83.7	-	16.3
	ベトナム	109	0.9	15.6	82.6	0.9	16.5
	ネパール	60	-	13.3	83.3	3.3	13.3
	その他（アジア）	63	4.8	22.2	68.3	4.8	27.0
	その他（アジア以外）	39	2.6	20.5	76.9	-	23.1
	無回答	2	50.0	-	50.0	-	50.0
年齢別	29歳以下	311	1.0	12.9	84.6	1.6	13.8
	30～39歳	113	4.4	15.9	77.9	1.8	20.4
	40～49歳	20	-	10.0	90.0	-	10.0
	50～59歳	9	-	33.3	66.7	-	33.3
	60歳以上	7	-	42.9	57.1	-	42.9
	無回答	7	-	42.9	42.9	14.3	42.9
在留資格別	留学（大学、短大等）	97	2.1	13.4	83.5	1.0	15.5
	留学（日本語学校）	53	-	9.4	88.7	1.9	9.4
	留学（専修・各種学校・その他）	73	-	20.5	76.7	2.7	20.5
	就労（技術・人文知識・国際業務）	83	1.2	7.2	90.4	1.2	8.4
	就労（特定技能）	18	11.1	5.6	83.3	-	16.7
	就労（その他）	10	10.0	40.0	50.0	-	50.0
	家族滞在	31	6.5	19.4	74.2	-	25.8
	技能実習	36	-	19.4	80.6	-	19.4
	日本人の配偶者等	43	-	23.3	74.4	2.3	23.3
	特定活動	14	-	-	92.9	7.1	-
	その他	9	-	22.2	66.7	11.1	22.2
	無回答	-	-	-	-	-	-
福岡市滞在年数別	６か月未満	21	-	14.3	85.7	-	14.3
	６か月～１年未満	88	2.3	11.4	86.4	-	13.6
	１年以上～３年未満	198	2.5	13.1	81.3	3.0	15.7
	３年以上～５年未満	160	0.6	18.8	79.4	1.3	19.4
住居形態別	持ち家（一戸建て・分譲マンション）	47	2.1	17.0	76.6	4.3	19.1
	公営住宅・団地	31	6.5	29.0	61.3	3.2	35.5
	民間の賃貸アパート・マンション	321	1.6	12.1	84.7	1.6	13.7
	社宅・会社の寮	37	-	13.5	86.5	-	13.5
	学生寮	24	-	25.0	75.0	-	25.0
	その他	5	-	40.0	60.0	-	40.0
	無回答	2	-	-	100.0	-	-

②地域での行事(イベント)や活動の参加状況【Q28-1(1)】

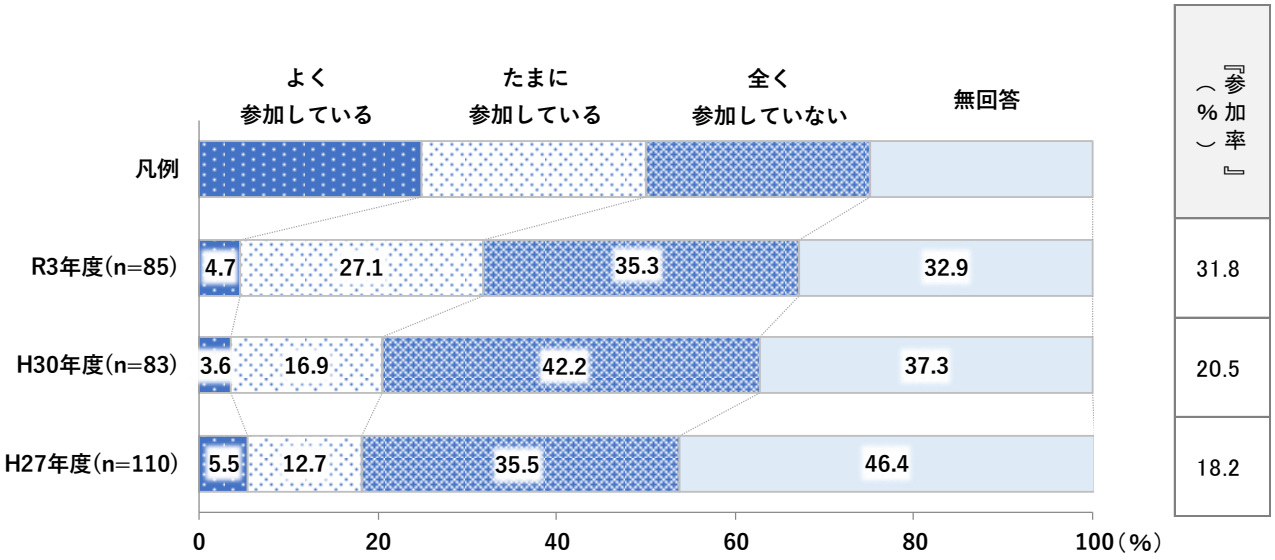
A:自治会や町内会の総会

地域での行事（イベント）や活動に参加していると回答した人（85人）に自治会や町内会の総会の参加状況を尋ねたところ、「よく参加している」（4.7%）、「たまに参加している」（27.1%）を合わせた『参加率』は３割（31.8%）となっている。

【自治会や町内会の総会】



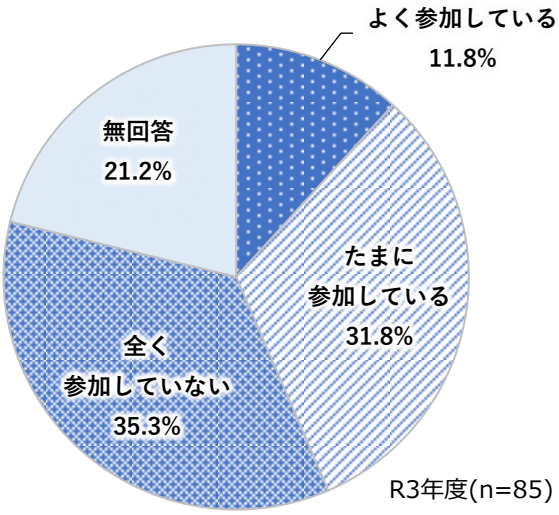
【自治会や町内会の総会（時系列）】



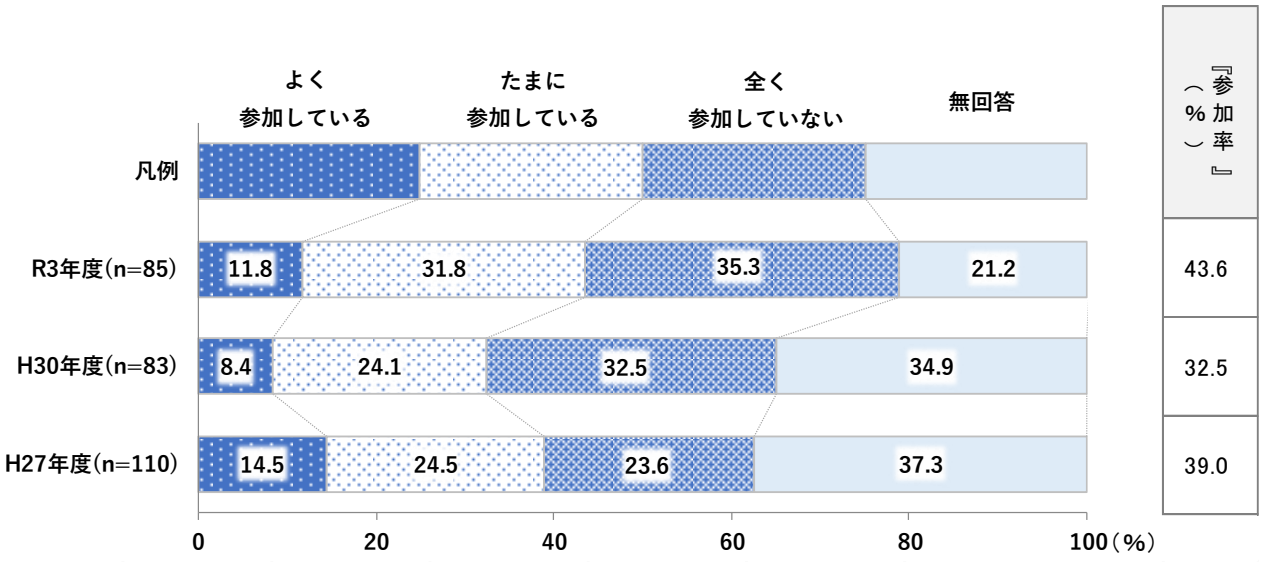
B:地域での清掃や草取り、資源ごみ回収

地域での清掃や草取り、資源ごみ回収の参加状況を尋ねたところ、「よく参加している」（11.8%）、「たまに参加している」（31.8%）をあわせた『参加率』は４割強（43.6%）となっている。

【地域での清掃や草取り、資源ごみ回収】



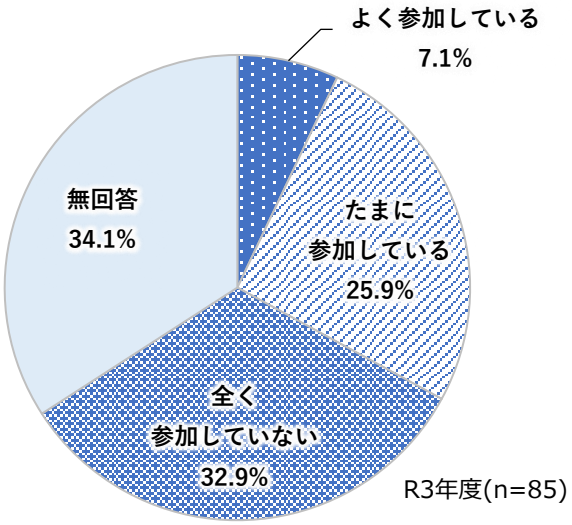
【地域での清掃や草取り、資源ごみ回収（時系列）】



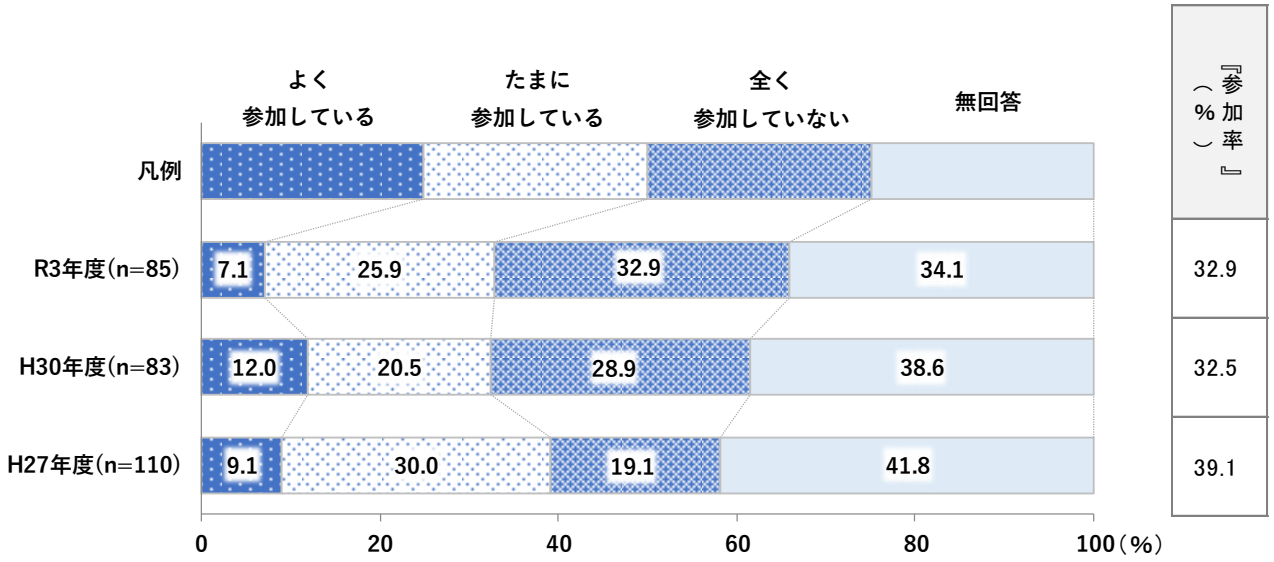
C:防災訓練

防災訓練の参加状況を尋ねたところ、「よく参加している」（7.1%）、「たまに参加している」（25.9%）をあわせた『参加率』は３割（32.9%）となっている。

【防災訓練】



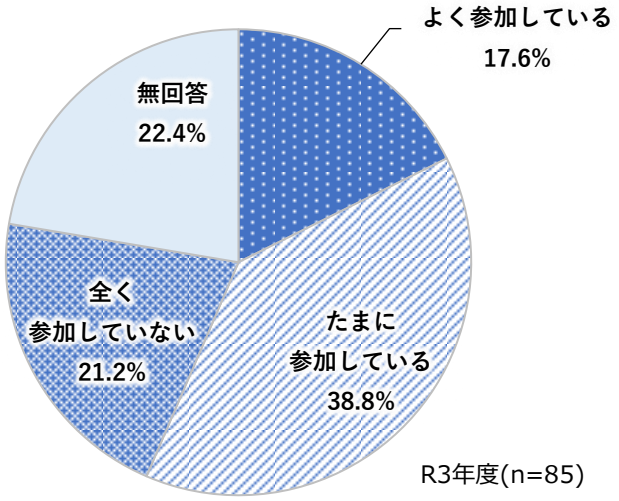
【防災訓練（時系列）】



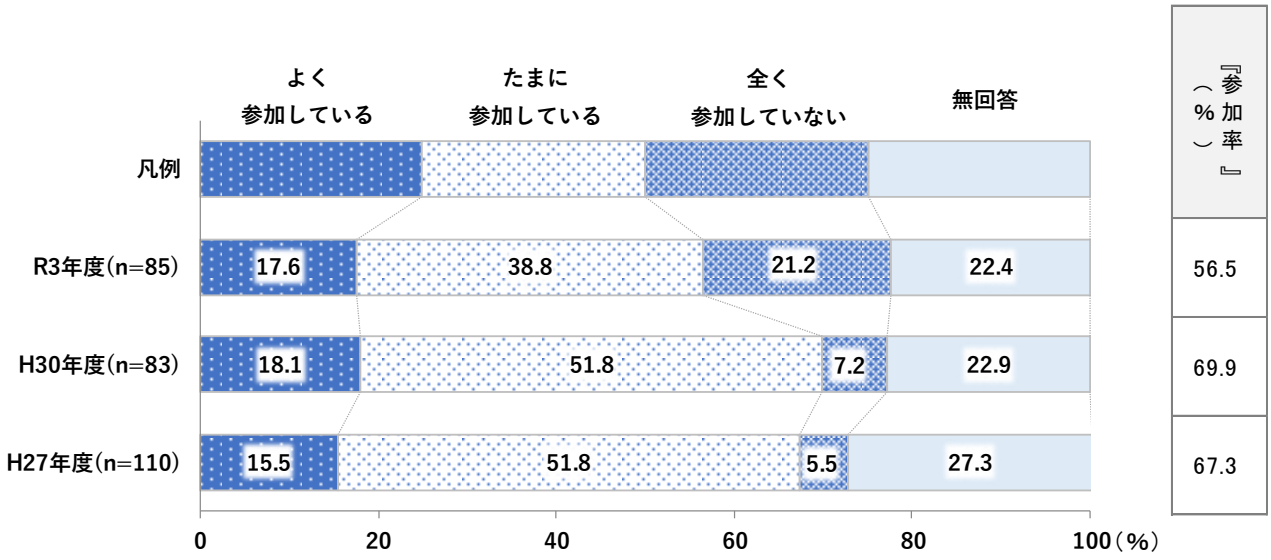
D:祭り･花見･新年会･スポーツ大会などの親睦行事

祭り・花見・新年会・スポーツ大会などの親睦行事の参加状況を尋ねたところ、「よく参加している」（17.6%）、「たまに参加している」（38.8%）をあわせた『参加率』は約６割（56.5%）となっている。

【祭り・花見・新年会・スポーツ大会などの親睦行事】



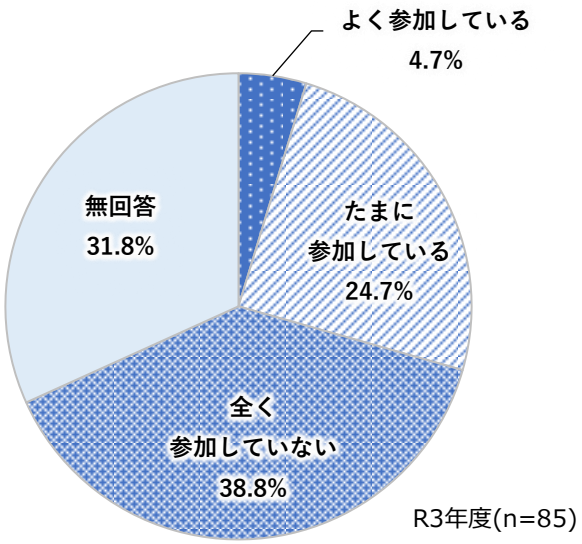
【祭り・花見・新年会・スポーツ大会などの親睦行事（時系列）】



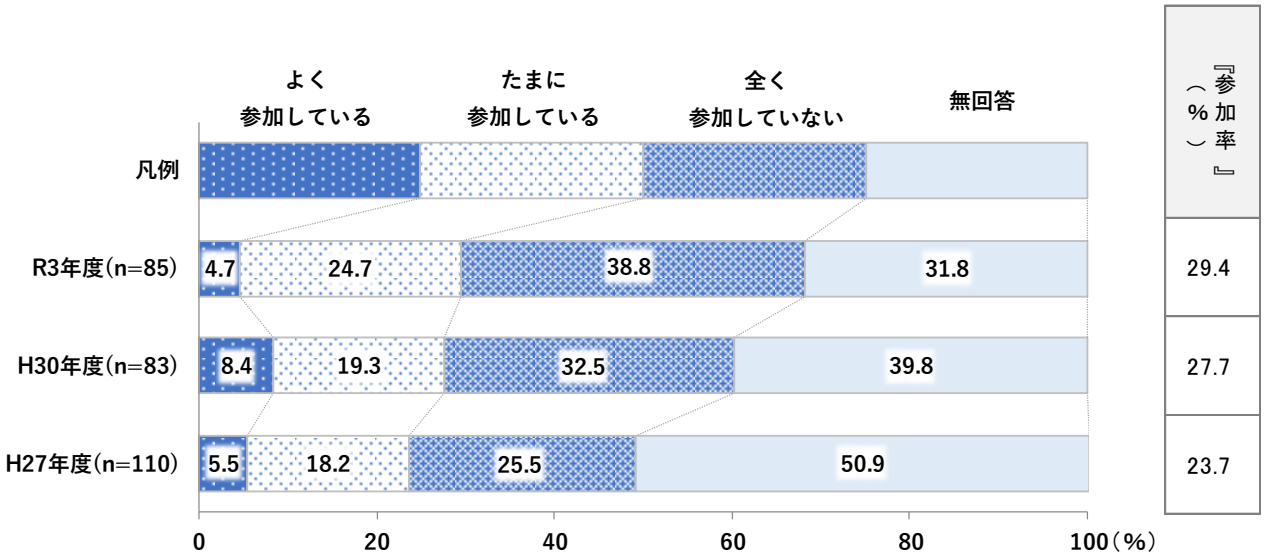
E:サークル活動

サークル活動の参加状況を尋ねたところ、「よく参加している」(4.7%)、「たまに参加している」(24.7%)をあわせた『参加率』は約３割(29.4%)となっている。

【サークル活動】



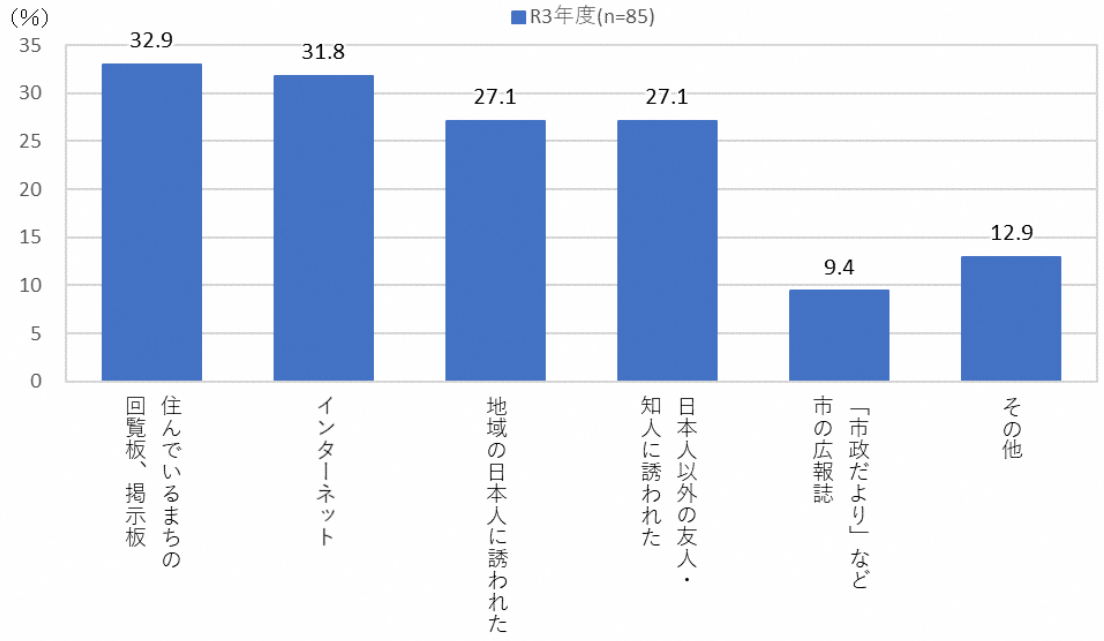
【サークル活動(時系列)】



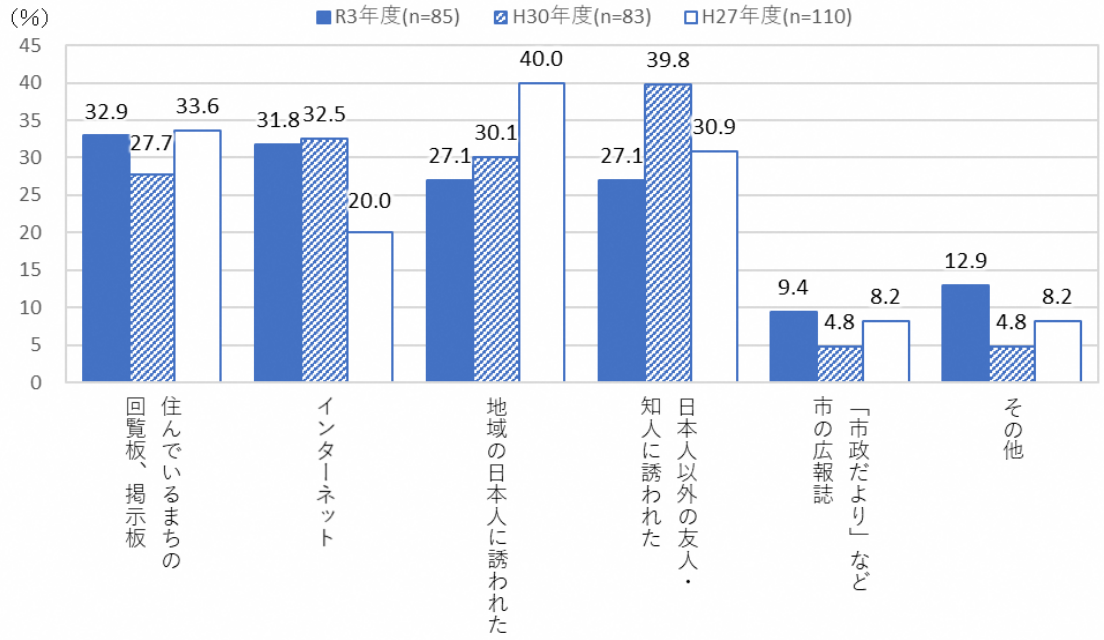
③参加のきっかけ【Q28-1(2)】(複数回答)

地域単位での行事（イベント）や活動に参加していると回答した人（85人）に参加のきっかけを尋ねたところ、「住んでいるまちの回覧板、掲示板」（32.9%）が最も多く、以下、「インターネット」（31.8%）、「地域の日本人に誘われた」、「日本人以外の友人・知人に誘われた」（各々27.1%）、「「市政だより」など市の広報誌」（9.4%）と続いている。

【参加のきっかけ】



【参加のきっかけ（時系列）】



【参加のきっかけ（属性別特徴）】

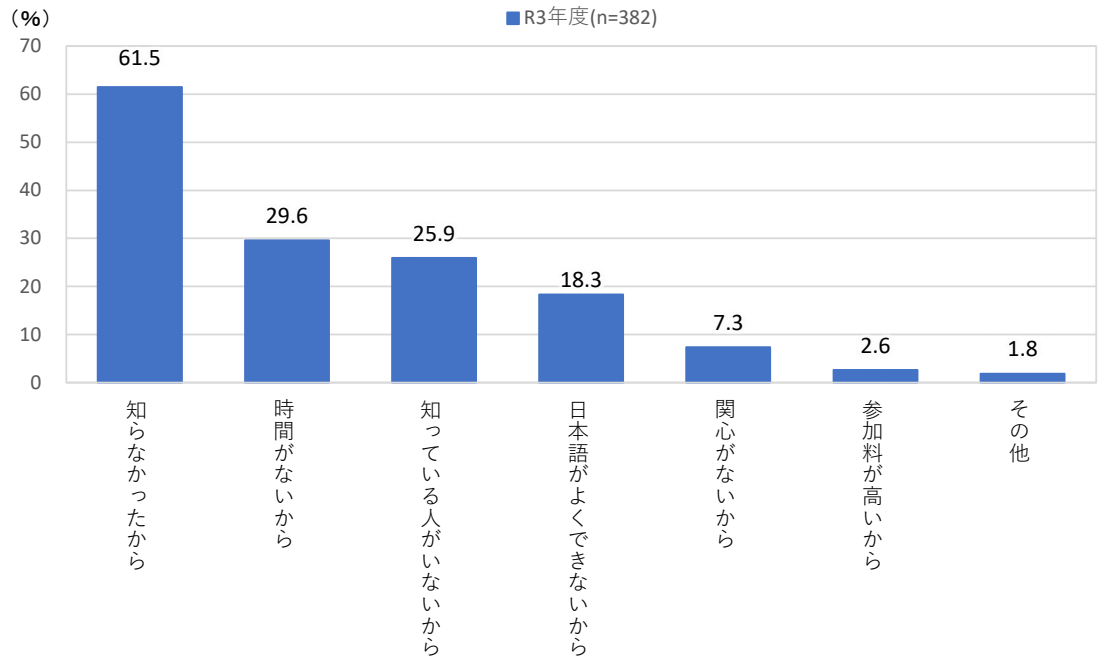
（%）

		該当数	住んでいるまちの回覧板、掲示板	インターネット	地域の日本人に誘われた	日本人以外の友人・知人に誘われた	「市政だより」など市の広報誌	その他	無回答
全　体		85	28	27	23	23	8	11	8
		100.0	32.9	31.8	27.1	27.1	9.4	12.9	9.4
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	19	42.1	21.1	31.6	15.8	15.8	10.5	5.3
	韓国	7	-	71.4	-	-	-	42.9	14.3
	ベトナム	19	42.1	42.1	26.3	47.4	5.3	-	10.5
	ネパール	10	10.0	40.0	20.0	30.0	20.0	20.0	10.0
	その他（アジア）	20	35.0	25.0	25.0	35.0	10.0	10.0	15.0
	その他（アジア以外）	9	44.4	11.1	44.4	11.1	-	22.2	-
	無回答	1	-	-	100.0	-	-	-	-
年齢別	29歳以下	48	29.2	39.6	22.9	29.2	14.6	12.5	8.3
	30～39歳	25	40.0	28.0	32.0	36.0	-	8.0	4.0
	40～49歳	2	-	-	100.0	-	-	50.0	-
	50～59歳	3	33.3	-	-	-	-	-	66.7
	60歳以上	3	66.7	-	33.3	-	-	33.3	-
	無回答	4	25.0	25.0	25.0	-	25.0	25.0	25.0
在留資格別	留学（大学、短大等）	16	12.5	25.0	31.3	43.8	6.3	25.0	-
	留学（日本語学校）	6	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	-	16.7
	留学（専修・各種学校・その他）	17	35.3	52.9	11.8	41.2	11.8	5.9	11.8
	就労（技術・人文知識・国際業務）	8	37.5	37.5	12.5	25.0	25.0	25.0	12.5
	就労（特定技能）	3	33.3	-	66.7	66.7	-	33.3	-
	就労（その他）	5	80.0	40.0	20.0	20.0	-	-	-
	家族滞在	8	37.5	12.5	25.0	12.5	-	12.5	12.5
	技能実習	7	57.1	57.1	85.7	14.3	28.6	-	-
	日本人の配偶者等	11	27.3	27.3	18.2	-	-	18.2	18.2
	特定活動	1	-	-	100.0	-	-	-	-
	その他	3	33.3	-	-	33.3	-	-	33.3
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡市在年数別滞	６か月未満	3	33.3	66.7	33.3	-	-	33.3	-
	６か月～１年未満	12	16.7	33.3	25.0	33.3	8.3	16.7	8.3
	１年以上～３年未満	37	32.4	29.7	29.7	24.3	10.8	8.1	13.5
	３年以上～５年未満	33	39.4	30.3	24.2	30.3	9.1	15.2	6.1
住居形態別	持ち家（一戸建て・分譲マンション）	11	36.4	9.1	36.4	18.2	-	18.2	-
	公営住宅・団地	12	50.0	8.3	50.0	25.0	16.7	8.3	8.3
	民間の賃貸アパート・マンション	49	22.4	38.8	14.3	32.7	12.2	16.3	12.2
	社宅・会社の寮	5	80.0	80.0	80.0	20.0	-	-	-
	学生寮	6	16.7	33.3	33.3	16.7	-	-	16.7
	その他	2	100.0	-	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-

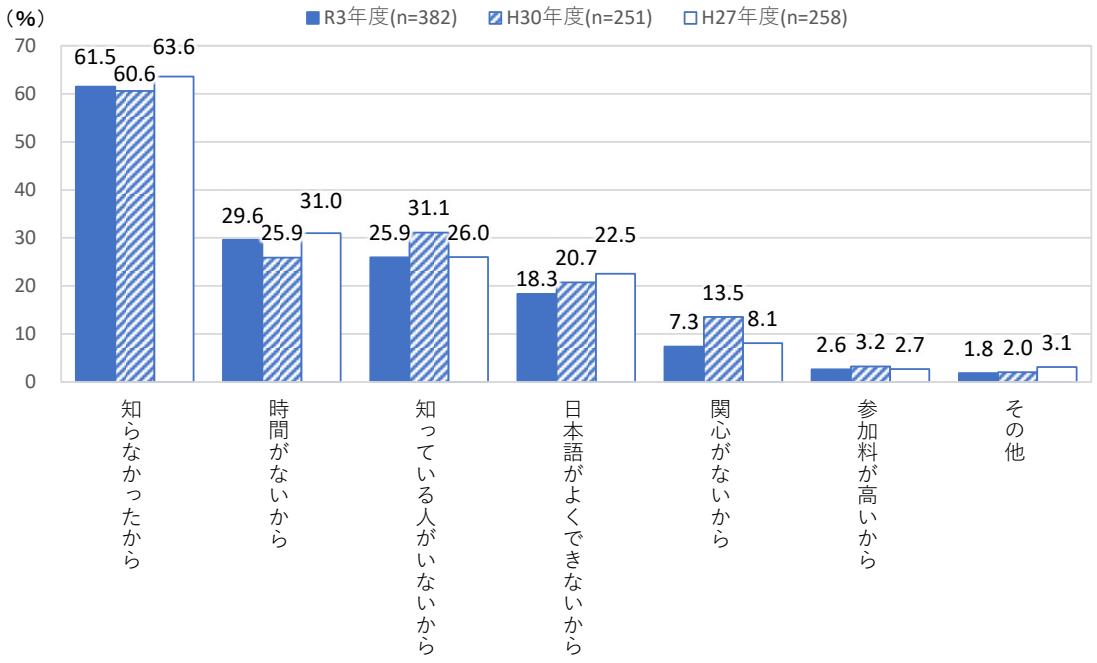
④参加しなかった理由【Q28-2】(複数回答)

地域単位での行事（イベント）や活動に参加していないと回答した人（382人）にその理由を尋ねたところ、「知らなかったから」(61.5%) が最も多く、以下、「時間がないから」(29.6%)、「知っている人がいないから」(25.9%)、「日本語がよくできないから」(18.3%) と続いている。

【参加しなかった理由】



【参加しなかった理由（時系列）】



国籍別にみると、いずれの国籍も「知らなかったから」と回答した人が最も多くなっている。また、ベトナムの「時間がないから」、ネパールの「知っている人がいないから」、その他（アジア以外）の「日本語がよくできないから」は、回答した人の割合が他の国籍に比べ、それぞれ高くなっている。

年齢別にみると、60歳以上は「知っている人がいないから」、それ以外は「知らなかったから」と回答した人が最も多くなっている。

在留資格別にみると、いずれの資格も「知らなかったから」と回答した人が最も多くなっている。

【参加しなかった理由（属性別特徴）】

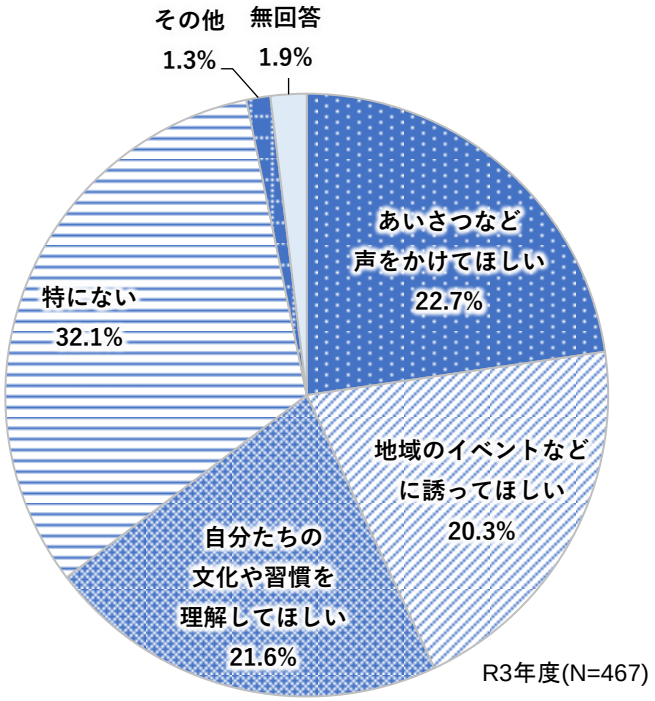
（%）

		該当数	知らなかったから	時間がないから	知っている人がいないから	日本語がよくできないから	関心がないから	参加料が高いから	その他	無回答
全　体		382	235	113	99	70	28	10	7	9
		100.0	61.5	29.6	25.9	18.3	7.3	2.6	1.8	2.4
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	132	59.8	30.3	26.5	15.2	8.3	3.8	3.0	2.3
	韓国	36	63.9	33.3	22.2	13.9	22.2	2.8	2.8	-
	ベトナム	90	58.9	41.1	26.7	25.6	2.2	-	1.1	1.1
	ネパール	50	74.0	14.0	34.0	8.0	-	2.0	-	4.0
	その他（アジア）	43	58.1	18.6	16.3	18.6	11.6	4.7	-	7.0
	その他（アジア以外）	30	56.7	30.0	26.7	33.3	6.7	3.3	3.3	-
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-
年齢別	29歳以下	263	63.9	33.1	25.9	14.1	6.5	3.0	1.9	1.1
	30～39歳	88	54.5	22.7	26.1	28.4	6.8	2.3	2.3	4.5
	40～49歳	18	61.1	22.2	16.7	22.2	16.7	-	-	11.1
	50～59歳	6	66.7	33.3	33.3	16.7	16.7	-	-	-
	60歳以上	4	50.0	-	75.0	50.0	-	-	-	-
	無回答	3	66.7	-	-	33.3	33.3	-	-	-
在留資格別	留学（大学、短大等）	81	59.3	39.5	22.2	12.3	6.2	3.7	2.5	1.2
	留学（日本語学校）	47	61.7	25.5	34.0	27.7	4.3	2.1	4.3	2.1
	留学（専修・各種学校・その他）	56	73.2	37.5	25.0	5.4	5.4	3.6	-	1.8
	就労（技術・人文知識・国際業務）	75	58.7	30.7	28.0	9.3	14.7	2.7	1.3	1.3
	就労（特定技能）	15	53.3	26.7	13.3	26.7	-	-	-	6.7
	就労（その他）	5	60.0	20.0	-	40.0	-	-	-	-
	家族滞在	23	69.6	8.7	34.8	39.1	4.3	4.3	-	-
	技能実習	29	62.1	27.6	17.2	41.4	3.4	3.4	3.4	3.4
	日本人の配偶者等	32	56.3	28.1	25.0	18.8	12.5	-	3.1	6.3
	特定活動	13	53.8	-	46.2	23.1	-	-	-	7.7
	その他	6	50.0	16.7	16.7	16.7	16.7	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
在福岡市滞年数別	６か月未満	18	66.7	33.3	16.7	27.8	11.1	-	-	-
	６か月～１年未満	76	59.2	30.3	23.7	23.7	7.9	-	1.3	2.6
	１年以上～３年未満	161	64.0	29.2	23.0	18.0	6.2	5.0	3.1	2.5
	３年以上～５年未満	127	59.1	29.1	32.3	14.2	7.9	1.6	0.8	2.4

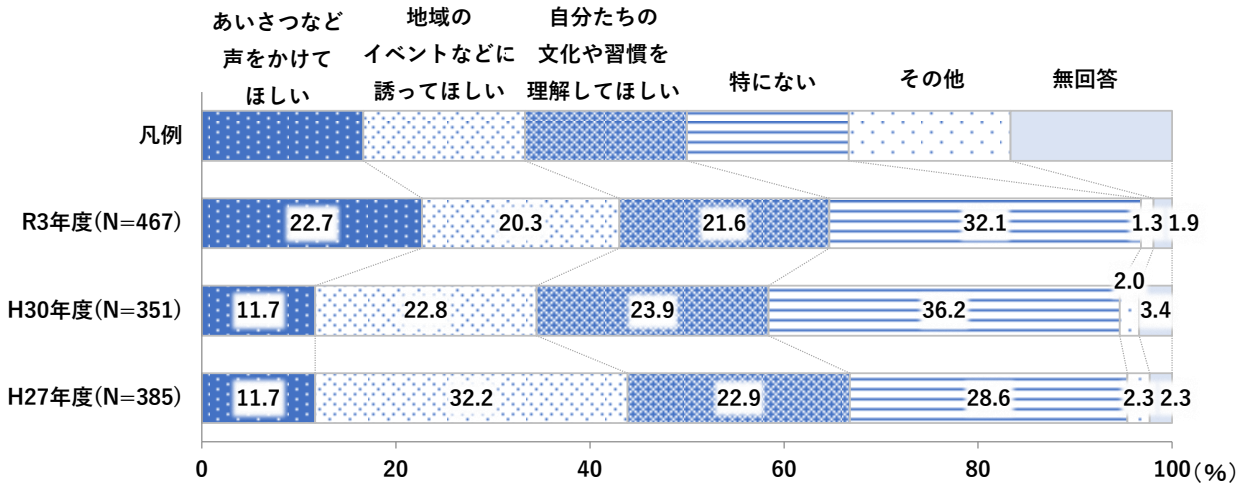
25. 日本人に望むこと【Q29】

地域社会の一員として日本人に望むことを尋ねたところ、「あいさつなど声をかけてほしい」（22.7%）が最も多く、次いで「自分たちの文化や習慣を理解してほしい」（21.6%）「地域のイベントなどに誘ってほしい」（20.3%）、となっている。なお、「特にない」と回答した人は３割強（32.1%）となっている。

【日本人に望むこと】



【日本人に望むこと（時系列）】



国籍別にみると、中国（台湾を含む）は「地域のイベントなどに誘ってほしい」、ベトナムは「自分たちの文化や習慣を理解してほしい」、ネパールは「あいさつなど声をかけてほしい」、それ以外の国籍は「特にない」と回答した人が多くなっている。また、ネパールの「あいさつなど声をかけてほしい」は、回答した人の割合が他の国籍に比べ高くなっている。

年齢別にみると、40～49歳は「地域のイベントなどに誘ってほしい」、60歳以上は「自分たちの文化や習慣を理解してほしい」、それ以外は「特にない」と回答した人が多い。

在留資格別にみると、留学（日本語学校）、就労（特定技能）、就労（その他）及び特定活動は「あいさつなど声をかけてほしい」、技能実習は「自分たちの文化や習慣を理解してほしい」それ以外は「特にない」と回答した人が多くなっている。

福岡市滞在年数別にみると、滞在年数が短いほど「地域のイベントなどに誘ってほしい」と回答した人が多くなっている。

【日本人に望むこと（属性別特徴）】

（%）

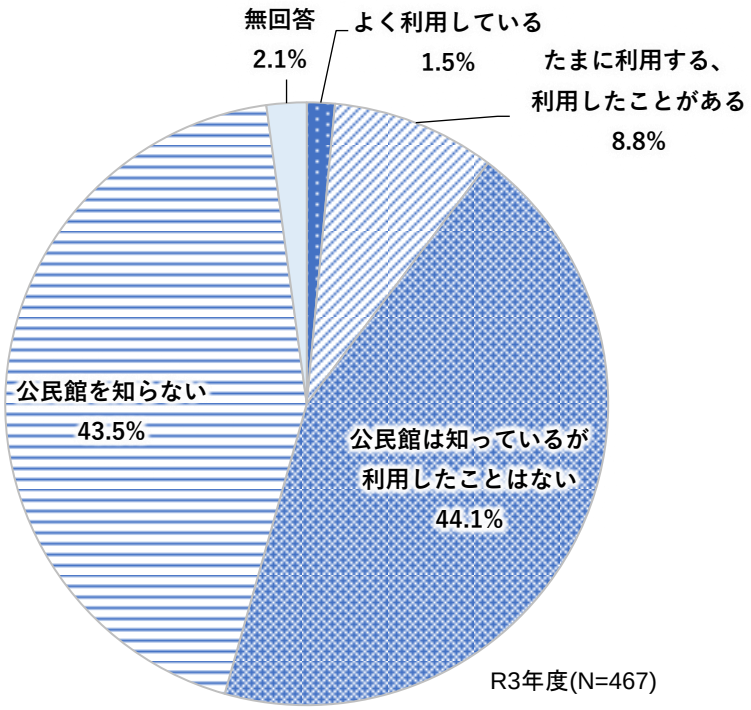
		サンプル数	あいさつなど声をかけてほしい	地域のイベントなどに誘ってほしい	自分たちの文化や習慣を理解してほしい	特にない	その他	無回答
全　体		467	106	95	101	150	6	9
		100.0	22.7	20.3	21.6	32.1	1.3	1.9
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	151	19.2	32.5	19.2	28.5	-	0.7
	韓国	43	7.0	14.0	32.6	44.2	2.3	-
	ベトナム	109	22.0	12.8	32.1	30.3	-	2.8
	ネパール	60	51.7	18.3	18.3	10.0	1.7	-
	その他（アジア）	63	7.9	14.3	19.0	49.2	4.8	4.8
	その他（アジア以外）	39	33.3	12.8	-	46.2	2.6	5.1
	無回答	2	50.0	50.0	-	-	-	-
年齢別	29歳以下	311	24.1	21.2	22.8	29.3	0.6	1.9
	30～39歳	113	16.8	17.7	17.7	42.5	3.5	1.8
	40～49歳	20	25.0	40.0	10.0	25.0	-	-
	50～59歳	9	22.2	11.1	33.3	33.3	-	-
	60歳以上	7	28.6	-	42.9	28.6	-	-
	無回答	7	42.9	-	28.6	14.3	-	14.3
在留資格別	留学（大学、短大等）	97	15.5	24.7	16.5	40.2	-	3.1
	留学（日本語学校）	53	32.1	24.5	20.8	20.8	-	1.9
	留学（専修・各種学校・その他）	73	26.0	21.9	23.3	26.0	-	2.7
	就労（技術・人文知識・国際業務）	83	15.7	19.3	18.1	44.6	2.4	-
	就労（特定技能）	18	38.9	5.6	16.7	33.3	5.6	-
	就労（その他）	10	40.0	20.0	20.0	20.0	-	-
	家族滞在	31	19.4	22.6	19.4	35.5	-	3.2
	技能実習	36	22.2	11.1	41.7	19.4	5.6	-
	日本人の配偶者等	43	23.3	18.6	20.9	32.6	2.3	2.3
	特定活動	14	35.7	21.4	14.3	21.4	-	7.1
	その他	9	22.2	11.1	55.6	11.1	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-
在福岡市滞年数別	６か月未満	21	23.8	33.3	9.5	33.3	-	-
	６か月～１年未満	88	22.7	29.5	25.0	21.6	-	1.1
	１年以上～３年未満	198	22.7	19.7	19.2	33.8	1.5	3.0
	３年以上～５年未満	160	22.5	14.4	24.4	35.6	1.9	1.3

26. 公民館の利用状況【Q30】【Q30-1】

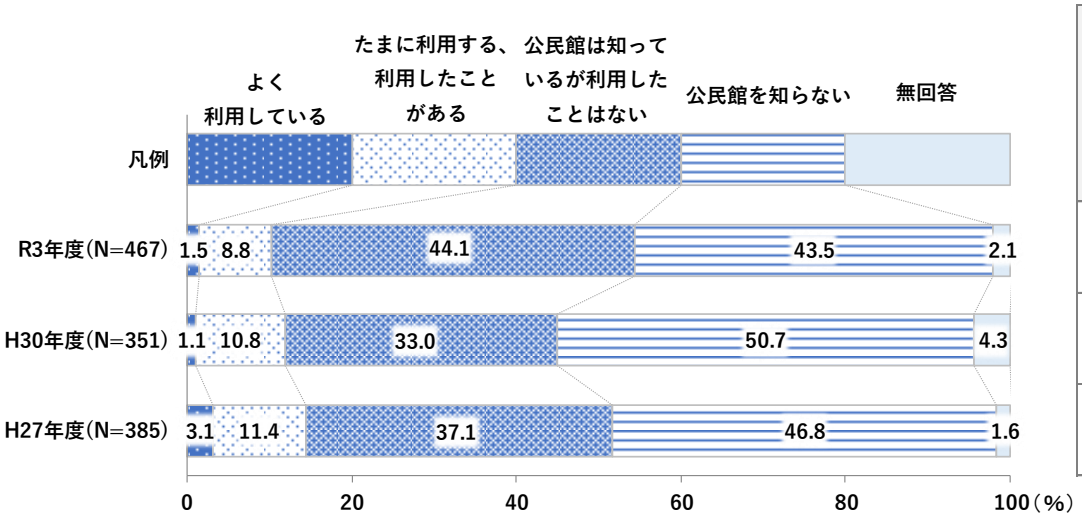
①利用状況【Q30】

住んでいる校区の公民館を利用したことがあるか尋ねたところ、「よく利用している」（1.5%）、「たまに利用する、利用したことがある」（8.8%）を合わせた『利用経験有』は１割（10.3%）となっている。また、「知っているが利用したことはない」（44.1%）に『利用経験有』をあわせた『知っている』という割合は５割強（54.4%）となっている。

【利用状況】



【利用状況（時系列）】



『利用経験有』（%）	『知っている』（%）
10.3	54.4
11.9	44.9
14.5	51.6

国籍別にみると、中国（台湾を含む）は「公民館は知っているが利用したことはない」と回答した人が最も多く、『知っている』と回答した人の割合が約７割（71.5%）を占め、他の国籍に比べて高くなっている。

年齢別にみると、年代が低いほど「公民館を知らない」と回答した人の割合が高くなっている。

在留資格別にみると、家族滞在は『知っている』と回答した人の割合が他の資格に比べて高くなっている。

福岡市滞在年数別にみると、滞在年数が短いほど「公民館を知らない」の割合が高くなる傾向がみられる。

【利用状況（属性別特徴）】

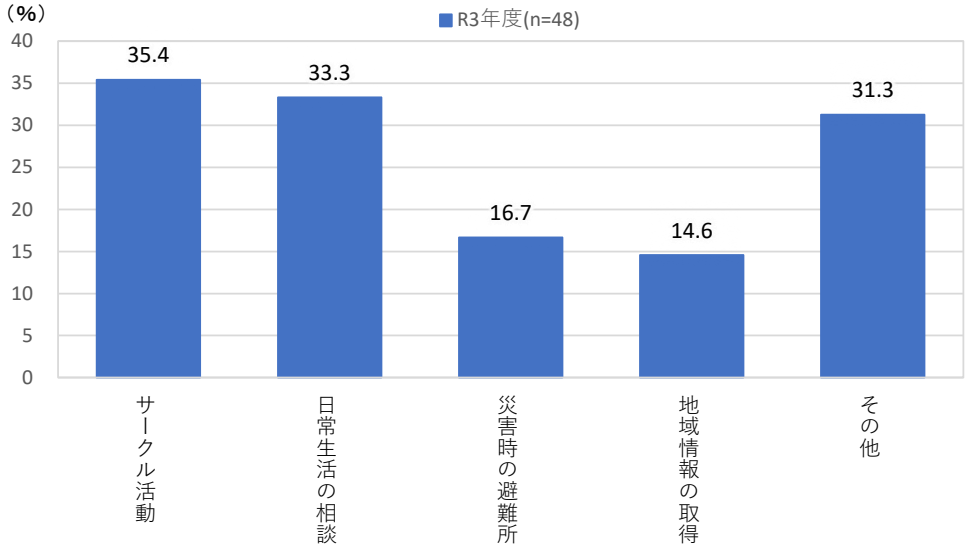
（%）

		サンプル数	よく利用している	たまに利用する、利用したことがある	公民館は知っているが利用したことはない	公民館を知らない	無回答	『利用経験有』	『知っている』
全　体		467	7	41	206	203	10	48	254
		100.0	1.5	8.8	44.1	43.5	2.1	10.3	54.4
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	151	0.7	12.6	58.3	27.8	0.7	13.2	71.5
	韓国	43	-	4.7	46.5	48.8	-	4.7	51.2
	ベトナム	109	1.8	2.8	34.9	58.7	1.8	4.6	39.4
	ネパール	60	-	10.0	40.0	45.0	5.0	10.0	50.0
	その他（アジア）	63	1.6	12.7	28.6	50.8	6.3	14.3	42.9
	その他（アジア以外）	39	5.1	5.1	46.2	43.6	-	10.3	56.4
	無回答	2	50.0	50.0	-	-	-	100.0	100.0
年齢別	29歳以下	311	0.6	8.4	43.1	45.7	2.3	9.0	52.1
	30～39歳	113	2.7	8.8	44.2	43.4	0.9	11.5	55.8
	40～49歳	20	5.0	15.0	45.0	35.0	-	20.0	65.0
	50～59歳	9	11.1	11.1	77.8	-	-	22.2	100.0
	60歳以上	7	-	14.3	71.4	14.3	-	14.3	85.7
	無回答	7	-	-	14.3	57.1	28.6	-	14.3
在留資格別	留学（大学、短大等）	97	-	11.3	55.7	32.0	1.0	11.3	67.0
	留学（日本語学校）	53	-	7.5	32.1	56.6	3.8	7.5	39.6
	留学（専修・各種学校・その他）	73	-	6.8	38.4	52.1	2.7	6.8	45.2
	就労（技術・人文知識・国際業務）	83	-	6.0	51.8	42.2	-	6.0	57.8
	就労（特定技能）	18	5.6	5.6	33.3	55.6	-	11.1	44.4
	就労（その他）	10	-	-	70.0	30.0	-	-	70.0
	家族滞在	31	3.2	22.6	48.4	25.8	-	25.8	74.2
	技能実習	36	8.3	5.6	30.6	52.8	2.8	13.9	44.4
	日本人の配偶者等	43	4.7	7.0	34.9	48.8	4.7	11.6	46.5
	特定活動	14	-	-	57.1	35.7	7.1	-	57.1
	その他	9	-	33.3	22.2	33.3	11.1	33.3	55.6
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
居住地別	東区	87	1.1	9.2	37.9	48.3	3.4	10.3	48.3
	博多区	118	1.7	8.5	47.5	42.4	-	10.2	57.6
	中央区	55	1.8	1.8	49.1	45.5	1.8	3.6	52.7
	南区	79	1.3	10.1	34.2	49.4	5.1	11.4	45.6
	城南区	22	-	4.5	36.4	54.5	4.5	4.5	40.9
	早良区	39	2.6	5.1	53.8	35.9	2.6	7.7	61.5
	西区	65	1.5	16.9	50.8	30.8	-	18.5	69.2
	無回答	2	-	-	50.0	50.0	-	-	50.0
在福岡市滞在年数別	６か月未満	21	4.8	9.5	28.6	57.1	-	14.3	42.9
	６か月～１年未満	88	2.3	8.0	34.1	54.5	1.1	10.2	44.3
	１年以上～３年未満	198	1.5	7.1	43.9	45.5	2.0	8.6	52.5
	３年以上～５年未満	160	0.6	11.3	51.9	33.1	3.1	11.9	63.8

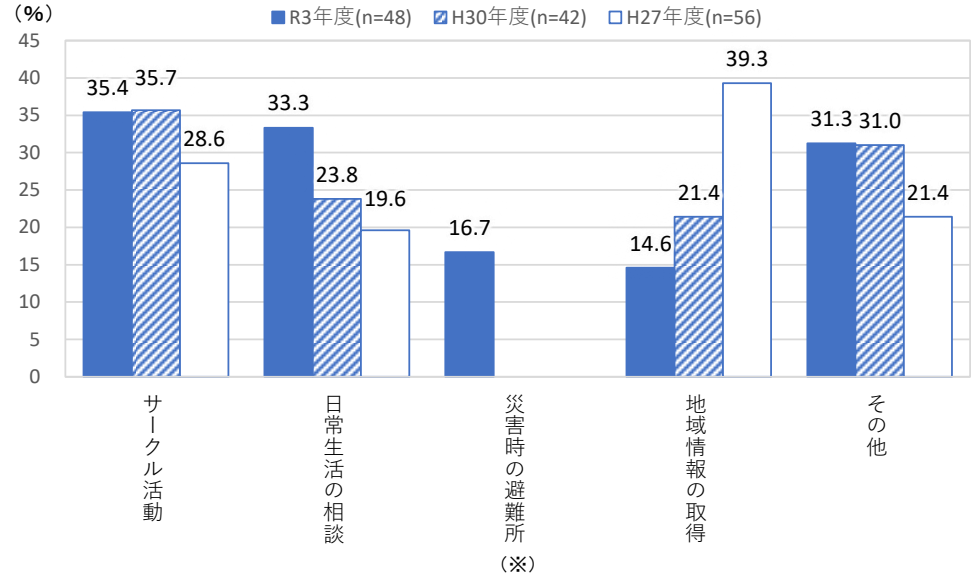
②利用目的【Q30-1】(複数回答)

校区の公民館を利用したことがあると回答した人（48人）にその目的を尋ねたところ、「サークル活動」（35.4%）が最も多く、以下、「日常生活の相談」（33.3%）、「災害時の避難所」（16.7%）、「地域情報の取得」（14.6%）と続いている。

【利用目的】



【利用目的（時系列）】



注：(※)H30・H27年度調査にはない項目

【利用目的（属性別特徴）】

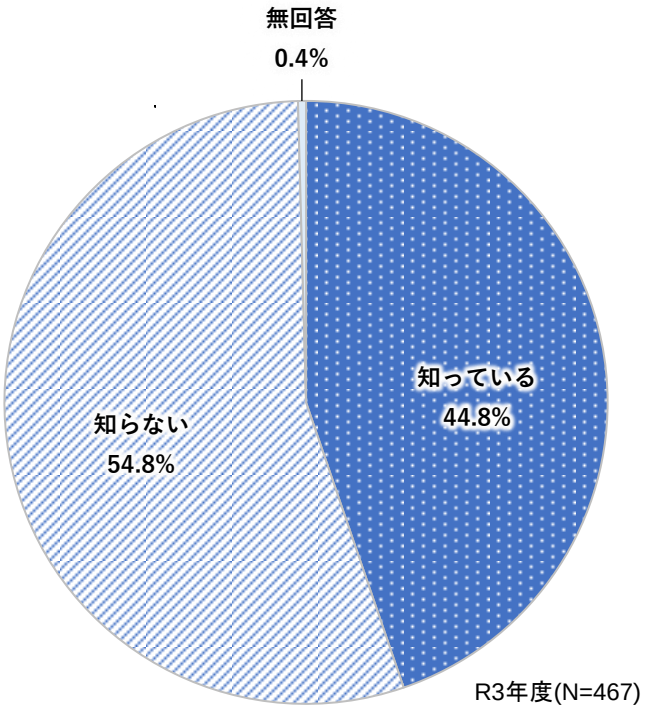
（%）

		該当数	サークル活動	日常生活の相談	災害時の避難所	地域情報の取得	その他	無回答
全　体		48	17	16	8	7	15	1
		100.0	35.4	33.3	16.7	14.6	31.3	2.1
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	20	40.0	35.0	5.0	5.0	25.0	-
	韓国	2	100.0	50.0	-	-	-	-
	ベトナム	5	60.0	80.0	40.0	40.0	20.0	20.0
	ネパール	6	50.0	33.3	50.0	33.3	16.7	-
	その他（アジア）	9	11.1	-	22.2	22.2	44.4	-
	その他（アジア以外）	4	-	-	-	-	100.0	-
	無回答	2	-	100.0	-	-	-	-
年齢別	29歳以下	28	35.7	39.3	21.4	21.4	25.0	3.6
	30～39歳	13	38.5	38.5	15.4	7.7	23.1	-
	40～49歳	4	25.0	-	-	-	75.0	-
	50～59歳	2	-	-	-	-	100.0	-
	60歳以上	1	100.0	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-
在留資格別	留学（大学、短大等）	11	45.5	45.5	9.1	-	18.2	9.1
	留学（日本語学校）	4	25.0	25.0	50.0	-	-	-
	留学（専修・各種学校・その他）	5	80.0	40.0	20.0	60.0	-	-
	就労（技術・人文知識・国際業務）	5	20.0	-	-	20.0	60.0	-
	就労（特定技能）	2	-	100.0	-	-	50.0	-
	就労（その他）	-	-	-	-	-	-	-
	家族滞在	8	25.0	25.0	25.0	25.0	12.5	-
	技能実習	5	40.0	40.0	40.0	20.0	80.0	-
	日本人の配偶者等	5	20.0	-	-	-	80.0	-
	特定活動	-	-	-	-	-	-	-
	その他	3	33.3	66.7	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-
在福年岡数市別滞	６か月未満	3	33.3	33.3	-	-	66.7	-
	６か月～１年未満	9	55.6	44.4	22.2	22.2	33.3	-
	１年以上～３年未満	17	29.4	23.5	29.4	5.9	29.4	-
	３年以上～５年未満	19	31.6	36.8	5.3	21.1	26.3	5.3
住居形態別	持ち家（一戸建て・分譲マンション）	9	22.2	33.3	11.1	11.1	33.3	-
	公営住宅・団地	5	20.0	20.0	-	20.0	40.0	-
	民間の賃貸アパート・マンション	29	37.9	31.0	17.2	13.8	27.6	3.4
	社宅・会社の寮	2	100.0	100.0	100.0	50.0	50.0	-
	学生寮	3	33.3	33.3	-	-	33.3	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-

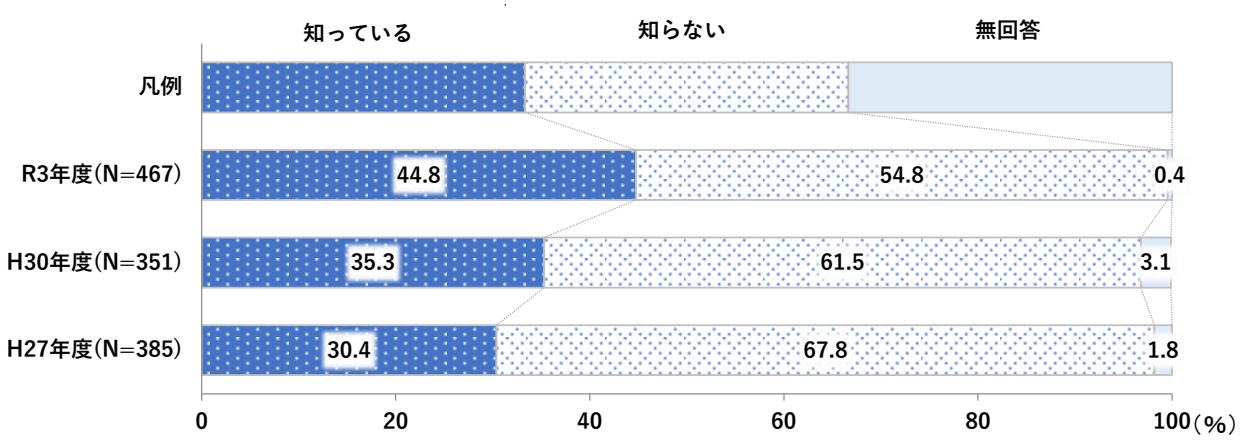
27. 災害時の避難場所の認知【Q31】

自宅近くの地震や洪水などの災害時の避難場所を知っているか尋ねたところ、「知っている」（44.8%）は４割強となっており、「知らない」（54.8%）が５割を超えている。

【災害時の避難場所】



【災害時の避難場所（時系列）】



国籍別にみると、中国（台湾を含む）及びその他（アジア以外）以外は「知らない」と回答した人が多く、韓国、ベトナムとネパールの割合は、他の国籍に比べ高くなっている。

年齢別にみると、29歳以下、30～39歳、40～49歳は「知らない」と回答した人が多くなっている。

在留資格別にみると、留学（大学、短大等）、就労（技術・人文知識・国際業務）及び就労（その他）は「知っている」と回答した人が「知らない」と回答した人より多くなっている。

福岡市滞在年数別にみると、いずれの滞在年数も「知らない」と回答した人が５割を超えている。

【災害時の避難場所（属性別特徴）】

（%）

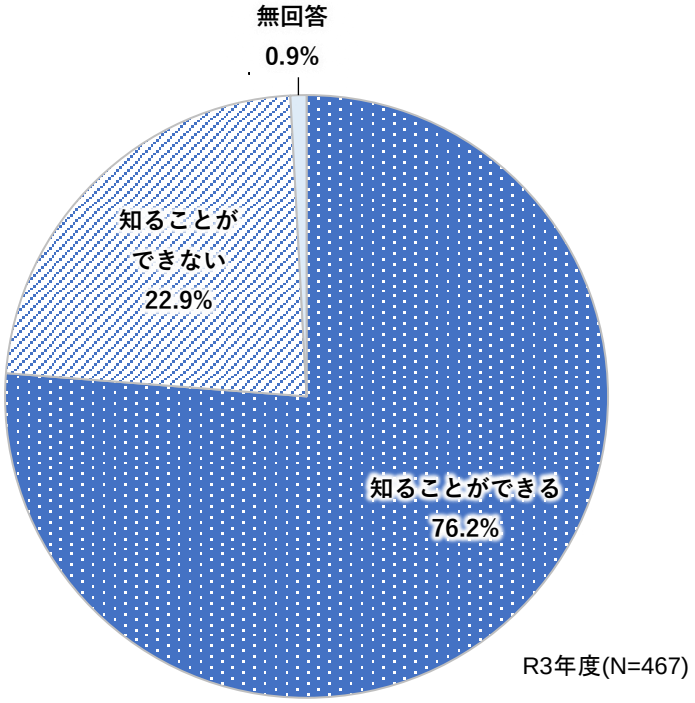
		サンプル数	知っている	知らない	無回答
全　体		467	209	256	2
		100.0	44.8	54.8	0.4
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	151	58.9	41.1	-
	韓国	43	39.5	60.5	-
	ベトナム	109	34.9	65.1	-
	ネパール	60	33.3	66.7	-
	その他（アジア）	63	38.1	58.7	3.2
	その他（アジア以外）	39	51.3	48.7	-
	無回答	2	50.0	50.0	-
年齢別	29歳以下	311	46.3	53.4	0.3
	30～39歳	113	36.3	62.8	0.9
	40～49歳	20	45.0	55.0	-
	50～59歳	9	66.7	33.3	-
	60歳以上	7	85.7	14.3	-
	無回答	7	42.9	57.1	-
在留資格別	留学（大学、短大等）	97	59.8	40.2	-
	留学（日本語学校）	53	37.7	62.3	-
	留学（専修・各種学校・その他）	73	34.2	64.4	1.4
	就労（技術・人文知識・国際業務）	83	51.8	48.2	-
	就労（特定技能）	18	22.2	77.8	-
	就労（その他）	10	90.0	10.0	-
	家族滞在	31	41.9	58.1	-
	技能実習	36	30.6	69.4	-
	日本人の配偶者等	43	39.5	60.5	-
	特定活動	14	42.9	57.1	-
	その他	9	33.3	55.6	11.1
	無回答	-	-	-	-
在福岡市滞在年数別	６か月未満	21	42.9	57.1	-
	６か月～１年未満	88	39.8	60.2	-
	１年以上～３年未満	198	47.0	52.5	0.5
	３年以上～５年未満	160	45.0	54.4	0.6

28. 避難勧告の情報入手経路【Q32】【Q32-1・2】

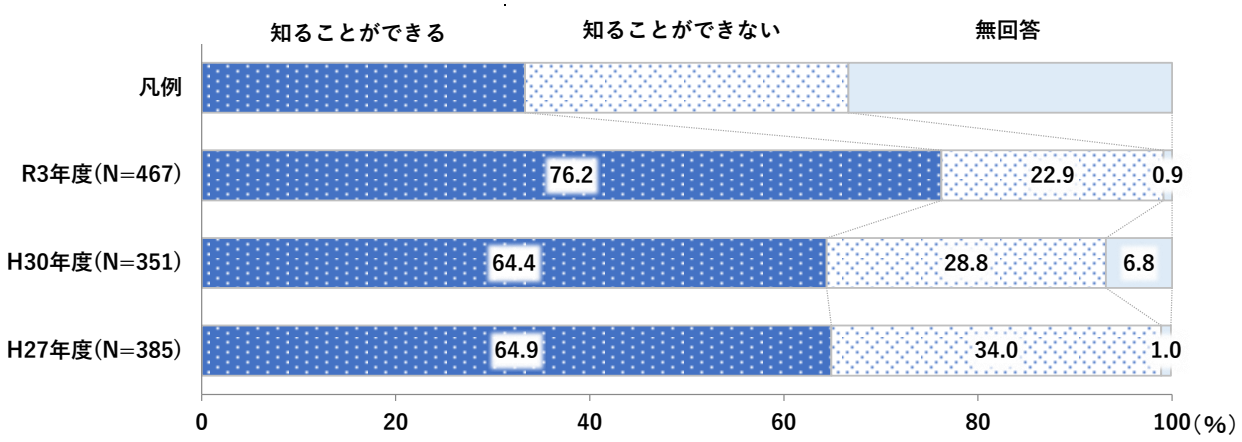
①情報入手の可否【Q32】

地域住民への避難勧告を知ることができるか尋ねたところ、「知ることができる」（76.2%）が７割を超え、「知ることができない」（22.9%）は２割強となっている。

【情報入手の可否】



【情報入手の可否】



【情報入手の可否（属性別特徴）】

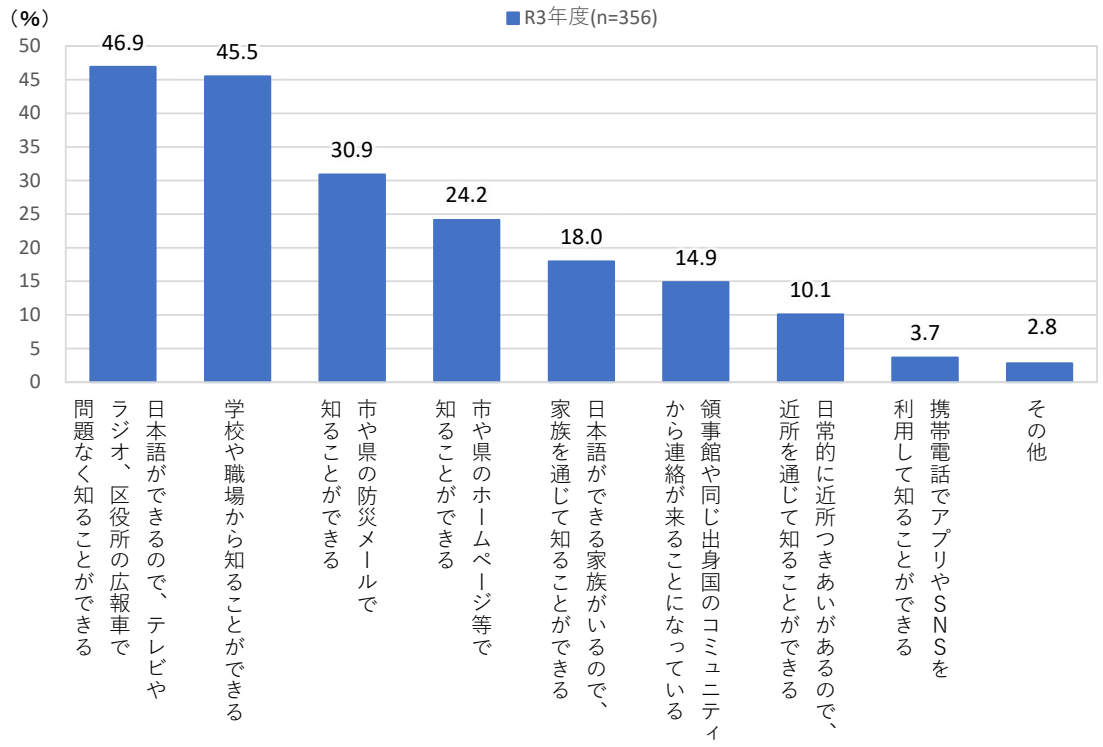
（%）

		サンプル数	知ることができる	知ることができない	無回答
全　体		467	356	107	4
		100.0	76.2	22.9	0.9
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	151	83.4	15.9	0.7
	韓国	43	83.7	16.3	-
	ベトナム	109	70.6	29.4	-
	ネパール	60	80.0	18.3	1.7
	その他（アジア）	63	61.9	34.9	3.2
	その他（アジア以外）	39	74.4	25.6	-
	無回答	2	50.0	50.0	-
年齢別	29歳以下	311	77.5	21.5	1.0
	30～39歳	113	67.3	31.9	0.9
	40～49歳	20	80.0	20.0	-
	50～59歳	9	100.0	-	-
	60歳以上	7	100.0	-	-
	無回答	7	100.0	-	-
在留資格別	留学（大学、短大等）	97	83.5	15.5	1.0
	留学（日本語学校）	53	66.0	34.0	-
	留学（専修・各種学校・その他）	73	72.6	24.7	2.7
	就労（技術・人文知識・国際業務）	83	77.1	22.9	-
	就労（特定技能）	18	66.7	33.3	-
	就労（その他）	10	90.0	10.0	-
	家族滞在	31	77.4	22.6	-
	技能実習	36	83.3	16.7	-
	日本人の配偶者等	43	74.4	25.6	-
	特定活動	14	85.7	14.3	-
	その他	9	44.4	44.4	11.1
	無回答	-	-	-	-
居住地別	東区	87	77.0	21.8	1.1
	博多区	118	75.4	23.7	0.8
	中央区	55	80.0	20.0	-
	南区	79	73.4	25.3	1.3
	城南区	22	63.6	36.4	-
	早良区	39	74.4	25.6	-
	西区	65	81.5	16.9	1.5
	無回答	2	100.0	-	-
在福岡市滞在年数別	６か月未満	21	90.5	9.5	-
	６か月～１年未満	88	67.0	33.0	-
	１年以上～３年未満	198	80.8	17.7	1.5
	３年以上～５年未満	160	73.8	25.6	0.6
日本滞在年数別	６か月未満	3	66.7	33.3	-
	６か月～１年未満	49	65.3	34.7	-
	１年以上～３年未満	155	76.8	21.9	1.3
	３年以上～５年未満	188	78.2	20.7	1.1
	５年以上～10年未満	53	77.4	22.6	-
	10年以上	16	81.3	18.8	-
	無回答	3	66.7	33.3	-

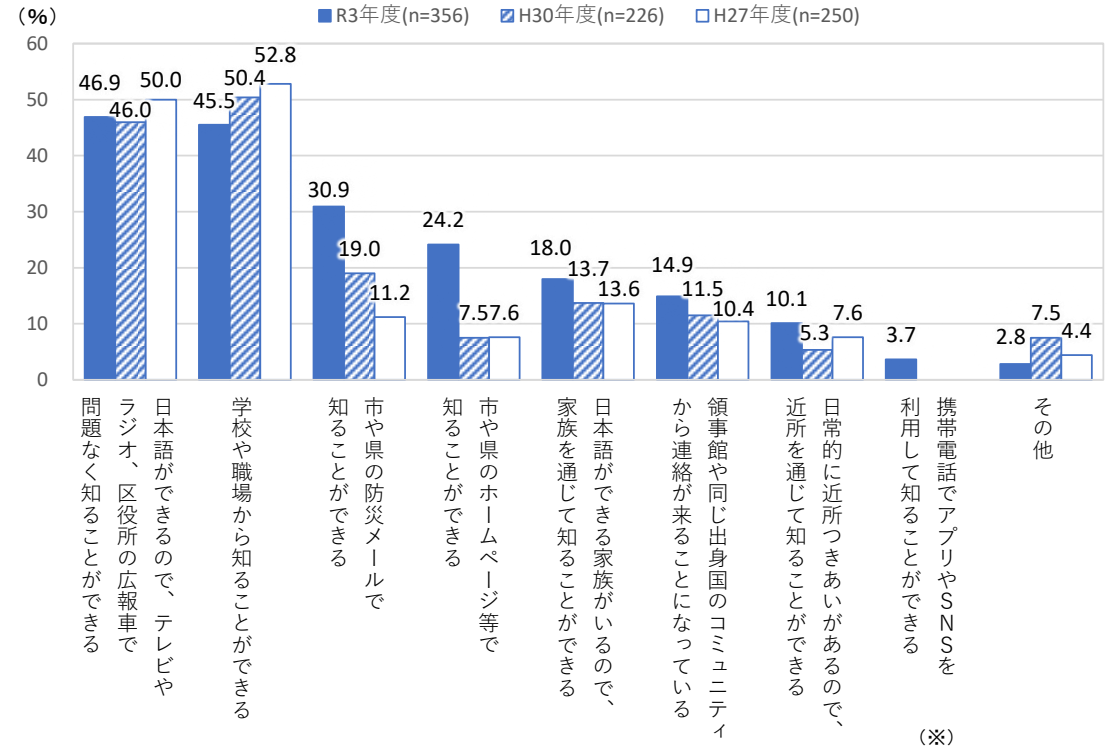
②入手経路【Q32-1】(複数回答)

地域住民への避難勧告を知ることができると回答した人（356人）にその入手経路を尋ねたところ、「日本語ができるので、テレビやラジオ、区役所の広報車で問題なく知ることができる」（46.9%）が最も多く、以下、「学校や職場から知ることができる」（45.5%）、「市や県の防災メールで知ることができる」（30.9%）と続いている。

【入手経路】



【入手経路（時系列）】



注：(※)R3年度調査は「その他」から抽出。H30・H27年度にはない項目

国籍別にみると、中国（台湾を含む）及びその他（アジア）は「日本語ができるので、テレビやラジオ、区役所の広報車で問題なく知ることができる」、韓国及びネパールは「学校や職場から知ることができる」、ベトナムは「市や県の防災メールで知ることができる」、その他（アジア以外）は「市や県のホームページ等で知ることができる」と回答した人が最も多い。また、その他（アジア以外）の「市や県のホームページ等で知ることができる」やベトナムの「市や県の防災メールで知ることができる」は、回答した人の割合が他の国籍に比べ高くなっている。

年齢別にみると、29歳以下は「学校や職場から知ることができる」、30～39歳は「日本語ができるので、テレビやラジオ、区役所の広報車で問題なく知ることができる」、40～49歳は「日本語ができる家族がいるので、家族を通じて知ることができる」と回答した人が最も多くなっている。

在留資格別にみると、就労（技術・人文知識・国際業務）及び就労（その他）は「日本語ができるので、テレビやラジオ、区役所の広報車で問題なく知ることができる」、留学（大学、短大等）、留学（日本語学校）、留学（専修・各種学校・その他）は「学校や職場から知ることができる」、家族滞在及び日本人の配偶者等は「日本語ができる家族がいるので、家族を通じて知ることができる」と回答した人が最も多い。

居住区別にみると、いずれの区も「日本語ができるので、テレビやラジオ、区役所の広報車で問題なく知ることができる」及び「学校や職場から知ることができる」と回答した人が多くなっている。

【入手経路（属性別特徴）】

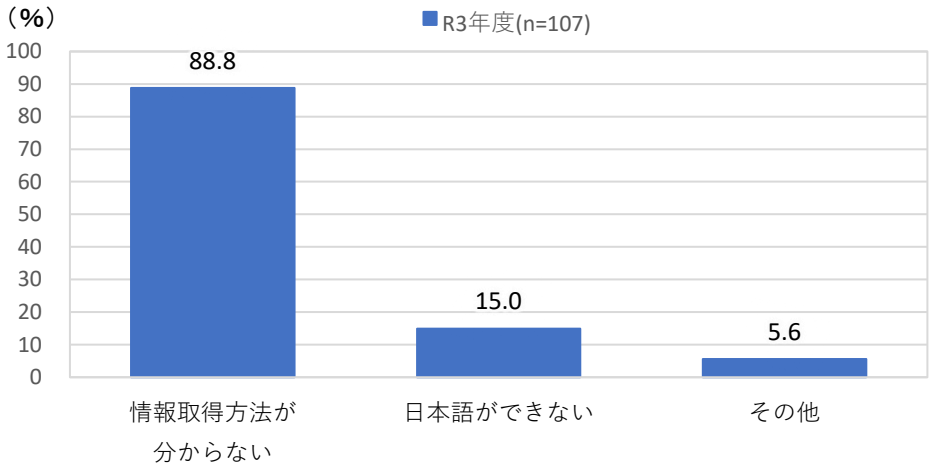
（%）

		該当数	日本語ができるので、テレビやラジオ、区役所の広報車で問題なく知ることができる	学校や職場から知ることができる	市や県の防災メールで知ることができる	市や県のホームページ等で知ることができる	日本語ができる家族がいるので、家族を通じて知ることができる	領事館や同じ出身国のコミュニティから連絡が来ることになっている	日常的に近所つきあいがあるので、近所を通じて知ることができる	携帯電話でアプリやSNSを利用して知ることができる	その他	無回答
全　体		356	167	162	110	86	64	53	36	13	10	-
		100.0	46.9	45.5	30.9	24.2	18.0	14.9	10.1	3.7	2.8	-
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	126	61.1	38.9	25.4	20.6	15.1	19.0	8.7	6.3	3.2	-
	韓国	36	41.7	58.3	11.1	19.4	25.0	13.9	11.1	5.6	-	-
	ベトナム	77	26.0	48.1	61.0	24.7	7.8	18.2	5.2	-	1.3	-
	ネパール	48	58.3	60.4	29.2	18.8	18.8	6.3	14.6	-	4.2	-
	その他（アジア）	39	53.8	41.0	15.4	25.6	30.8	10.3	20.5	2.6	2.6	-
	その他（アジア以外）	29	20.7	31.0	20.7	48.3	31.0	10.3	6.9	6.9	6.9	-
	無回答	1	-	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-
年齢別	29歳以下	241	49.8	52.3	34.4	23.2	12.0	14.9	10.4	2.5	2.1	-
	30～39歳	76	44.7	36.8	25.0	27.6	23.7	18.4	9.2	6.6	5.3	-
	40～49歳	16	37.5	18.8	18.8	37.5	50.0	6.3	6.3	6.3	6.3	-
	50～59歳	9	33.3	11.1	11.1	33.3	22.2	11.1	11.1	-	-	-
	60歳以上	7	28.6	-	-	-	85.7	-	14.3	14.3	-	-
	無回答	7	28.6	57.1	57.1	-	14.3	14.3	14.3	-	-	-
在留資格別	留学（大学、短大等）	81	53.1	58.0	27.2	22.2	1.2	19.8	8.6	6.2	2.5	-
	留学（日本語学校）	35	57.1	71.4	42.9	22.9	14.3	17.1	14.3	2.9	2.9	-
	留学（専修・各種学校・その他）	53	45.3	54.7	41.5	26.4	7.5	13.2	13.2	-	-	-
	就労（技術・人文知識・国際業務）	64	50.0	46.9	29.7	29.7	15.6	7.8	9.4	6.3	3.1	-
	就労（特定技能）	12	25.0	41.7	41.7	25.0	-	16.7	-	-	16.7	-
	就労（その他）	9	55.6	22.2	33.3	33.3	-	33.3	11.1	-	-	-
	家族滞在	24	45.8	4.2	8.3	20.8	54.2	16.7	8.3	8.3	4.2	-
	技能実習	30	36.7	36.7	46.7	16.7	16.7	16.7	13.3	-	3.3	-
	日本人の配偶者等	32	40.6	12.5	15.6	18.8	68.8	9.4	6.3	3.1	-	-
	特定活動	12	33.3	50.0	25.0	33.3	16.7	8.3	16.7	-	8.3	-
	その他	4	25.0	50.0	-	25.0	50.0	25.0	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
居住地別	東区	67	46.3	47.8	26.9	23.9	19.4	9.0	11.9	3.0	1.5	-
	博多区	89	49.4	49.4	33.7	23.6	13.5	16.9	5.6	3.4	3.4	-
	中央区	44	38.6	29.5	34.1	27.3	22.7	13.6	9.1	4.5	6.8	-
	南区	58	46.6	58.6	34.5	22.4	24.1	12.1	10.3	-	-	-
	城南区	14	42.9	42.9	42.9	28.6	14.3	7.1	7.1	7.1	-	-
	早良区	29	65.5	48.3	31.0	31.0	10.3	17.2	6.9	-	3.4	-
	西区	53	41.5	35.8	22.6	20.8	17.0	24.5	18.9	9.4	3.8	-
	無回答	2	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-
在福岡市滞在年数別	６か月未満	19	42.1	42.1	15.8	15.8	26.3	26.3	10.5	-	-	-
	６か月～１年未満	59	50.8	54.2	30.5	25.4	10.2	11.9	10.2	-	3.4	-
	１年以上～３年未満	160	50.6	43.8	31.3	23.1	20.6	14.4	10.0	5.0	2.5	-
	３年以上～５年未満	118	40.7	44.1	33.1	26.3	16.9	15.3	10.2	4.2	3.4	-

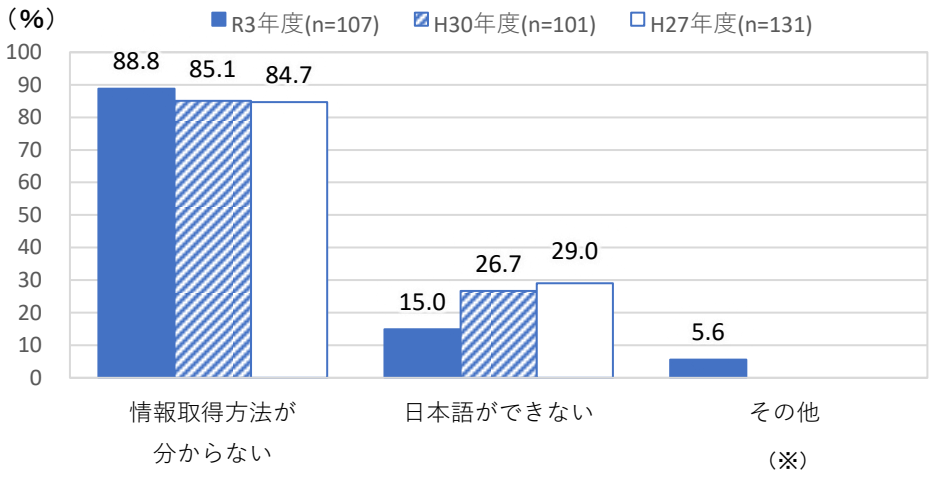
③知ることができない理由【Q32-2】(複数回答)

地域住民への避難勧告を知ることができないと回答した人（107人）にその理由を尋ねたところ、「情報取得方法が分からない」（88.8%）という理由が多く、次いで「日本語ができない」（15.0%）となっている。

【知ることができない理由】



【知ることができない理由（時系列）】



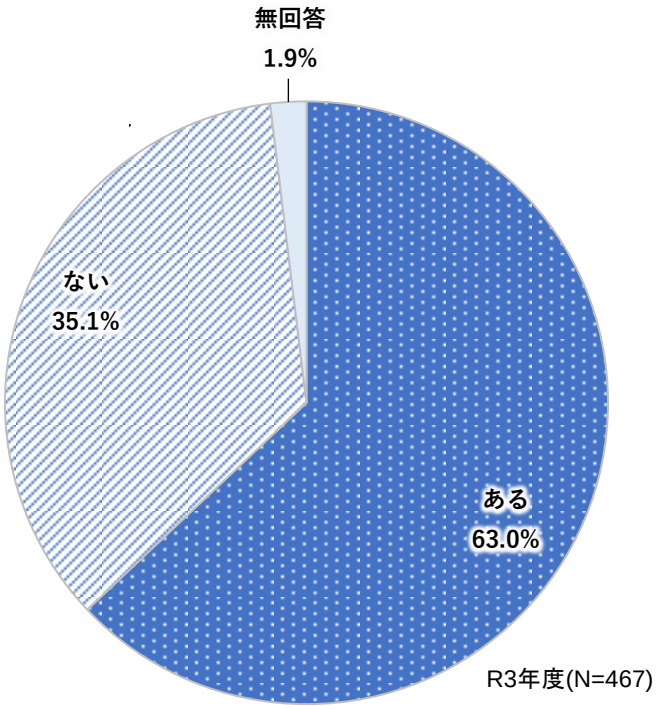
注：（※）H30・H27年度調査にはない項目

29. 福岡での病院の利用【Q33】【Q33-1】

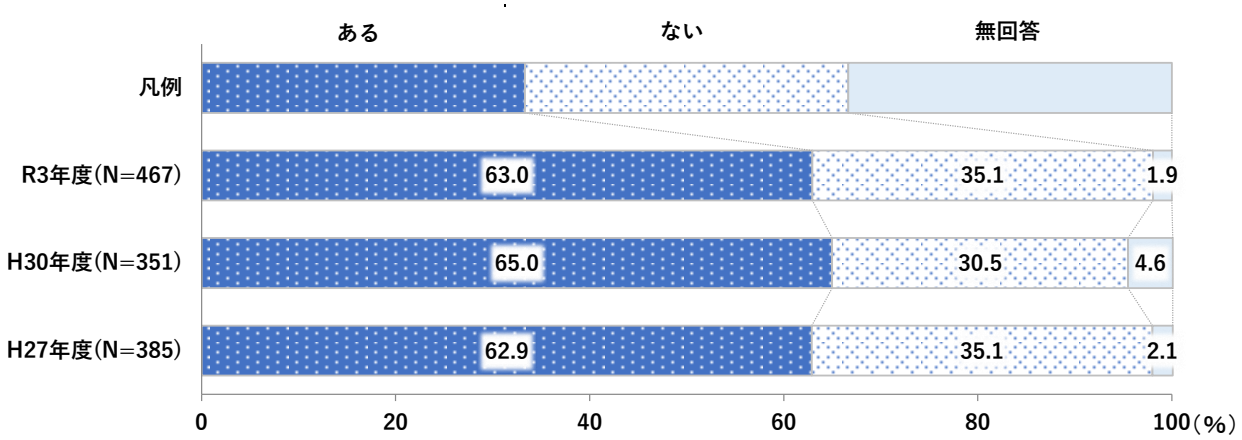
①利用の有無【Q33】

福岡で生活してから、あなたや家族が病気やけがで病院に行ったことがあるか尋ねたところ、「ある」が63.0%、「ない」が35.1%となっている。

【利用の有無】



【利用の有無（時系列）】



国籍別にみると、いずれの国籍も「ある」と回答した人が多く、韓国及びその他（アジア以外）において「ある」と回答した人の割合は７割を超えている。

年齢別にみると、いずれの年齢も「ある」と回答した人が多い。

在留資格別にみると、「留学（日本語学校）」を除き、「ある」と回答した人が多く、特に家族滞在において「ある」と回答した人の割合が他の在留資格に比べ高い。

【利用の有無（属性別特徴）】

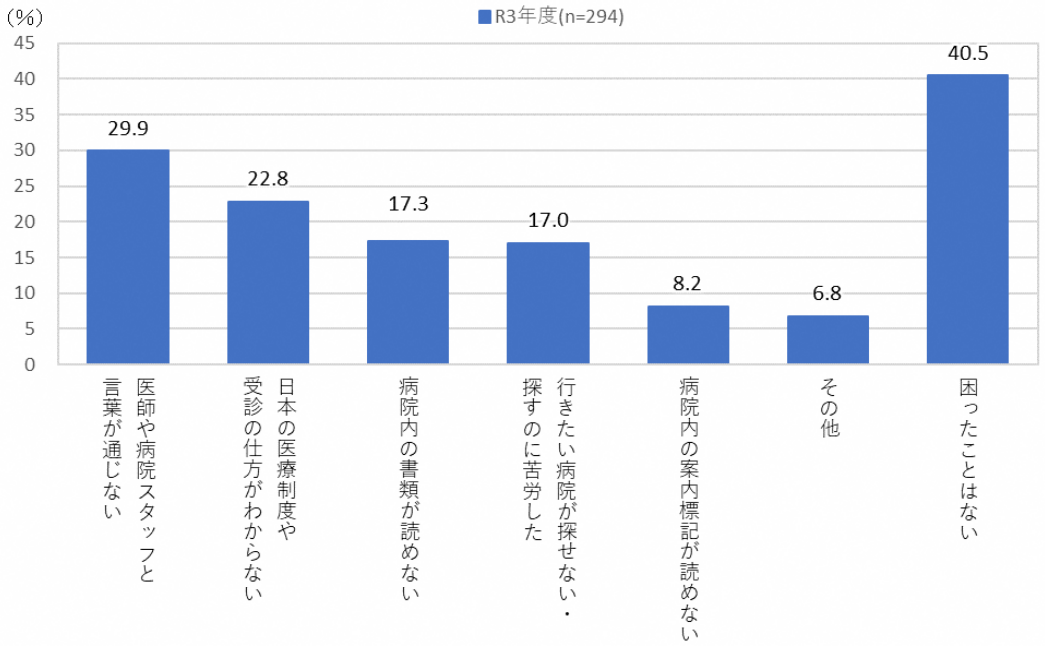
（%）

		サンプル数	ある	ない	無回答
全　体		467	294	164	9
		100.0	63.0	35.1	1.9
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	151	66.2	32.5	1.3
	韓国	43	74.4	25.6	-
	ベトナム	109	54.1	44.0	1.8
	ネパール	60	51.7	43.3	5.0
	その他（アジア）	63	65.1	31.7	3.2
	その他（アジア以外）	39	79.5	20.5	-
	無回答	2	-	100.0	-
年齢別	29歳以下	311	55.6	42.1	2.3
	30～39歳	113	77.9	20.4	1.8
	40～49歳	20	80.0	20.0	-
	50～59歳	9	100.0	-	-
	60歳以上	7	71.4	28.6	-
	無回答	7	42.9	57.1	-
在留資格別	留学（大学、短大等）	97	55.7	41.2	3.1
	留学（日本語学校）	53	41.5	56.6	1.9
	留学（専修・各種学校・その他）	73	57.5	41.1	1.4
	就労（技術・人文知識・国際業務）	83	68.7	30.1	1.2
	就労（特定技能）	18	55.6	44.4	-
	就労（その他）	10	80.0	20.0	-
	家族滞在	31	83.9	16.1	-
	技能実習	36	66.7	30.6	2.8
	日本人の配偶者等	43	79.1	18.6	2.3
	特定活動	14	78.6	21.4	-
	その他	9	66.7	22.2	11.1
	無回答	-	-	-	-

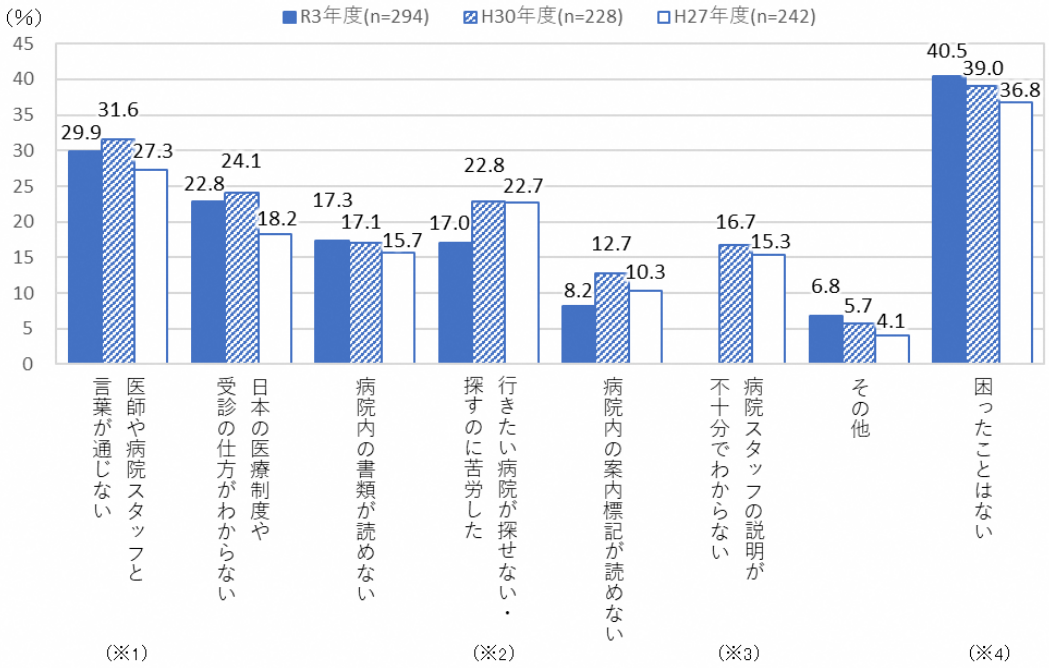
②病院利用時に困ったこと【Q33-1】(複数回答)

福岡の病院に行ったことがあると回答した人（294人）に病院利用時に困ったことを尋ねたところ、「困ったことはない」（40.5%）が約４割を占め、次いで「医師や病院スタッフと言葉が通じない」（29.9%）、「日本の医療制度や受診の仕方がわからない」（22.8%）、「病院内の書類が読めない」（17.3%）などの順になっている。

【病院利用時に困ったこと】



【病院利用時に困ったこと（時系列）】



注1：(※1)H30・H27年度調査では「言葉が通じない」
注2：(※2)H30年度調査では「診療科や地域、時間帯など希望に合う病院の探し方がわからない」
注3：(※3)R3年度調査にはない項目
注4：(※4)H30・H27年度調査では「特にない」

国籍別にみると、中国（台湾を含む）、韓国、ベトナム及びその他（アジア以外）は「困ったことはない」、ネパール及びその他（アジア）は「医師や病院スタッフと言葉が通じない」と回答した人が最も多い。また、ネパールの「困ったことはない」と回答した人の割合が他の国籍に比べ低くなっている。

年齢別にみると、50～59歳は「困ったことはない」と回答した人の割合が他の年代に比べて高くなっている。

在留資格別にみると、留学（大学・短大等）は「医師や病院スタッフと言葉が通じない」、就労（その他）及び日本人の配偶者等は「困ったことはない」と回答した人がそれぞれ多くなっている。

【病院利用時に困ったこと（属性別特徴）】

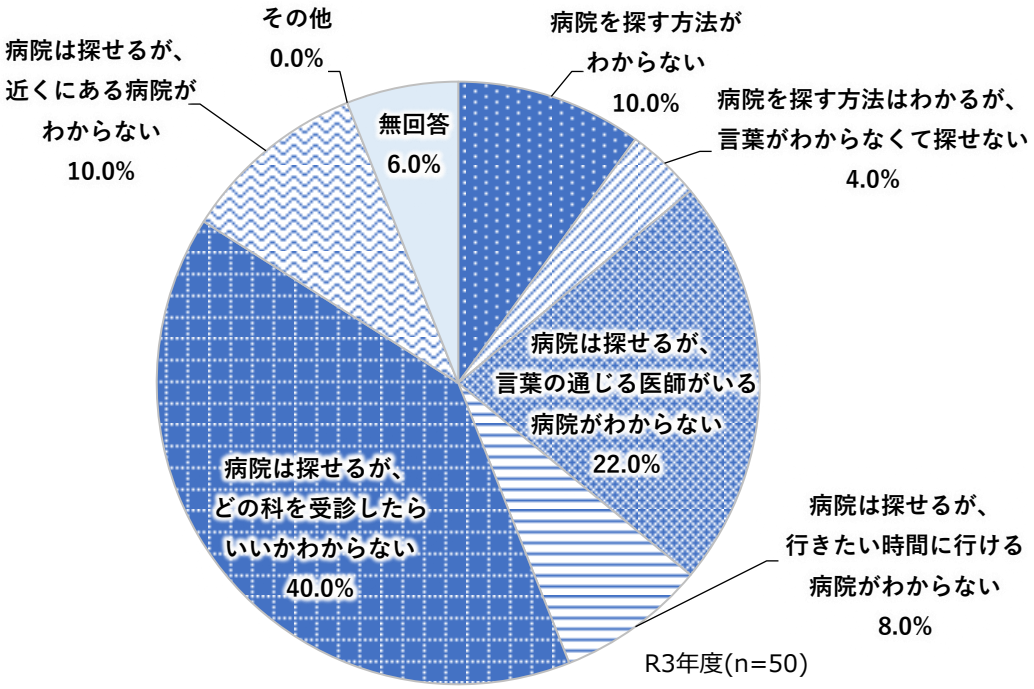
（%）

		該当数	医師や病院スタッフと言葉が通じない	日本の医療制度や受診の仕方がわからない	病院内の書類が読めない	行きたい病院が探せない・探すのに苦労した	病院内の案内標記が読めない	その他	困ったことはない	無回答
全　体		294	88	67	51	50	24	20	119	1
		100.0	29.9	22.8	17.3	17.0	8.2	6.8	40.5	0.3
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	100	34.0	21.0	5.0	23.0	1.0	7.0	38.0	-
	韓国	32	9.4	15.6	3.1	12.5	3.1	9.4	62.5	-
	ベトナム	59	16.9	27.1	16.9	11.9	10.2	1.7	50.8	-
	ネパール	31	45.2	32.3	38.7	12.9	29.0	6.5	16.1	-
	その他（アジア）	41	36.6	17.1	34.1	14.6	4.9	12.2	31.7	2.4
	その他（アジア以外）	31	38.7	25.8	29.0	19.4	16.1	6.5	41.9	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年齢別	29歳以下	173	28.9	23.1	15.6	18.5	9.2	4.6	38.2	0.6
	30～39歳	88	35.2	25.0	19.3	18.2	5.7	10.2	37.5	-
	40～49歳	16	18.8	25.0	25.0	6.3	12.5	12.5	62.5	-
	50～59歳	9	-	11.1	11.1	-	-	-	77.8	-
	60歳以上	5	60.0	-	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	-
	無回答	3	33.3	-	-	-	-	-	66.7	-
在留資格別	留学（大学、短大等）	54	44.4	22.2	14.8	29.6	5.6	7.4	25.9	-
	留学（日本語学校）	22	27.3	31.8	22.7	13.6	9.1	-	36.4	-
	留学（専修・各種学校・その他）	42	23.8	28.6	16.7	9.5	19.0	2.4	42.9	-
	就労（技術・人文知識・国際業務）	57	19.3	15.8	8.8	19.3	1.8	12.3	49.1	-
	就労（特定技能）	10	40.0	10.0	30.0	30.0	20.0	20.0	40.0	-
	就労（その他）	8	25.0	12.5	12.5	-	-	-	50.0	-
	家族滞在	26	38.5	23.1	23.1	19.2	7.7	3.8	42.3	-
	技能実習	24	25.0	37.5	20.8	8.3	4.2	4.2	33.3	4.2
	日本人の配偶者等	34	26.5	23.5	26.5	8.8	11.8	11.8	50.0	-
	特定活動	11	45.5	9.1	9.1	18.2	9.1	-	36.4	-
	その他	6	16.7	16.7	16.7	16.7	-	-	50.0	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-

②病院を探すときに困ったことや苦労したこと【Q33-1-1】

行きたい病院が探せない、探すのに苦労したと回答した人（50人）に病院を探すときに困ったことや苦労したことを尋ねたところ、「病院は探せるが、どの科を受診したらいいかわからない」（40.0%）が４割を占め、次いで「病院は探せるが、言葉の通じる医師がいる病院がわからない」（22.0%）、「病院を探す方法がわからない」、「病院は探せるが、近くにある病院がわからない」（各々10.0%）などの順になっている。

【病院を探すときに困ったことや苦労したこと】

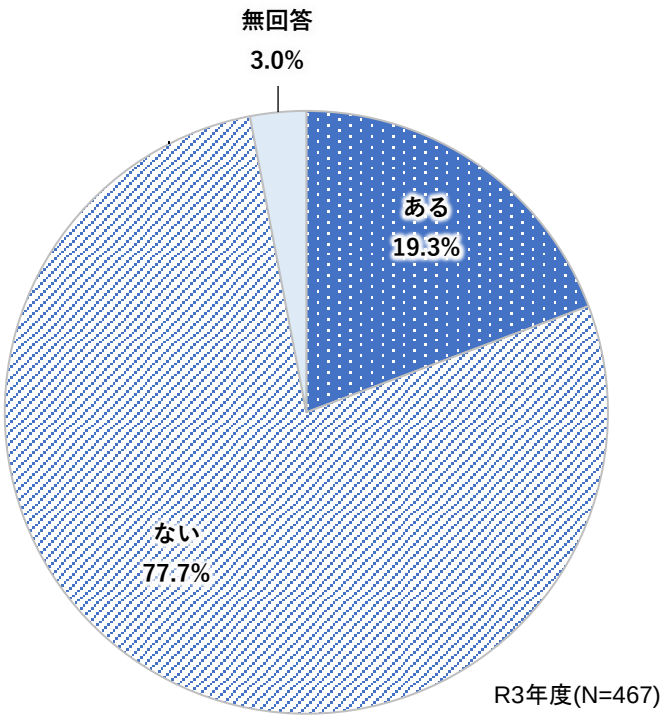


30. 病院受診時の通訳サービスの利用【Q34】【Q34-1】

①利用の有無【Q34】

病院受診時に、電話や窓口サービスで通訳サービスを利用したことがあるか尋ねたところ、「ある」が２割弱（19.3%）、「ない」が77.7%となっている。

【利用の有無】



国籍別にみると、いずれの国籍も「ない」と回答する人が多い。特に、韓国は「ない」と回答した人の割合が９割を超えている。

年齢別にみると、60歳以上を除き、「ない」と回答する人が多い。

在留資格別にみると、いずれの資格も「ない」と回答する人が多く、特に就労（技術・人文知識・国際業務）において「ない」と回答した人の割合が他の在留資格に比べ高い。

【利用の有無（属性別特徴）】

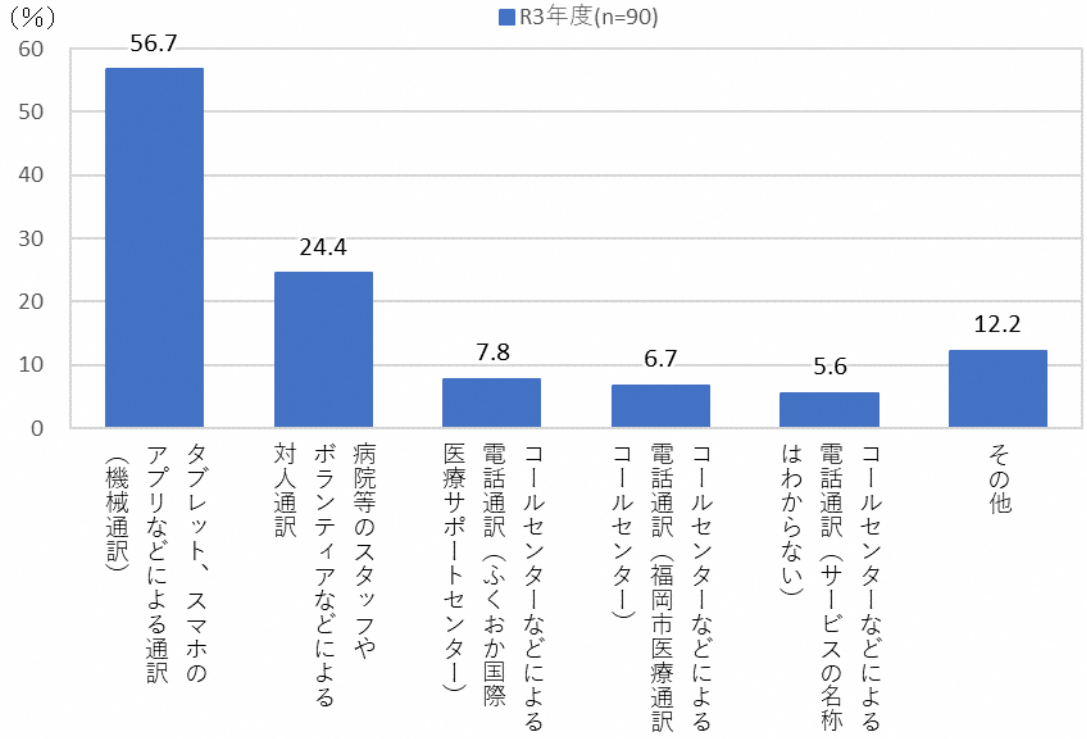
（%）

		サンプル数	ある	ない	無回答
全　体		467	90	363	14
		100.0	19.3	77.7	3.0
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	151	14.6	83.4	2.0
	韓国	43	2.3	97.7	-
	ベトナム	109	22.0	74.3	3.7
	ネパール	60	18.3	78.3	3.3
	その他（アジア）	63	27.0	69.8	3.2
	その他（アジア以外）	39	38.5	56.4	5.1
	無回答	2	-	50.0	50.0
年齢別	29歳以下	311	16.1	81.4	2.6
	30～39歳	113	26.5	70.8	2.7
	40～49歳	20	15.0	75.0	10.0
	50～59歳	9	22.2	77.8	-
	60歳以上	7	42.9	42.9	14.3
	無回答	7	28.6	71.4	-
在留資格別	留学（大学、短大等）	97	18.6	77.3	4.1
	留学（日本語学校）	53	18.9	79.2	1.9
	留学（専修・各種学校・その他）	73	16.4	82.2	1.4
	就労（技術・人文知識・国際業務）	83	8.4	90.4	1.2
	就労（特定技能）	18	16.7	66.7	16.7
	就労（その他）	10	40.0	60.0	-
	家族滞在	31	38.7	61.3	-
	技能実習	36	33.3	61.1	5.6
	日本人の配偶者等	43	11.6	88.4	-
	特定活動	14	42.9	57.1	-
	その他	9	11.1	66.7	22.2
	無回答	-	-	-	-
在福岡年数別滞市	６か月未満	21	4.8	90.5	4.8
	６か月～１年未満	88	18.2	77.3	4.5
	１年以上～３年未満	198	21.7	74.7	3.5
	３年以上～５年未満	160	18.8	80.0	1.3

②利用したサービスの種類【Q34-1(1)】(複数回答)

通訳サービスを利用したことがあると回答した人（90人）に利用したサービスの種類を尋ねたところ、「タブレット、スマホのアプリなどによる通訳（機械通訳）」（56.7%）が５割以上を占め、次いで「病院等のスタッフやボランティアなどによる対人通訳」（24.4%）、「コールセンターなどによる電話通訳（ふくおか国際医療サポートセンター）」（7.8%）、「コールセンターなどによる電話通訳（福岡市医療通訳コールセンター）」（6.7%）、「コールセンターなどによる電話通訳（サービスの名称はわからない）」（5.6%）などの順になっている。

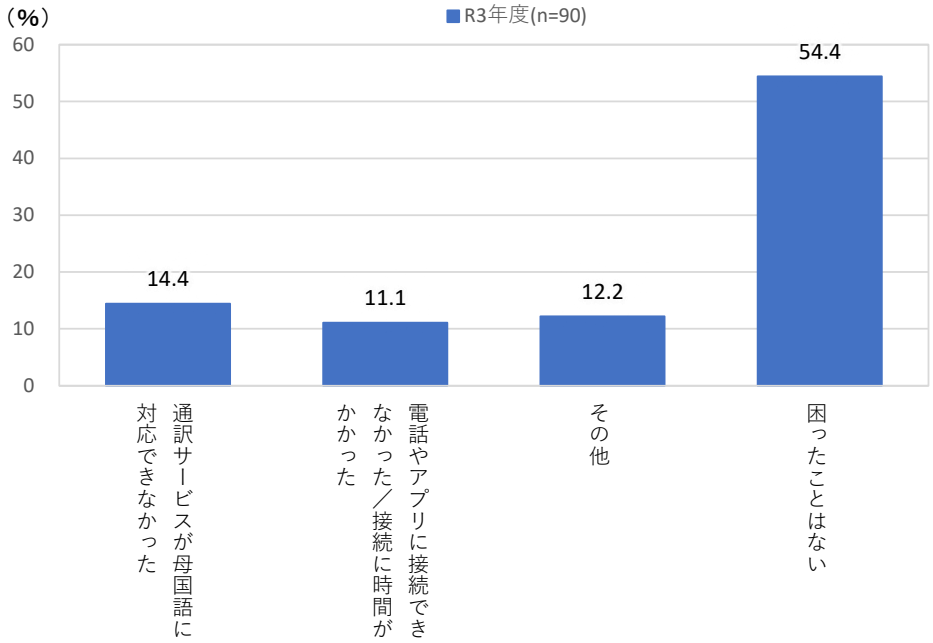
【利用したサービスの種類】



③利用時に困ったこと【Q34-1(2)】(複数回答)

通訳サービスを利用したことがあると回答した人（90人）にサービスを使って困ったことを尋ねたところ、「困ったことはない」（54.4%）が５割強を占め、次いで「通訳サービスが母国語に対応できなかった」（14.4%）、「電話やアプリに接続できなかった／接続に時間がかかった」（11.1%）などの順になっている。

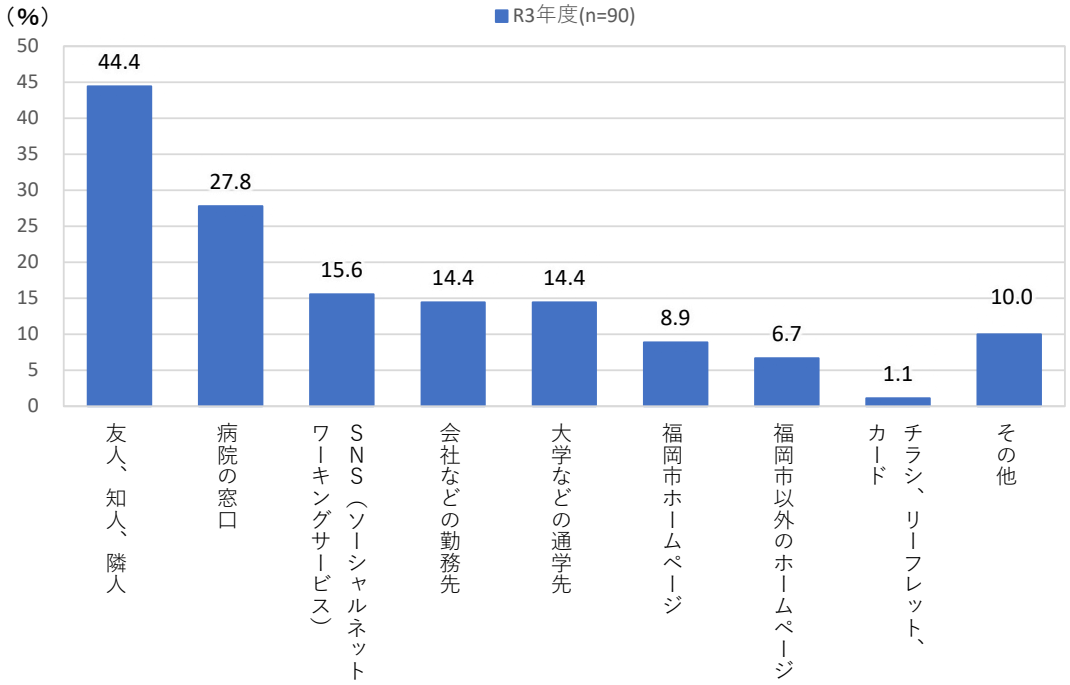
【利用時に困ったこと】



④認知経路【Q34-1(3)】(複数回答)

通訳サービスを利用したことがあると回答した人（90人）に利用したサービスの認知経路を尋ねたところ、「友人、知人、隣人」（44.4%）が４割以上を占め、次いで「病院の窓口」（27.8%）、「SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）」（15.6%）、「会社などの勤務先」、「大学などの通学先」（各々14.4%）などの順になっている。

【認知経路】



国籍別にみると、中国（台湾を含む）は「病院の窓口」、それ以外の国籍は「友人、知人、隣人」と回答した人が多くなっている。

福岡市滞在年数別にみると、いずれの滞在年数においても「友人、知人、隣人」と回答した人が多くなっている。

【認知経路（属性別特徴）】

（%）

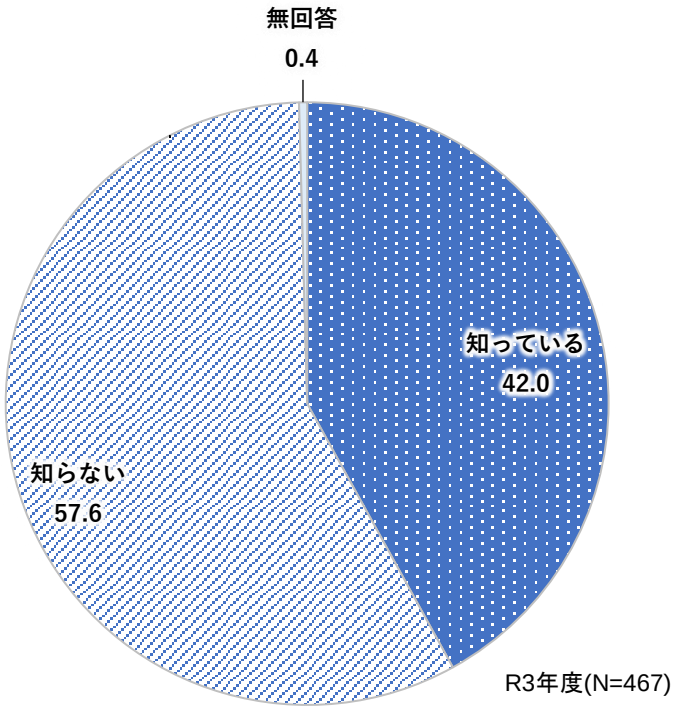
		該当数	友人、知人、隣人	病院の窓口	SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）	会社などの勤務先	大学などの通学先	福岡市ホームページ	福岡市以外のホームページ	チラシ、リーフレット、カード	その他	無回答
全　体		90	40	25	14	13	13	8	6	1	9	4
		100.0	44.4	27.8	15.6	14.4	14.4	8.9	6.7	1.1	10.0	4.4
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	22	31.8	50.0	22.7	9.1	4.5	9.1	9.1	4.5	-	-
	韓国	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	ベトナム	24	58.3	16.7	16.7	33.3	33.3	12.5	-	-	-	8.3
	ネパール	11	27.3	27.3	18.2	9.1	27.3	9.1	18.2	-	18.2	9.1
	その他（アジア）	17	47.1	23.5	11.8	11.8	-	-	5.9	-	17.6	5.9
	その他（アジア以外）	15	53.3	20.0	6.7	-	6.7	13.3	6.7	-	20.0	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡市滞在年数別	６か月未満	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	６か月～１年未満	16	43.8	12.5	25.0	6.3	18.8	6.3	6.3	-	6.3	6.3
	１年以上～３年未満	43	44.2	37.2	9.3	14.0	9.3	9.3	2.3	2.3	7.0	2.3
	３年以上～５年未満	30	43.3	23.3	20.0	20.0	20.0	10.0	13.3	-	16.7	6.7

31.「新型コロナウイルス外国人相談ダイヤル」の認知【Q35】【Q35-1】

①「新型コロナウイルス外国人相談ダイヤル」の認知【Q35】

「新型コロナウイルス外国人相談ダイヤル」を知っているかどうかを尋ねたところ「知っている」（42.0%）は約４割となっており、「知らない」（57.6%）は５割を超えている。

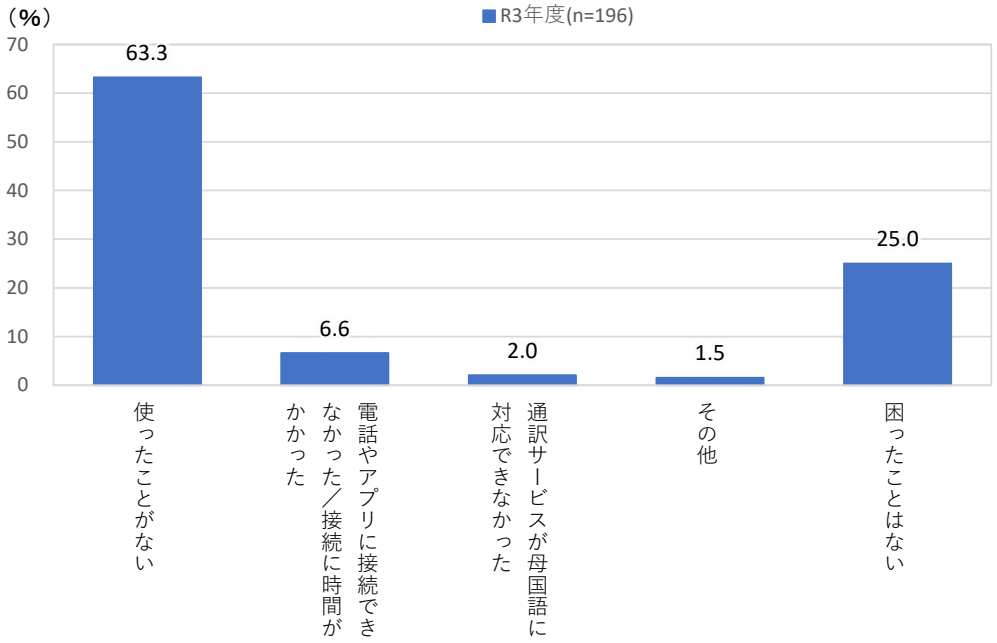
【「新型コロナウイルス外国人相談ダイヤル」の認知】



②利用経験【Q35-1(1)】(複数回答)

「新型コロナウイルス外国人相談ダイヤル」を知っていると回答した人（196人）にサービスの利用経験を尋ねたところ、「使ったことがない」(63.3%）が６割を超えている。一方、サービスを使って困ったことは、「電話やアプリに接続できなかった／接続に時間がかかった」(6.6%)、「通訳サービスが母国語に対応できなかった」(2.0%）などの順になっている。なお、「困ったことはない」(25.0%）と回答した人は２割強となっている。

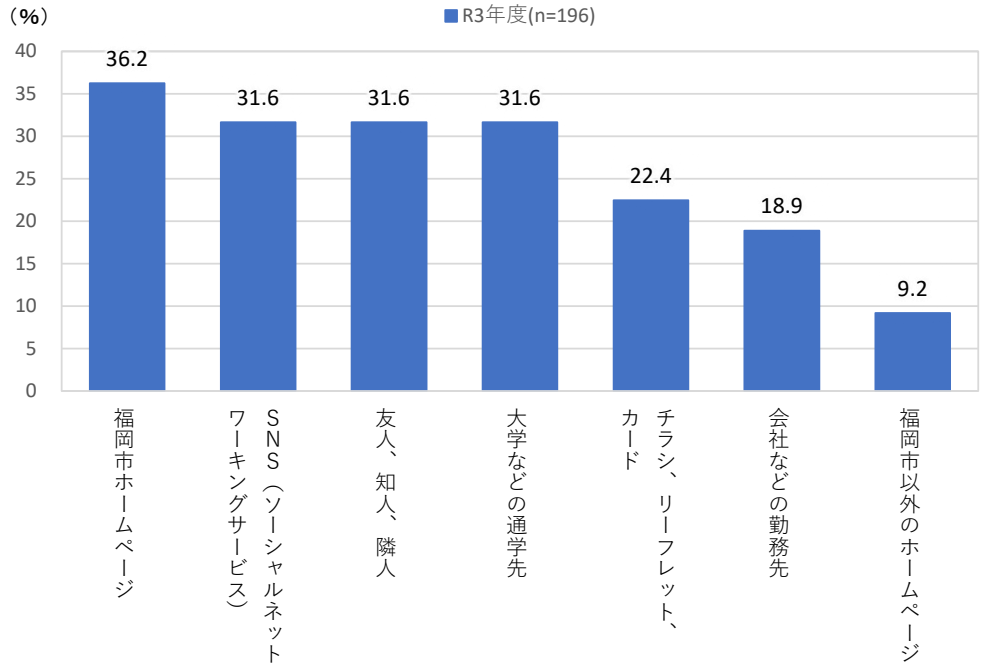
【利用経験】



③認知経路【Q35-1(2)】(複数回答)

「新型コロナウイルス外国人相談ダイヤル」を知っていると回答した人（196人）に認知経路を尋ねたところ、「福岡市ホームページ」(36.2%）が最も多く、以下、「SNS（ソーシャルネットワーキングサービス)」、「友人、知人、隣人」、「大学などの通学先」(各々31.6%）等と続いている。

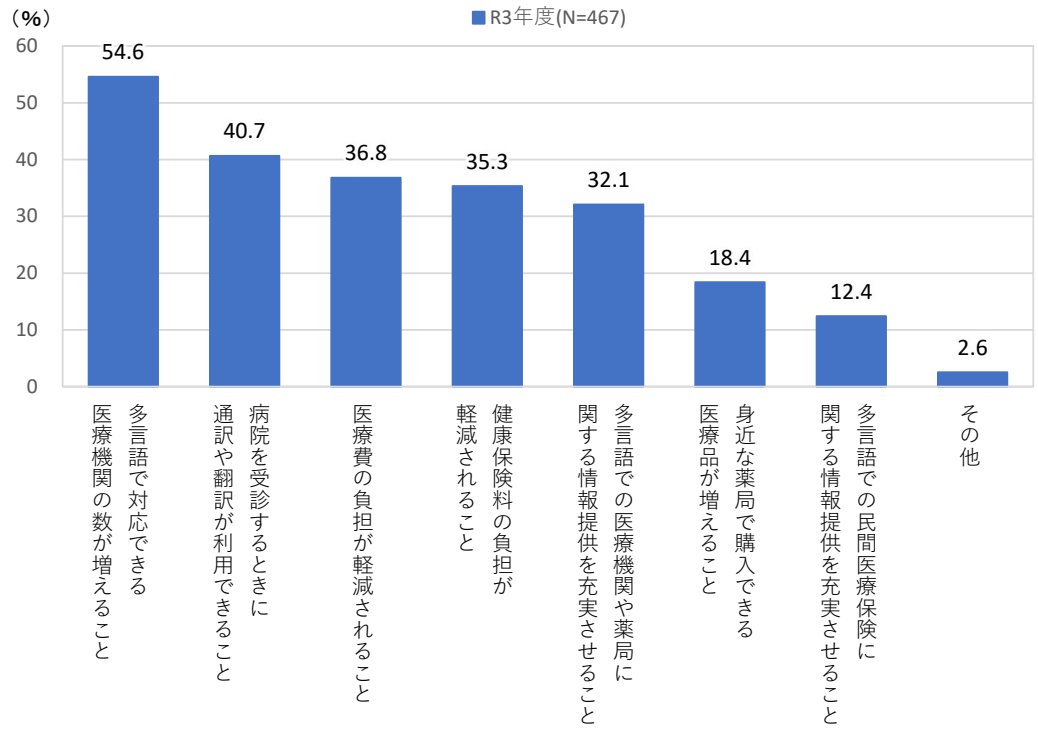
【認知経路】



32. 医療面において外国人にとって必要なこと【Q36】(複数回答)

医療面において、外国人にとってどのようなことが必要か尋ねたところ、「多言語で対応できる医療機関の数が増えること」(54.6%)が最も多く、次いで「病院を受診するときに通訳や翻訳が利用できること」(40.7%)、「医療費の負担が軽減されること」(36.8%)、「健康保険料の負担が軽減されること」(35.3%)となっている。

【医療面において外国人にとって必要なこと】

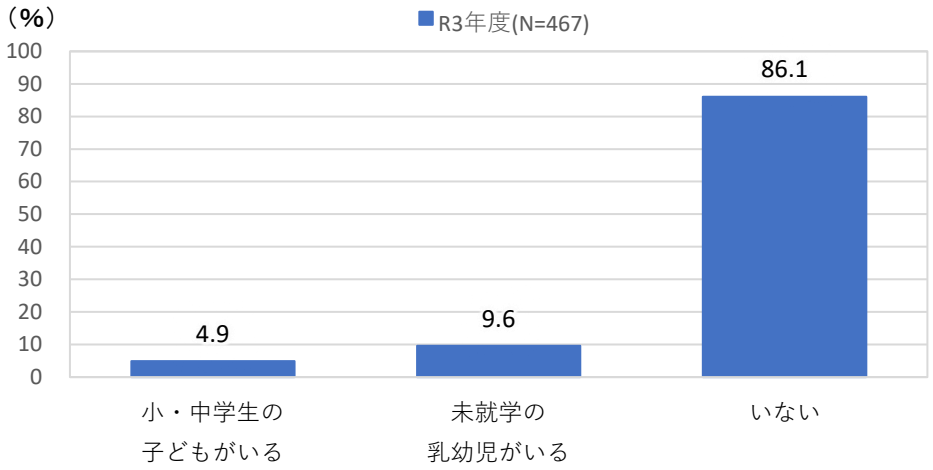


33. 同居している子ども(中学生以下)【Q37】【Q37-1】【Q38】

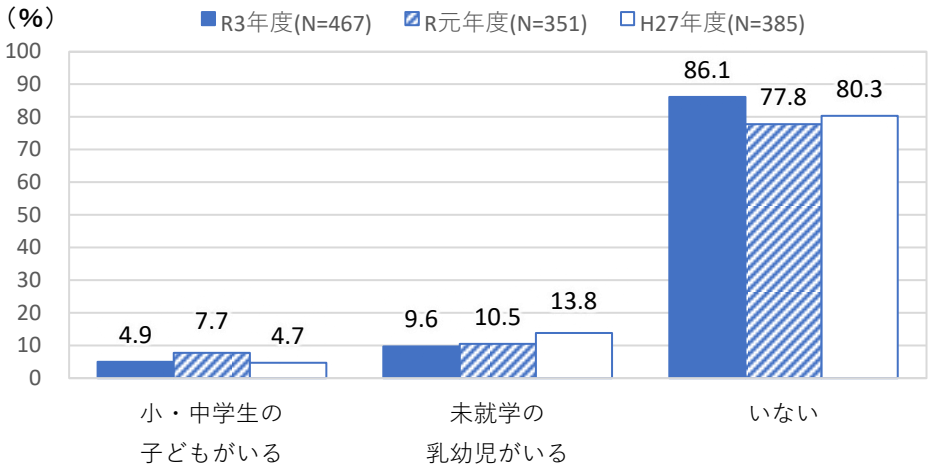
①同居している子ども(中学生以下)の有無【Q37】(複数回答)

現在、同居している中学生以下の子どもがいるか尋ねたところ、「未就学の乳幼児がいる」は9.6%、「小・中学生の子どもがいる」は4.9%となっている。

【同居している子ども（中学生以下）の有無】



【同居している子ども（中学生以下）の有無（時系列）】



年齢別にみると、30～39歳の「未就学の乳幼児がいる」、40～49歳の「小・中学生の子どもがいる」は、回答した人の割合が他の年代に比べて高い。

【同居している子ども（中学生以下）の有無（属性別特徴）】

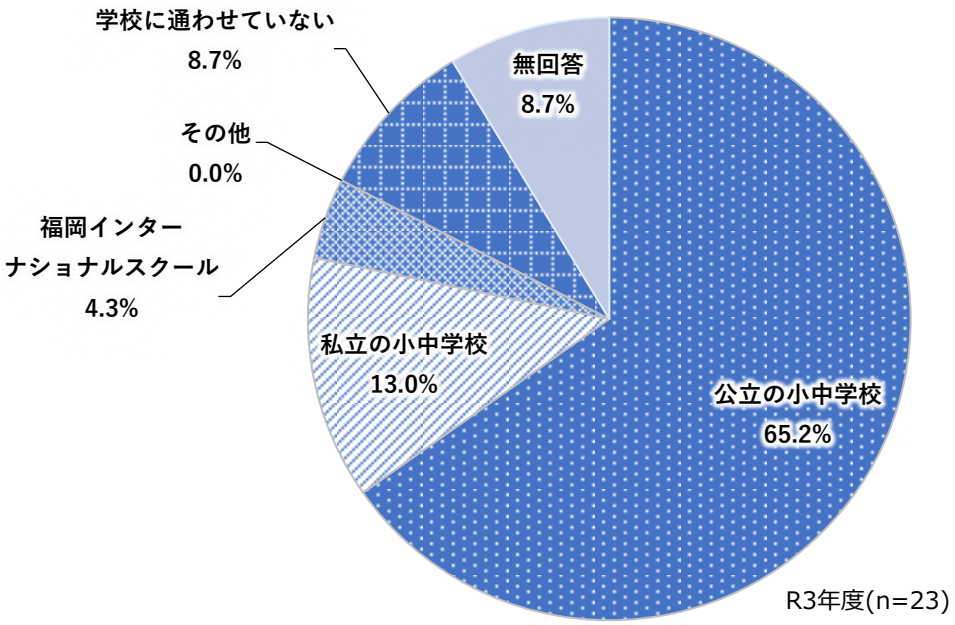
（%）

		サンプル数	小・中学生のこどもがいる	未就学の乳幼児がいる	いない	無回答
全　体		467	23	45	402	4
		100.0	4.9	9.6	86.1	0.9
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	151	6.6	9.3	84.8	0.7
	韓国	43	2.3	11.6	88.4	-
	ベトナム	109	2.8	1.8	95.4	-
	ネパール	60	-	6.7	91.7	1.7
	その他（アジア）	63	7.9	12.7	77.8	3.2
	その他（アジア以外）	39	7.7	28.2	69.2	-
	無回答	2	50.0	50.0	50.0	-
年齢別	29歳以下	311	1.0	2.9	95.2	1.0
	30～39歳	113	11.5	28.3	65.5	0.9
	40～49歳	20	20.0	10.0	70.0	-
	50～59歳	9	11.1	-	88.9	-
	60歳以上	7	14.3	28.6	57.1	-
	無回答	7	14.3	-	85.7	-
在留資格別	留学（大学、短大等）	97	-	1.0	97.9	1.0
	留学（日本語学校）	53	1.9	-	98.1	-
	留学（専修・各種学校・その他）	73	-	2.7	94.5	2.7
	就労（技術・人文知識・国際業務）	83	2.4	2.4	95.2	-
	就労（特定技能）	18	5.6	16.7	83.3	-
	就労（その他）	10	20.0	10.0	70.0	-
	家族滞在	31	25.8	58.1	32.3	-
	技能実習	36	8.3	-	91.7	-
	日本人の配偶者等	43	14.0	32.6	55.8	-
	特定活動	14	-	7.1	92.9	-
	その他	9	-	33.3	55.6	11.1
	無回答	-	-	-	-	-

②子どもの学校【Q37-1】

小・中学生の子どもがいると回答した人（23人）に子どもが通う学校を尋ねたところ、「公立の小中学校」は65.2%、「私立の小中学校」は13.0%、福岡インターナショナルスクールは4.3%となっている。なお、「学校に通わせていない」は8.7%となっている。

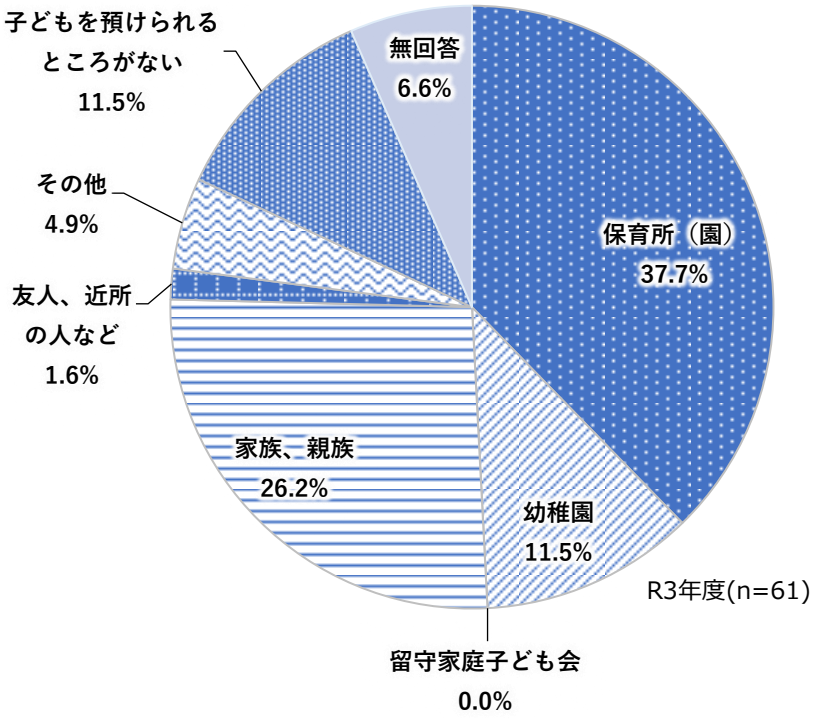
【子どもの学校】



③子どもの預け先【Q38】

同居している中学生以下の子どもがいると回答した人（61人）に仕事や外出するときの子どもの預け先を尋ねたところ、「保育所（園）」（37.7%）が最も多く、次いで「家族、親族」（26.2%）、「幼稚園」（11.5%）などの順になっている。なお、「子どもを預けられるところがない」（11.5%）は１割強となっている。

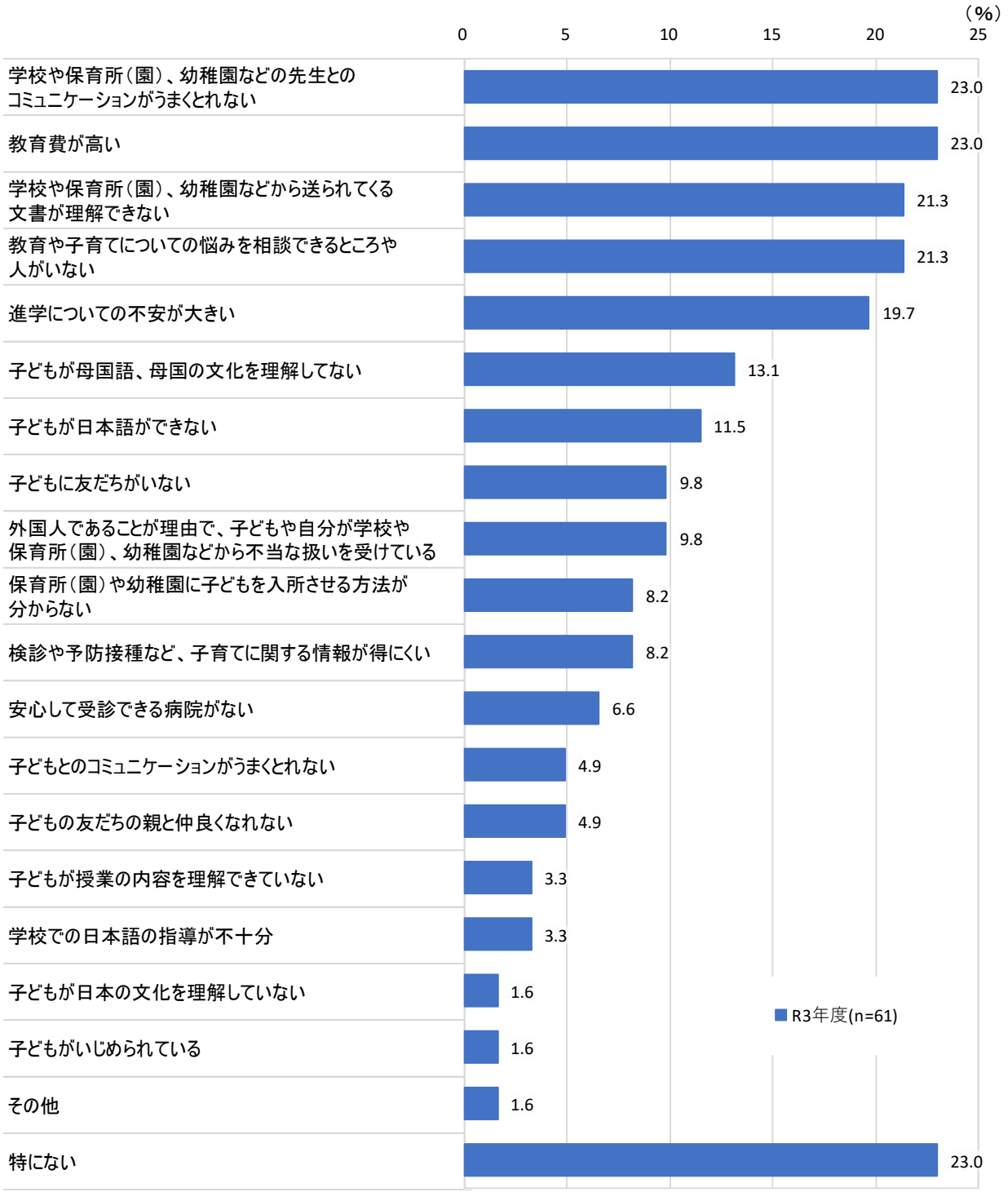
【子どもの預け先】



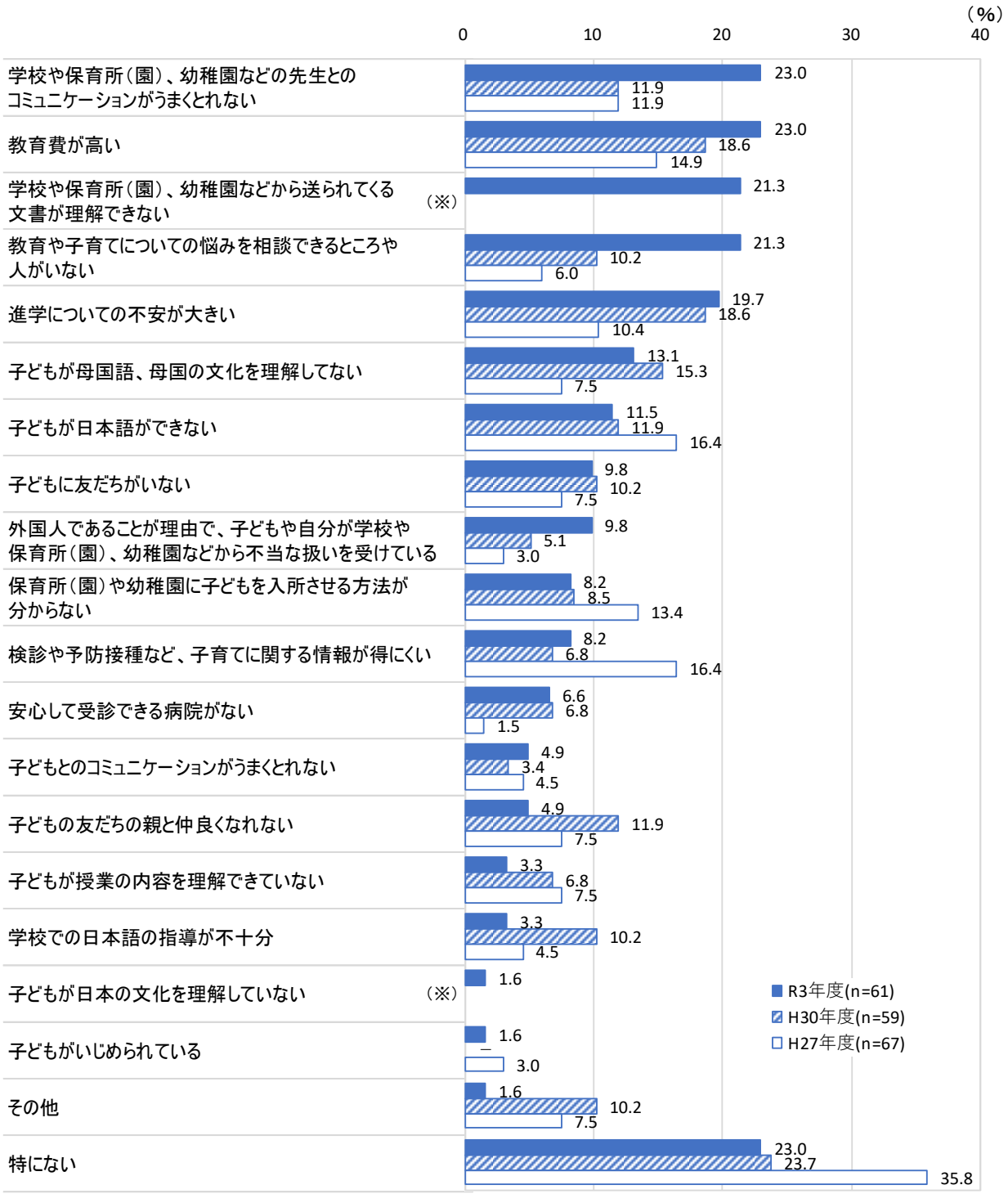
34. 子どもの教育や子育てにおける悩み【Q39】(複数回答)

同居している中学生以下の子どもがいると回答した人（61人）に子どもの教育や子育てにおける悩みを尋ねたところ、「学校や保育所（園)、幼稚園などの先生とのコミュニケーションがうまくとれない」、「教育費が高い」（各々23.0%）が最も多く、以下、「学校や保育所（園)、幼稚園などから送られてくる文書が理解できない」、「教育や子育てについての悩みを相談できるところや人がいない」（各々21.3%)、「進学についての不安が大きい」（19.7%)、と続いており、「特にない」（23.0%）と回答した人は約２割となっている。

【子どもの教育や子育てにおける悩み】



【子どもの教育や子育てにおける悩み（時系列）】



注：（※）H30・H27年度調査にはない項目

【子どもの教育や子育てにおける悩み（属性別特徴）】

（%）

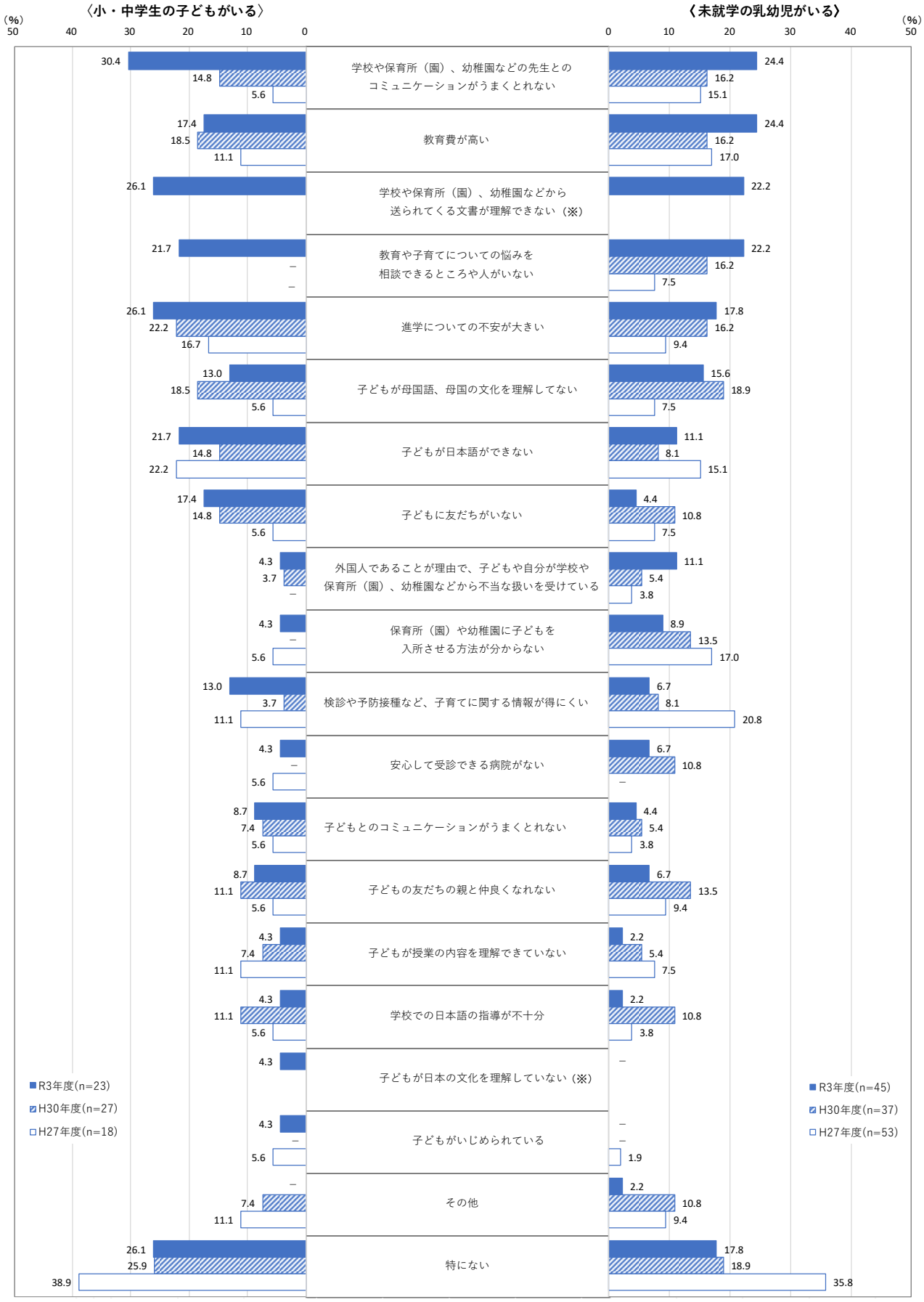
		該当数	学校や保育所（園）、幼稚園などの先生とのコミュニケーションがうまくとれない	教育費が高い	学校や保育所（園）、幼稚園などから送られてくる文書が理解できない	教育や子育てについての悩みを相談できるところや人がいない	進学についての不安が大きい	子どもが母国語、母国の文化を理解してない	子どもが日本語ができない	子どもに友だちがいない	外国人であることが理由で、子どもや自分が学校や保育所（園）、幼稚園などから不当な扱いを受けている	保育所（園）や幼稚園に子どもを入所させる方法が分からない
全　体		61	14	14	13	13	12	8	7	6	6	5
		100.0	23.0	23.0	21.3	21.3	19.7	13.1	11.5	9.8	9.8	8.2
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	22	22.7	31.8	4.5	13.6	27.3	22.7	9.1	9.1	13.6	9.1
	韓国	5	-	-	-	20.0	-	20.0	20.0	-	-	-
	ベトナム	5	20.0	40.0	40.0	40.0	20.0	-	-	20.0	20.0	40.0
	ネパール	4	25.0	50.0	25.0	75.0	50.0	25.0	-	25.0	-	-
	その他（アジア）	12	25.0	8.3	41.7	16.7	25.0	8.3	8.3	8.3	8.3	-
	その他（アジア以外）	12	33.3	16.7	33.3	16.7	-	-	16.7	8.3	8.3	8.3
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
年齢別	29歳以下	12	33.3	33.3	50.0	41.7	41.7	25.0	8.3	16.7	8.3	8.3
	30～39歳	38	23.7	15.8	18.4	13.2	13.2	10.5	15.8	5.3	13.2	7.9
	40～49歳	6	16.7	50.0	-	33.3	33.3	-	-	33.3	-	16.7
	50～59歳	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	60歳以上	3	-	33.3	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡市在住年数別	６か月未満	6	33.3	50.0	16.7	33.3	33.3	16.7	-	16.7	-	16.7
	６か月～１年未満	3	66.7	-	66.7	-	33.3	-	33.3	33.3	-	-
	１年以上～３年未満	23	17.4	17.4	17.4	21.7	13.0	13.0	13.0	17.4	13.0	4.3
	３年以上～５年未満	29	20.7	24.1	20.7	20.7	20.7	13.8	10.3	-	10.3	10.3
日本語会話能力別	自由に話せる	22	18.2	45.5	4.5	18.2	27.3	18.2	-	9.1	22.7	9.1
	少し話せる	34	29.4	11.8	35.3	23.5	14.7	11.8	11.8	8.8	2.9	8.8
	全く話せない	3	-	-	-	-	-	-	66.7	-	-	-
	無回答	2	-	-	-	50.0	50.0	-	50.0	50.0	-	-
子ども有無別	小・中学生の子どもがいる	23	30.4	17.4	26.1	21.7	26.1	13.0	21.7	17.4	4.3	4.3
	未就学の乳幼児がいる	45	24.4	24.4	22.2	22.2	17.8	15.6	11.1	4.4	11.1	8.9
	いない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【子どもの教育や子育てにおける悩み（属性別特徴 つづき）】

（%）

		該当数	検診や予防接種など、子育てに関する情報が得にくい	安心して受診できる病院がない	子どもとのコミュニケーションがうまくとれない	子どもの友だちの親と仲良くなれない	子どもが授業の内容を理解できていない	学校での日本語の指導が不十分	子どもが日本の文化を理解していない	子どもがいじめられている	その他	特にない	無回答
全　体		61	5	4	3	3	2	2	1	1	1	14	1
		100.0	8.2	6.6	4.9	4.9	3.3	3.3	1.6	1.6	1.6	23.0	1.6
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	22	4.5	-	9.1	-	4.5	4.5	-	-	-	22.7	-
	韓国	5	20.0	-	-	20.0	-	-	-	-	-	40.0	-
	ベトナム	5	40.0	20.0	20.0	-	-	-	20.0	20.0	-	-	20.0
	ネパール	4	-	-	-	25.0	-	-	-	-	-	25.0	-
	その他（アジア）	12	8.3	25.0	-	8.3	-	-	-	-	-	25.0	-
	その他（アジア以外）	12	-	-	-	-	8.3	8.3	-	-	8.3	25.0	-
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年齢別	29歳以下	12	8.3	8.3	-	8.3	-	-	-	-	-	-	-
	30～39歳	38	10.5	7.9	7.9	5.3	2.6	-	2.6	2.6	2.6	26.3	-
	40～49歳	6	-	-	-	-	16.7	33.3	-	-	-	33.3	-
	50～59歳	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	60歳以上	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
福岡市滞在年数別	６か月未満	6	33.3	33.3	16.7	16.7	-	16.7	-	-	-	16.7	-
	６か月～１年未満	3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	１年以上～３年未満	23	4.3	4.3	4.3	-	8.7	4.3	4.3	4.3	-	30.4	4.3
	３年以上～５年未満	29	3.4	3.4	3.4	6.9	-	-	-	-	3.4	20.7	-
日本語会話能力別	自由に話せる	22	9.1	9.1	13.6	-	-	-	4.5	4.5	4.5	27.3	-
	少し話せる	34	8.8	2.9	-	8.8	2.9	5.9	-	-	-	23.5	-
	全く話せない	3	-	33.3	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-
	無回答	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
子ども有無別	小・中学生の子どもがいる	23	13.0	4.3	8.7	8.7	4.3	4.3	4.3	4.3	-	26.1	4.3
	未就学の乳幼児がいる	45	6.7	6.7	4.4	6.7	2.2	2.2	-	-	2.2	17.8	-
	いない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【子どもの教育や子育てにおける悩み（小・中学生、未就学の乳幼児別）】

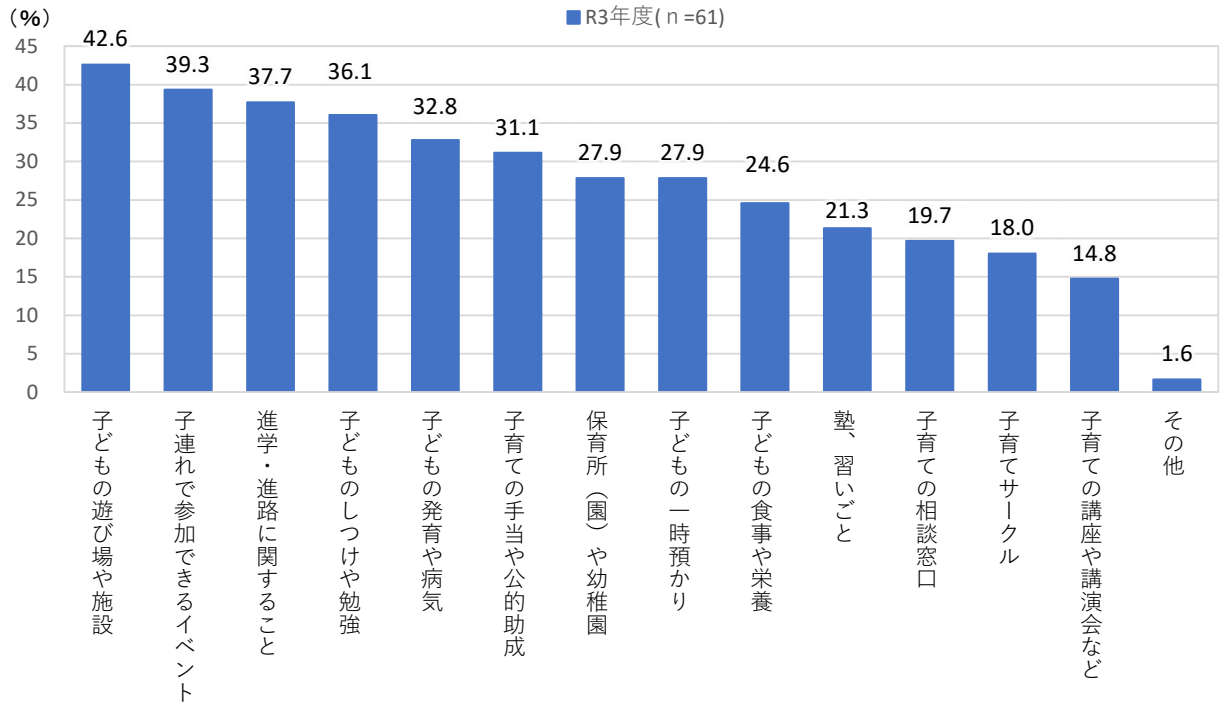


注：（※）H30・H27年度調査にはない項目

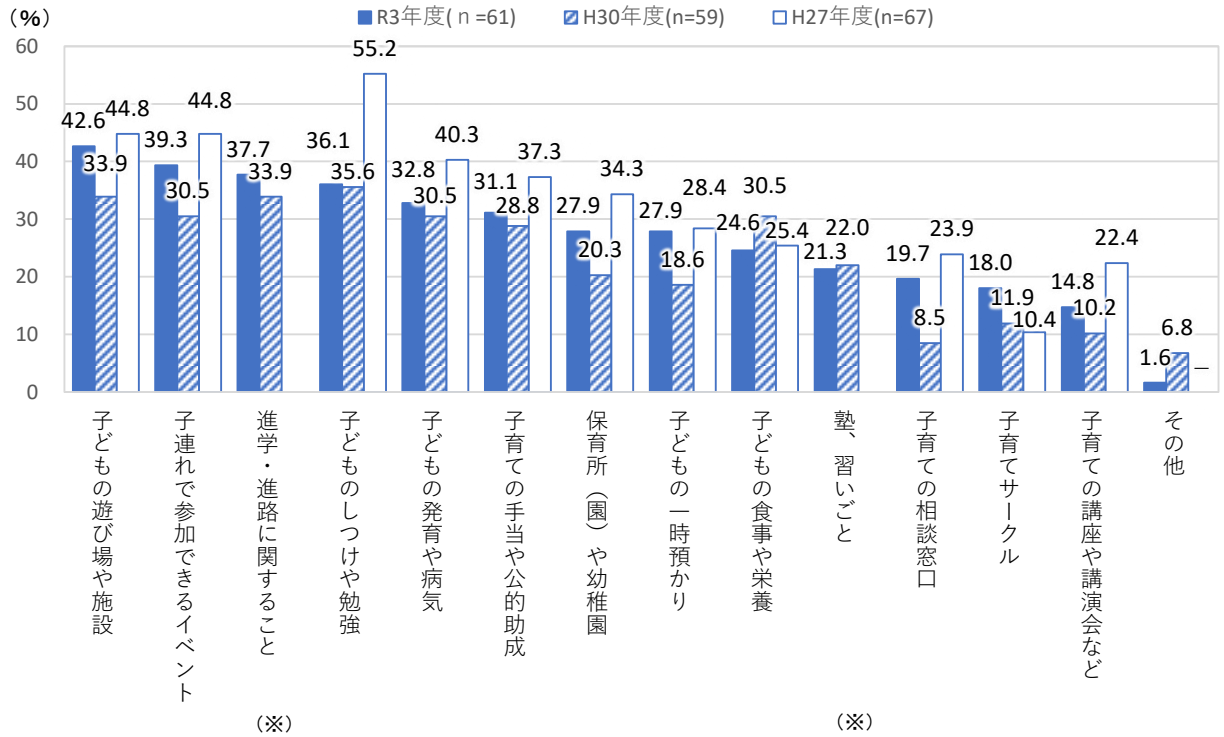
35. 子育てに関して必要とする情報【Q40】(複数回答)

同居している中学生以下の子どもがいると回答した人（61人）に子育てに関して必要とする情報を尋ねたところ、「子どもの遊び場や施設」（42.6%）が最も多く、以下、「子連れで参加できるイベント」（39.3%）、「進学・進路に関すること」（37.7%）、「子どものしつけや勉強」（36.1%）、「子どもの発育や病気」（32.8%）、「子育ての手当や公的助成」（31.1%）と続いている。

【子育てに関して必要とする情報】



【子育てに関して必要とする情報（時系列）】



注:(※)H27年度調査にはない項目

【子育てに関して必要とする情報（属性別特徴）】

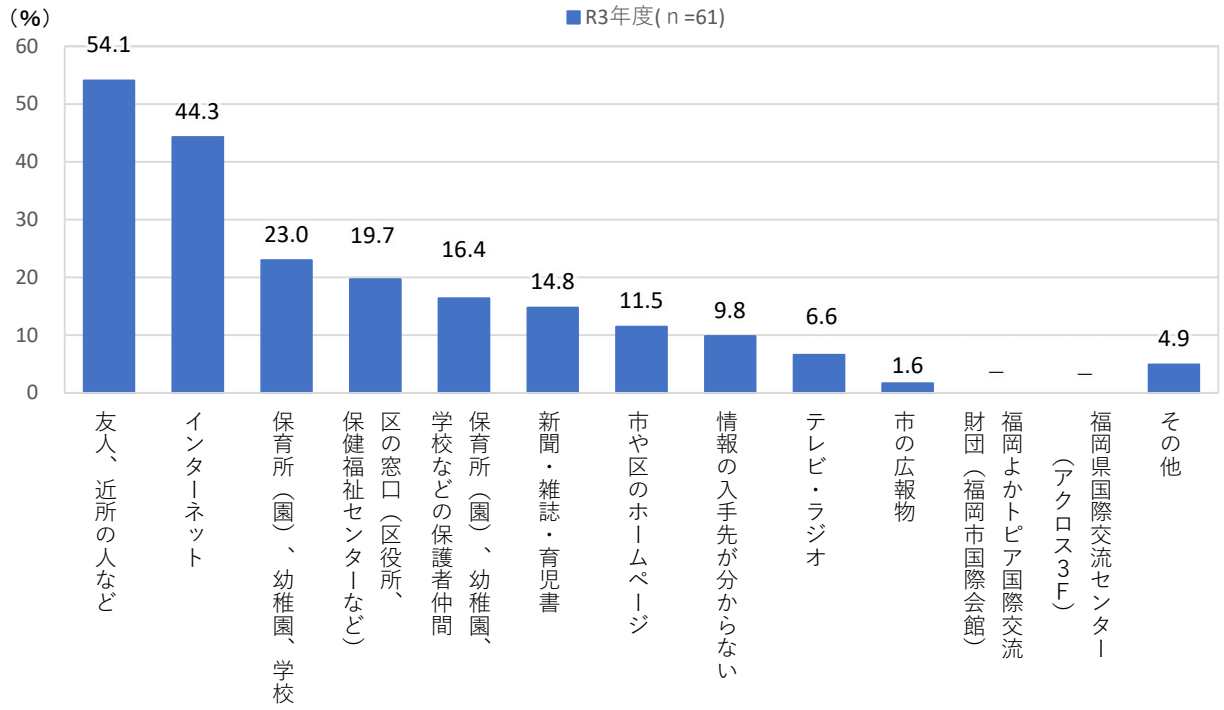
（%）

		該当数	子どもの遊び場や施設	子連れで参加できるイベント	進学・進路に関すること	子どものしつけや勉強	子どもの発育や病気	子育ての手当や公的助成	保育所（園）や幼稚園	子どもの一時預かり	子どもの食事や栄養	塾、習いごと	子育ての相談窓口	子育てサークル	子育ての講座や講演会など	その他	無回答
全体		61	26	24	23	22	20	19	17	17	15	13	12	11	9	1	2
		100.0	42.6	39.3	37.7	36.1	32.8	31.1	27.9	27.9	24.6	21.3	19.7	18.0	14.8	1.6	3.3
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	22	40.9	36.4	72.7	45.5	36.4	36.4	36.4	40.9	13.6	31.8	18.2	18.2	4.5	-	-
	韓国	5	80.0	60.0	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	-	20.0	40.0	-	-	-	-	-
	ベトナム	5	60.0	20.0	20.0	60.0	60.0	40.0	40.0	20.0	60.0	40.0	40.0	60.0	20.0	-	20.0
	ネパール	4	50.0	-	50.0	75.0	50.0	50.0	25.0	-	50.0	50.0	75.0	-	75.0	-	-
	その他（アジア）	12	8.3	25.0	16.7	33.3	41.7	8.3	16.7	8.3	41.7	-	16.7	16.7	16.7	-	8.3
	その他（アジア以外）	12	58.3	75.0	8.3	-	8.3	33.3	25.0	50.0	8.3	-	8.3	16.7	16.7	8.3	-
	無回答	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年齢別	29歳以下	12	41.7	25.0	50.0	75.0	50.0	50.0	50.0	16.7	50.0	25.0	50.0	25.0	25.0	-	-
	30～39歳	38	47.4	39.5	31.6	26.3	31.6	28.9	23.7	28.9	21.1	21.1	13.2	18.4	13.2	2.6	-
	40～49歳	6	50.0	83.3	50.0	33.3	16.7	33.3	33.3	50.0	-	33.3	16.7	16.7	16.7	-	-
	50～59歳	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	60歳以上	3	-	33.3	66.7	33.3	33.3	-	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
在留資格別	留学（大学、短大等）	1	-	100.0	-	100.0	100.0	-	-	-	100.0	-	100.0	100.0	-	-	-
	留学（日本語学校）	1	-	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-
	留学（専修・各種学校・その他）	2	100.0	-	-	50.0	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	-	50.0	50.0	-	-	-
	就労（技術・人文知識・国際業務）	4	25.0	-	75.0	50.0	25.0	50.0	25.0	75.0	25.0	50.0	25.0	50.0	-	-	-
	就労（特定技能）	3	-	-	-	33.3	-	33.3	-	-	-	33.3	-	-	33.3	-	-
	就労（その他）	3	-	33.3	33.3	33.3	33.3	-	-	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-
	家族滞在	21	52.4	33.3	42.9	33.3	38.1	23.8	33.3	28.6	33.3	19.0	19.0	9.5	28.6	-	-
	技能実習	3	66.7	66.7	66.7	100.0	100.0	33.3	33.3	33.3	66.7	100.0	33.3	66.7	33.3	-	-
	日本人の配偶者等	19	42.1	52.6	26.3	26.3	10.5	31.6	21.1	21.1	5.3	5.3	10.5	5.3	-	5.3	10.5
	特定活動	1	-	100.0	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	その他	3	66.7	33.3	66.7	33.3	100.0	66.7	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	66.7	33.3	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
子ども有無別	小・中学生の子どもがいる	23	26.1	39.1	47.8	43.5	21.7	17.4	21.7	21.7	8.7	34.8	13.0	13.0	4.3	-	8.7
	未就学の乳幼児がいる	45	51.1	42.2	31.1	31.1	37.8	37.8	31.1	33.3	28.9	17.8	20.0	20.0	17.8	2.2	-
	いない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

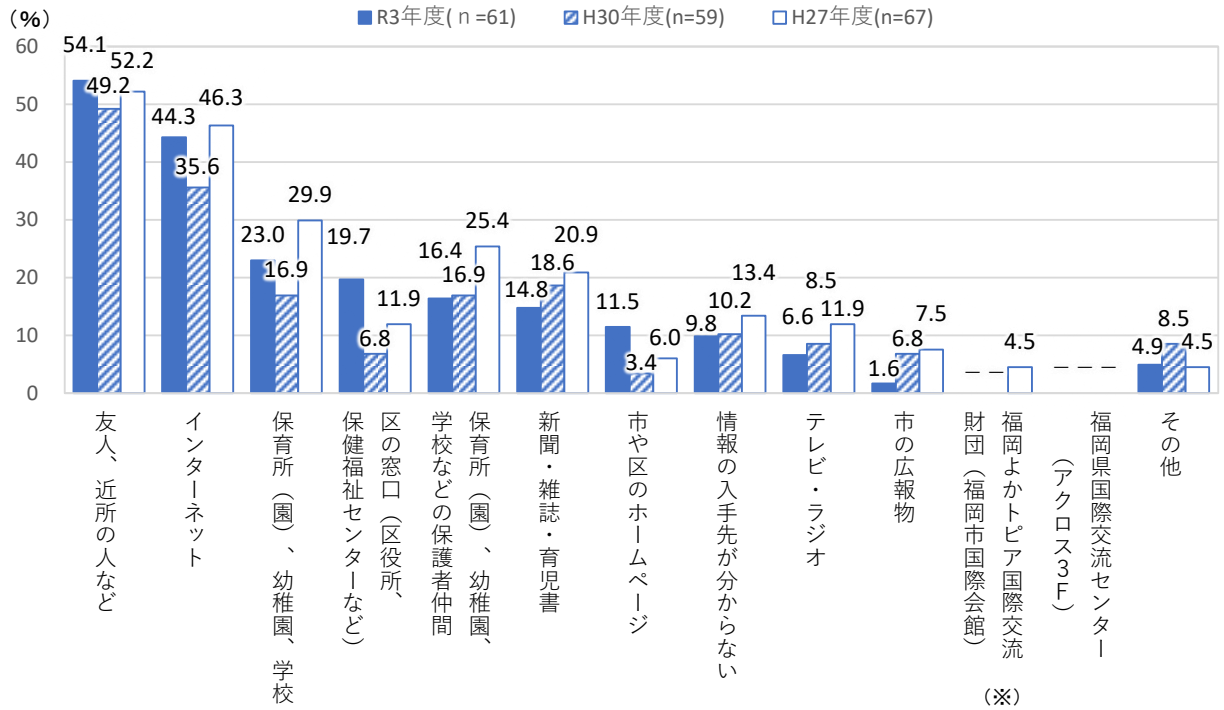
36. 子育てにおいて相談したり、参考にしたりしているもの【Q41】(複数回答)

同居している中学生以下の子どもがいると回答した人（61人）に子育てにおいて相談したり、参考にしたりしているものを尋ねたところ、「友人、近所の人など」（54.1%）が最も多く、以下、「インターネット」（44.3%）、「保育所（園）、幼稚園、学校」（23.0%）、「区の窓口（区役所、保健福祉センターなど)」（19.7%）、「保育所（園）、幼稚園、学校などの保護者仲間」（16.4%）と続いている。

【子育てにおいて相談したり、参考にしたりしているもの】



【子育てにおいて相談したり、参考にしたりしているもの】



注:(※)H27年度調査では「レインボープラザ(イムズ8階)」(福岡市国際会館への移転前)

【子育てにおいて相談したり、参考にしたりしているもの（属性別特徴）】

（%）

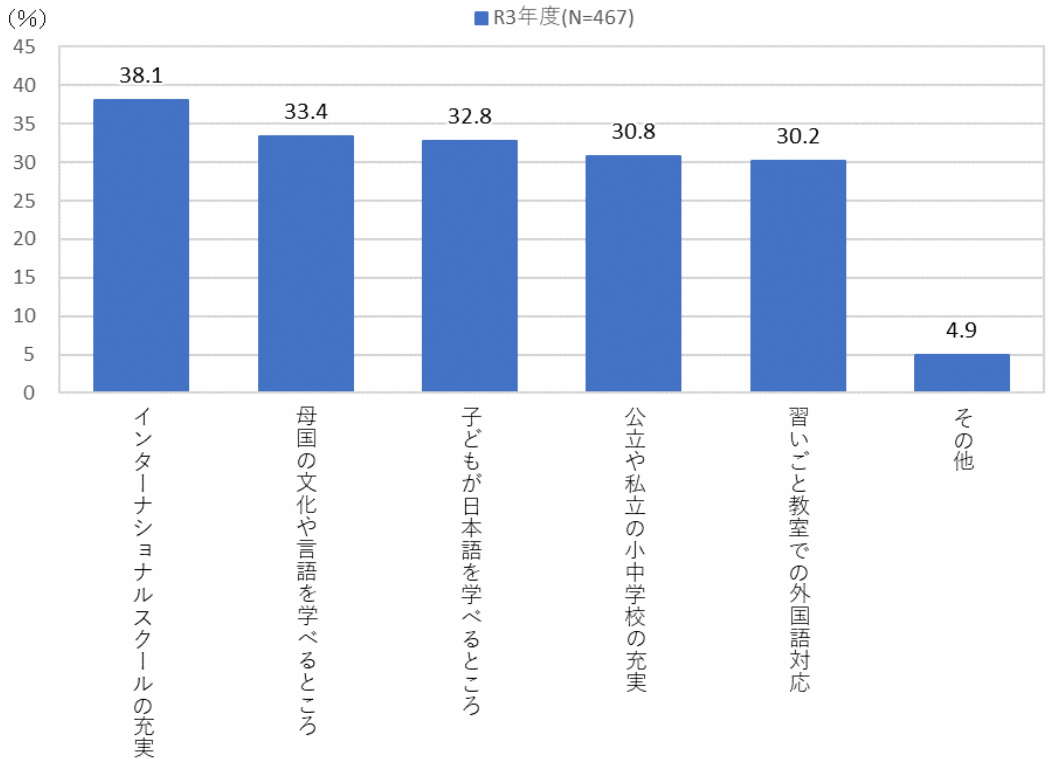
		該当数	友人、近所の人など	インターネット	保育所（園）、幼稚園、学校	区の窓口（区役所、保健福祉センターなど）	保育所（園）、幼稚園、学校などの保護者仲間	新聞・雑誌・育児書	市や区のホームページ	情報の入手先が分からない	テレビ・ラジオ	市の広報物	福岡よかトピア国際交流財団（福岡市国際会館）	福岡県国際交流センター（アクロス3F）	その他	無回答
全体		61	33	27	14	12	10	9	7	6	4	1	-	-	3	4
		100.0	54.1	44.3	23.0	19.7	16.4	14.8	11.5	9.8	6.6	1.6	-	-	4.9	6.6
国籍・地域別	中国（台湾を含む）	22	72.7	45.5	13.6	27.3	9.1	13.6	13.6	4.5	13.6	4.5	-	-	-	4.5
	韓国	5	-	60.0	40.0	-	-	-	-	20.0	-	-	-	-	-	20.0
	ベトナム	5	20.0	40.0	60.0	40.0	40.0	20.0	20.0	20.0	-	-	-	-	-	20.0
	ネパール	4	75.0	75.0	25.0	50.0	25.0	50.0	-	-	25.0	-	-	-	-	-
	その他（アジア）	12	41.7	33.3	33.3	16.7	16.7	8.3	25.0	16.7	-	-	-	-	-	8.3
	その他（アジア以外）	12	58.3	41.7	8.3	-	25.0	16.7	-	8.3	-	-	-	-	25.0	-
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年齢別	29歳以下	12	66.7	50.0	50.0	41.7	25.0	25.0	16.7	-	8.3	-	-	-	-	-
	30～39歳	38	50.0	42.1	15.8	15.8	13.2	10.5	13.2	13.2	5.3	2.6	-	-	7.9	5.3
	40～49歳	6	66.7	50.0	-	16.7	33.3	33.3	-	16.7	16.7	-	-	-	-	-
	50～59歳	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	60歳以上	3	66.7	66.7	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
在留資格別	留学（大学、短大等）	1	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	留学（日本語学校）	1	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	留学（専修・各種学校・その他）	2	50.0	50.0	100.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	就労（技術・人文知識・国際業務）	4	50.0	25.0	25.0	75.0	25.0	25.0	25.0	-	25.0	-	-	-	-	-
	就労（特定技能）	3	100.0	-	-	-	33.3	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	-
	就労（その他）	3	66.7	66.7	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	家族滞在	21	61.9	61.9	23.8	14.3	19.0	14.3	14.3	4.8	4.8	-	-	-	4.8	4.8
	技能実習	3	-	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	66.7	-	-	-	-	-	-
	日本人の配偶者等	19	36.8	31.6	15.8	10.5	5.3	10.5	5.3	10.5	5.3	-	-	-	10.5	15.8
	特定活動	1	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	3	100.0	66.7	-	-	-	33.3	-	-	33.3	33.3	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
子ども有無別	小・中学生の子どもがいる	23	56.5	30.4	13.0	13.0	21.7	8.7	17.4	13.0	4.3	-	-	-	4.3	8.7
	未就学の乳幼児がいる	45	53.3	51.1	28.9	20.0	17.8	15.6	6.7	6.7	6.7	2.2	-	-	6.7	4.4
	いない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

37. 教育環境において外国人にとって必要なこと【Q42】【Q42-1・2】

①教育環境において必要なこと【Q42】(複数回答)

教育環境において、外国人にとってどのようなことが必要か尋ねたところ、「インターナショナルスクールの充実」(38.1%)が最も多く、以下、「母国の文化や言語を学べるところ」(33.4%)、「子どもが日本語を学べるところ」(32.8%)、「公立や私立の小中学校の充実」(30.8%)、「習いごと教室での外国語対応」(30.2%)と続いている。

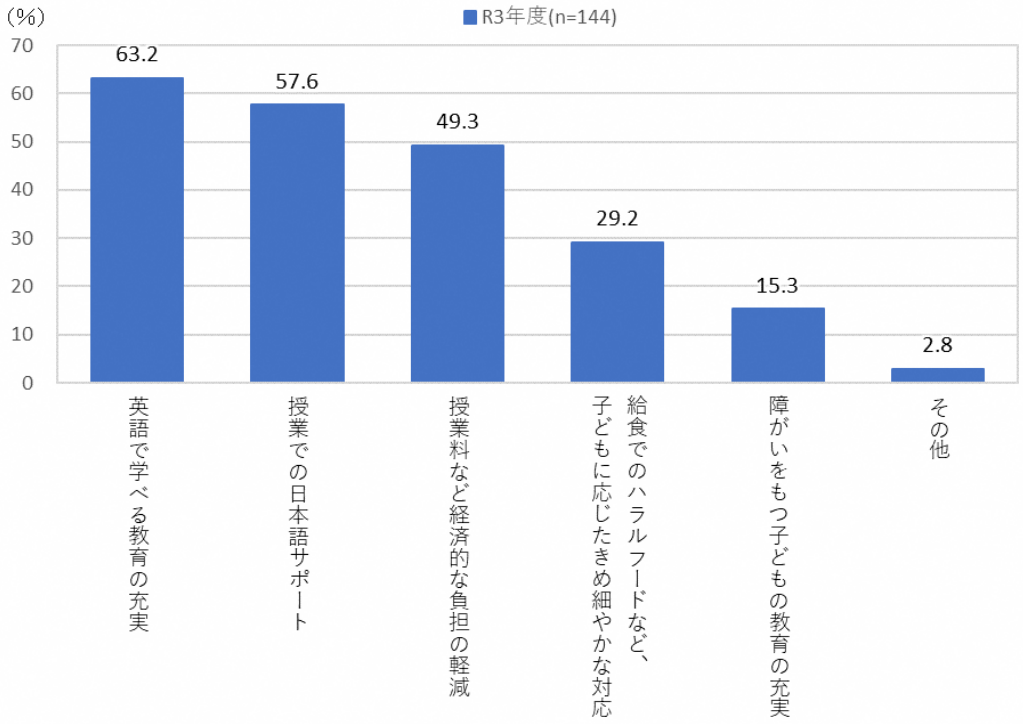
【教育環境において必要なこと】



②公立や私立の小中学校の充実【Q42-1】(複数回答)

公立や私立の小中学校の充実と回答した人（144人）に具体的に何が充実すればよいか尋ねたところ、「英語で学べる教育の充実」（63.2%）が最も多く、以下、「授業での日本語サポート」（57.6%)、「授業料など経済的な負担の軽減」（49.3%)、「給食でのハラルフードなど、子どもに応じたきめ細やかな対応」（29.2%)、「障がいをもつ子どもの教育の充実」（15.3%）と続いている。

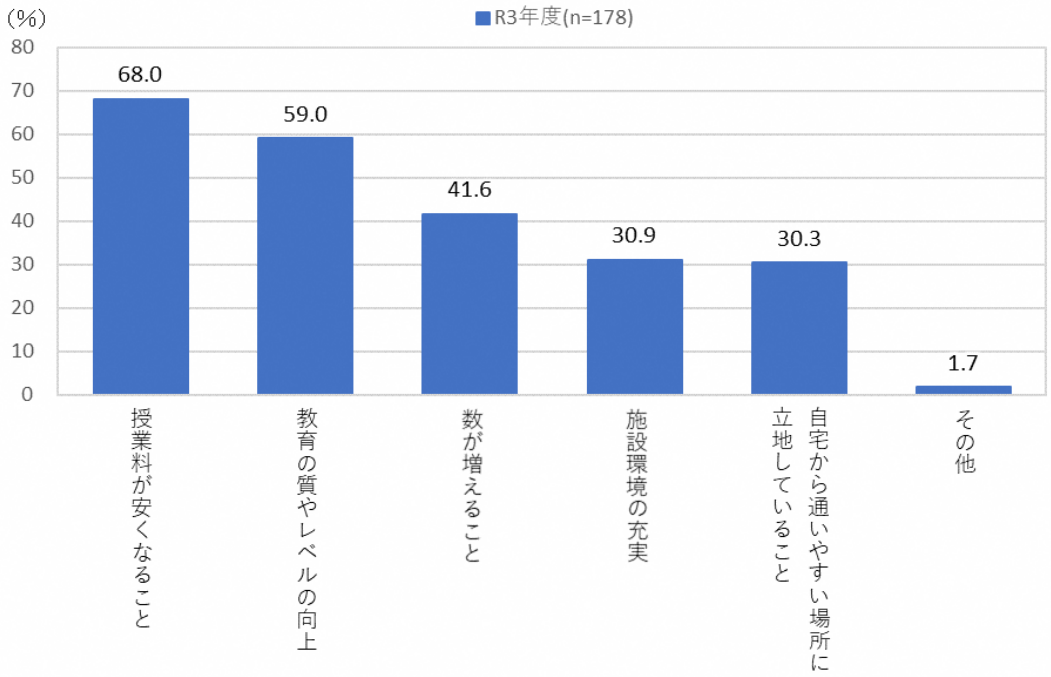
【公立や私立の小中学校の充実】



③インターナショナルスクールの充実【Q42-2】(複数回答)

インターナショナルスクールの充実と回答した人（178人）に具体的に何が充実すればよいか尋ねたところ、「授業料が安くなること」(68.0%）が最も多く、以下、「教育の質やレベルの向上」（59.0%)、「数が増えること」(41.6%)、「施設環境の充実」(30.9%)、「自宅から通いやすい場所に立地していること」(30.3%）と続いている。

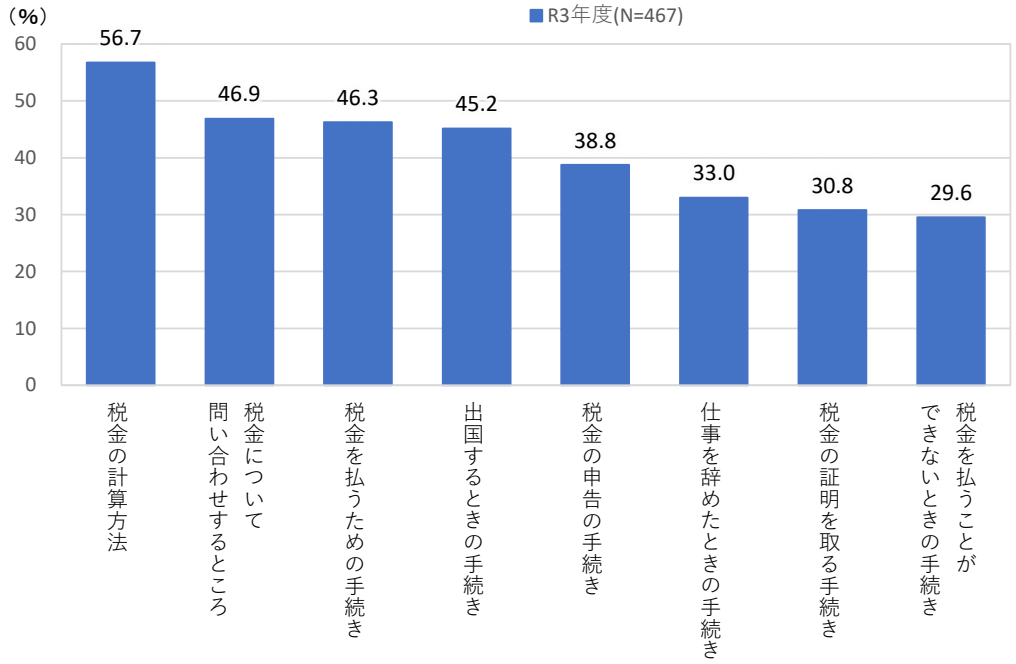
【インターナショナルスクールの充実】



38. 税金に関して必要とする情報【Q43】(複数回答)

税金に関して必要とする情報を尋ねたところ、「税金の計算方法」(56.7%)が最も多く、以下、「税金について問い合わせするところ」(46.9%)、「税金を払うための手続き」(46.3%)、「出国するときの手続き」(45.2%)、「税金の申告の手続き」(38.8%)、「仕事を辞めたときの手続き」(33.0%)、「税金の証明を取る手続き」(30.8%)、「税金を払うことができないときの手続き」(29.6%)と続いている。

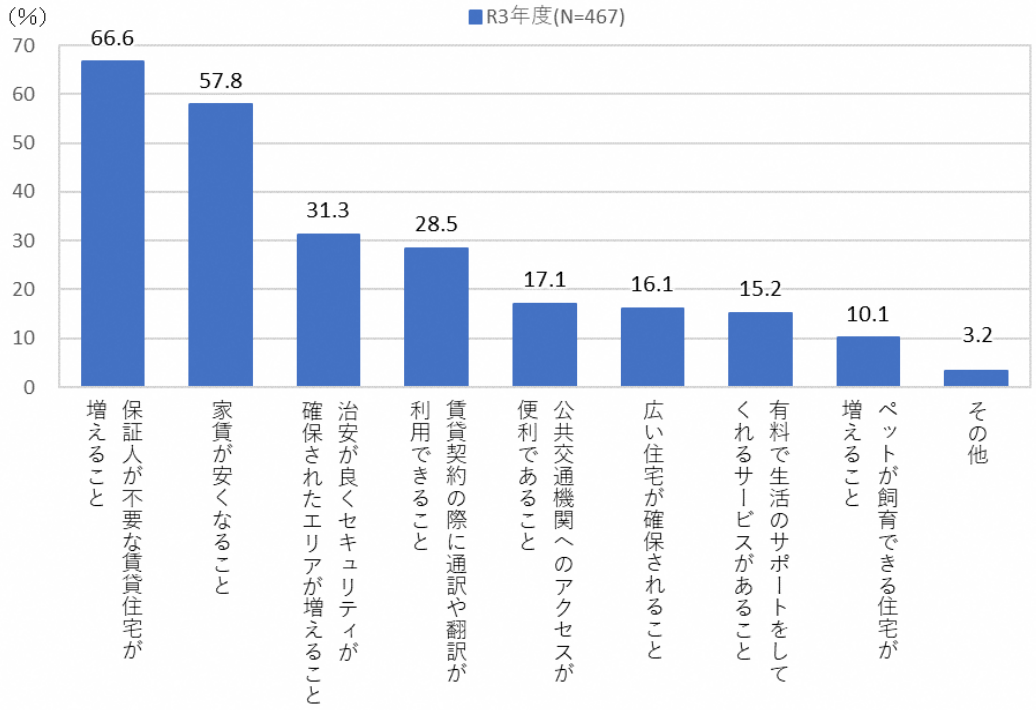
【税金に関して必要とする情報】



39. 住居環境において必要なこと【Q44】(複数回答)

住居環境において、外国人にとってどのようなことが必要か尋ねたところ、「保証人が不要な賃貸住宅が増えること（66.6%）が最も多く、以下、「家賃が安くなること」(57.8%)、「治安が良くセキュリティが確保されたエリアが増えること」(31.3%)、「賃貸契約の際に通訳や翻訳が利用できること（28.5%)、「公共交通機関へのアクセスが便利であること」(17.1%）などと続いている。

【住居環境において必要なこと】

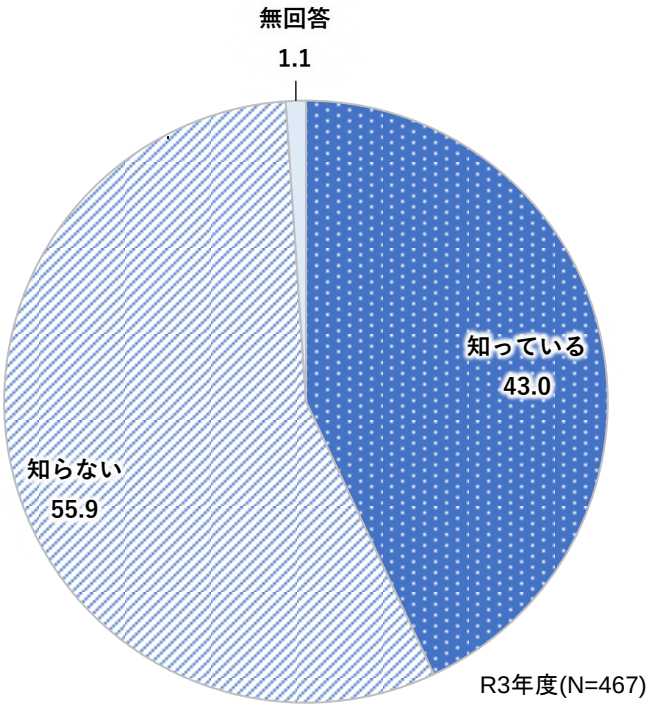


40. 国勢調査の認知【Q45】【Q45-1】【Q46】【Q46-1】

①認知状況【Q45】

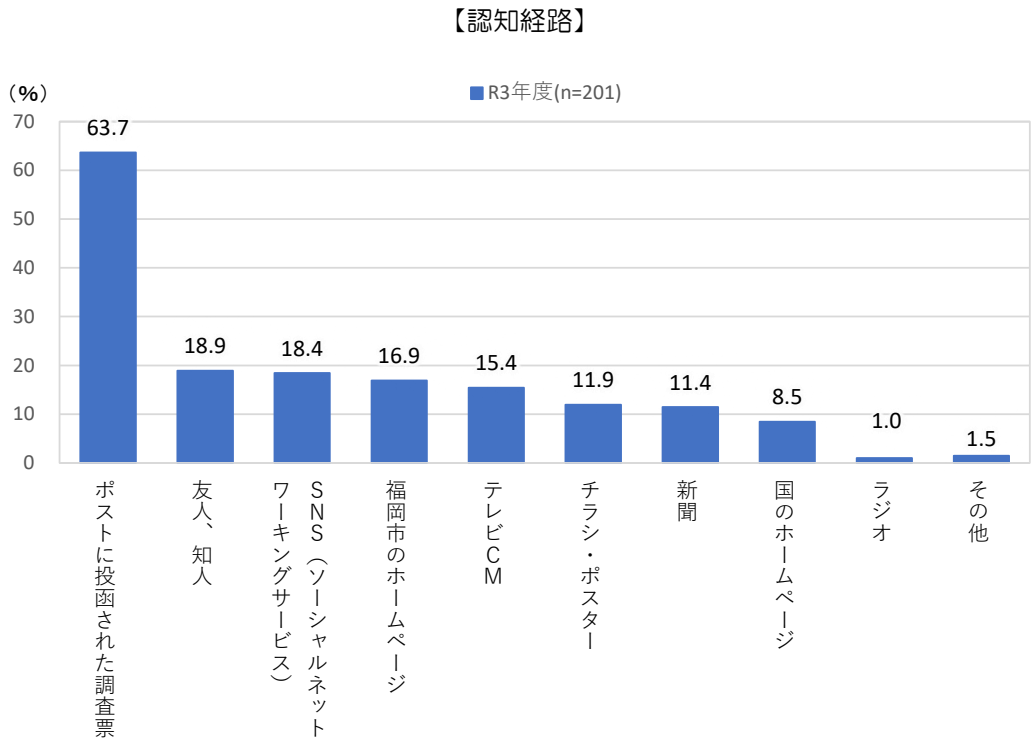
2020年10月に国勢調査が実施されたことを知っているか尋ねたところ、「知っている」は43.0%、「知らない」は55.9%となっている。

【認知状況】



②認知経路【Q45-1】(複数回答)

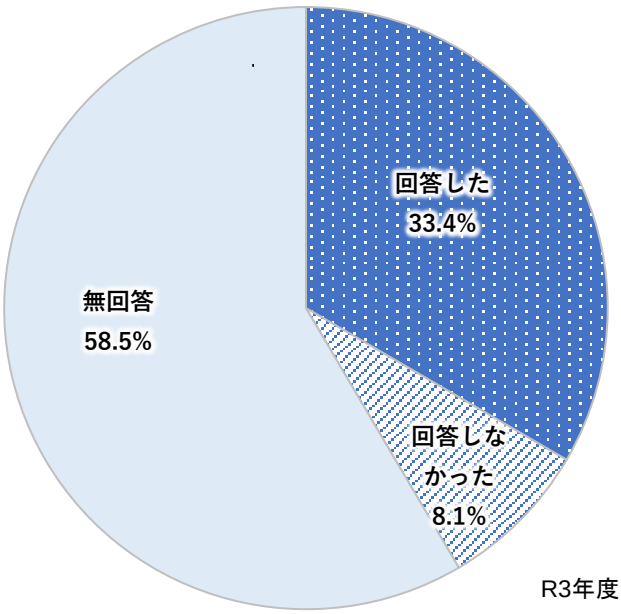
知っていると回答した人（201人）にその認知経路を尋ねたところ、「ポストに投函された調査票」（63.7%）が最も多く、以下、「友人、知人」（18.9%)、「SNS（ソーシャルネットワーキングサービス)」（18.4%)、「福岡市のホームページ」（16.9%)、「テレビCM」（15.4%）と続いている。



③回答の有無【Q46】

2020年10月の国勢調査を回答したか尋ねたところ、「回答した」は33.4%、「回答しなかった」は8.1%となっている。

【回答の有無】

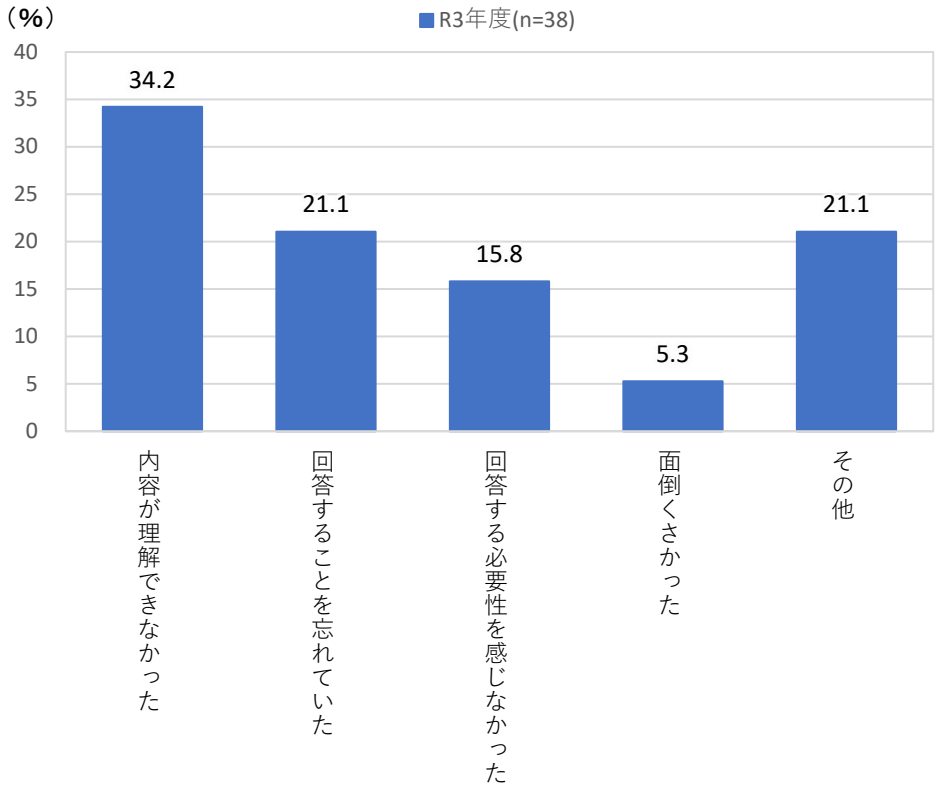


R3年度(N=467)

④回答しなかった理由【Q46-1】

回答しなかったと回答した人（38人）に回答しなかった理由を尋ねたところ、「内容が理解できなかった」（34.2%）が最も多く、以下、「回答することを忘れていた」（21.1%）、「回答する必要性を感じなかった」（15.8%）と続いている。

【回答しなかった理由】



41. 自由回答【Q47】

「外国人が住みやすく活動しやすいまちづくり」について意見を求めたところ、368件の回答がよせられた。最も多く言及があった内容は住宅に関するもの（58件）であり、次に日本語の学習を含めた地域住民との交流機会に関するもの（57件）、多言語対応や通訳の充実等の言語に関するもの（56件）の意見が多く寄せられた。

以下、主なものを掲載する。

住みやすく活動しやすいまちづくり 自由意見（抜粋）
住居を探すとき保証人（日本人の保証人）が必要ですが、初めて来日したときは日本人の知り合いがいませんでした。幸い姉が日本のホテルで働いているため住むところを見つけられましたが、福岡に来たときは日本人の友人に保証人になってもらって家を探すことになりました。
仕事の面では、職場において日本人は知っていても外国人は知らない不文律がよくある。こうした分野の教室や交流会があれば、仕事上での摩擦を少し減らすことができると思う。
外国人の雇用機会を増やすために、市役所は、もっと外資系企業を福岡に誘致し、より多様で国際的な雇用環境を作るべきだと思う。
ここ（福岡市東区）に住んで 2 年以上になるが、全体的には生活のいろんなことは問題ないと思う。空気は澄んで、街はきれいで、買い物の利便性もよく、特に日本人のご近所さんはとても親切である。
外国人のサイバー犯罪、犯罪などの事を注意して犯罪防止強化をしてほしいです。私は外国人ですが、外国人が犯罪すると日本人に悪いイメージを与えて､関係ない外国人の私にも影響を受ける恐れがあると思います。犯罪の匿名通報の場所、メールなど設けてほしいです。そして、この内容を外国人に周知してほしいです。これは日本人のためだけではなく外国人コミュニティのためでもあると思います。
福岡は私にとって一番最高な街だから、意見なし!!
私は日本に留学する前に、日本のいろんなところを旅行しました。その中でも福岡市が一番気に入ったので、大学も福岡市で探しました。福岡市は今でもすごく住みやすい地域です。今回の様な調査を行うことも、福岡市からの努力が感じられて感動しました。ただ一つだけ言わせていただきます。外国人が一番話す人としては、市役所や区役所の公務員たちが多いかと思います。その方がよりポジティブに話を聞いてくださるのならよりいいと思います。
今のライフスタイルにとても満足していて、特に意見や感想はありません。我らが福岡市長に「いいね」を贈ります。
福岡市はとても便利で美しい街だと思います。しかし、私のような外国人が 1 人で賃貸物件を探すことは簡単ではありません。新たな賃貸物件を選ぶ際には日本人の友人を見つけて私の保証人になることをお願いする必要があり、日本人の友人にとってそれは大きな負担となります。私は今後そのようなお願いを友人にしたくはありません。保証人を必要としない賃貸物件が増えることを願っています。
福岡はアジアのゲートウェイと言えるインフラを備えている都市です。しかし世界のゲートウェイとなれるよう世界文化の紹介、及び交流活動を積極的に支援すればよいと思います。また外国人を採用した企業に特典を与えれば、グローバル化につながるメリットも持つことになります。世界のゲートウェイとなりうる福岡になるよう願い、外国人もまた日本の文化を理解できる交流も増えることを希望します。
福岡は京坂神地区ほど豊かな観光文化資源がない。京坂神地区には大量の世界文化遺産がある。しかし、福岡には多くの島という資源があるので、別の道を切り開き、自分の都市地域の特色ある観光開発ルートを歩むことができる。
治安が悪い。私は自転車を盗まれた。市民の交通マナーでは、青信号時に自動車が左に曲がる際歩道に迫ってくる。歩行者を優先してはいるが、車が歩行者に迫るのは非常に失礼で圧迫感があり、追い立てられるようだ。こうした行為は大阪、東京では起こらないが、福岡の都市ではよくある。
まず、外国人居住者が暮らしやすくするためのこの様なアンケートをして下さる福岡市の職員の方々に感謝します。これからも外国人居住者と地元の市民の間の相互理解が進むよう一層尽力してください。そうした取り組みによって、私たちはお互いの考えを理解し協調しながら平穏に暮らすことが出来ると思います。
福岡市のコロナでの事で、時間（店など）や期間を決める際の発表がいつも遅いです。もう少し現場を考えて下さい。ヒミツクーポンや地域クーポンもわけわかりません。現場が準備できる時間を下さい。市の方も大変だとは思いますが、よろしくお願いします。
私たちの住むアパートには外国人宛にいろいろな種類の手紙が届きます。日本に来たばかりの友人たちにはそれらの手紙の内容が分かりません。手紙を英語で書いてくださるなら、来日したばかりの人たちや日本に住む外国人にも助けになります。よろしくお願いします。
留学生が政府・行政からの情報を外国語で手軽に利用できるようにしてほしい。

住みやすく活動しやすいまちづくり 自由意見（抜粋）
福岡はインターナショナルスクールや私立の英語教育機関が不足している。
道路標識がニカ国語表記（英語と日本語）なのがありがたいです。
日本人によっては外国人と言うだけで差別する人もいるため差別がないようにお互いの国の文化などを理解する機会があったらいいと思います。
部屋を賃貸すると外国人を差別するが、それをなくす。この差別のせいで外国人は部屋を探すのに保証人が必要で、保証人を探すのは外国人にとっては不可能だ。それのために家賃が高くなるといった問題がある。これを正すことは不可欠だ。
インフラを適切に整備し、市内に緑地帯を増やすといいと思う。
多文化交流活動の充実（language exchenge など）
外国人向けのサービスや交流を提供するウェブサイトを立ち上げて、外国人同士が助け合えるようになるといい。ウェブサイトでは、保証人なしで部屋を借りるための情報や、外国人主催のイベント情報、中古品の譲渡・販売情報、生活情報などを提供できるようにする。
日本に来たばかりで日本語がまだ上手でない外国人に仕事（パート・アルバイト）の機会を与えるべきだと思う。たとえばコンビニでもっと外国人アルバイトを受け入れるなど。
部屋を借りる時、外国人向けの賃貸住宅は非常に少なく、日本人の保証人が必要である。
銀行などの金融機関が外国人向けに英語によるサポートを提供し、世界標準の顧客サービスを提供するようになってほしいです。福岡に住む全ての外国人のために力を尽くしてくれてありがとうございます。
福岡は昔から外国人が多い街だと思い、高島市長就任からどんどん新たな事業やサービスを受けたりしますし、外国人として嬉しいです。少子高齢化が進み、日本の若年層の増加が鈍化している中、福岡はまだ若者が多い街でぜひ続けていただきたく、もっと外国人が住みやすい街になっていただきたいです。留学生としてきてから、まちづくり関係仕事をしている。今までもう 9 年経ち、福岡を第二故郷として今後もずっと住んで行きたいので、どうぞよろしくお願いいたします。頑張ってください。
福岡市は本当に住みやすい町だと思う、自分も 11 年間住んでいた。だいぶ慣れた。 しかし、この 11 年間、私が知る限り、二つのことが全然変わってない、それは、外国人達はお部屋探しの時、ほとんどのお部屋は連帯保証人が必要だ。私達外国人はほとんど一人で日本に来た。そんな保証人がいるわけがない。もちろん、保証人の要らない部屋もある、そういう部屋はほとんど築 20-30 年のボロボロな部屋だ。こういうところは何とか改善して欲しい。もう一つは、退居及びお引っ越しするとき、信じられないぐらい高価な清掃費用(15-30 万円)が取られた。私は日本少し長いから、不動産に文句とか反論ができるけど、日本語わからない外国人もいる。こういう時は無料相談できる専門家が欲しい。こういうところのお金が交渉できるとか、こういうところのお金払わなくてもなくても良いとか。こういう相談できる人間が欲しい。もちろん、清掃費用を払わないつもりが全然ない。
多言語対応の改善
福岡市は十分住みやすい所です。ただし、日本人外国人問わず給料が少ない方なので、その分若者に対してのメリットは少ないのではないでしょうか。せっかく経済特区にもなっているし、Fgn などもあるので、グローバル的スタートアップ企業がもっと増えたら良いでしょう。

Ⅲ. 調査票

Ⅲ. 調査票

福岡市にお住まいの外国人の方々へ

「福岡市　外国籍市民アンケート」ご協力のお願い

福岡市では，外国人にも暮らしやすいまちづくりを進めるため，皆様の日常生活やご意見についてアンケートすることにしました。

今回，福岡市にお住まいの１８歳以上の外国人から２，０００人を選び，アンケートをお願いしています。（対象者に選ばれたことに特別な理由はありません。）

回答いただいた内容は，他の人に知られることはありませんし，意見を個人が特定されるような形で発表することもありません。また，他の目的に利用されることは一切ありません。

この調査の結果は，福岡市ホームページで皆様にお知らせする予定です。

福岡市が暮らしやすいまちになるために，ご協力をお願いします。

アンケートに答えていただいた方の中から抽選で

「５千円の商品券(３名)」「500円クオカード(４２名)」

が当たります。

（当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。）

２０２１年　１０月

福岡市役所 総務企画局 国際部

【お問い合わせ先】
〒810-8620 福岡市中央区天神1丁目8-1
福岡市役所　総務企画局　国際部　「外国籍市民アンケート」係
担当：植木，日口　　（TEL）092-711-4022

1

アンケートを書くときのお願い

1　アンケートは必ずご本人（封筒の宛名の人）がお答えください。

2　アンケートは，調査票，またはWEBで回答できます。
調査票かWEBのどちらか１つで回答してください。
※調査票は異なる言語のものを２種類送っています。
内容は同じものですので，どちらか１つに書いてください。
※WEBで回答する人は，このQRコードからアクセスしてください。
※なお、WEBアンケートは、回答の一時保存ができません。なるべく時間に余裕があるときに回答してください。

3　回答は，あてはまる項目を選んで，その番号を○印で囲んでください。
「その他」を選んだときは，（　　）の中に具体的な内容を書いてください。

4　回答を書いた調査票１つを返信用封筒に入れて，
１１月２２日（月）までにご返送ください。（切手はいりません。）

5　返信用封筒に，住所，氏名を書く必要はありません。

6　商品券・クオカードの抽選に参加する人は，名前を日本語または英語で書いてください。（漢字も可）（参加を希望しない人は，書く必要はありません。）

私は，商品券・クオカードの抽選に参加します。

お名前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

［注意事項］
※アンケートをWEBで回答する人もWEBから抽選に参加できます。
※いただいた情報を抽選以外に使用することはありません。
※アンケートに答えずに，抽選だけに参加することはできません。
※アンケートで答えた内容が抽選結果に影響することはありません。
※本人（封筒の宛名の人）以外の人の応募や，本人の住所（封筒の宛名の住所）以外へ送ることはできません。

≪あてはまる番号に○をつけるか，回答欄に直接記入してください≫

Q1　あなたの国・地域（NATIONALITY）をお伺いします。**（1つ選んでください）**

1　中国	6　アメリカ	11　インド	16　カナダ
2　ベトナム	7　台湾	12　イギリス	17　モンゴル
3　韓国	8　スリランカ	13　タイ	18　その他
4　ネパール	9　インドネシア	14　バングラデシュ	（具体的に：
5　フィリピン	10　ミャンマー	15　フランス	）

Q1－1　あなたの母国語（NATIVE　LANGUAGE）をお伺いします。**（1つ選んでください）**

1　中国語	6　タガログ語（フィリピノ語）	11　ヒンディー語	16　その他
2　ベトナム語	7　シンハラ語	12　タイ語	（具体的に
3　韓国語	8　タミル語	13　ベンガル語	）
4　ネパール語	9　インドネシア語	14　フランス語	
5　英語	10　ビルマ語	15　モンゴル語	

Q2　あなたの生まれた年（西暦）と月をお伺いします。

生まれた年（西暦）	年	月

Q3　あなたの在留資格を次の中から選んでください。**（1つ選んでください）**

1　留学（大学・短期大学への留学）
2　留学（日本語学校への留学）
3　留学（専修学校への留学）
4　留学（その他：　　）
5　技術・人文知識・国際業務
6　家族滞在
7　技能実習
8　日本人の配偶者等
9　特定活動
10　特定技能
11　その他（具体的に　：　　）

Q4　あなたの住んでいるところを次の中から選んでください。**（１つ選んでください）**

1　東区	2　博多区	3　中央区	4　南区
5　城南区	6　早良区	7　西区	

Q5　福岡市には通算でどのくらい住んでいますか。**（１つ選んでください）**

1　６か月未満	4　３年以上～５年未満
2　６か月以上～１年未満	5　５年以上～10年未満
3　１年以上～３年未満	6　10年以上

Q6　日本には通算でどのくらい住んでいますか。**（１つ選んでください）**

1　６か月未満	4　３年以上～５年未満
2　６か月以上～１年未満	5　５年以上～10年未満
3　１年以上～３年未満	6　10年以上

Q7　あなたが今住んでいる家は次のうちどれですか。**（１つ選んでください）**

1　持ち家（一戸建て・分譲マンション）	4　社宅・会社の寮
2　公営住宅・団地	5　学生寮
3　民間の賃貸アパート・マンション	6　その他（具体的に：　　）

Q8　現在，あなたと同居している方はいますか。**（あてはまるものをすべて選んでください）**

1　いない　→Ｑ９に	5　兄弟姉妹
2　配偶者・パートナー	6　友人・知人
3　子ども	7　その他（具体的に：　　）
4　親	

Q8－1　あなたを除いた同居人の人数は何人ですか。**（１つ選んでください）**

1　1人	2　2人	3　3人	4　4人	5　5人	6　その他（　　人）

Q9　あなたの日常生活における日本語能力はどのくらいですか。日本に来たときと，現在の両方について，**それぞれあてはまるものを選んでください。**

	日本に来たとき	現在
（1）話す能力	1　自由に話せる 2　少し話せる 3　全く話せない	1　自由に話せる 2　少し話せる 3　全く話せない
（2）聞く能力	1　ほとんど聞き取れる 2　少し聞き取れる 3　全く聞き取れない	1　ほとんど聞き取れる 2　少し聞き取れる 3　全く聞き取れない
（3）読む能力	1　漢字も含めて読める 2　漢字も少し読める 3　ひらがなしか読めない 4　全く読めない	1　漢字も含めて読める 2　漢字も少し読める 3　ひらがなしか読めない 4　全く読めない
（4）書く能力	1　漢字も書ける 2　漢字も少し書ける 3　ひらがなしか書けない 4　全く書けない	1　漢字も書ける 2　漢字も少し書ける 3　ひらがなしか書けない 4　全く書けない

Q10　日本語能力を高めるためにどのような努力をしていますか。
（あてはまるものをすべて選んでください）

1　市民センターや地域で開催されている日本語教室に通っている
2　大学や日本語学校で学んでいる
3　家族や友人から学んでいる
4　本やインターネット，テレビなどを使い，独学で学んでいる（通信教育含む）
5　職場で学んでいる
6　その他（具体的に　：　　）
7　日本語を学んでいない

Q11　あなたは，市民センターや地域で開催されている日本語教室を利用したことがありますか。
（1つ選んでください）

1　利用したことがある	→Q11-1 に
2　知っているが利用したことはない	→Q11-2 に
3　知らない	→Q12 に

Q11－1　**Q11で「1　利用したことがある」と答えた方にお聞きします。**
現在も利用していますか。**（1つ選んでください）**

1　利用している　**→Q12に**	2　利用していない

Q11－1－1　利用しなくなった理由は何ですか。**（1つ選んでください）**

1　日本語の不安がなくなった
2　開催場所があわない
3　開催時間があわない
4　講師のレベルがあわない
5　学習のレベルがあわない
6　その他（具体的に　　）

Q11－2　**Q11で「2　知っているが利用したことはない」と答えた方にお聞きします。**
利用しないのはなぜですか。**（1つ選んでください）**

1　日本語ができるので，必要ない
2　開催場所があわない
3　開催時間があわない
4　講師のレベルがあわない
5　学習のレベルがあわない
6　その他（具体的に　：　　）

Q12　あなたの日常生活における英語能力はどのくらいですか。**（それぞれ1つ選んでください）**

（1）あなたは英語を話せますか。

1　話せる	2　少し話せる	3　全く話せない

（2）あなたは英語をどのくらい聞き取れますか。

1　聞き取れる	2　少し聞き取れる	3　全く聞き取れない

（3）あなたは英語をどのくらい読めますか。

1　読める	2　少し読める	3　全く読めない

（4）あなたは英語をどのくらい書けますか。

1　書ける	2　少し書ける	3　全く書けない

Q13　総合的にみて，福岡市は住みやすいと思いますか。**（1つ選んでください）**

1　住みやすい
2　どちらかといえば住みやすい
3　どちらかといえば住みにくい
4　住みにくい
5　わからない

Q14　福岡市の生活環境についてどう思いますか。**（それぞれ1つ選んでください）**

1　自然環境	悪い 1	2	普通 3	4	良い 5	わからない 6
2　買い物などの日常生活の利便性	悪い 1	2	普通 3	4	良い 5	わからない 6
3　物価	高い 1	2	普通 3	4	安い 5	わからない 6
4　食べ物の新鮮さやおいしさ	悪い 1	2	普通 3	4	良い 5	わからない 6
5　住宅事情（住む家を探しやすい　など）	悪い 1	2	普通 3	4	良い 5	わからない 6
6　交通の利便性	悪い 1	2	普通 3	4	良い 5	わからない 6
7　母国との交通手段（航空便・船便など）の利便性	悪い 1	2	普通 3	4	良い 5	わからない 6
8　就業（アルバイトやパート）機会の多さ	少ない 1	2	普通 3	4	多い 5	わからない 6
9　芸術・文化の水準（芸術や文化を楽しめるか）	低い 1	2	普通 3	4	高い 5	わからない 6
10　レジャー施設の充実	悪い 1	2	普通 3	4	良い 5	わからない 6
11　教育環境	悪い 1	2	普通 3	4	良い 5	わからない 6
12　子育ての環境・支援	悪い 1	2	普通 3	4	良い 5	わからない 6
13　医療機関の充実	悪い 1	2	普通 3	4	良い 5	わからない 6
14　犯罪の多さ	多い 1	2	普通 3	4	少ない 5	わからない 6
15　自然災害の多さ	多い 1	2	普通 3	4	少ない 5	わからない 6

16 人の親切さ	悪い 1	2	普通 3	4	良い 5	わからない 6
17 市民マナー	悪い 1	2	普通 3	4	良い 5	わからない 6
18 母国の食材を扱ったレストランやお店の数	少ない 1	2	普通 3	4	多い 5	わからない 6
19 多言語対応ができる場所の多さ	少ない 1	2	普通 3	4	多い 5	わからない 6

Q15 福岡都市圏の生活環境について，あなたが充実して欲しいものは何ですか。
（3つまで選んでください）

1 自然環境
2 買い物などの日常生活の利便性
3 物価
4 食べ物の新鮮さやおいしさ
5 住宅事情（住む家を探しやすい　など）
6 交通の利便性
7 母国との交通手段（航空便・船便など）の利便性
8 就業（アルバイトやパート）機会の多さ
9 芸術・文化の水準（芸術や文化を楽しめるか）
10 レジャー施設の充実
11 教育環境
12 子育ての環境・支援
13 医療機関の充実
14 犯罪の軽減
15 自然災害への対策
16 人の親切さ
17 市民マナー
18 母国の食材を扱ったレストランやお店の数
19 多言語対応ができる場所

Q16　日常生活での悩みや困っていることは何ですか。**（あてはまるものをすべて選んでください）**

1　言葉が通じない
2　物価が高い
3　食事が合わない
4　趣味や遊びを楽しむ時間や場所がない
5　風俗・習慣が違う（具体的に：　　）
6　生活情報が入らない（具体的に：　　）
7　相談する相手がいない
8　日本語以外の言語で診療が受けられる病院についての情報が少ない
9　医療保険制度がわからない
10　税金のことがわからない
11　地域住民とのトラブル
12　ホームシック
13　母国の文化や情報に触れる機会や場所がない
14　住宅に関すること
15　育児・子どもの教育
16　宗教上の問題（具体的に：　　）
17　その他（具体的に：　　）
18　特に悩みはない

Q17　あなたは地域で生活する上で日本人とトラブルになったことがありますか。
（１つ選んでください）

1　ある　　2　ない　**→Q18 に**

Q17−1　**Q17で「1　ある」と答えた方にお聞きします。**
どのようなことでトラブルになりましたか。**（あてはまるものをすべて選んでください）**

1　騒音
2　ごみの捨て方
3　駐車・駐輪問題
4　地域行事（そうじ・草ぬきなど）
5　町内会費の支払い
6　その他（具体的に：　　）

Q18　福岡市が外国人にも住みやすく活動しやすいまちになるためには，何が必要だと思いますか。

（3つまで選んでください）

1　区役所や公民館など公的施設で日常生活に関する相談窓口があること
2　近所に日本語教室があること
3　地域に相談等サポートしてくれる日本人がいること
4　自分と同じ国の人とコミュニケーションがとれたり，相談ができること
5　地域の人とふれあいを深める交流事業がたくさんあること
6　多言語での災害時の避難場所等の情報を充実させること
7　外国語ができる病院等の情報を充実させること
8　病院を受診するときに通訳があること
9　多言語で，生活や余暇情報が発信されていること
10　日本語学習支援があること
11　外国人への子育て支援やこどもへの教育体制が充実していること
12　その他（具体的に：　　）

Q19　あなたが日常生活で困ったとき，　相談できる人がいますか。

（あてはまるものをすべて選んでください）

1　日本人の友人
2　同じ国の友人
3　その他の国の友人
4　一緒に住む家族
5　母国の家族
6　大学，短期大学，日本語学校の先生や職員
7　市民センターや地域で開催されている日本語教室の先生
8　近所の人や公民館の職員
9　福岡よかトピア国際交流財団（福岡市国際会館）
10　福岡県国際交流センター（アクロス福岡３階）
11　大使館・領事館
12　その他（具体的に：　　）
13　相談相手はいない

Q20　あなたが特に欲しい情報は何ですか（**3つまで選んでください**）。

1	日常生活のルールに関する情報
2	住んでいる街での交流イベント等に関する情報
3	住宅に関する情報
4	創業に関する情報
5	就職に関する情報
6	アルバイトに関する情報
7	病院や医療保険に関する情報
8	事故や災害などの緊急時の対応に関する情報
9	税金に関する情報
10	出産や育児に関する情報
11	子どもの教育に関する情報
12	新型コロナウイルスに関する情報（ワクチンや経済支援等を含む）
13	その他（具体的に：　　）

Q21　生活に関する地域の情報を知りたいとき，普段はどこから情報を得ていますか。

（あてはまるものをすべて選んでください）

1	日本語のテレビ
2	外国語のテレビ
3	日本語のラジオ
4	外国語のラジオ
5	日本語の新聞
6	外国語の新聞
7	「市政だより」など市の広報誌
8	福岡よかトピア国際交流財団の広報紙（隔月刊紙「ＦＣＩＦ」）
9	福岡よかトピア国際交流財団のメールマガジン
10	広報誌「こくさいひろば」
11	在日外国人向け外国語フリーペーパー
12	福岡市ホームページ
13	福岡よかトピア国際交流財団のホームページ
14	福岡県国際交流センターのホームページ
15	インターネット（よく確認するサイトは：　　）
16	SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）→Q21-1 に
17	会社など勤務先
18	大学，短期大学，日本語学校
19	市民センターや地域で開催されている日本語教室
20	住んでいる街の回覧板，掲示板など
21	日本人の友人，知人，隣人
22	同じ出身国の友人，知人，隣人
23	出身国は異なるが，同じ言語圏出身の友人，知人，隣人
24	その他（具体的に：　　）

Q21－1　**Q21で「16　SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）」と答えた方にお聞きします。**情報を得ているSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）は何ですか。

（あてはまるものをすべて選んでください）

1	Facebook
2	Twitter
3	LINE
4	Instagram
5	その他（具体的に：　　）

Q22　あなたが生活情報や行政情報を得るために行ったことがあるところはどこですか。
（あてはまるものをすべて選んでください）

1　福岡よかトピア国際交流財団（福岡市国際会館）
2　福岡市の情報プラザ（福岡市役所１階ロビー）
3　福岡県国際交流センター（アクロス福岡３階）
4　市役所・区役所
5　その他（具体的に：　　）

Q23　あなたは地域の多言語ＦＭラジオ放送局であるＬｏｖｅＦＭ（福岡76.1MHｚ，福岡西82.5MHｚ）を聴いたことがありますか。**（１つ選んでください）**

1　よく聴いている
2　たまに聴いている，聴いたことがある
→ Q23－1 に

3　知っているが聴いたことはない
4　知らない
→ Q24 に

Q23－1　**Q23で「１」「２」と答えた方にお聞きします。**福岡市が提供するラジオ番組「Life in Fukuoka」や「やさしい日本語ラジオ講座」を聴いたことがありますか。**（１つ選んでください）**

1　よく聴いている
2　たまに聴いている，聴いたことがある
3　知っているが聴いたことはない
4　知らない

Q24 あなたは，区役所で最初に住民登録したときにお配りしている「ウェルカムキット（Life in Fukuoka，ごみルールブックなどを封筒に入れてセットにした資料）」を活用していますか。
（１つ選んでください）

1　よく活用している
2　ときどき活用している
3　読んだことはある
4　読まなかった
5　知らない

ウェルカムキットとは？
・Life in Fukuoka
・ごみルールブック
・外国人のための防災ハンドブック
・ビジターズガイド
・福岡市医療通訳コールセンターのカード　など



13

Q25　あなたは過去1年間に，福岡市国際会館（福岡よかトピア国際交流財団）へどのくらいの頻度でいったり，連絡したりしましたか。**（1つ選んでください）**

1　週に2～3回くらい 2　週に1回くらい 3　月に1～2回くらい 4　半年に1～2回くらい 5　年に1～2回くらい	→ Q25－1 に
6　行ったことも連絡したこともない	→ Q25－2 に

Q25-1　**Q25で「1」～「5」と答えた方にお聞きします。**

（1）福岡市国際会館（福岡よかトピア国際交流財団）をどのようにして知りましたか。

（1つ選んでください）

1　家族，友人	4　ホームページ
2　学校，職場	5　その他（具体的に：　　）
3　ウェルカムキット	

（2）福岡市国際会館（福岡よかトピア国際交流財団）では何を利用しましたか。

（あてはまるものをすべて選んでください）

1　雑誌	6　観光情報	11　無料相談（心理）
2　図書	7　生活情報	12　その他
3　Wi-Fi	8　無料相談（生活一般）	（具体的に：　　）
4　チラシ棚	9　無料相談（法律）	
5　国際交流情報	10　無料相談（在留資格）	

（3）福岡市国際会館（福岡よかトピア国際交流財団）で利用して，役に立ったものは何ですか。

（3つまで選んでください）

1　雑誌	6　観光情報	11　無料相談（心理）
2　図書	7　生活情報	12　その他
3　Wi-Fi	8　無料相談（生活一般）	（具体的に：　　）
4　チラシ棚	9　無料相談（法律）	13　特になし
5　国際交流情報	10　無料相談（在留資格）	

（4）福岡市国際会館（福岡よかトピア国際交流財団）で利用して，役に立たなかったものは何ですか。**（3つまで選んでください）**

1 雑誌	6 観光情報	11 無料相談（心理）
2 図書	7 生活情報	12 その他
3 Wi-Fi	8 無料相談（生活一般）	（具体的に：　　）
4 チラシ棚	9 無料相談（法律）	13 特になし
5 国際交流情報	10 無料相談（在留資格）	

Q25-2　**Q25で「6　行ったことも連絡したこともない」と答えた方にお聞きします。**
行ったことも連絡したこともない理由は何ですか。**（1つ選んでください）**

1 知らなかった	4 インターネットで必要な情報はとれる
2 関心がない	5 行きにくい場所にある
3 時間がない	6 その他（具体的に：　　）

Q26　あなたは，日頃，近所の日本人とどの程度お付き合いがありますか。**（1つ選んでください）**

1 おたがいに家を訪問したり，されたりする	3 会えばあいさつする程度
2 会えば世間話をする	4 付き合いはほとんどない

Q27　あなたは日本人と交流したいですか。**（1つ選んでください）**

1 交流したい
2 できれば交流したい
3 どちらでもよい

→

Q27-1 どのような交流がしたいですか。**（2つまで選んでください）**

1 日本人と話し合える交流会
2 何か困ったときに，相談できる日本人が欲しい
3 旅行，キャンプ，ハイキング
4 スポーツ大会
5 文化交流（お茶，お花，音楽，料理など）
6 お祭り
7 街の清掃・防犯活動など
8 外国人支援や国際交流を行っている市民団体との交流
9 通訳のサポートがある（日本語ができなくても参加できる）交流会
10 その他（具体的に：　　）

4 交流したくない

→

Q27-2 交流したくない理由は何ですか。**（1つ選んでください）**

1 日本語ができない
2 交流が好きではない
3 関心がない
4 その他（具体的に：　　）

Q28　あなたは地域（自治会，町内会，校区，団地，マンション等）での行事（イベント）や活動に参加していますか。（１つ選んでください）

1　よく参加している 2　たまに参加している	→ Q28-1 に
3　全く参加していない	→ Q28－2 に

Q28－1　**Q28で「1　よく参加している」「2　たまに参加している」と答えた方にお聞きします。**

（1）地域での行事（イベント）や活動の参加状況を教えてください。（１つ選んでください）

	よく参加している	たまに参加している	全く参加していない
1　自治会や町内会の総会	1	2	3
2　地域での清掃や草取り，資源ごみ回収	1	2	3
3　防災訓練	1	2	3
4　祭り・花見・新年会・スポーツ大会などの親睦行事	1	2	3
5　サークル活動	1	2	3
6　その他参加している活動（具体的に：　　）			

（2）あなたが参加したきっかけは何ですか。（３つまで選んでください）

1　地域の日本人に誘われた
2　日本人以外の友人・知人に誘われた
3　住んでいるまちの回覧板，掲示板
4　「市政だより」など市の広報誌
5　インターネット
6　その他（具体的に：　　）

Q28-2　**Q28で「3　全く参加していない」と答えた方にお聞きします。**

参加しなかった理由は何ですか。（２つまで選んでください）

1　時間がないから
2　関心がないから
3　参加料が高いから
4　日本語がよくできないから
5　知らなかったから
6　知っている人がいないから
7　その他（具体的に：　　）

Q29　地域社会の一員として，あなたが日本人に望むことは何ですか。**（１つ選んでください）**

1　あいさつなど声をかけてほしい
2　地域のイベントなどに誘ってほしい
3　自分たちの文化や習慣を理解してほしい
4　特にない
5　その他（具体的に：　　）

Q30　あなたは公民館を利用したことがありますか。**（１つ選んでください）**

※公民館は，地域で交流する施設として普段は使われています。災害時には，避難所として活用します。

1　よく利用している
2　たまに利用する，利用したことがある
3　公民館は知っているが利用したことはない
4　公民館を知らない

➡

Q30-1利用目的は何ですか。
次の中から選んでください。
（あてはまるものをすべて選んでください）

1　日常生活の相談
2　地域情報の取得
3　サークル活動
4　災害時の避難所
5　その他（具体的に：　　）

Q31　あなたは，自宅近くの，地震や洪水などの災害時の避難場所(逃げるところ)を知っていますか。
（１つ選んでください）

1　知っている	2　知らない

Q32　土砂災害や洪水などで地域の住民に避難を指示するお知らせがあったとき，それを知ることができますか。**（１つ選んでください）**

1　知ることができる	2　知ることができない

Q32－1　**Q32で「1　知ることができる」と答えた方にお聞きします。**

どのように知ることができますか。**（あてはまるものをすべて選んでください）**

1　日本語ができるので，テレビやラジオ，区役所の広報車で問題なく知ることができる
2　日本語ができる家族がいるので，家族を通じて知ることができる
3　日常的に近所つきあいがあるので，近所を通じて知ることができる
4　学校や職場から知ることができる
5　市や県のホームページ等で知ることができる
6　市や県の防災メールで知ることができる
7　領事館や同じ出身国のコミュニティから連絡が来ることになっている
8　その他（具体的に：　　）

Q32－2　**Q32で「2　知ることができない」と答えた方にお聞きします。**

できない原因を教えてください。**（あてはまるものをすべて選んでください）**

1　日本語ができない	2　情報取得方法がわからない
3　その他（具体的に：　　）	

Q33　福岡で生活してから，あなたや家族が病気やけがで病院に行ったり，病院を探したりしたことがありますか。**（１つ選んでください）**

1　ある	2　ない　**→Q34 に**

Q33－1　**Q33で「1　ある」と答えた方にお聞きします。**

そのときに，何か困ったことはありましたか。**（あてはまるものをすべて選んでください）**

1　行きたい病院が探せない・探すのに苦労した　**→Q33-1-1 に**
2　医師や病院スタッフと言葉が通じない
3　病院内の案内標記が読めない
4　病院内の書類が読めない
5　日本の医療制度や受診の仕方がわからない
6　その他（具体的に：　　）
7　困ったことはない

Q33－1－1　**Q33－1で「1　行きたい病院が探せない・探すのに苦労した」と答えた方にお聞きします。**病院を探すときに困ったことや苦労したことは何ですか。**（1つ選んでください）**

1	病院を探す方法がわからない
2	病院を探す方法はわかるが，言葉がわからなくて探せない
3	病院は探せるが，言葉の通じる医師がいる病院がわからない
4	病院は探せるが，行きたい時間に行ける病院がわからない
5	病院は探せるが，どの科を受診したらいいかわからない
6	病院は探せるが，近くにある病院がわからない
7	その他（具体的に：　　）

Q34　病院受診時に，電話や窓口で通訳サービスを利用したことがありますか。

（1つ選んでください）

1	ある	2	ない　→Q35 に

Q34－1　**Q34 で「1　ある」と答えた方にお聞きします。**

（1）使ったサービスの種類は何ですか。**（あてはまるものをすべて選んでください）**

1	コールセンターなどによる電話通訳（ふくおか国際医療サポートセンター）
2	コールセンターなどによる電話通訳（福岡市医療通訳コールセンター）
3	コールセンターなどによる電話通訳（サービスの名称は分からない）
4	病院等のスタッフやボランティアなどによる対人通訳
5	タブレット，スマホのアプリなどによる通訳（機械通訳）
6	その他（具体的に：　　）

（2）そのサービスを使って困ったことはありましたか。**（あてはまるものをすべて選んでください）**

1	通訳サービスが母国語に対応できなかった
2	電話やアプリに接続できなかった／接続に時間がかかった
3	その他（具体的に：　　）
4	困ったことはない

（3）そのサービスを知ったきっかけは何ですか。**（あてはまるものをすべて選んでください）**

1	チラシ，リーフレット，カード
2	福岡市ホームページ
3	福岡市以外のホームページ
4	SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）
5	友人，知人，隣人
6	会社などの勤務先
7	大学などの通学先
8	病院の窓口
9	その他（具体的に：　　）

Q35　外国語で新型コロナウイルス感染症に関する相談ができる「新型コロナウイルス外国人相談ダイヤル」を知っていますか。**（１つ選んでください）**

1　知っている	2　知らない　→Q36 に

Q35－1　**Q35 で「1　知っている」と答えた方にお聞きします。**

（1）　そのサービスを使って困ったことはありましたか。**（あてはまるものをすべて選んでください）**

1	使ったことがない
2	通訳サービスが母国語に対応できなかった
3	電話やアプリに接続できなかった／接続に時間がかかった
4	その他（具体的に：　　）
5	困ったことはない

（2）　そのサービスを知ったきっかけは何ですか。**（あてはまるものをすべて選んでください）**

1	チラシ，リーフレット，カード
2	福岡市ホームページ
3	福岡市以外のホームページ
4	SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）
5	友人，知人，隣人
6	会社などの勤務先
7	大学などの通学先

Q36　医療面において，外国人にとってどのようなことが必要だと思いますか。**（3つまで選んでください）**

1	多言語で対応できる医療機関の数が増えること
2	病院を受診するときに通訳や翻訳が利用できること
3	身近な薬局で購入できる医療品が増えること
4	多言語での医療機関や薬局に関する情報提供を充実させること
5	医療費の負担が軽減されること
6	健康保険料の負担が軽減されること
7	多言語での民間医療保険に関する情報提供を充実させること
8	その他（具体的に：　　）

Q37　あなたの家族には，今同居している中学生以下のお子さんがいますか。

（あてはまるものをすべて選んでください）

1	小・中学生のこどもがいる	→ Q37-1 に
2	未就学の乳幼児がいる	→ Q38 に
3	いない	→ Q42 に

Q37－1　そのお子さんは，どのような学校に行っていますか。**（1つ選んでください）**

1	公立の小中学校
2	私立の小中学校
3	福岡インターナショナルスクール
4	その他（具体的に：　　）
5	学校に通わせていない

Q38　あなたが仕事に出たり，外出したりするときに，お子さんをどんなところに預けていますか。

（1つ選んでください）

1	保育所（園）	5	友人，近所の人など
2	幼稚園	6	その他（具体的に：　　）
3	留守家庭子ども会	7	子どもを預けられるところがない
4	家族，親族		

Q39　お子さんの教育や子育てで，どのような悩みがありますか。

（あてはまるものをすべて選んでください）

1　子どもが日本語ができない
2　子どもが日本の文化を理解していない
3　子どもが母国語，母国の文化を理解してない
4　子どもが授業の内容を理解できていない
5　子どもがいじめられている
6　子どもに友だちがいない
7　学校での日本語の指導が不十分
8　子どもとのコミュニケーションがうまくとれない
9　学校や保育所（園），幼稚園などの先生とのコミュニケーションがうまくとれない
10　学校や保育所（園），幼稚園などから送られてくる文書が理解できない
11　子どもの友だちの親と仲良くなれない
12　進学についての不安が大きい
13　教育費が高い
14　保育所（園）や幼稚園に子どもを入所させる方法がわからない
15　健診や予防接種など，子育てに関する情報が得にくい
16　安心して受診できる病院がない
17　教育や子育てについての悩みを相談できるところや人がいない
18　外国人であることが理由で，子どもや自分が学校や保育所（園），幼稚園などから不当な扱いを受けている
19　その他（具体的に：　　）
20　特にない

Q40　子育てに関してあなたが必要とする情報は何ですか。

（あてはまるものをすべて選んでください）

1　子どものしつけや勉強
2　子どもの遊び場や施設
3　子どもの発育や病気
4　子連れで参加できるイベント
5　子どもの食事や栄養
6　子育ての手当や公的助成
7　保育所（園）や幼稚園
8　子どもの一時預かり
9　子育ての講座や講演会など
10　子育てサークル
11　子育ての相談窓口
12　進学・進路に関すること
13　塾，習いごと
14　その他（具体的に：　　）

Q41　あなたが子育てについて，相談したり，参考にしたりしているものは誰（何）ですか。

（あてはまるものをすべて選んでください）

1　友人，近所の人など	8　市や区のホームページ
2　保育所（園），幼稚園，学校などの保護者仲間	9　区の窓口（区役所，保健福祉センターなど）
3　保育所（園），幼稚園，学校	10　福岡よかトピア国際交流財団（福岡市国際会館）
4　新聞・雑誌・育児書	11　福岡県国際交流センター（アクロス３階）
5　テレビ・ラジオ	12　情報の入手先がわからない
6　インターネット	13　その他（具体的に：　　）
7　市の広報物	

Q42　教育環境において，外国人にとってどのようなことが必要だと思いますか。

（３つまで選んでください）

1　公立や私立の小中学校の充実	→ Q42−1 に
2　インターナショナルスクールの充実	→ Q42-2 に
3　子どもが日本語を学べるところ 4　母国の文化や言語を学べるところ 5　習いごと教室での外国語対応 6　その他（具体的に：　　）	→ Q43 に

Q42−1　公立や私立の小中学校について，具体的に何が充実すればよいと思いますか。

（３つまで選んでください）

1　授業での日本語サポート	4　授業料など経済的な負担の軽減
2　英語で学べる教育の充実	5　給食でのハラルフードなど，子どもに応じたきめ細やかな対応
3　障がいをもつ子どもの教育の充実	6　その他（具体的に：　　）

Q42−2　インターナショナルスクールについて，具体的に何が充実すればよいと思いますか。

（３つまで選んでください）

1　数が増えること	4　施設環境の充実
2　教育の質やレベルの向上	5　自宅から通いやすい場所に立地していること
3　授業料が安くなること	6　その他（具体的に：　　）

Q43　税金に関してあなたが必要とする情報は何ですか。**（あてはまるものをすべて選んでください）**

1　税金を払うための手続き	5　税金の申告の手続き
2　税金を払うことができないときの手続き	6　仕事を辞めたときの手続き
3　税金の計算方法	7　出国するときの手続き
4　税金の証明を取る手続き	8　税金について問い合わせするところ

Q44　住居環境において，外国人にとってどのようなことが必要だと思いますか。

（３つまで選んでください）

1　家賃が安くなること
2　保証人が不要な賃貸住宅が増えること
3　賃貸契約の際に通訳や翻訳が利用できること
4　公共交通機関へのアクセスが便利であること
5　広い住宅が確保されること
6　ペットが飼育できる住宅が増えること
7　治安が良くセキュリティが確保されたエリアが増えること
8　有料で生活のサポートをしてくれるサービスがあること
9　その他（具体的に：　　）

Q45　2020年10月に国勢調査が実施されたことを知っていますか。**（１つ選んでください）**

※国勢調査は，日本に居住するすべての人・世帯の実態を明らかにするために，統計法に基づき，5年ごとに実施する統計調査です。

1　知っている	2　知らない　**→Q47 に**

⬇

Q45−1　知ったきっかけは何ですか。**（あてはまるものをすべて選んでください）**

1　福岡市のホームページ	6　SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）
2　国のホームページ	7　チラシ・ポスター
3　テレビCM	8　友人，知人
4　ラジオ	9　ポストに投函された調査票
5　新聞	10　その他（具体的に　　）

Q46　2020年10月の国勢調査は回答しましたか。**（１つ選んでください）**

1　回答した　**→Q47 に**	2　回答しなかった

Q46－1　回答しなかった理由は何ですか。**（１つ選んでください）**

1　内容が理解できなかった	4　回答する必要性を感じなかった
2　面倒くさかった	5　その他（具体的に
3　回答することを忘れていた	）

Q47　外国人が住みやすく活動しやすいまちづくりについて自由に意見をお書きください。

ご協力ありがとうございました。

令和3年度
福岡市外国籍市民アンケート報告書

（福岡市滞在期間5年未満の外国籍市民に関する分析）

令和4年3月

発行　福岡市総務企画局国際部国際政策課
〒810-8620　福岡市中央区天神一丁目8番1号
TEL：(092)711-4022
FAX：(092)733-5597
E-mail：kokusaiseisaku.GAPB@city.fukuoka.lg.jp